岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第477集

# 上野場（かみのば）3遺跡発掘調査報告書

農免農道整備事業観音林地区関連遺跡発掘調査

2006

岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室

(財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

# 上野場３遺跡発掘調査報告書

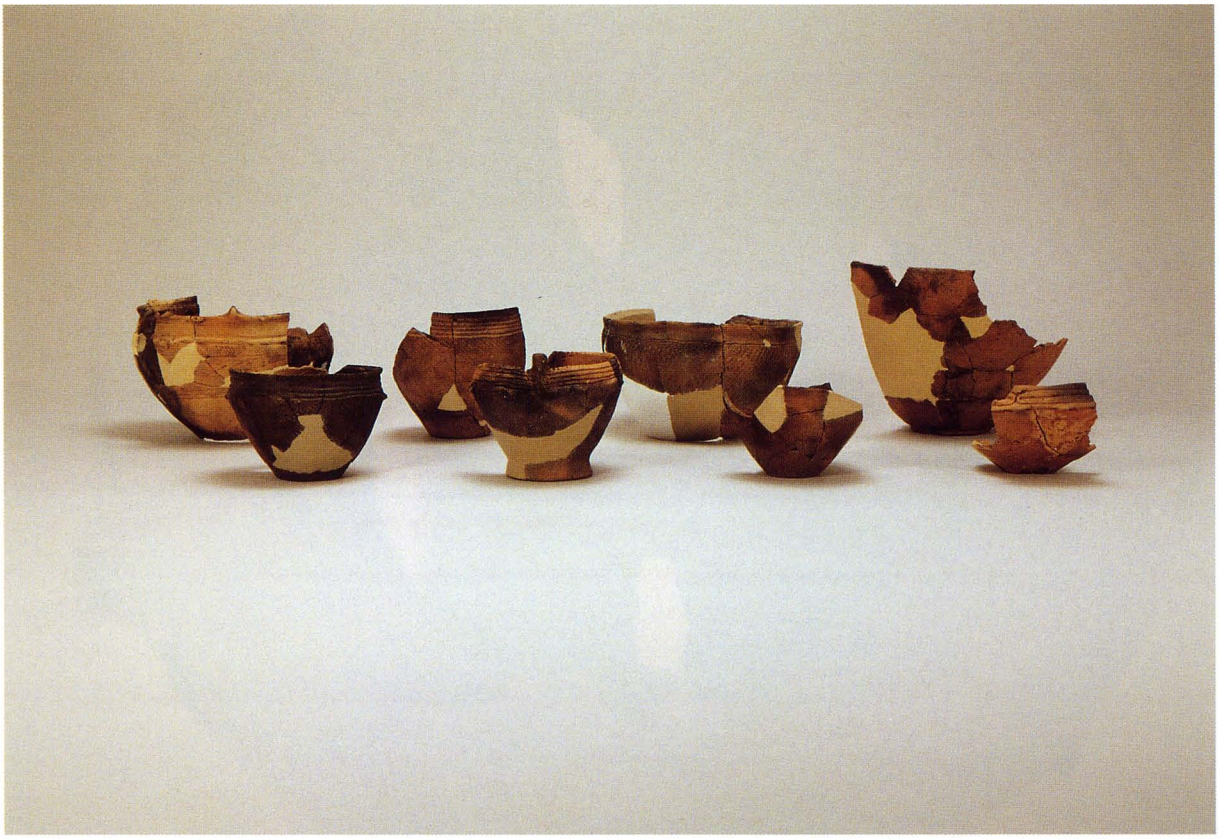
農免農道整備事業観音林地区関連遺跡発掘調査

遺跡遠景（南から）

調査区全景（上が東）

1号竪穴住居跡（西から）

香炉形土器出土状況



1号遺物包含層出土土器

香炉形土器

香炉形土器　頂部内面　炭化物付着状況

同　底部内面　炭化物付着状況

# 序

本県には、旧石器時代をはじめとする１万箇所を超す遺跡や貴重な埋蔵文化財が数多く残されています。それらは、地域の風土と歴史が生み出した遺産であり、本県の歴史や文化、伝統を正しく理解するのに欠くことのできない歴史資料です。同時に、それらは県民のみならず国民的財産であり、将来にわたって大切に保存し、活用を図らなければなりません。

一方、豊かな県土づくりには公共事業や社会資本整備が必要ですが、それらの開発にあたっては、環境との調和はもちろんのこと、地中に埋もれ、その土地とともにある埋蔵文化財保護との調和も求められるところです。

当事業団埋蔵文化財センターは、設立以来、岩手県教育委員会の指導と調整のもとに、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡の緊急発掘調査を行い、その調査の記録を保存する措置をとってまいりました。

本報告書は、農免農道整備事業観音林地区に関連して平成16年度に発掘調査された九戸郡軽米町上野場３遺跡の調査成果をまとめたものです。今回の調査では、縄文時代後期後葉の居住域と、縄文時代晩期の人為による遺物包含層（捨て場）、および縄文期の狩猟場の存在が明らかとなりました。検出された住居跡は大形で、堆積層・遺物とも残存状態が良く、十和田系テフラ層との対比のできる良好な資料であります。本書が広く活用され、埋蔵文化財についての関心や理解につながると同時に、その保護や活用、学術研究、教育活動などに役立てられれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書の作成にあたり、ご理解とご協力をいただきました岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室、軽米町教育委員会をはじめとする関係各位に対し、深く感謝の意を表します。

平成18年２月

財団法人　岩手県文化振興事業団
理事長　合　田　　武

# 例　　言

1　本報告書は、岩手県九戸郡軽米町大字晴山第16地割字上野場４－２ほかに所在する上野場３遺跡の発掘調査結果を収録したものである。

2　本遺跡の調査は、農免農道整備事業観音林地区に伴う事前の緊急発掘調査である。調査は二戸地方振興局農政部農村整備室と岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課との協議を経て、二戸地方振興局農政部農村整備室の委託を受けた財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。

3　本遺跡の岩手県遺跡台帳における遺跡番号はＩＦ61－2348、遺跡略号はＫＮＢ３－04である。

4　本遺跡における野外調査期間と調査面積、室内整理期間、調査・整理担当者は次の通りである。

| | | |
|---|---|---|
| 野外調査 | 調査期間 | 平成16年７月１日～９月14日 |
| | 調査面積 | 597㎡ |
| | 担当者 | 丸山浩治・水上明博 |
| 室内整理 | 整理期間 | 平成16年11月１日～平成17年３月31日 |
| | 担当者 | 丸山浩治 |

5　報告書の執筆は、第Ｉ章を二戸地方振興局農政部農村整備室、その他Ⅶ章以外の執筆および全ての編集、構成は丸山が担当した。

6　試料の分析・鑑定などは下記の機関に依頼した。

炭化種実の鑑定 …… 名久井文明（一芦舎）
炭化種実・種子の鑑定および同定 …… 高瀬克範・工藤雄一郎（東京都立大学）
石器・石製品の石材鑑定 …… 花崗岩研究会

7　空中写真撮影は次の機関に委託した。

東邦航空株式会社

8　野外調査および報告書作成にあたり、下記の方々から御指導とご助言をいただいた。（敬称略）
藤田直行（軽米町教育委員会）、中村　裕、山口　巌（浄法寺町教育委員会）、千田政博（種市町教育委員会）、野中真盛（軽米町立軽米中学校）、工藤　徹（二戸市立金田一中学校）、日下和寿（宮城県白石市教育委員会）、茅野義雄（青森県埋蔵文化財調査センター）、小山卓臣（青森県東通村教育委員会）

9　発掘調査資料は、全て岩手県立埋蔵文化財センターで保管している。

10　調査成果は現地公開資料、調査略報等に発表してきたが、本書の内容が優先するものである。

# 凡　　例

1　遺構実測図の用例は下記のとおりである。

（1）遺構実測図の縮尺は、竪穴住居跡および遺物包含層（捨て場）は1/50、陥し穴状遺構および土坑は1/40を基本とした。ただし一部異なるものもあるため各図にスケールおよび縮尺を付した。

（2）推定線は破線で示した。

（3）層位の表記には、基本層序にローマ数字、各遺構埋土にアラビア数字を使用した。

（4）土層色調の観察には、農林水産省農林水産技術会議事務局監修「新版標準土色帖」を使用した。混入物量（%）の目安もこれを参考にした。

（5）図面中の土器は「ｐ」、石器および礫は「ｓ」の略号で表記した。

（6）挿図中で使用した網掛けおよびスクリーントーンの主な用例は凡例図のとおりである。これ以外の使用箇所については各図に用例を表記した。

2　遺物実測図の用例は下記のとおりである。

（1）各遺物の縮尺は、土器（立体・破片とも）は1/３、土製品は1/２、剥片石器および石核は2/3、礫石器、石製品は1/３を基本とした。ただし一部異なるものもあるため、各図にスケールおよび縮尺を付した。

（2）遺物の計測位置およびスクリーントーンの用例は凡例図のとおりである。計測値は、残存値の場合（　）で表記した。

3　本文の一部、ならびに挿図中で用いたテフラ名称は『新編　火山灰アトラス』（町田洋・新井房夫　2003）に従い、次のように略称を用いて表している。

白頭山・苫小牧テフラ → B-Tm
十和田ｂテフラ → To-ｂ
十和田中掫テフラ → To-Cu
十和田南部テフラ → To-Nb
十和田八戸テフラ → To-H

4　国土地理院発行の地形図を転載したものは、図中に図幅名と縮尺を付した。

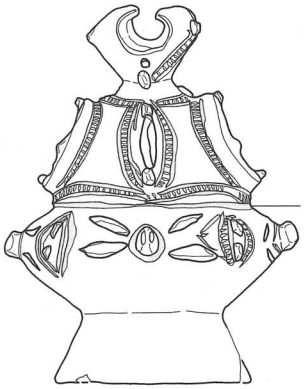
5　引用・参考文献は各章末に記した。

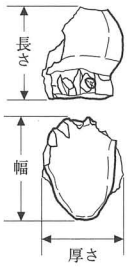
遺構図網掛け用例

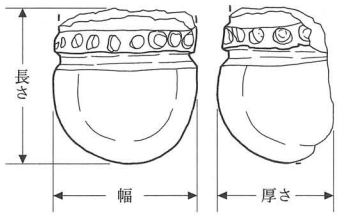


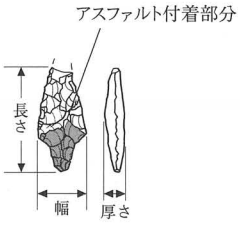
重複遺構

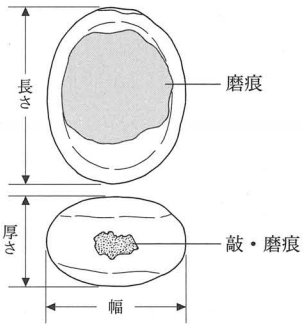
遺物図網掛け用例および計測位置用例

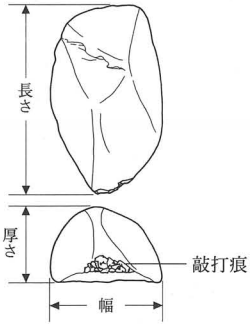


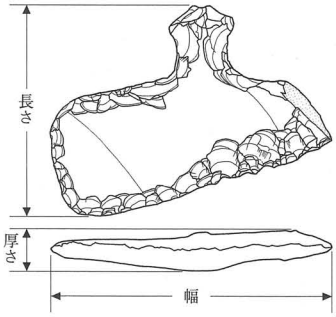



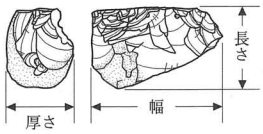




凡例図

# 目　次

Ⅰ　調査に至る経過 …… 1
Ⅱ　遺跡の立地と環境 …… 1
1　遺跡の位置 …… 1
2　地形と地質 …… 1
3　基本層序 …… 3
4　周辺の遺跡 …… 8
Ⅲ　調査と整理の方法 …… 13
1　野外調査 …… 13
2　室内整理 …… 15
Ⅳ　検出遺構 …… 19
1　竪穴住居跡 …… 19
2　遺物包含層 …… 20
3　土坑 …… 20
4　陥し穴状遺構 …… 23
Ⅴ　出土遺物 …… 31
1　縄文土器 …… 31
2　土製品 …… 36
3　石器 …… 37
4　石製品 …… 39
5　植物遺体 …… 39
Ⅵ　総括 …… 88
1　まとめ …… 88
2　考察 …… 89
Ⅶ　自然科学的分析 …… 98
岩手県上野場3遺跡出土の炭化種子 …… 98
報告書抄録 …… 135

# 表目次

第1表　周辺の遺跡一覧 …… 11
第2表　石材別出土重量 …… 37
第3表　土器観察表 …… 73
第4表　土器註記番号と出土地点・重量一覧 …… 80
第5表　遺構内・遺構外Ⅱ層以下出土土器の地点別重量 …… 81
第6表　土製品観察表 …… 82
第7表　石器観察表 …… 83
第8表　石製品観察表 …… 83
第9表　土器器形と文様の相関関係 …… 91
第10表　石器・石製品器種別石材比率 …… 94
第11表　出土地点別石器器種比率 …… 94
第12表　出土地点別土器（分類）比率 …… 95
第13表　出土地点別石材重量比率（遺構内）…… 96
第14表　出土地点別石材重量比率（遺構外）…… 97
第15表　上野場3遺跡出土炭化種子一覧表 …… 101

# 図版目次


第 1 図　遺跡の位置…… 2
第 2 図　周辺の地形…… 4
第 3 図　遺跡周辺の標高…… 5・6
第 4 図　基本層序（メインセクション図）…… 7
第 5 図　周辺の遺跡 …… 9・10
第 6 図　遺構配置図…… 18
第 7 図　1号竪穴住居跡（1）…… 25
第 8 図　1号竪穴住居跡（2）…… 26
第 9 図　1号遺物包含層…… 27
第10図　1・5・6号土坑…… 28
第11図　2～4号土坑…… 29
第12図　1・2号陥し穴状遺構…… 30
第13図　土器器形分類模式図…… 35
第14図　遺構内出土土器（1）1号竪穴住居跡… 40
第15図　遺構内出土土器（2）1号竪穴住居跡… 41
第16図　遺構内出土土器（3）
　1号竪穴住居跡・1号遺物包含層…… 42
第17図　遺構内出土土器（4）1号遺物包含層… 43
第18図　遺構内出土土器（5）1号竪穴住居跡… 44
第19図　遺構内出土土器（6）1号竪穴住居跡… 45
第20図　遺構内出土土器（7）1号竪穴住居跡… 46
第21図　遺構内出土土器（8）1号竪穴住居跡… 47
第22図　遺構内出土土器（9）1号竪穴住居跡… 48
第23図　遺構内出土土器（10）1号竪穴住居跡… 49
第24図　遺構内出土土器（11）1号陥し穴状遺構、
　遺構外出土土器（1）…… 50
第25図　遺構外出土土器（2）…… 51
第26図　遺構外出土土器（3）…… 52
第27図　遺構外出土土器（4）…… 53
第28図　遺構外出土土器（5）…… 54
第29図　遺構外出土土器（6）…… 55
第30図　遺構外出土土器（7）…… 56
第31図　遺構外出土土器（8）…… 57
第32図　遺構外出土土器（9）…… 58
第33図　土製品（1）…… 59
第34図　土製品（2）…… 60
第35図　遺構内出土石器（1）
　1号竪穴住居跡・1号遺物包含層…… 61
第36図　遺構内出土石器（2）1号遺物包含層… 62
第37図　遺構内出土石器（3）1号遺物包含層… 63
第38図　遺構内出土石器（4）1号遺物包含層… 64
第39図　遺構内出土石器（5）1・4号土坑…… 65
第40図　遺構外出土石器（1）…… 66
第41図　遺構外出土石器（2）…… 67
第42図　遺構外出土石器（3）…… 68
第43図　遺構外出土石器（4）…… 69
第44図　遺構外出土石器（5）…… 70
第45図　遺構外出土石器（6）…… 71
第46図　石製品…… 72
第47図　炭化種子……102


# 写真図版目次


写真図版1　空中写真 ……105
写真図版2　試掘風景・基本層序 ……106
写真図版3　1号竪穴住居跡（1）……107
写真図版4　1号竪穴住居跡（2）、1号遺物包含層 ……108
写真図版5　1～4号土坑 ……109
写真図版6　5・6号土坑、1・2号陥し穴状遺構 …110
写真図版7　遺構内出土土器（1）……111
写真図版8　遺構内出土土器（2）……112
写真図版9　遺構内出土土器（3）……113
写真図版10　遺構内出土土器（4）……114
写真図版11　遺構内出土土器（5）……115
写真図版12　遺構内出土土器（6）……116
写真図版13　遺構内出土土器（7）、遺構外出土土器（1）…117
写真図版14　遺構外出土土器（2）……118
写真図版15　遺構外出土土器（3）……119
写真図版16　遺構外出土土器（4）……120
写真図版17　遺構外出土土器（5）……121
写真図版18　遺構外出土土器（6）……122
写真図版19　土製品（1）……123
写真図版20　土製品（2）……124
写真図版21　遺構内出土石器（1）……125
写真図版22　遺構内出土石器（2）……126
写真図版23　遺構内出土石器（3）……127
写真図版24　遺構内出土石器（4）、遺構外出土石器（1）…128
写真図版25　遺構外出土石器（2）……129
写真図版26　遺構外出土石器（3）……130
写真図版27　遺構外出土石器（4）……131
写真図版28　遺構外出土石器（5）……132
写真図版29　遺構外出土石器（6）……133
写真図版30　遺構外出土石器（7）、石製品……134

# Ⅰ　調査に至る経過

農免農道整備事業観音林地区は、九戸郡軽米町の中心部から北西約11㎞に位置した青森県との県境に展開する畑作農業地帯の農道4,223mを整備するもので、平成11年度から着手している。

当該事業地域にかかる埋蔵文化財包蔵地の取り扱いについては、平成12年４月25日付け「二農整第178号」により、二戸地方振興局二戸農村整備事務所長から岩手県教育委員会事務局文化課長あて、農免農道整備事業観音林地区事業計画区域に関わる分布調査の依頼を行った。

依頼を受けた岩手県教育委員会事務局文化課が、軽米町教育委員会に包蔵地所在の有無を照会したところ、上野場３遺跡および上野場２遺跡が該当することが確認された。

それに伴い、平成12年６月29日付け「教文第381号」により岩手県教育委員会事務局文化課長から二戸地方振興局二戸農村整備事務所長あて、分布調査の回答を行った。

その後分布調査の結果をもとに、平成15年８月21日付け「二地農（整）第215－１号」により、二戸地方振興局農政部農村整備室長から岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課長あて、埋蔵文化財包蔵地の試掘調査依頼を行った。

依頼を受け、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が平成15年10月10日に試掘調査を行ったところ、上野場３遺跡については本調査が必要であると判断され、平成15年10月17日付け「教生第1205号」により、発掘調査が必要である旨回答を行った。

（岩手県二戸地方振興局農政部農村整備室）

# Ⅱ　遺跡の立地と環境

## １　遺 跡 の 位 置（第１図）

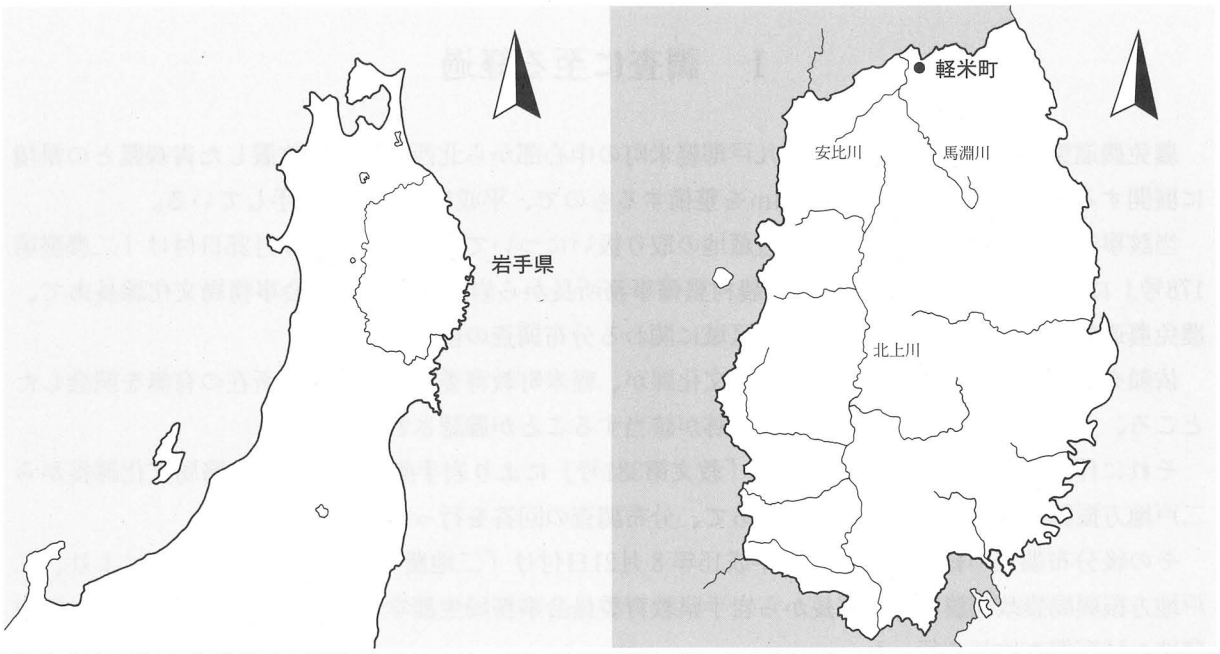
上野場３遺跡の所在する軽米町は、岩手県の北端に位置し、西は二戸市、南は九戸村と久慈市（旧山形村）、東は洋野町（旧種市町、大野村）に接する。また、北は青森県南部町（旧名川町）、八戸市南郷区（旧南郷村）、階上町に接する。人口約１万２千人、面積約246㎢の、農業を基幹産業とする町である。

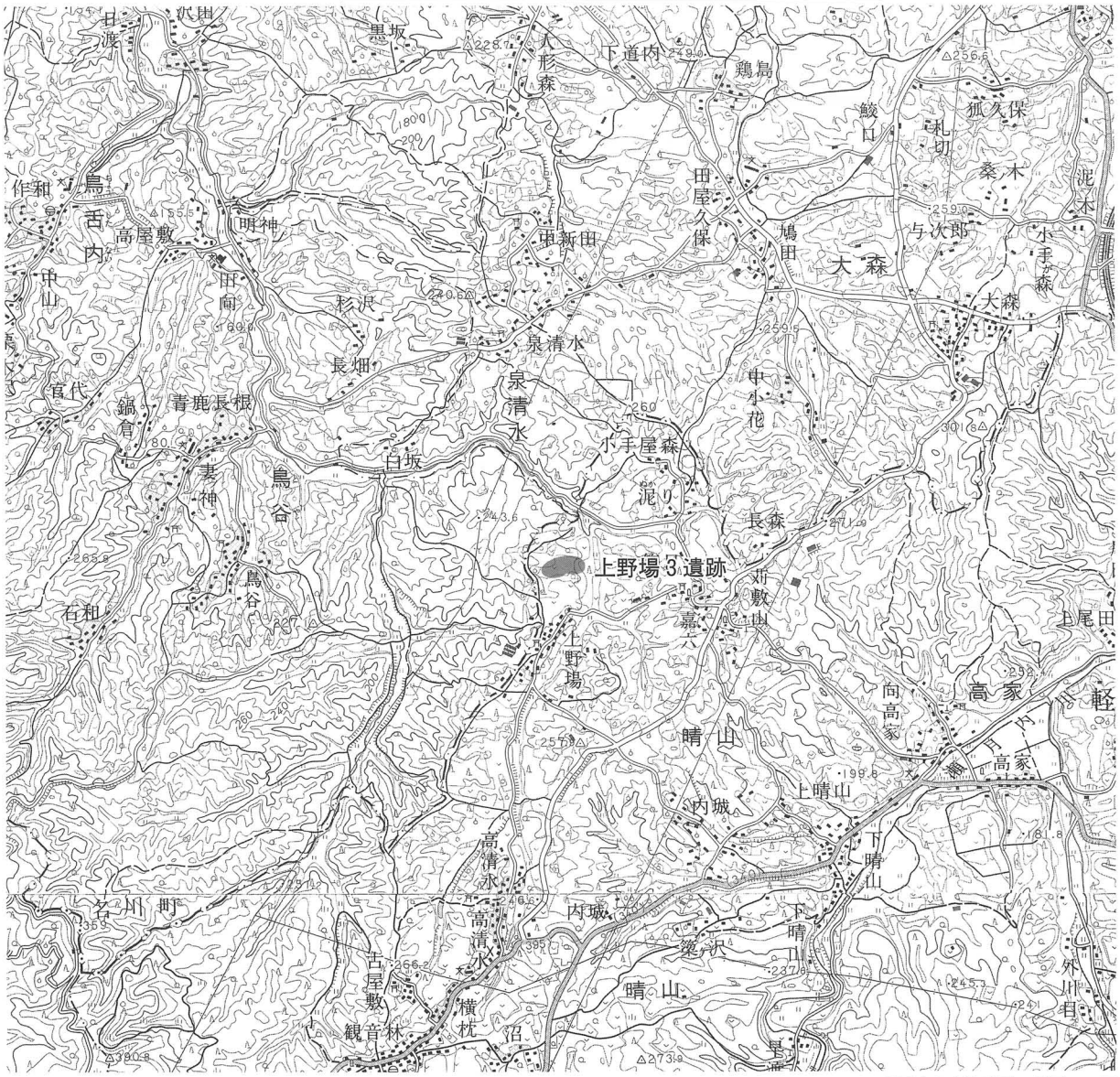
遺跡は九戸郡軽米町大字晴山第16地割字上野場４－２ほかに所在し、町の北西端、青森県境のすぐそばにあたる。地形図上では、国土地理院発行の２万５千分の１地形図「市野沢」図幅に含まれ、緯度は北緯40度21分25秒、経度は東経141度23分35秒に位置している。

## ２　地 形 と 地 質

### （１）地理的環境と調査区の微地形（第２・３図）

軽米町は北上山地の北端部に位置し、面積の多くが山地あるいは丘陵地である。遺跡の所在する町西部は、西に連なる名久井岳（615m）、猿越峠（300m）、折爪岳（852m）、小倉岳（652m）を結ぶ分水嶺に接しており、南北に山間部が広がる。本遺跡付近はこのうちの折爪岳麓北東端部分にあたる。いっぽうで、青森県側にあたる北から北東側には高山がなく、さらに同方向に向かって徐々に標高を下げ、太平洋に至る。遺跡周辺の上野場地区の標高はおよそ250～200mである。




5万分の1地形図　三戸・一戸

第1図　遺跡の位置

町内の主な河川として、町の西部を流れる瀬月内川と、東部を流れる雪谷川の２河川が存在する。ともに北流して町北部の大鳥付近で合流し、新井田川と名前を変え峡谷を形成しながら青森県に抜け、八戸市で太平洋に注ぐ。軽米町の大部分はこの２河川の流域に属し、山地、丘陵地は開析を受けて所々に沖積地や段丘を形成しているが、馬淵川流域に比べ谷底平野、段丘の発達が進んでおらず、小規模で細長いものとなっている。本遺跡の東側約2.3kmには瀬月内川とその支流によって形成された沖積地が広がり、上・下晴山、高家・向高家、上・下尾田などの小集落が発達している。ただし瀬月内川と本遺跡の間には標高250m前後の小丘陵が南北に延びており、これが小規模な分水嶺となっているためこの流域には含まれない。遺跡のすぐ東側は、標高200m前後の低位部分が南北に延びており、この谷地形は高清水付近から続くものである。同地形は県境を越え南郷村へ続き、そこから小河川が発生している。この川はさらに名川町へと流れ、如来堂川と合流する。現在遺跡北側の谷地形は河川として機能していないものの、以前は河道であったことが窺われる（第３図参照）。

調査区は同谷地形の左（西）岸に形成された河岸段丘の東縁部分にあたる、東向きの緩斜面上に立地している。調査の結果、この谷地形に直交する東西方向の小さな沢状微地形が複数存在することも判明した。また、地点により自然堆積層の層厚が異なり、欠落する層が存在する。

### （２）地　　質

軽米町付近の地質は、主にチャート、粘板岩、砂岩、輝緑凝灰岩よりなる古生層堆積岩を基盤としており、折爪岳の東側一帯に現れている。遺跡の所在する観音林地区や西側丘陵一帯では、主に軟質細粒砂岩や凝灰質頁岩からなる新生代第三紀層が堆積している。その他多くの地域は十和田火山が噴給源とされる複数のテフラで覆われており、本遺跡付近も例外ではない。

## ３　基　本　層　序（第４図）

本調査区の基本層序は、欠落層がなく残存状態の良い11Ｃ～Ｄグリッドを基準として以下のように設定した。なお、テフラは上位から白頭山・苫小牧？、十和田b、十和田中掫、十和田南部、十和田八戸と推定される５種を確認している。これらの同定については、層序および個々の肉眼・ルーペ観察により行ったものである。To-ｂ以下は、量、層序関係、質的特徴など明瞭であることから不動であろうが、B-Tmと思われるものについては堆積量が微量で一部箇所に限られるため確実ではなく、別のテフラ（十和田ａなど）である可能性も否定できない。科学的分析による同定を行うべきところであるが、本遺跡では遺構・遺物ともに同テフラとは全く絡まないことに加え、金銭的な制約もあり分析の実施を断念した。なお、To-ｂはスコリア、To-CuおよびTo-Nbはパミス、To-Hはアッシュおよびパミスの各状態でそれぞれ確認された。

Ⅰａ層　現道構築土

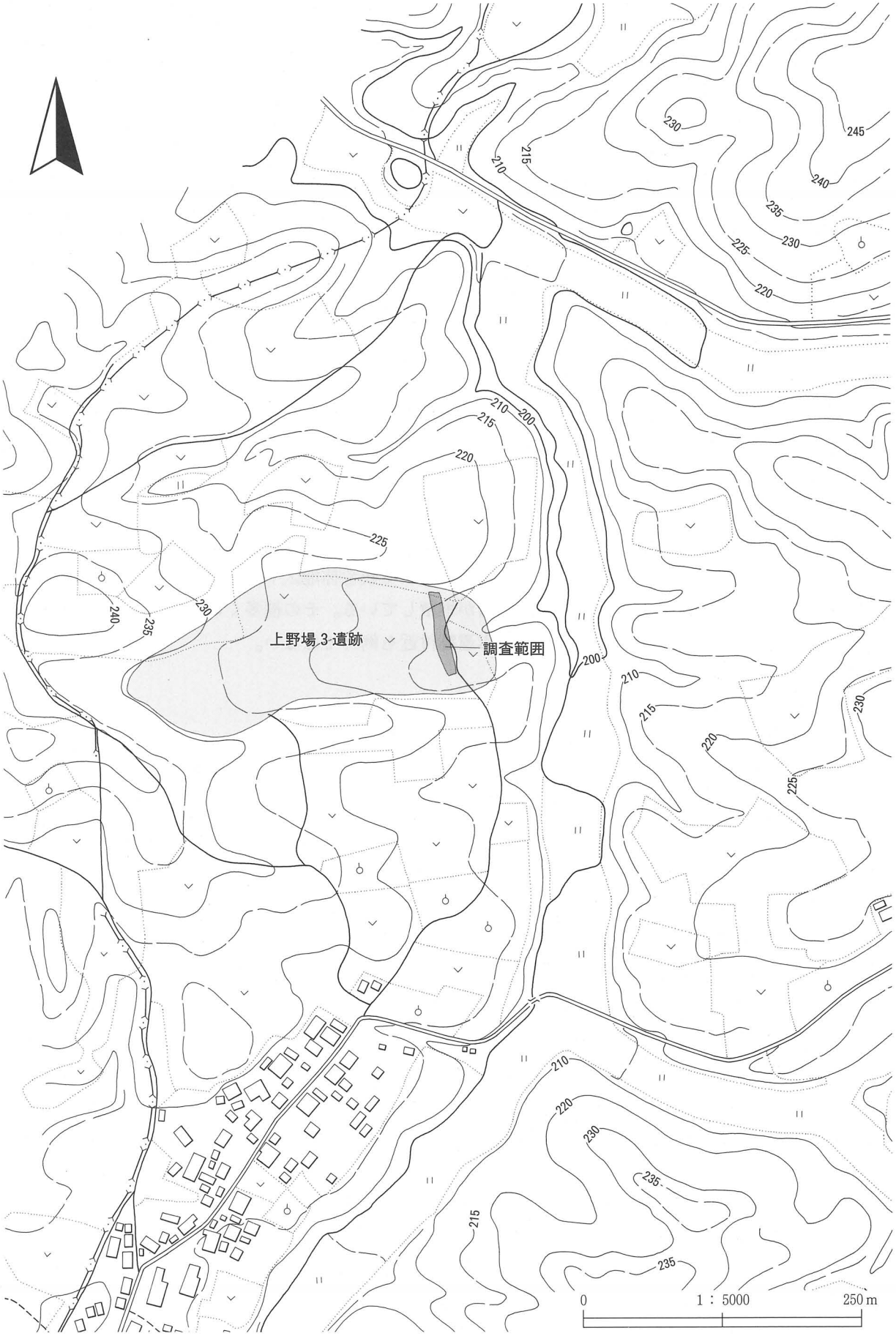
Ⅰｂ層　畑耕作土

Ⅱ層　10ＹＲ２／１　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-ｂ（φ～５㎜）が疎らに混入

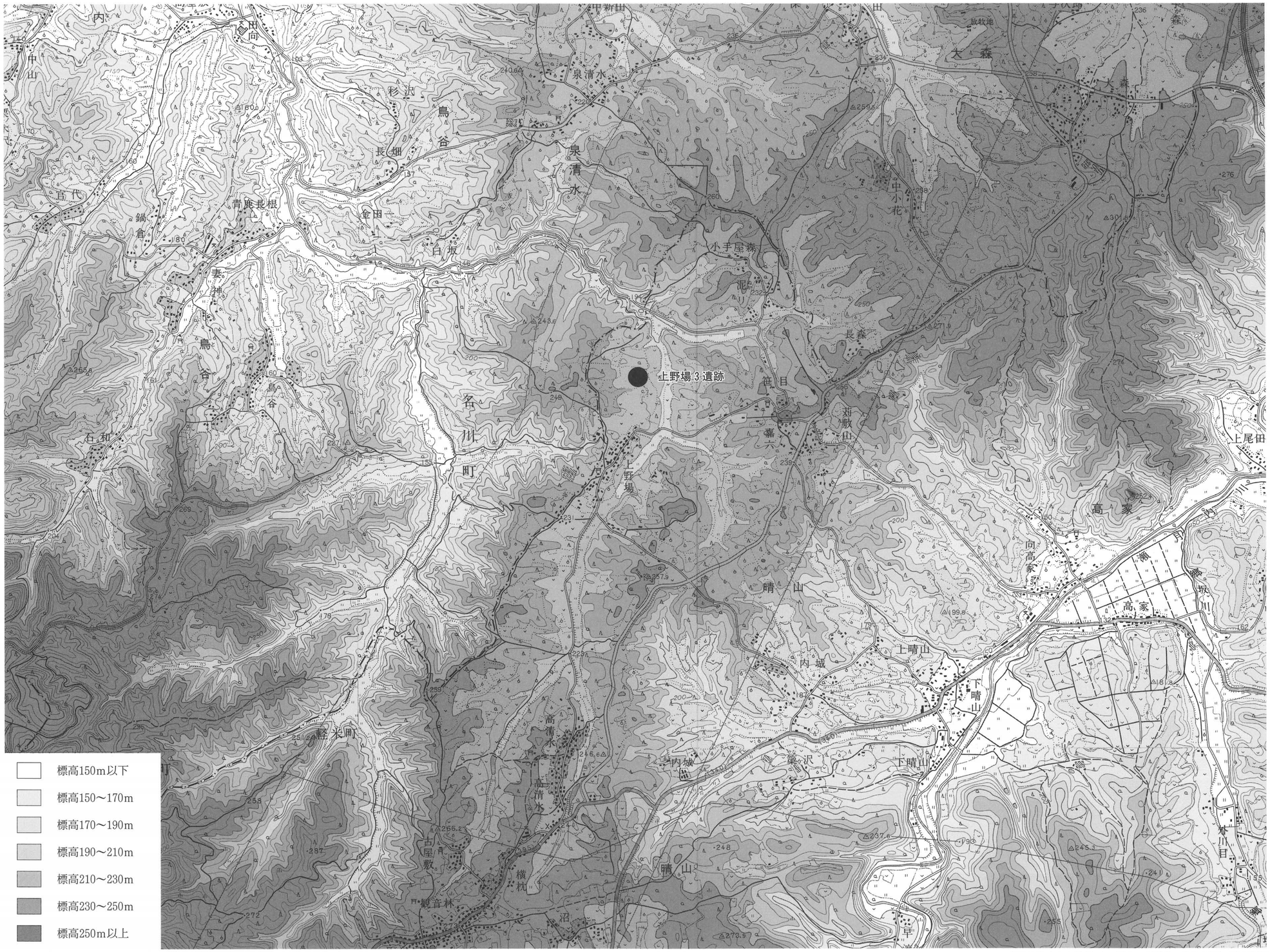
Ⅲ層　10ＹＲ1.7/１　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-ｂ（φ～５㎜）のピーク層

Ⅳ層　10ＹＲ1.85/1.5 黒～黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu（φ～３㎜）全体に少量混入（10%以下）

Ⅴ層　10ＹＲ２／２　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　大部分でTo-Cu（10ＹＲ5.5/６黄褐～明黄褐色　φ～３㎜）が成層（黒褐色シルトとの比率５：５）　黒褐色シルトには

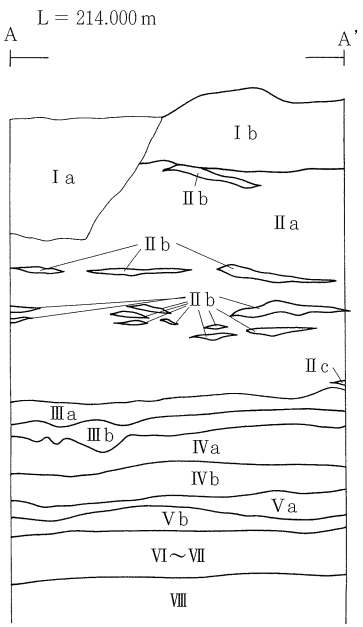


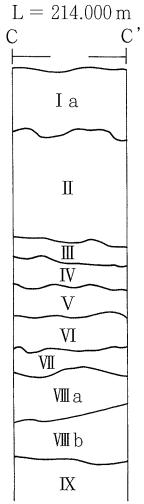

第2図　周辺の地形




2万5千分の1地形図　三戸・市野沢・陸奥福岡・陸中軽米

第3図　遺跡周辺の標高

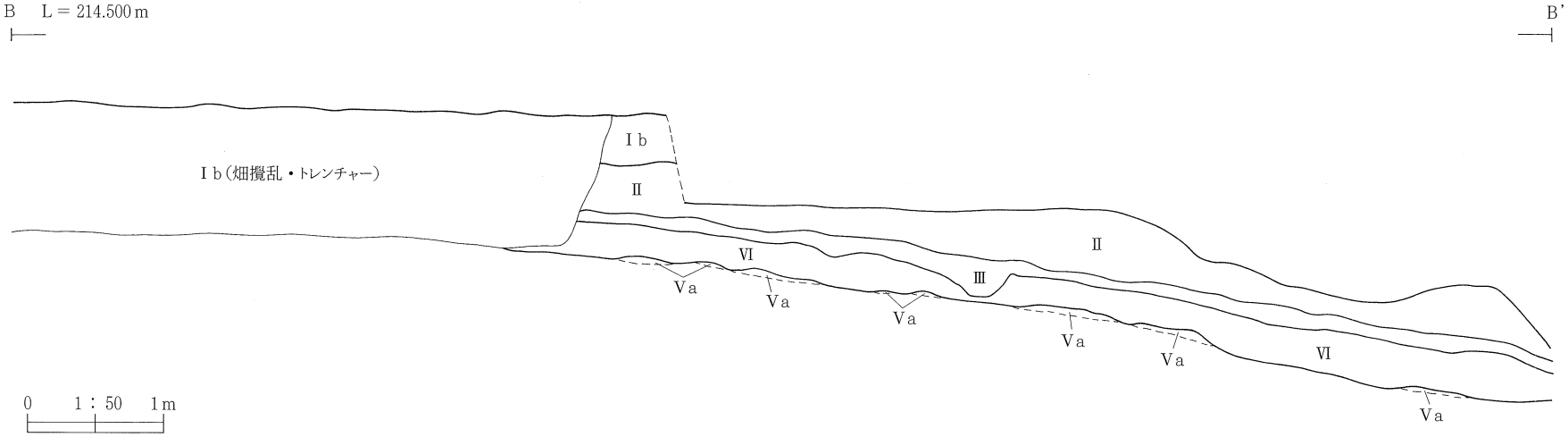



メインセクション　A－A'（21C～Dグリッド）
Ⅰa 現道設置時の盛土
Ⅰb 耕作土
Ⅱa 10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-b（～5㎜）5％
Ⅱb 10YR3/1　黒褐色　砂　粘性なし・しまり中　ラミナ顕著　水成堆積　Ⅱa層内に複数段堆積
Ⅱc 10YR6/6　明黄褐色　シルト　粘性弱・しまり中　B-Tm？　Ⅱa層内に堆積
Ⅲa 10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-b 7％　Ⅲ層上半
Ⅲb 10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-b 10%　Ⅲ層下半
Ⅳa 10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～1㎝）1％
Ⅳb 10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu（～2㎜）1％　To-Nb（～1㎝）3％
Ⅴa 2.5Y3/1　黒褐色　砂質シルト　粘性弱・しまり中　To-Cu（～3㎜）30%　Ⅴ層上半
Ⅴb 10YR5.5/6　黄褐～明黄褐色　テフラ　粘性なし・しまり中　Ⅴ層下半　To-Cu層
Ⅵ～Ⅶ 10YR2/1　黒色　シルト　粘性強・しまり強　To-Nb（～1㎝）7％
Ⅷ　10YR7/8　黄橙色　パミス　粘性なし・しまりなし　To-Nb層
※Ⅷ層以下はグライ化した粘土層。湧水のため掘削できず詳細不明。

メインセクション　B－B'（15A～Dグリッド）
Ⅰb 耕作土
Ⅱ　10YR2/1　黒色　シルト　粘性弱・しまり弱　To-b（～5㎜）5％
Ⅲ　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性弱・しまり中　To-b（～5㎜）15%　To-bのピーク層
Ⅳ　2.5Y2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu（～2㎜）5％
Ⅳc 7.5Y7/1　灰白色　シルト　粘性弱・しまり弱　テフラ？（To-Hの再堆積？）
Ⅴa 2.5Y3/1　黒褐色　砂質シルト　粘性弱・しまり中　To-Cu（～3㎜）30%　Ⅴ層上半

メインセクション　C－C'（11Dグリッド）
Ⅰa 現道設置時の盛土
Ⅱ　10YR2/1　黒色　シルト　粘性弱・しまり中　To-b（～5㎜）全体に7％
Ⅲ　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-b（～5㎜）10%　To-bのピーク層
Ⅳ　10YR1.85/1.5　黒～黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu（～2㎜）全体に10%
Ⅴ　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　Ⅵ層起源
　10YR5.5/6　黄褐～明黄褐色テフラ（To-Cu）50%　黒褐色シルトにはφ～5㎜のTo-Nb 3％
Ⅵ　10YR2/1　黒色　シルト　粘性強・しまり強　To-Nb（～1㎝）7％
Ⅶ　10YR4/3　にぶい黄褐色　粘土質シルト　粘性強・しまり強　To-Nb（～2㎝）30%
Ⅷa 7.5YR5/8 明褐色　パミス（～2㎝）粘性なし・しまりなし　To-Nb層
Ⅷb 10YR7/8　黄橙色　パミス（～2㎝）粘性なし・しまりなし　To-Nb層
Ⅸ　10YR3/4　暗褐色　粘土質シルト　粘性強・しまり強　To-H層上位




第4図　基本層序（メインセクション図）

To-Nb（φ～5㎜）が少量混入（3％）

Ⅵ層　10ＹＲ2／1　黒色　シルト　粘性強・しまり強　To-Nb（φ～1㎝）少量混入（7％）

Ⅶ層　10ＹＲ4／3　にぶい黄褐色　粘土質シルト　粘性強・しまり強　To-Nb（φ～2㎝）多量混入（30％）

Ⅷａ層　7.5ＹＲ5／8　明褐色　パミス　粘性なし・しまりなし　To-Nbの純層（φ～2㎝）下層（Ⅷｂ）に比べ色調が赤みがかり暗い

Ⅷb層　10ＹＲ7／8　黄橙色　パミス　粘性なし・しまりなし　To-Nbの純層（φ～2㎝）上層（Ⅷａ）に比べ色調が黄色がかり明るい

Ⅸ層　10ＹＲ3／4　暗褐色　粘土質シルト　粘性強・しまり強　To-H層上位の土壌化進行帯

今回の調査は農道の拡幅によるものであるが、現道の敷設時に北側約25ｍを全体的に削平していたようである。また、現道下は現地表面下約１ｍまで削平がおよんでいる。さらに、斜面上部にあたる西側は畑地として使用されていたためトレンチャーによる攪乱が密に入っており、最深でⅧ層までおよぶ箇所（15Ａ・Ｂ～18Ｂグリッド付近）もある。また、前節に記述のとおり、東西方向に複数の沢状微地形が確認されており、地点により層厚が異なるとともにテフラの有無と堆積状態に差異が見られる。

## 4　周辺の遺跡（第５図、第１表）

軽米町には、各時代を通して非常に多数の遺跡が分布しており、その数は平成15年現在で500箇所以上を数える。この背景には、本地域が有する立地的な要素が大きく影響していると考えられ、当町の北側に隣接する青森県八戸市南郷区（旧南郷村）でも周辺市町村に比して遺跡検出数が多い状態にある。いっぽうで町教委等により実施されてきた詳細な遺跡分布調査の存在も大きく、ある意味これが市町村単位における遺跡数の多少に繋がっているといっても過言ではない。

本遺跡で検出された遺構・遺物の大半は、縄文時代後期後葉から晩期後葉にかけてのものである。よって、第５図および第１表に、本遺跡を中心とした半径10㎞圏内で該期（縄文時代後～晩期）の遺構あるいは遺物が確認されている遺跡を示した。この抽出作業には、おもに岩手県遺跡台帳平成15年度版および青森県遺跡地図９年度版を使用した。

なお、軽米町内における縄文時代後期の遺跡立地については、斎藤邦雄（財岩文埋　1994）、高木晃（財岩文埋　1998）などにより詳しくまとめられている。

### 引用・参考文献

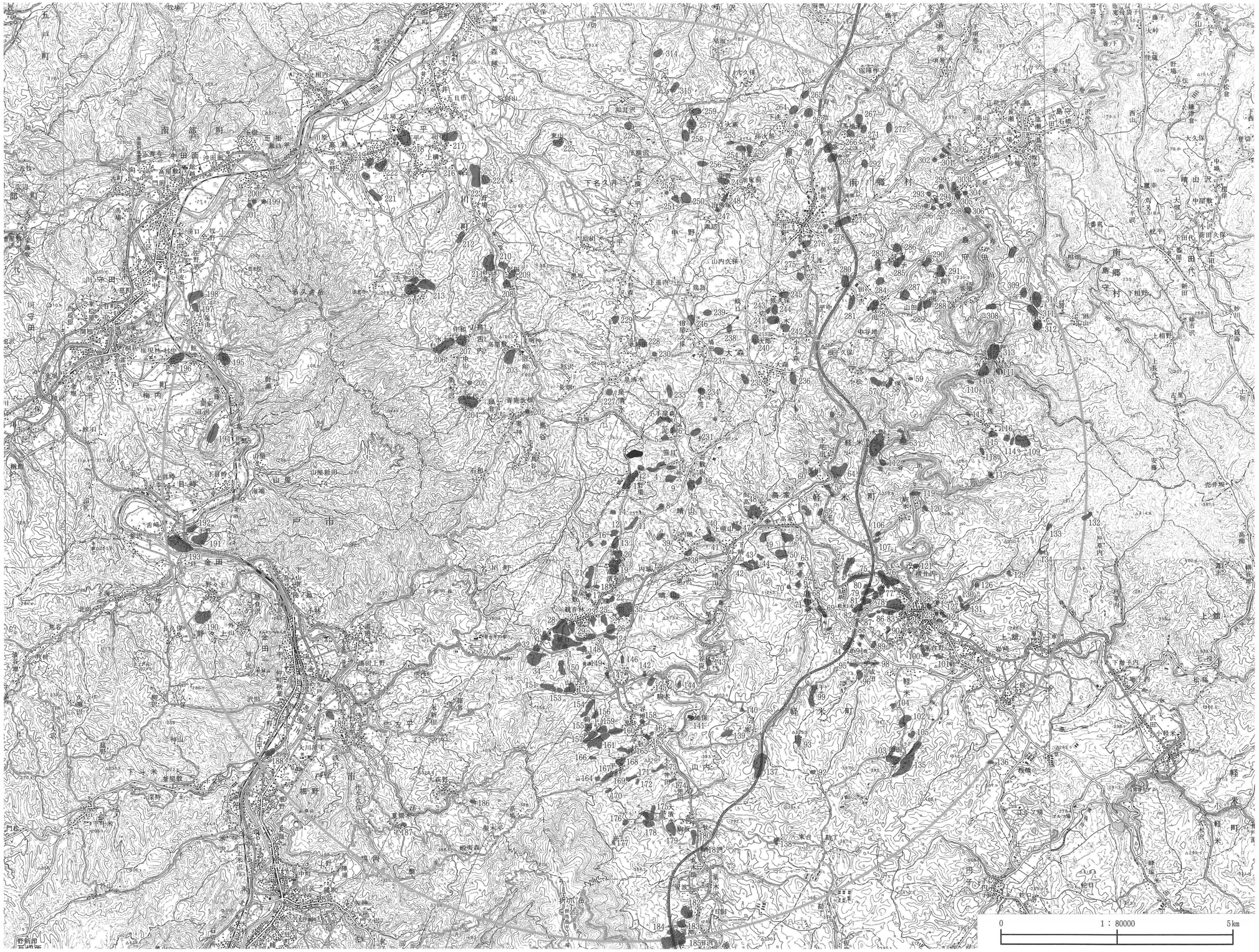
青森県教育委員会　1998『青森県遺跡地図』

岩手県教育委員会　2005『岩手県遺跡台帳』（CD-ROM版）

軽米町教育委員会　2001『軽米町遺跡地図』軽米町文化財調査報告書第16集

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化センター　1994『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書―第２次～第５次調査―』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第225集

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化センター　1998『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書―第６次～第８次調査―』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第273集




第５図　周辺の遺跡（半径10km圏内）

## 第１表　周辺の遺跡一覧（１）

| No | 遺跡名 | 所在地 | 時　代 | 種別 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 上野場１ | 軽米町大字晴山字上野場 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 2 | 上野場２ | 軽米町大字晴山字上野場 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| **3** | **上野場３** | **軽米町大字晴山字上野場** | **縄文後・晩期** | **集落跡** |
| 4 | 小手屋森１ | 軽米町大字晴山字小手屋森 | 縄文前・後・晩期 | 散布地 |
| 5 | 小手屋森２ | 軽米町大字晴山字小手屋森 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 6 | 小手屋森３ | 軽米町大字晴山字小手屋森 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 7 | 小手屋森４ | 軽米町大字晴山字小手屋森 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 8 | 嘉六１ | 軽米町大字晴山字嘉六 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 9 | 嘉六２ | 軽米町大字晴山字嘉六 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 10 | 嘉六３ | 軽米町大字晴山字嘉六 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 11 | 上野場向 | 軽米町大字晴山字上野場向 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 12 | 上野場 | 軽米町大字晴山字山根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 13 | 山根１ | 軽米町大字晴山字山根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 14 | 山根３ | 軽米町大字晴山字山根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 15 | 山根４ | 軽米町大字晴山字山根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 16 | 山根５ | 軽米町大字晴山字山根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 17 | 高清水１ | 軽米町大字晴山字高清水 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 18 | 高清水２ | 軽米町大字晴山字高清水 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 19 | 高清水３ | 軽米町大字晴山字高清水 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 20 | 高清水４ | 軽米町大字晴山字高清水 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 21 | 高清水５ | 軽米町大字晴山字高清水 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 22 | 長久根 | 軽米町大字晴山字長久根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 23 | 皀角子久保２ | 軽米町大字晴山字皀角子久保 | 縄文後期 | 散布地 |
| 24 | 皀角子久保１ | 軽米町大字晴山字皀角子久保 | 縄文早・後・晩期 | 散布地 |
| 25 | 皀角子久保Ⅴ | 軽米町大字晴山字皀角子久保 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 26 | 皀角子久保Ⅵ | 軽米町大字晴山字皀角子久保 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 27 | 泉沢１ | 軽米町大字晴山字泉沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 28 | 泉沢２ | 軽米町大字晴山字泉沢 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 29 | 大堤１ | 軽米町大字晴山字大堤 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 30 | 大堤Ⅱ | 軽米町大字晴山字大堤 | 縄文早～晩期 | 散布地 |
| 31 | 糀口Ⅰ | 軽米町大字晴山字上の山 | 縄文早・後・晩期 | |
| 32 | 上の山１ | 軽米町大字晴山字上ノ山 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 33 | 上の山２ | 軽米町大字晴山字上ノ山 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 34 | 上の山３ | 軽米町大字晴山字上ノ山 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 35 | 沼Ⅰ | 軽米町大字晴山字小沼 | 縄文後期 | 散布地 |
| 36 | 小沼 | 軽米町大字晴山字小沼 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 37 | 川向 | 軽米町大字晴山字川向 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 38 | 内城２ | 軽米町大字晴山字内城 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 39 | 内城４ | 軽米町大字晴山字内城 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 40 | 西ノ角 | 軽米町大字晴山字西ノ角 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 41 | 西ノ角１ | 軽米町大字晴山字西ノ角 | 縄文後期 | 散布地 |
| 42 | 長者森１ | 軽米町大字晴山字長者森 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 43 | 長者森２ | 軽米町大字晴山字長者森 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 44 | 長者森３ | 軽米町大字晴山字長者森 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 45 | 加賀屋敷１ | 軽米町大字高家字加賀屋敷 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 46 | 加賀屋敷２ | 軽米町大字高家字加賀屋敷 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 47 | 寺沢 | 軽米町大字高家字寺沢 | 縄文後期 | 散布地 |
| 48 | 高家平中 | 軽米町大字高家字平中 | 縄文後期 | 散布地 |
| 49 | 市子屋敷 | 軽米町大字高家字市子屋敷 | 縄文後期 | 散布地 |
| 50 | 釜の皮１ | 軽米町大字高家字釜の皮 | 縄文後期 | 散布地 |
| 51 | 釜の皮２ | 軽米町大字高家字釜の皮 | 縄文後期 | 散布地 |
| 52 | 西里１ | 軽米町大字高家字西里 | 縄文後期 | 散布地 |
| 53 | 西里２ | 軽米町大字高家字西里 | 縄文後期 | 散布地 |
| 54 | 尾田１ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文前～後期　弥生 | 散布地 |
| 55 | 尾田３ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 56 | 尾田４ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 57 | 尾田５ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文前～晩期 | 散布地 |
| 58 | 尾田６ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 59 | 尾田７ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 60 | 尾田８ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 61 | 尾田９ | 軽米町大字軽米字尾田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 62 | 大鳥Ⅰ | 軽米町大字軽米字大鳥 | 縄文前～晩期 | 集落跡 |
| 63 | 大鳥Ⅱ | 軽米町大字軽米字大鳥 | 縄文早～晩期　弥生 | 集落跡 |
| 64 | 大鳥３ | 軽米町大字軽米字大鳥 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 65 | 外川目１ | 軽米町大字軽米字外川目 | 縄文後期 | 散布地 |
| 66 | 外川目２ | 軽米町大字軽米字外川目 | 縄文後期 | 散布地 |
| 67 | 外川目３ | 軽米町大字軽米字外川目 | 縄文後期 | 散布地 |
| 68 | 外川目４ | 軽米町大字軽米字外川目 | 縄文後期 | 散布地 |
| 69 | 外川目５ | 軽米町大字軽米字外川目 | 縄文後期 | 散布地 |
| 70 | 京仏１ | 軽米町大字軽米字京仏 | 縄文後期 | 散布地 |
| 71 | 京仏２ | 軽米町大字軽米字京仏 | 縄文後期 | 散布地 |
| 72 | 京仏３ | 軽米町大字軽米字京仏 | 縄文後期 | 散布地 |
| 73 | 京仏４ | 軽米町大字軽米字京仏 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 74 | 土弓３ | 軽米町大字軽米字土弓 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 75 | 土弓３ | 軽米町大字軽米字土弓 | 縄文前～後期 | 散布地 |
| 76 | 大日向Ⅱ | 軽米町大字軽米字叺屋敷 | 縄文早～晩期 | 集落跡 |
| 77 | 叺屋敷Ⅰａ | 軽米町大字軽米字叺屋敷 | 縄文前～晩期　弥生 | 集落跡 |
| 78 | 叺屋敷Ⅰｂ | 軽米町大字軽米字叺屋敷 | 縄文前～後期　弥生 | 集落跡 |
| 79 | 叺屋敷Ⅱ | 軽米町大字軽米字叺屋敷 | 縄文中・後期　弥生 | 集落跡 |
| 80 | 叺屋敷Ⅲ | 軽米町大字軽米字叺屋敷 | 縄文前～晩期 | 集落跡 |
| 81 | 馬場野Ⅰ | 軽米町大字軽米字馬場野 | 縄文前～晩期 | 集落跡 |
| 82 | 馬場野Ⅱ | 軽米町大字軽米字馬場野 | 縄文前～晩期 | 集落跡 |
| 83 | 馬場野３ | 軽米町大字軽米字馬場野 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 84 | 馬場野４ | 軽米町大字軽米字馬場野 | 縄文前～晩期 | 集落跡 |
| 85 | 馬場野５ | 軽米町大字軽米字馬場野 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 86 | 中山１ | 軽米町大字軽米字中山 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 87 | 中山２ | 軽米町大字軽米字中山 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 88 | 中山３ | 軽米町大字軽米字中山 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 89 | 中山４ | 軽米町大字軽米字中山 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 90 | 新町 | 軽米町大字軽米字新町 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 91 | 君成田１ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 92 | 君成田２ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 93 | 君成田３ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文早～晩期 | 散布地 |
| 94 | 君成田Ⅳ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文早～晩期 | 集落跡 |
| 95 | 君成田５ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文早～晩期 | 散布地 |
| 96 | 君成田６ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 97 | 君成田７ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 98 | 君成田８ | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 99 | 干草 | 軽米町大字軽米字君成田 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 100 | 袖の平 | 軽米町大字軽米字大開 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 101 | 諏訪の森 | 軽米町大字軽米字仲軽米 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 102 | 千本松 | 軽米町大字軽米字山田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 103 | 山田２ | 軽米町大字軽米字山田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 104 | 山田３ | 軽米町大字軽米字山田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 105 | 山田５ | 軽米町大字軽米字山田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 106 | 軽米駒木１ | 軽米町大字軽米字駒木 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 107 | 軽米駒木２ | 軽米町大字軽米字駒木 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 108 | 水吉Ⅵ | 軽米町大字軽米字水吉 | 縄文早～晩期 | 集落跡 |
| 109 | 長倉Ⅰ | 軽米町大字長倉字柳久保 | 縄文前～晩期 | 集落跡 |
| 110 | 長倉Ⅳ | 軽米町大字長倉字柳久保 | 縄文後期 | 散布地 |
| 111 | 長倉Ⅴ | 軽米町大字長倉字柳久保 | 縄文前～晩期　弥生 | 散布地 |
| 112 | 長倉Ⅶ | 軽米町大字長倉字間通仁太久保 | 縄文後期 | 散布地 |
| 113 | 長倉10 | 軽米町大字長倉字長倉 | 縄文後期 | 散布地 |
| 114 | 長倉 | 軽米町大字長倉字菖蒲久保 | 縄文前～後期 | 散布地 |
| 115 | 長倉小学校校庭 | 軽米町大字長倉字菖蒲久保 | 縄文後期 | 散布地 |
| 116 | 菖蒲久保２ | 軽米町大字長倉字菖蒲久保 | 縄文前～後期 | 散布地 |
| 117 | 間通仁太久保１ | 軽米町大字長倉字間通仁太久保 | 縄文中・後期 | 集落跡 |
| 118 | 間通仁太久保２ | 軽米町大字長倉字間通仁太久保 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 119 | 上館駒木１ | 軽米町大字上舘字駒木 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 120 | 上館駒木２ | 軽米町大字上舘字駒木 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 121 | 横井内２ | 軽米町大字上舘字横井内 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 122 | 沼田１ | 軽米町大字上舘字沼田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 123 | 沼田２ | 軽米町大字上舘字沼田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 124 | 沼田３ | 軽米町大字上舘字沼田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 125 | 沼田４ | 軽米町大字上舘字沼田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 126 | 岸里１ | 軽米町大字上舘字岸里 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 127 | 岸里２ | 軽米町大字上舘字岸里 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 128 | 岸里３ | 軽米町大字上舘字岸里 | 縄文後期 | 散布地 |
| 129 | 岸里４ | 軽米町大字上舘字岸里 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 130 | 岸里５ | 軽米町大字上舘字岸里 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 131 | 坊里沢 | 軽米町大字上舘字坊里沢 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 132 | 板子屋敷１ | 軽米町大字上舘字板子屋敷 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 133 | 板子屋敷３ | 軽米町大字上舘字板子屋敷 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 134 | 板子屋敷４ | 軽米町大字上舘字板子屋敷 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 135 | 沢里 | 軽米町大字上舘字沢里 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 136 | 沢里２ | 軽米町大字上舘字沢里 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 137 | 駒板 | 軽米町大字山内字駒板 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 138 | 駒板２ | 軽米町大字山内字駒板 | 縄文後期 | 散布地 |
| 139 | 和堂地向１ | 軽米町大字山内字和堂地向 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 140 | 和堂地向２ | 軽米町大字山内字和堂地向 | 縄文後期 | 散布地 |
| 141 | 和堂地向３ | 軽米町大字山内字和堂地向 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 142 | 竹谷袋１ | 軽米町大字山内字竹谷袋 | 縄文後期 | 散布地 |
| 143 | 竹谷袋２ | 軽米町大字山内字竹谷袋 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 144 | 駒木向 | 軽米町大字山内字駒木向 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 145 | 柳 | 軽米町大字山内字柳 | 縄文後期 | 散布地 |
| 146 | 貝喰２ | 軽米町大字山内字貝喰 | 縄文後期 | 散布地 |
| 147 | 貝喰３ | 軽米町大字山内字貝喰 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 148 | 新田１ | 軽米町大字山内字新井田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 149 | 新田２ | 軽米町大字山内字新井田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 150 | 山口１ | 軽米町大字山内字山口 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 151 | 山口３ | 軽米町大字山内字山口 | 縄文後期 | 散布地 |
| 152 | 山口４ | 軽米町大字山内字山口 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 153 | 山口９ | 軽米町大字山内字山口 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 154 | 松木沢 | 軽米町大字山内字松木沢 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 155 | 荒田沢１ | 軽米町大字山内字荒田沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 156 | 荒田沢２ | 軽米町大字山内字荒田沢 | 縄文後期 | 散布地 |
| 157 | 荒田沢３ | 軽米町大字山内字荒田沢 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 158 | 大久保尻 | 軽米町大字山内字大久保尻 | 縄文後・晩期 | 散布地 |

## 第１表　周辺の遺跡一覧（２）

| No | 遺跡名 | 所在地 | 時　代 | 種別 |
|---|---|---|---|---|
| 159 | 大久保頭 | 軽米町大字山内字大久保頭 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 160 | 上平１ | 軽米町大字山内字上平 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 161 | 上平２ | 軽米町大字山内字上平 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 162 | 山内中村１ | 軽米町大字山内字中村 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 163 | 山内中村２ | 軽米町大字山内字中村 | 縄文後期 | 散布地 |
| 164 | 平１ | 軽米町大字山内字平 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 165 | 平２ | 軽米町大字山内字平 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 166 | 平３ | 軽米町大字山内字平 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 167 | 平沢１ | 軽米町大字山内字平沢 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 168 | 平沢２ | 軽米町大字山内字平沢 | 縄文後・晩期 | 集落跡 |
| 169 | 小屋沢２ | 軽米町大字山内字小屋沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 170 | 小屋沢３ | 軽米町大字山内字小屋沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 171 | 小屋沢４ | 軽米町大字山内字小屋沢 | 縄文前・後・晩期 | 集落跡 |
| 172 | 小屋沢５ | 軽米町大字山内字小屋沢 | 縄文前・後・晩期 | 散布地 |
| 173 | 上新井田 | 軽米町大字山内字上新井田 | 縄文前・後・晩期 | 散布地 |
| 174 | 下新井田 | 軽米町大字山内字下新井田 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 175 | 堰ノ下１ | 軽米町大字山内字堰ノ下 | 縄文前・後・晩期 | 集落跡 |
| 176 | 堰ノ下２ | 軽米町大字山内字堰ノ下 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 177 | 堰ノ下３ | 軽米町大字山内字堰ノ下 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 178 | 堰ノ下４ | 軽米町大字山内字堰ノ下 | 縄文前・後・晩期 | 集落跡 |
| 179 | まつっこ | 軽米町大字山内字駒板 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 180 | 上狄塚 | 軽米町大字狄塚字上狄塚 | 縄文後期 | 集落跡 |
| 181 | 川向 | 軽米町大字狄塚字川向 | 縄文後期 | 散布地 |
| 182 | 管波Ⅰ | 九戸村大字江刺家第16地割 | 縄文晩期 | 集落跡 |
| 183 | 管波Ⅱ | 九戸村大字江刺家第16地割 | 縄文晩期 | 集落跡 |
| 184 | 道地Ⅱ | 九戸村大字江刺家第14地割 | 縄文晩期 | 集落跡 |
| 185 | 道地Ⅲ | 九戸村大字江刺家第14地割 | 縄文晩期 | 集落跡 |
| 186 | 大萩野 | 二戸市福岡字大萩野 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 187 | 夏間木 | 二戸市福岡字夏間木 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 188 | 上田面 | 二戸市金田一字上田面 | 縄文早・後・晩期　弥生 | 集落跡 |
| 189 | 戸花 | 二戸市仁左平字戸花 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 190 | 仏畑 | 二戸市野々上字蜂ヶ平 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 191 | 石造(舌崎Ｂ) | 二戸市釜沢字上野 | 縄文晩期 | 祭祀跡 |
| 192 | 山道 | 二戸市釜沢字上野 | 縄文晩期 | 祭祀跡 |
| 193 | 雨滝(舌崎Ａ) | 二戸市釜沢字白山、金田一字雨滝 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 194 | 湯出川原 | 三戸町梅内字湯出川原 | 縄文後期 | 散布地 |
| 195 | 駒木 | 三戸町梅内字駒木 | 縄文後期 | 散布地 |
| 196 | 村中(２) | 三戸町梅内字村中 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 197 | 中野 | 三戸町泉山字中野 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 198 | 泉山 | 三戸町泉山字田ノ上 | 縄文前～晩期 | 集落跡 |
| 199 | 前比良(１) | 南部町赤石字前比良 | 縄文晩期 | 集落跡 |
| 200 | 前比良(２) | 南部町赤石字前比良 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 201 | 山里 | 南部町赤石字山里 | 縄文前・中・後期 | 散布地 |
| 202 | 青鹿長根 | 南部町鳥谷字青鹿長根 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 203 | 高屋敷 | 南部町鳥舌内字高屋敷 | 縄文後期 | 散布地 |
| 204 | 官代 | 南部町鳥舌内字官代 | 縄文後期 | 散布地 |
| 205 | 外林 | 南部町鳥舌内字外林 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 206 | 水上 | 南部町鳥舌内字水上 | 縄文前・中・後期 | 散布地 |
| 207 | 作和 | 南部町鳥舌内字作和 | 縄文後期 | 散布地 |
| 208 | 中沢田 | 南部町鳥舌内字中沢田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 209 | 下沢田(１) | 南部町鳥舌内字下沢田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 210 | 下沢田(２) | 南部町鳥舌内字下沢田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 211 | 日渡 | 南部町法光寺字日渡 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 212 | 西山 | 南部町法光寺字西山 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 213 | 前館 | 南部町法光寺字前館 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 214 | 水沢 | 南部町法光寺字水沢 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 215 | 法光寺小学校 | 南部町法光寺字八森 | 縄文後期 | 散布地 |
| 216 | 相前 | 南部町平字相前下 | 縄文後期 | 散布地 |
| 217 | 柞木田 | 南部町平字柞木田 | 縄文後期 | 散布地 |
| 218 | 虚空蔵 | 南部町平字虚空蔵 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 219 | 上名久井野月 | 南部町上名久井字野月 | 縄文後期 | 散布地 |
| 220 | 在家 | 南部町上名久井字在家 | 縄文後期 | 散布地 |
| 221 | 六十六枚 | 南部町上名久井字六十六枚 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 222 | 館向 | 南部町上名久井字館向 | 縄文後期 | 散布地 |
| 223 | 荒谷向 | 南部町下名久井字荒谷向 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 224 | 野場山 | 南部町下名久井字野場山 | 縄文後期 | 散布地 |
| 225 | 東山 | 南部町下名久井字東山 | 縄文後期 | 散布地 |
| 226 | 下横沢(３) | 南部町下名久井字下横沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 227 | 風吹 | 八戸市南郷区泉清水字風吹 | 縄文早・後・晩期 | 散布地 |
| 228 | 泉清水(１) | 八戸市南郷区泉清水字大沢 | 縄文後期 | 散布地 |
| 229 | 泉清水(３) | 八戸市南郷区泉清水字居森渡 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 230 | 泉清水(４) | 八戸市南郷区泉清水字泉清水 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 231 | 下久保 | 八戸市南郷区大森字下久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 232 | 中小花(２) | 八戸市南郷区大森字中小花 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 233 | 浜梨子平 | 八戸市南郷区大森字浜梨子平 | 縄文前・晩期 | 散布地 |
| 234 | 中小花(１) | 八戸市南郷区大森字五郎兵衛 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 235 | 大森西山 | 八戸市南郷区大森字西山 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 236 | 大向 | 八戸市南郷区大森字大向 | 縄文中～晩期 | 散布地 |
| 237 | 砂子崎 | 八戸市南郷区大森字砂子崎 | 縄文後期 | 散布地 |
| 238 | 鳩田向(１) | 八戸市南郷区大森字鳩田向 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 239 | 鳩田向(２) | 八戸市南郷区大森字鳩田向 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 240 | 一本松 | 八戸市南郷区大森字一本松 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 241 | 狐森(１) | 八戸市南郷区大森字狐森 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 242 | 桑ノ木 | 八戸市南郷区大森字桑ノ木 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 243 | 狐森(２) | 八戸市南郷区大森字狐森 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 244 | 桑木 | 八戸市南郷区大森字桑木 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 245 | 狐久保 | 八戸市南郷区大森字狐久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 246 | 田屋久保 | 八戸市南郷区中野字田屋久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 247 | 治佛塚 | 八戸市南郷区中野字治佛塚 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 248 | 八ッ役 | 八戸市南郷区中野字爺八ッ役 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 249 | 千草久保 | 八戸市南郷区中野字千草久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 250 | 待ア台 | 八戸市南郷区中野字待ア台 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 251 | 千日沢 | 八戸市南郷区中野字千日沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 252 | 半堂(１) | 八戸市南郷区中野字半堂 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 253 | 萱久保(１) | 八戸市南郷区中野字萱久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 254 | 萱久保(２) | 八戸市南郷区中野字萱久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 255 | 萱久保(３) | 八戸市南郷区中野字萱久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 256 | 黒坂 | 八戸市南郷区中野字黒坂 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 257 | 上葭平(１) | 八戸市南郷区中野字上葭平 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 258 | 上葭平(２) | 八戸市南郷区中野字上葭平 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 259 | 下葭平 | 八戸市南郷区中野字下葭平 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 260 | 下洗 | 八戸市南郷区中野字大久保 | 縄文後期 | 散布地 |
| 261 | 境井沢 | 八戸市南郷区中野字境井沢 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 262 | 石ノ鉢(１) | 八戸市南郷区中野字石ノ鉢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 263 | 石ノ鉢(２) | 八戸市南郷区中野字石ノ鉢 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 264 | 中久喜(２) | 八戸市南郷区中野字中久喜 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 265 | 長伝 | 八戸市南郷区中野字長伝 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 266 | 泥障作一本松 | 八戸市南郷区泥障作字一本松 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 267 | 桜窪 | 八戸市南郷区泥障作字桜窪 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 268 | 岩ノ平 | 八戸市南郷区泥障作字岩ノ平 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 269 | 馬場瀬(１) | 八戸市南郷区市野沢字馬場瀬 | 縄文後期 | 散布地 |
| 270 | 馬場瀬(２) | 八戸市南郷区市野沢字馬場瀬、中野字大久保山中 | 縄文早・前・後・晩期 | 散布地 |
| 271 | 青沢 | 八戸市南郷区市野沢字青沢 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 272 | 妻ノ神(１) | 八戸市南郷区市野沢字妻ノ神 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 273 | 合戦場 | 八戸市南郷区市野沢字合戦場 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 274 | 市野沢平(１) | 八戸市南郷区市野沢字市野沢平 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 275 | 市野沢平(２) | 八戸市南郷区市野沢字市野沢平 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 276 | 黄檗 | 八戸市南郷区市野沢字黄檗 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 277 | 下市野沢(１) | 八戸市南郷区市野沢字下市野沢 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 278 | 下市野沢(２) | 八戸市南郷区市野沢字下市野沢 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 279 | 三合山 | 八戸市南郷区市野沢字三合山 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 280 | 右ェ門治郎窪 | 八戸市南郷区市野沢右ェ門治郎窪 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 281 | 田の沢 | 八戸市南郷区市野沢字田の沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 282 | 佐野塚 | 八戸市南郷区市野沢字佐野塚 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 283 | 違折向 | 八戸市南郷区市野沢違折向 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 284 | 高森 | 八戸市南郷区市野沢字高森 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 285 | 市野沢笹子(１) | 八戸市南郷区市野沢字笹子 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 286 | 市野沢笹子(２) | 八戸市南郷区市野沢字笹子 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 287 | 増田(１) | 八戸市南郷区島守字坂の沢 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 288 | 増田(２) | 八戸市南郷区島守字堤森 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 289 | 山田 | 八戸市南郷区島守字山田 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 290 | 狄館(１) | 八戸市南郷区島守字井戸尻 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 291 | 狄館(２) | 八戸市南郷区島守字坂の上 | 縄文早・晩期 | 散布地 |
| 292 | 桜久保 | 八戸市南郷区島守字桜久保 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 293 | 目蕪ら(１) | 八戸市南郷区島守字目蕪ら | 縄文後期 | 散布地 |
| 294 | 目蕪ら(２) | 八戸市南郷区島守字目蕪ら | 縄文中～晩期 | 散布地 |
| 295 | 目蕪ら(３) | 八戸市南郷区島守字目蕪ら | 縄文晩期 | 散布地 |
| 296 | 林 | 八戸市南郷区島守字林 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 297 | 山口 | 八戸市南郷区島守字山口 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 298 | 三代坂(１) | 八戸市南郷区島守字三代坂 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 299 | 内山 | 八戸市南郷区島守字内山 | 縄文前・後・晩期 | 散布地 |
| 300 | 赤坂(２) | 八戸市南郷区島守字赤坂 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 301 | 赤坂(３) | 八戸市南郷区島守字赤坂 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 302 | 赤坂(４) | 八戸市南郷区島守字赤坂 | 縄文前・晩期 | 散布地 |
| 303 | 荒谷 | 八戸市南郷区島守字下荒谷 | 縄文前～晩期 | 散布地 |
| 304 | 上荒谷 | 八戸市南郷区島守字上荒谷 | 縄文晩期 | 散布地 |
| 305 | 松石橋 | 八戸市南郷区島守字松石橋 | 縄文中～晩期 | 散布地 |
| 306 | 竹野 | 八戸市南郷区島守字竹野 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 307 | 持金沢 | 八戸市南郷区島守字下山長根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 308 | 四ッ役 | 八戸市南郷区島守字四ッ役 | 縄文中・後期 | 散布地 |
| 309 | 田ノ上 | 八戸市南郷区島守字田ノ上 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 310 | 馳下り(１) | 八戸市南郷区島守字馳下り | 縄文中～晩期 | 散布地 |
| 311 | 田ノ上(２) | 八戸市南郷区島守字田ノ上 | 縄文中～晩期 | 散布地 |
| 312 | 外長根 | 八戸市南郷区島守字外長根 | 縄文後・晩期 | 散布地 |
| 313 | 畑内 | 八戸市南郷区島守字畑内 | 縄文前～晩期　弥生 | 集落跡 |
| 314 | 佐伝窪 | 南部町坪渡字佐伝窪 | 縄文後期 | 散布地 |
| 315 | 長地嶺 | 南部町坪渡字長地嶺 | 縄文後期 | 散布地 |

# Ⅲ　調査と整理の方法

## 1　野　外　調　査

### （1）作　業　経　過

今回の調査は農道の拡幅に伴うものであり、現道と隣接する畑地が調査対象範囲であった。現道は使用頻度が低く、迂回路が存在すること、調査区の幅が狭く、また、西側は耕作中の畑地、東側は段丘崖であったため仮設道路を設置しながらの調査が不可能であることなどから通行止とし、全域を一斉に調査する計画であった。ところが、畑地が予定外に耕作（たばこ）されていたため、同部分に関してはその収穫まで未着手にせざるを得ず、結果的に多少の時間的ロスを生じることとなった。

経過

6月15日　現地確認。

7月1日　資材搬入。雑物撤去、調査区および借地範囲刈り払い。

7月2日　試掘開始。たばこ畑の件で委託者と現地協議。

7月6日　重機での表土掘削開始（9日まで）。

7月7日　遺構検出開始。

7月9日　人力でのⅡ層掘削開始。以後、遺構・遺物のない箇所はⅤ層上面まで順次掘削。

7月29日　遺構精査開始。

8月9日　たばこの刈り取り終了を確認。同部分の重機による表土除去開始（10日まで）。

8月11日　たばこ畑部分の遺構検出開始。攪乱激しく、Ⅱ層がほとんど残存しないためⅢ層での検出。以後、遺構・遺物のない箇所からⅤ層上面まで順次掘削。

8月25日　たばこ畑部分の遺構精査開始。

9月7日　終了確認。

9月9日　現地公開開催、参加者48名。航空写真撮影。

9月14日　野外調査終了。資材搬出、撤収。

### （2）グリッド設定（第6図）

通例であれば、グリッド設定のための基準点打設を発掘調査用に実施する。開発行為に伴う緊急発掘調査のばあい、開発計画および範囲ありきであるから事前の測量は終了しており、統一の平面直角座標による座標値を持つ基準杭も存在する。ただし、この基準杭が発掘調査に使用できるかといえば、好ましくないことの方が多い。その理由の大きなものとして、遺構が地形に影響され、またはぎゃくに利用して構築されるという性格上、グリッドは地形を考慮して設定されるものであることが挙げられる。さらには、開発側での打設は発掘調査実施よりもかなり前に行われるものであり、いざ調査という段には使用不可能ということがほとんどである。これらをクリアするには新規で打設するほかない場合が多い。しかし、今回に限っては開発側測量用基準杭を使用することが可能であった。調査範囲が狭く、比較的平坦で見通しが充分であったこと、等高線に沿ったグリッドを設定できる配置になっていたこと、そして何より、開発側の作業都合上改めて打設する必要があり、調査数週間前にそれを実施したことなどが重なったためである。

グリッド設定には以下の2本の杭を基準点および基準軸として用いた。座標値はいずれも世界測地

系による数値である。

基準点１　X＝39808.135　Y＝47555.584　H＝213.806m

基準点２　X＝39810.827　Y＝47570.224　H＝212.498m

これを基準軸として、北西端を基点とした４×４ｍのグリッドを設定した。名称は、北から南に向かって１～21のアラビア数字、西から東へ向かってＡ～Ｅのアルファベット大文字を付け、その組み合わせにより「１Ａグリッド」「17Ｃグリッド」のように呼称した。ただし、ここでの方位名はあくまでも便宜的なものとして用いたものであり、真方位を示すものではないことをお断りしておく。

## （３）遺構の名称

野外調査段階では、基本的に遺構種別にグリッド名を冠した名称を使用した。また、陥し穴状遺構は「ＴＰ」、土坑は「Ｐ」の略称を使用し、同一グリッド内に同種の遺構があるばあいには、検出順に略称の後にアラビア数字を付けて区別した。例えば、「１ＡＴＰ１」のような遺構名である。精査途中で遺構ではないと判断し抹消したものがあるため、欠番が生じている。これらを室内整理時において、連番となるアラビア数字を冠した漢字による遺構種別の名称に変更した。例えば、「１号土坑」のような名称である。なお、新旧名称の対応は以下のとおりである。

| 旧 | | 新 |
|---|---|---|
| １号竪穴住居跡 | → | 変更無し |
| 17ＣＴＰ１ | → | １号陥し穴状遺構 |
| 12ＢＴＰ１ | → | ２号陥し穴状遺構 |
| ６ＣＰ１ | → | １号土坑 |
| ８ＢＰ１ | → | ２号土坑 |
| ８ＣＰ１ | → | ３号土坑 |
| ８ＣＰ２ | → | ４号土坑 |
| 16ＣＰ２ | → | ５号土坑 |
| 16ＣＰ３ | → | ６号土坑 |

なお、１号遺物包含層に関する遺物および堆積土は、構築場所が１号竪穴住居跡埋没過程の凹みであることから、あえて野外調査段階では特定の遺構名を付さず「１号竪穴住居跡埋土○○」として処理した。これらに対し室内整理時に土層分類、土器型式分類の結果などから改めて分離作業を行い、分離可能と判断したものを１号遺物包含層として登録した。

## （４）粗掘・遺構検出

最初に、調査開始時点で掘削可能であった範囲について、地形の状態とグリッドおよび事前に岩手県教育委員会生涯学習文化課が行った試掘の結果に応じて任意に設定した１×２ｍのトレンチを８本入れ、遺構有無の確認と地層の堆積状況把握を行った。その際、遺構・遺物が検出された部分以外はいずれもTo-Nbテフラの混入するⅥ～Ⅶ層まで掘り抜き、To-Nbテフラ層（Ⅷ層）が現れるまで掘削している。その結果、斜面上部にあたる西半分は、耕作による攪乱が現地表下70～80㎝程度まで密に入り、To-Cuテフラ層（Ⅴ層）の上面まで達していることが判明し、同面を検出面と設定した。いっぽう東半分は、現道掘削時の攪乱が現地表下50～60㎝程度まで続くもののⅡ層中で止まっており、また、同層が希薄ではあるものの遺物包含層であったことから、攪乱除去面を第１回検出面と設定した。これにより遺構・遺物が検出された付近については精査を行い、それ以外の区域については層毎

にⅤ層上面までの掘削および遺構検出を順次行っていった。なお、本遺跡で検出された遺物の時期は縄文時代後期後葉以降が99%以上を占め、これ以前のものとしては縄文時代前期前葉頃と思われる繊維混入土器が耕作による攪乱中から１片出土したのみである。よってTo-Cuテフラ層であるⅤ層の上面までは全面掘削を行い、それ以下については調査区を横断する形の東西方向トレンチを幅１ｍで４地点に設定し（７・11・15・19グリッド）遺構・遺物の有無を確認しながらⅦ～Ⅸ層まで掘削を行った。結果、遺構・遺物ともに検出されず、よってこの段階で遺構確認作業をすべて終了とした。

### （５）遺構の調査方法・遺物の取り上げ方

竪穴住居跡の調査は四分法で、その他の遺構については二分法を原則として、それぞれ堆積土層観察用のセクションベルトを設け、土層を観察しながら精査を進めた。この際、土層の堆積状態、遺物の出土状態、遺構の完掘状況を中心に写真撮影および実測を順次行った。

遺構の平面実測には基本的に光波トランシットを使用し、必要に応じて平板測量も実施した。実測図の縮尺は20分の１を基本としているが、状態に応じてそれ以外の縮尺も使用している。

遺物の取り上げ方は、遺構内出土分については遺構名と出土層位名または相対的層位（上位、中位、下位、床・底面直上、床・底面）を記し、このうち床・底面直上以下出土分については出土位置も記録した。遺構外出土分はグリッド毎に層位を記して取り上げた。なお、１号遺物包含層出土分については、本節（３）に記述したとおりであり、次章にてさらに詳しく述べる。

### （６）遺構内土壌の採取とフローテーション

１号竪穴住居跡の埋土最上位（１号遺物包含層）とＰ２埋土、および各陥し穴状遺構底面に堆積する土壌を採取し、フローテーションによる微細自然遺物の回収を行った。サンプル土壌量は、１号竪穴住居跡Ｐ２が約６リットル（38×25cmビニール袋２袋）、同埋土最上位が約９リットル（同３袋）、陥し穴状遺構２基が各約６リットル（同各２袋）である。土壌は一度袋から出して乾燥させた後、10リットルのバケツ中で水洗した。炭化浮遊物を0.5mmメッシュのフルイで回収する作業を数回繰り返した後、沈殿物を0.5mmメッシュおよび0.3mmメッシュのフルイで回収した。浮遊物はアルミホイル上にのせ保管・乾燥した後、肉眼あるいは15倍のルーペ下で自然遺物の１次選別を行った。

### （７）写　真　撮　影

写真撮影には、35mmモノクローム・カラーリバーサル、６×９判モノクロームの３種を使用し、デジタルカメラをメモ的に用いた。撮影にあたっては、撮影状況を記した「撮影カード」を事前に写し、整理時の混乱を防止した。その他、調査終了間際にセスナ機による航空写真撮影を実施している。

## ２　室　内　整　理

### （１）作　業　経　過

室内整理は平成16年11月１日から平成17年３月31日まで実施した。ただし、調査員は整理作業開始日から平成17年２月28日まで、作業員は平成16年12月１日から整理作業終了日までの従事である。

経過

平成16年11月１日　調査員１名で作業開始。

11月上～下旬　水洗済遺物の種別・型式・石器石材等の分類作業。

12月１日から作業員３名配置。

12月上旬　野外で処理できなかった水洗作業の実施。採取した土壌の水洗選別法による遺存体採取。遺物の仕分け、計量、登録。註記（ジェットマーカー使用）。野外調査写真アルバム整理。

12月中旬～下旬　土器接合。

１月上～中旬　土器復元（石膏入れ）、着色。遺物写真撮影。

１月下旬　遺物写真撮影。遺物実測。

２月上～下旬　遺物実測。土器拓本作成。遺物写真アルバム整理。

３月上～中旬　各種トレース。

３月下旬　各種図版・写真図版作成。遺物・図面収納。

これと平行して、平成17年２月28日まで野外調査時に作成した遺構実測図の点検・合成、第２原図の作成、遺物の各種分類、掲載遺物の選択、遺物実測図の点検・修正、原稿執筆、各種観察表の作成等を実施している。

## （２）遺物整理の方法

遺物は、各種別に分類したのち出土地点ごとに重量計測を行い、接合作業などを行った後に掲載分・要観察分と不掲載分に細分類し、前者については仮番号を付し登録を行った。登録にあたっては、種別ごとに異なる種類の番号を付している。その後、報告書掲載分をさらに抽出し、これらついては新たにアラビア数字の連番による掲載番号を付した。

なお、掲載および分析データ抽出遺物の選択に際しては、各遺物種別共通してまず第１に出土地点を優先し、Ｉ層あるいは攪乱出土遺物は基本的に除外した。また、遺構内出土遺物は出土数量が少ないため下記掲載基準以外であっても細片を除き極力掲載した。遺構別および遺物種別毎の出土量については次章に詳しく記述している。各遺物種別の掲載基準は次頁Ａ～Ｄのとおりである。

本報告書では、出土遺物量の記載をすべてｇあるいはkg単位での重量表記とした。石器、土製品、石製品については点数記載を主とし、これに重量記載を併記している。重量計測については、種別によりそのやり方が異なる。以下にその詳細を記す。土器は、野外調査時に取り上げた単位（出土地点ごとの袋詰め状態）ごとに註記番号となるアラビア数字の連番を付し、この単位で計量を行っている。この際、註記番号、出土地点、重量を記載した台帳作成を同時に実施している。石器類に関しては、事前にトゥールと剥片および素材に分類し、トゥールについては個々に仮番号を付して登録台帳作成と計量を行っている。剥片および素材については個々の計量はせず、母岩別分類を実施した後、土器と同様に出土地点単位で計量し、出土地点および母岩別分類結果と重量を記載した台帳を作成している。土製品、石製品については石器トゥールのばあいと同様の方法である。その後、土器については接合作業を実施し、掲載および要観察遺物を抽出（第１次選別）して仮番号を付し、登録台帳作成および個々の重量計測を行っている。

以上のような作業を実施した背景には、次のような意図がある。第一に、発掘調査報告の最基礎資料である遺物の出土量表記を、一般的共通単位として認知されている重量単位のｇまたはkgで具体的な数値として公表すべきと考えること。第二に、重量計測データの取得により、出土地点・層位ごとの遺物量把握と報告書掲載量およびその掲載率の算出が可能となること。第三に、そのデータを利用した遺物の定量的分析が実施可能となること。基本的に、いかなる報告書においてもその作成意味は具体的な事実報告にあり、明確に提示できる部分は極力提示すべきであり、基本データとしての出土量記載方法は重要と考える。報告書は第三者が利用し検討を加えることが可能なものであるべきで、

数量的検討を行う際には正確な量的記載がない限りその範囲は制限を受けることになる。

なお、今回は各遺物種別とも小数点第２位まで計量したが、これは石器の定量的分析（第Ⅵ章）を行う際に必要となるための設定単位であり、これに準じる形で全種別に対し同一単位を適用した。単位が大まかになることで生じる問題はあろうが、細提示に支障はないと判断してのことである。

A．土器

a．登録……接合時に口縁部、胴部、底部の３種に大別し、口縁部片全点に対し大きさおよび重量表面が５×５㎝以上あるいは重量が20ｇ以上のものを掲載・不掲載問わずすべて抽出し、形態および文様などの属性観察を行った。底部は点数を計測し、うち１／４以上残存するものについて径の復元を行った。口縁部、底部両者共に抽出分はアラビア数字の連番による仮番号を付して個別に登録し、その後下記の選択基準に従って再選別し、掲載遺物を決定した。

b．掲載遺物の選択基準……文様が集中するため口縁部を優先している。口縁部に関しては上記の基準での抽出後、地紋のみ施文された深鉢のばあい平面が６×６㎝以上且つ重量20ｇ以上、それ以外のものについては５×５㎝以上且つ20ｇ以上という基準で再抽出を行い、それに適うものを掲載した。胴部は器形を復元できるもののみ、底部は胴部にかけての器形を復元できるもの、底面に調整痕が残存するものに限定して掲載している。

c．実測……径の推定可能なもの（１／４以上残存）は復元実測を行った。文様については、口縁部文様帯の状態や貼付の有無など凹凸の著しい部位のみ実測し、平面的な部位には時間的制約および文様の客観的表現という観点から拓本を用いた。

B．土製品

a．登録……全点登録した。

b．掲載遺物の選択基準……Ⅰ層あるいは攪乱出土分以外のすべてを掲載した。ただし、細片および粘土塊は実測せず写真掲載とした。

C．石器

a．登録……全点登録した。

b．掲載遺物の選択基準……完形品を優先し、それのない器種については欠損品を掲載した。時間的制約上、実測せず写真掲載に止めたものもある。

c．実測……調整部位や打面・打点など、最低限必要と判断した部位のみ展開し、省力化に努めた。

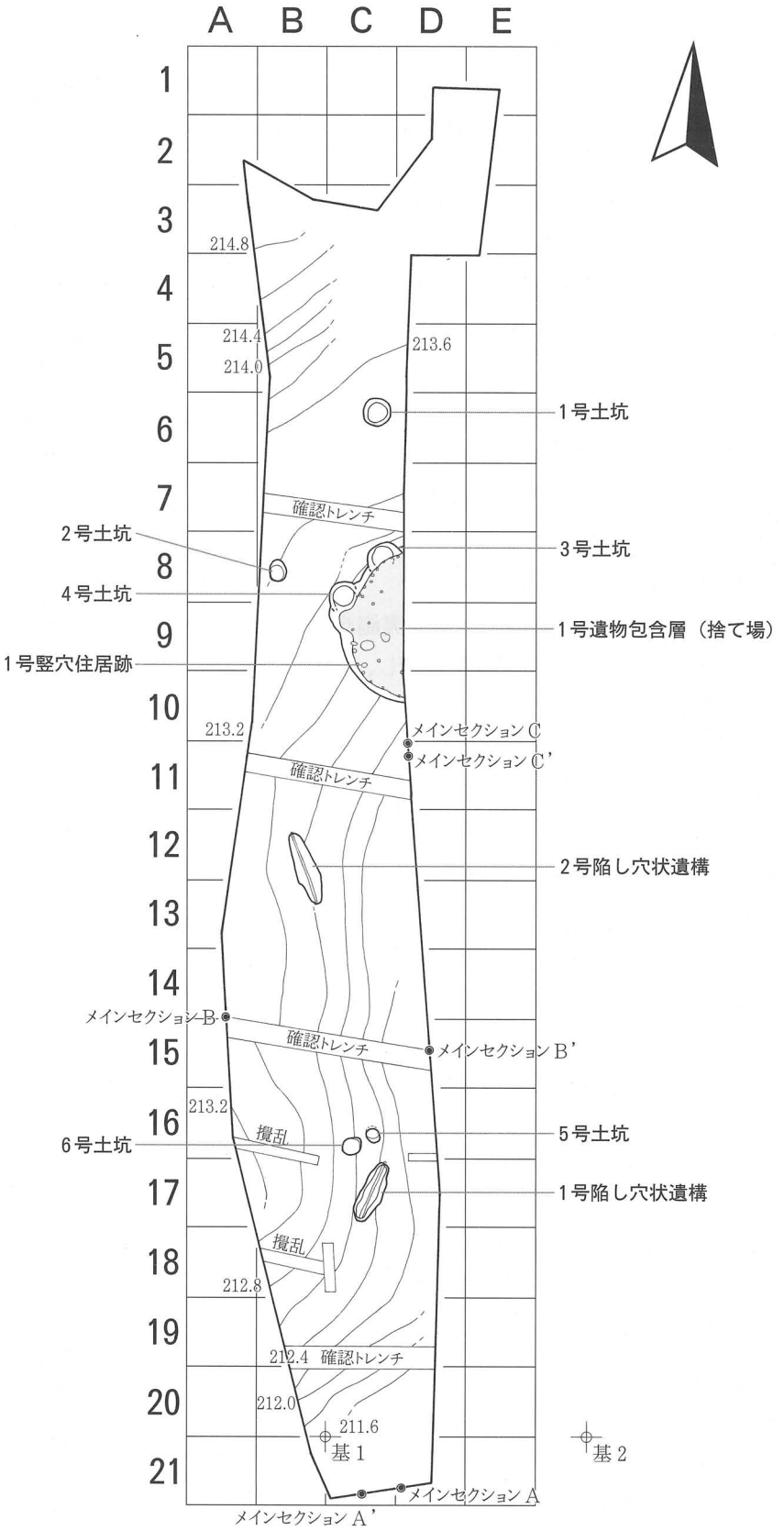
D．石製品……全点登録し、Ⅰ層出土分以外の全点を掲載した。

### （３）写　真　撮　影

当センター写真室において、専属の期限付職員が35㎜カメラを用いモノクロームフィルムおよびカラーリバーサルフィルムで撮影した。

### （４）遺　構　図　面

現場で記録した遺構平面図・断面図の合成（第２原図の作成）、トレース、土層註記のパソコン入力という手順で進めた。第２原図の作成は可能な限り野外作業の雨天時等に行い、未終了分のみ室内整理時に実施している。




基 1
X＝39808.135
Y＝47555.584
H＝213.806m

基 2
X＝38910.827
Y＝47570.224
H＝212.498m

0　1：400　10m

第 6 図　遺構配置図

# Ⅳ 検 出 遺 構

今回の調査で検出された遺構は、竪穴住居跡１棟、陥し穴状遺構２基、土坑６基、遺物包含層（捨て場）１箇所である。

## １ 竪 穴 住 居 跡

### １号竪穴住居跡

**遺　構**（第７・８図、写真図版３・４）

［位置・検出状況］８Ｃ～10Ｃグリッド付近に位置する。Ⅲ層除去後、１号遺物包含層堆積土の存在により本遺構部分の落ち込みを認識した。検出面に削平痕がおよばないことから、同面が遺構構築面と推定される。なお、同付近は西から東方向に約５度で下傾しており、東側にある現段丘縁まで約５ｍの位置である。

［重複関係］北西側の８Ｃグリッドにおいて、３号土坑および４号土坑と重複し、これらに切られている。

［規模・平面形］東側半分以上が調査区外にかかっており未調査のため、全容は不明である。調査範囲からは円形基調と推定され、規模は開口部の北－南で8.93m以上である。

［埋土］基本層序以外は20層に分層される。下位から大別すると、貼り床の可能性がある人為堆積層（19・20層）、To-Nbを含む流入土（２～18層）、人為的な投入土（１ａ・ｂ層）となる。その中央上位の凹みに基本層序のⅣ～Ⅲ層が堆積している。１ａ・ｂ層は１号遺物包含層である。基本層序以外の各層に含まれるTo-Nb（パミス）は、ほとんどが破砕状態を呈する。

［壁・床面］住居構築時の掘削はⅨ層中までおよんでおり、To-Nb層をすべて除去している。同層は壁面に露出しているが崩落しやすく、その結果壁の立ち上がりが外傾している。底面は中央部がやや高まっており、壁に向かって極緩やかに下る。脆弱な箇所はなく、全体的に堅緻である。深さは最深部で1.15mを測る。

［柱穴・ピット］合計26基検出された。Ｐ22～26は壁下場から内側へ１～1.5mに位置し、開口部径20㎝以内と統一性があり、90～150㎝のスパンで弧状に巡る。また、Ｐ４～21は壁際に位置し、その規模はＰ９・10が比較的大形（開口部径20～30㎝・深さ50㎝前後）である以外は開口部径10～20㎝程度、深さ30㎝以内であり、Ｐ22～26とほぼ同様である。Ｐ４～21は残存（現）プランの、Ｐ22～26は旧プランの壁柱穴と捉えられ、住居の拡張が行われたと推定される。拡張とした理由は、土層観察ベルト断面に埋め戻しの痕跡がないことによる。また、Ｐ１～３はこれらより大形のピットで、Ｐ１・２は拡張後の構築である。Ｐ３はどちらに帰属するか不明。なお、Ｐ１は壁柱穴に含まれる可能性もある。

［炉］検出されていない。

**遺　物**（第14～16・33・35図、写真図版７～８・19・21）

［土器］5,385.72ｇ出土し、27点・2,553.96ｇを掲載した（１～27）。床面出土353.44ｇ、床面直上出土79.45ｇ、埋土出土4,952.83ｇである。

［土製品］埋土中位から241が、上位から242が出土した。

［石器］トゥールは９点・2,272.01ｇ出土し、７点掲載した（287～293）。いずれも埋土出土である。

剥片・素材は1,820.76ｇ出土した。

**時　期**　床面出土土器（１）の型式から、縄文時代後期後葉頃と推定される。

## 2　遺物包含層（捨て場）

### １号遺物包含層

**遺　構**（第８・９図、写真図版３・４）

［位置］８Ｃ・Ｄ～10Ｃ・Ｄ北半付近に位置する。Ⅲ層除去後、焼土およびTo-Hをブロック状に混入する堆積土の広がり、および遺物の多量出土によって認識した。調査区東際にかかっており、遺構はさらに東側へと続いている。

［重複関係］１号竪穴住居跡、３・４号土坑と重複しており、本遺構はこれらを覆う状態で堆積している。

［調査方法］Ⅳ層上位面にて本遺構の平面範囲を確認した後、その中央付近に等高線および調査区東境界に直交する東西方向の土層確認用サブトレンチ（幅40㎝）を１本設定し、層序を確認しながら様相の変化する層（結果的には１号竪穴住居跡床面にあたるⅨ層）までの掘削を行った。平面検出時は、本遺構の下位に竪穴住居跡の存在を認識しておらず、他遺構掘削土の一括廃棄場かあるいは整地層の可能性も推定した。しかし上述のトレンチ調査により、その堆積はⅨ層が露出するまで基本層序とは明らかに異なること、西側で壁の立ち上がりを確認したこと、多量の遺物と炭化物、焼土、多様な土壌の混入が上位半分程度に限られ、以下層はレンズ状に堆積していることなどが判明し、本遺構を認識した。本遺構はその形成場所的性格から、上下の１号竪穴住居跡埋土と層位的に連動するものであるためこれと連番の名称を用いて分層し、その精査においても同住居跡調査用トレンチおよびベルト（Ａ－Ａ’、Ｂ－Ｂ’。後者は前述の土層確認用ベルト。）を併用した。

［規模］今回の調査範囲における面積は約20㎡である。遺構自体は調査区外の東側へと続いている。

［層序と堆積状況］１号竪穴住居跡の１ａ・ｂ層にあたる。ａ・ｂの分類はテフラの混入状態によるものである。本遺構全体は同住居跡埋土の堆積状態に沿ったレンズ状を呈する。１ｂ層の混入位置および層位に規則性は看取されない。なお、To-Nb（パミス）はほとんどが破砕状態を呈する。

また、本遺構周辺のⅢ層下位～Ⅳ層上位も遺物包含層をなしており、相当量の遺物が出土するものの小破片化しているものが多数である。これに対し本遺構堆積分は、出土数量が多くまた残存率が高い。この点も、周囲の自然流入成遺物包含層と本遺構とを分離する観点として扱った。

**遺　物**（第16～23・33・35～38・46・47図、写真図版８～12・19・21～23・30）

［土器］37,150.56ｇ出土し、93点・9,213.98ｇを掲載した（28～120）。

［土製品］11点・105.48ｇ出土し、全点掲載した（243～253）。

［石器］トゥールは46点・6,792.90ｇ出土し、30点掲載した（294～323）。剥片・素材は7,477.05ｇ出土した。

［石製品］１点・68.28ｇ出土した（412）。

［植物遺体］トチノキ、クリ、クルミ属、コナラ属、サンショウが出土した。検出地点および土壌採取地点は第９図のとおりである。また、検出遺物の詳細についてはⅦ章を参照いただきたい。

**時　期**　出土土器の型式から、大洞Ｃ２～Ａ式期（縄文時代晩期中葉から後葉）の構築と推定される。

## 3　土　　坑

### 1号土坑

**遺　構**（第10図、写真図版５）

［位置・検出状況］６Ｃグリッドに位置する。現道構築土直下のⅦ～Ⅷａ層中で、黒褐色土の円形プランとして検出された。このため上位がある程度削平されている。また、同様の理由で周辺の旧地形は不明である。

［重複関係］なし。

［規模・平面形］開口部直径約1.65ｍの円形を呈する。

［埋土］８層に分層される。下位から大別すると、底面全体に堆積する黒色土（８層）、Ⅷ層主体の壁崩落土（７・３層）、Ⅷ層以上が混在する壁崩落土および流入土（６～４・２・１層）となる。

［壁・底面］各壁とも急角度で立ち上がる。掘削はⅨ層中まで行われており、底面はほぼ平坦である。深さは最深部で57㎝を測る。

**遺　物**（第23・39図、写真図版13・24）

［土器］埋土から39.82ｇ出土し、１点・9.41ｇを掲載した（121）。

［石器］床面から石核が１点・791.45ｇ出土した（324）。剥片・素材は26.28ｇ出土した。

**時　期**　同定要素がなく不明であるが、埋土の状態や同種遺構の時期から縄文時代と推定される。

### 2号土坑

**遺　構**（第11図、写真図版５）

［位置・検出状況］８Ｂグリッドの調査区西際に位置する。Ⅰ層畑攪乱土直下のⅤ層中位面で、黒色土の楕円形プランとして確認された。このため上位がある程度削平されている。また、同様の理由で周辺の旧地形は不明である。なお、西川約半分は調査区外のため未調査である。

［重複関係］なし。

［規模・平面形］開口部は北－南1.22ｍ、西－東0.99ｍの楕円形、底面は同0.86ｍ、0.78ｍのほぼ円形を呈する。

［埋土］５層に分層される。人為堆積の可能性がある。なお、中央部にはトレンチャーが底面付近まで入っており、この部分については不明である。

［壁・底面］各壁とも急角度で立ち上がる。掘削はⅧａ層中まで行われており、底面はほぼ平坦である。深さは最深部で60㎝を測る。

**遺　物**（第23図、写真図版13）

［土器］埋土から56.16ｇ出土し、１点・15.18ｇを掲載した（122）。

［石器］剥片0.77gが出土した。

**時　期**　同定要素がなく不明であるが、埋土の状態や同種遺構の時期から縄文時代と推定される。

### 3号土坑

**遺　構**（第11図、写真図版５）

［位置・検出状況］８Ｃ～８Ｄグリッドに位置する。検出面はⅣ層上位面で、１号竪穴住居跡の精査中に黒色土の半円形プランとして確認した。検出面に削平痕がおよばないことから、同面が遺構構築

面と推定される。なお、同付近は西から東方向に約５度で下傾している。

［重複関係］１号竪穴住居跡、１号遺物包含層と重複し、前者を切る。後者は本遺構埋土堆積後の構築である。１号竪穴住居跡との新旧関係は検出時の平面プラン観察でははっきり確認できず、断面断ち割り後に確認している。

［規模・平面形］重複している南東部が不明であるが、開口部径2.07m以上、底部径1.25mの円形基調と推定される。

［埋土］９層に分層される。分層の基準はTo-Nbの混入量と粒度で、色調および土質はほぼ同様である。

［壁・底面］残存壁はいずれも急角度で立ち上がる。掘削はⅧｂ層中まで行われており、底面はほぼ平坦である。深さは最深部で88cmを測る。

**遺　物**（第23図、写真図版13）

［土器］埋土から170.06ｇ出土し、３点・238.55ｇを掲載した（123～125）。123は１号竪穴住居跡埋土上位出土土器と接合した。掲載重量が出土重量を上回っているのはこのためである。

**時　期**　重複関係と検出層位から、縄文時代後期後葉以降晩期中葉以前と推定される。

### ４号土坑

**遺　構**（第11図、写真図版５）

［位置・検出状況］８Ｃ～９Ｃグリッドに位置する。検出面はⅣ層上位面で、１号竪穴住居跡の精査中に黒色土の半円形プランとして確認した。検出面に削平痕がおよばないことから、同面が遺構構築面と推定される。なお、同付近は西から東方向に約５度で下傾している。

［重複関係］１号竪穴住居跡、１号遺物包含層と重複し、前者を切る。後者は本遺構埋土堆積後の構築である。１号竪穴住居跡との新旧関係は検出時の平面プラン観察でははっきり確認できず、断面断ち割り後に確認している。

［規模・平面形］底部は径約1.25mの円形である。開口部は重複している南東側が不明であるが、直径1.64m以上の円形基調と推定される。

［埋土］12層に分層される。下位から大別すると、To-Nbの多量混入土（12～10層）、To-Nbが少量混入する黒～黒褐色土（９～７・５～３・１層）、黄褐色土との混土（６・２層）となる。混土の存在から人為堆積の可能性がある。

［壁・底面］残存壁はいずれもほぼ垂直に立ち上がる。掘削はⅧｂ～Ⅸ層中まで行われており、底面はほぼ平坦である。深さは最深部で91cmを測る。

**遺　物**（第23・39図、写真図版13・23）

［土器］埋土から１点・10.55ｇが出土した（126）。

［石器］床直中央から礫が１点・95.71ｇ（326）、埋土から石鏃１点・1.24ｇが出土した。

**時　期**　重複関係と検出層位から、縄文時代後期後葉以降晩期中葉以前と推定される。

### ５号土坑

**遺　構**（第10図、写真図版６）

［位置・検出状況］16Ｃグリッドに位置する。Ⅴ層上位面で、黒色土の円形プランとして確認された。同付近は西から東方向へ約８度で下傾している。西側に６号土坑があり、距離35cmと近接している。

［重複関係］なし。

［規模・平面形］開口部は径約0.85m、底面は径約0.75mのほぼ円形を呈する。
［埋土］５層に分層される。大部分（５～２層）はTo-Cuが多量に混入した黒色土で、周囲からの崩落土とも捉えられる。ただし最上位の１層は攪拌状態であり、To-Nbが比較的多量に混入しているため人為堆積である。
［壁・底面］断面形はフラスコ状を呈する。掘削はⅧａ層直上まで行われており、底面はほぼ平坦である。深さは最深部で67㎝を測る。
**遺　物**（第23図、写真図版13）
［土器］埋土から81.83ｇ出土し、１点・30.69ｇを掲載した（127）。
**時　期**　検出層位から、To-Cu降下以降からTo-ｂ降下以前の構築であり、縄文時代前期以降弥生時代初頭以前といえる。

**６号土坑**
**遺　構**（第10図、写真図版６）
［位置・検出状況］16Ｃグリッドに位置する。Ｖ層上位面で、黒色土の円形プランとして確認された。同付近は西から東方向へ約８度で下傾している。東側に５号土坑があり、距離35㎝と近接している。
［重複関係］なし。
［規模・平面形］開口部は径約1.10m、底面は径約1.00mのほぼ円形を呈する。
［埋土］５層に分層される。すべてTo-Cuが比較的多量に混入する黒色土である。５号土坑の状態と類似するが、To-Nbを比較的多量に混入する人為堆積層が最上位に存在しない。
［壁・底面］断面形はフラスコ状を呈する。掘削はⅧａ層直上まで行われており、底面はほぼ平坦である。深さは最深部で72㎝を測る。
**遺　物**（第23図、写真図版13・24）
［土器］埋土から34.35ｇ出土し、１点・10.34ｇを掲載した（128）。
［石器］埋土から敲石１点・356.45ｇ（327）が出土した。
**時　期**　検出層位から、To-Cu降下以降からTo-ｂ降下以前の構築であり、縄文時代前期以降弥生時代初頭以前といえる。

## ４　陥し穴状遺構

**１号陥し穴状遺構**
**遺　構**（第12図、写真図版６）
［位置・検出状況］17Ｃグリッドに位置する。Ｖ層上位面で、黒色土の長楕円形プランとして確認された。同付近は西から東方向へ約８度で下傾している。
［重複関係］なし。
［規模・平面形］開口部は北－南3.60m、西－東1.32mの長楕円形、底部は同3.53m、0.14mの筋形を呈する。長軸方向はＮ－21°－Ｅで、等高線とほぼ平行する。
［埋土］15層に分層される。下位から大別すると、底面全体に堆積する粘土質の黒色土（15層）、Ⅷ層を主体とする壁崩落土（14～11・９層）、Ⅶ～Ⅴ層を主体とする壁崩落土および流入土（10・８～３層）斜面上方からの流入土主体層、（２～１層）となる。
［壁・床面］掘削はⅨ層以下までおよぶ。To-Nb層が終わりⅨ層になった部分から幅が急激に細く

なる漏斗状を呈する。To-Nb層が脆く、埋土の状態からも相当量が崩落していることは間違いないことから、遺構使用時の形態をどの程度残置しているかは不明である。これより上位の壁形についても同様である。現形はラッパ形に外傾している。底面に凹凸やピットは確認されない。深さは最深部で1.89mを測る。

**遺　物**（第24図、写真図版13）

［土器］埋土最上位（１層）から248.80ｇ出土し、３点・88.81ｇを掲載した（129～131）。

**時　期**　検出層位から、To-Cu降下以降からTo-ｂ降下以前の構築であり、縄文時代前期以降弥生時代初頭以前といえる。

**２号陥し穴状遺構**

**遺　構**（第12図、写真図版６）

［位置・検出状況］12Ｂ～13Ｂグリッドに位置する。Ⅰ層畑攪乱土直下のⅤ層中位面で、黒色土の長楕円形プランとして確認された。このため上位がある程度削平されている。同付近は西から東方向へ約５度で下傾している。なお、南西側の一部が攪乱により残存しない。

［重複関係］なし。

［規模・平面形］開口部は北西－南東4.25m、南西－北東1.32mの長楕円形、底部は同4.34m、0.12mの筋形を呈する。長軸方向はＮ－23°－Ｅで、等高線とほぼ平行する。

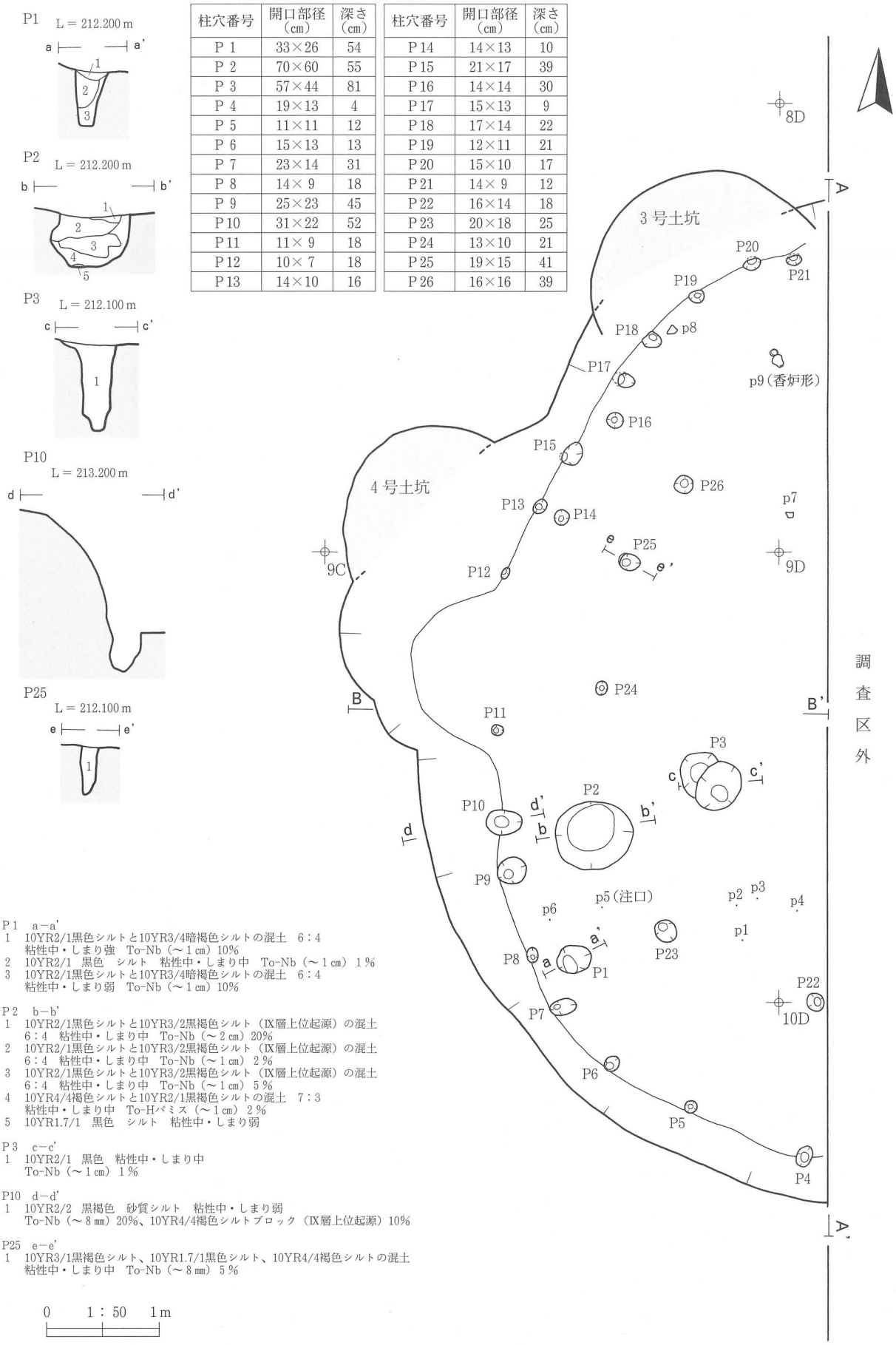
［埋土］10層に分層される。下位から大別すると、底面全体に堆積する粘土質の黒色土（10層）、Ⅷ層を主体とする壁崩落土（９～７・５層）、Ⅴ層を主体とするⅦ層以上の壁崩落土および流入土（６・４～２層）斜面上方からの流入土主体層、（１層）となる。

［壁・床面］掘削はⅨ層以下までおよぶ。To-Nb層が終わりⅨ層になった部分から幅が急激に細くなる漏斗状を呈する。To-Nb層が脆く、埋土の状態からも相当量が崩落していることは間違いないことから、遺構使用時の形態をどの程度残置しているかは不明である。これより上位の壁形についても同様である。現形はラッパ形に外傾している。底面に凹凸やピットは確認されない。深さは最深部で1.65mを測る。

**遺　物**　出土しなかった。

**時　期**　検出層位から、To-Cu降下以降の構築であり、縄文時代前期以降といえる。１号陥し穴状遺構と形態および長軸方向が同様であることから同一時期の構築である可能性が高く、意図的な配置がなされたものと推定される。

| 柱穴番号 | 開口部径（cm） | 深さ（cm） | 柱穴番号 | 開口部径（cm） | 深さ（cm） |
|---|---|---|---|---|---|
| P 1 | 33×26 | 54 | P 14 | 14×13 | 10 |
| P 2 | 70×60 | 55 | P 15 | 21×17 | 39 |
| P 3 | 57×44 | 81 | P 16 | 14×14 | 30 |
| P 4 | 19×13 | 4 | P 17 | 15×13 | 9 |
| P 5 | 11×11 | 12 | P 18 | 17×14 | 22 |
| P 6 | 15×13 | 13 | P 19 | 12×11 | 21 |
| P 7 | 23×14 | 31 | P 20 | 15×10 | 17 |
| P 8 | 14× 9 | 18 | P 21 | 14× 9 | 12 |
| P 9 | 25×23 | 45 | P 22 | 16×14 | 18 |
| P 10 | 31×22 | 52 | P 23 | 20×18 | 25 |
| P 11 | 11× 9 | 18 | P 24 | 13×10 | 21 |
| P 12 | 10× 7 | 18 | P 25 | 19×15 | 41 |
| P 13 | 14×10 | 16 | P 26 | 16×16 | 39 |




P 1　a－a'
1　10YR2/1黒色シルトと10YR3/4暗褐色シルトの混土　6：4
　粘性中・しまり強　To-Nb（～1 cm）10%
2　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～1 cm）1 %
3　10YR2/1黒色シルトと10YR3/4暗褐色シルトの混土　6：4
　粘性中・しまり弱　To-Nb（～1 cm）10%

P 2　b－b'
1　10YR2/1黒色シルトと10YR3/2黒褐色シルト（Ⅸ層上位起源）の混土
　6：4　粘性中・しまり中　To-Nb（～2 cm）20%
2　10YR2/1黒色シルトと10YR3/2黒褐色シルト（Ⅸ層上位起源）の混土
　6：4　粘性中・しまり中　To-Nb（～1 cm）2 %
3　10YR2/1黒色シルトと10YR3/2黒褐色シルト（Ⅸ層上位起源）の混土
　6：4　粘性中・しまり中　To-Nb（～1 cm）5 %
4　10YR4/4褐色シルトと10YR2/1黒褐色シルトの混土　7：3
　粘性中・しまり中　To-Hパミス（～1 cm）2 %
5　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり弱

P 3　c－c'
1　10YR2/1　黒色　粘性中・しまり中
　To-Nb（～1 cm）1 %

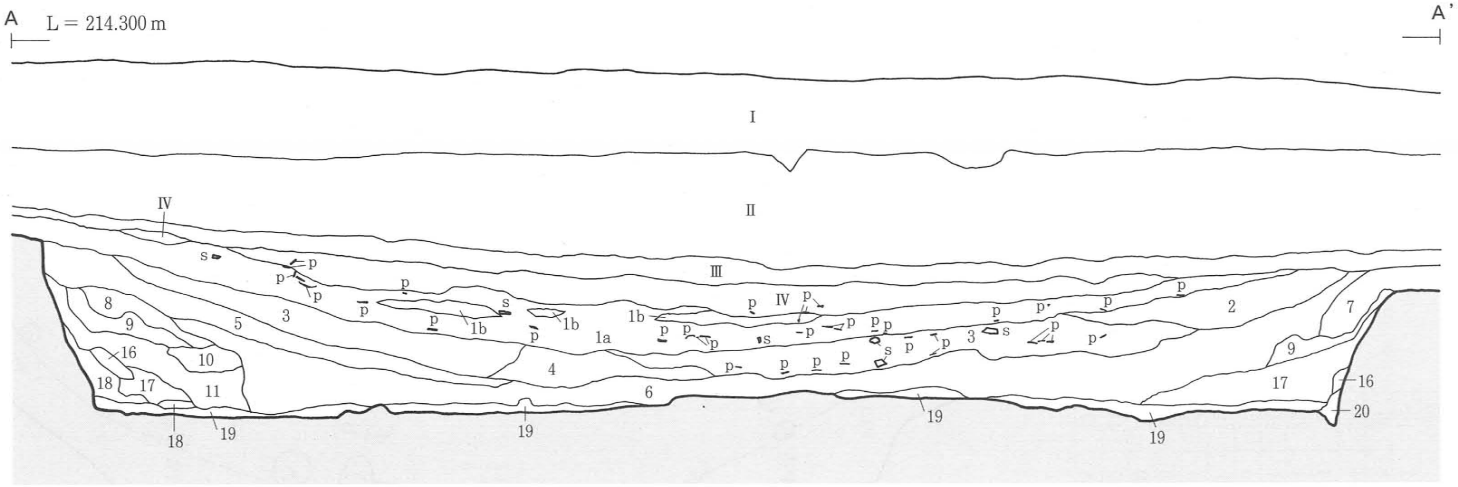
P10　d－d'
1　10YR2/2　黒褐色　砂質シルト　粘性中・しまり弱
　To-Nb（～8 mm）20%、10YR4/4褐色シルトブロック（Ⅸ層上位起源）10%

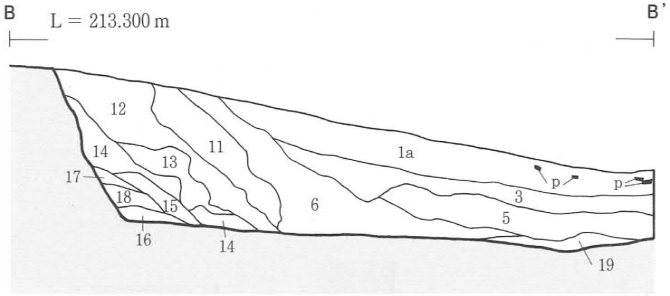
P25　e－e'
1　10YR3/1黒褐色シルト、10YR1.7/1黒色シルト、10YR4/4褐色シルトの混土
　粘性中・しまり中　To-Nb（～8 mm）5 %

0　1：50　1 m

第７図　１号竪穴住居跡（１）

## 1号竪穴住居跡　A－A’ B－B’



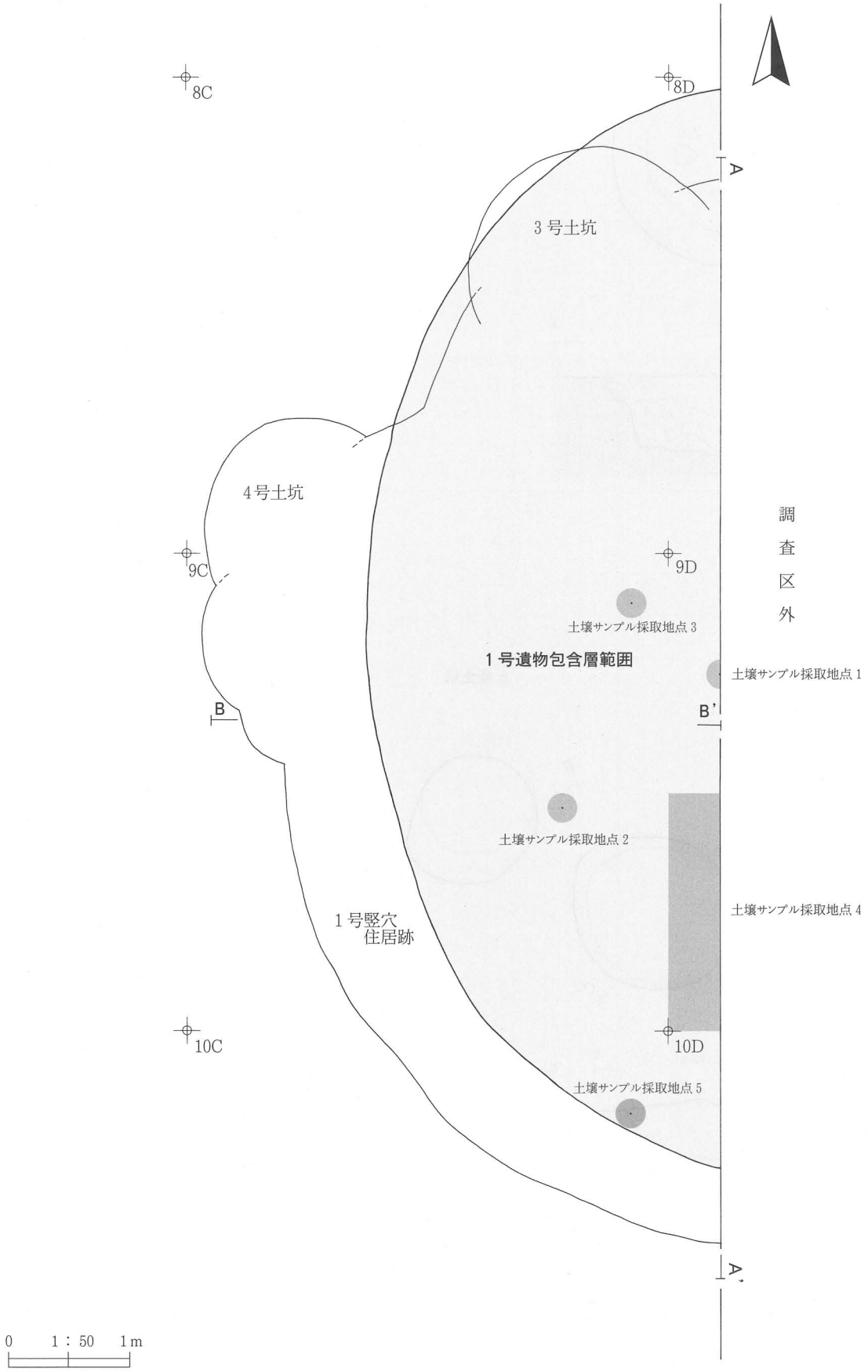




1号竪穴住居跡　A－A’ B－B’

1a　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　炭化物粒３％　To-Nb（～5㎜）3%　１号遺物包含層構成土
1b　10YR3/3　暗褐色　シルト　粘性中・しまり中　Ⅸ層起源　炭化物粒３％、To-Nb（～5㎜）3%　１号遺物包含層構成土
2　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～２㎝）７％
3　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～２㎝）20%
4　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～２㎝）７％
5　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～１㎝）７％
6　10YR2/1.5　黒～黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　Ⅸ層ブロック３％　To-Nb（～２㎝）15%
7　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cuブロック５％・全体に10%　To-Nb（～5㎜）２％
8　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　10YR3/2黒褐色ブロック５％　To-Nb（～１㎝）10%
9　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　10YR3/2黒褐色ブロック３％　To-Cu10%　To-Nb（～１㎝）７％
10　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　2.5Y6/6明黄褐色パミス（To-Cu・To-Nb混在？）50%
11　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　10YR2/2黒褐色シルトブロック10%　To-Nb（～１㎝）５％
12　10YR2/1黒色シルトと10YR3/2黒褐色シルトの混土　5：5　粘性中・しまり中　後者はブロック状
13　10YR2/1黒色シルトと10YR3/2黒褐色シルトの混土　6：4　粘性中・しまり中　後者はブロック状　To-Nb　２％
14　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～２㎝）10%
15　10YR3/1　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～２㎝）10%
16　10YR3/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～１㎝）30%（Ⅷ層上位の崩落）
17　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルトブロック５％　To-Nb（～２㎝）20%
18　7.5YR5/8　明褐色　パミス　粘性なし・しまりなし　To-Nb（Ⅷ層上位）崩落　10YR2/1黒色シルト少量
19　10YR2/1　黒色シルト、10YR4/4褐色粘土質シルト（Ⅸ層下位）、10YR3/2黒褐色シルト（Ⅸ層上位）の混土　粘性中・しまり中　To-Nb（～１㎝）５％
20　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu10%　To-Nb（～５㎜）７％

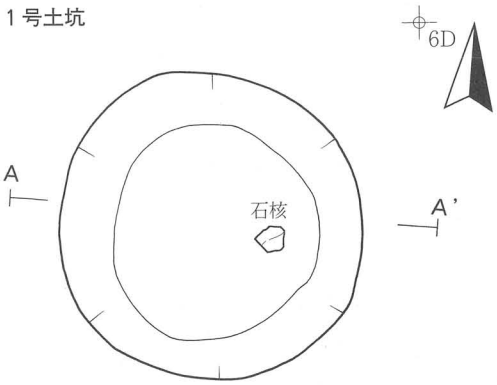
0　1：50　1m

第８図　１号竪穴住居跡（２）

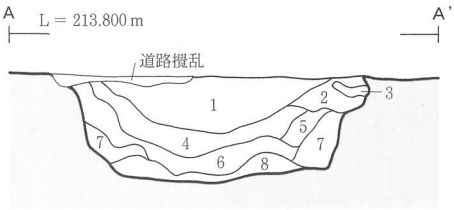

8C
8D
A
3号土坑
4号土坑
9C
9D
調
査
区
外
土壌サンプル採取地点 3
1号遺物包含層範囲
土壌サンプル採取地点 1
B
B'
土壌サンプル採取地点 2
土壌サンプル採取地点 4
1号竪穴
住居跡
10C
10D
土壌サンプル採取地点 5
A'
0　1：50　1m

第9図　1号遺物包含層

## 1号土坑

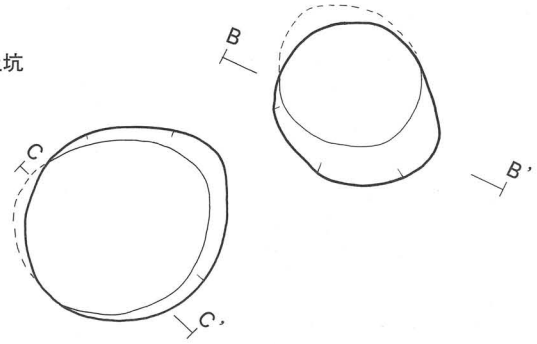



1号土坑　A－A'
1　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり強
　To-Cu全体に微量　To-Nb（～2㎝）20%　炭化物粒1%以下
2　10YR3/1　黒褐色　シルト　粘性中・しまり強
　To-Cu全体に微量　To-Nb（～5㎜）5%
3　10YR5/2　灰黄褐色　シルト　粘性中・しまり強
　To-Nb（～2㎝）50%
4　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性弱・しまり強
　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）10%
5　10YR3/2　黒褐色　シルト　粘性弱・しまり強
　To-Nb（～1㎝）10%
6　10YR3/2　黒褐色　シルト　粘性弱・しまり強
　To-Cuブロック5%　To-Nb（～2㎝）20%
7　7.5YR5/6　明褐色　パミス　粘性なし・しまり弱
　To-Nb（～2㎝）　10YR4/2灰黄褐色シルト微量
8　10YR2/1　黒色　シルト　粘性弱・しまり強
　To-Nb（～2㎝）10%

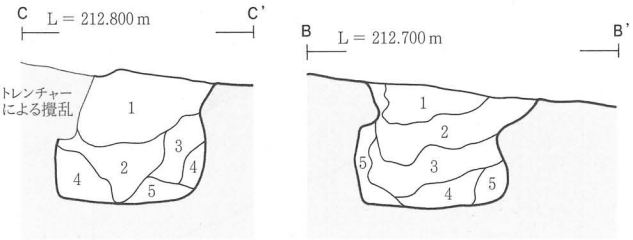



## 5号土坑

## 6号土坑



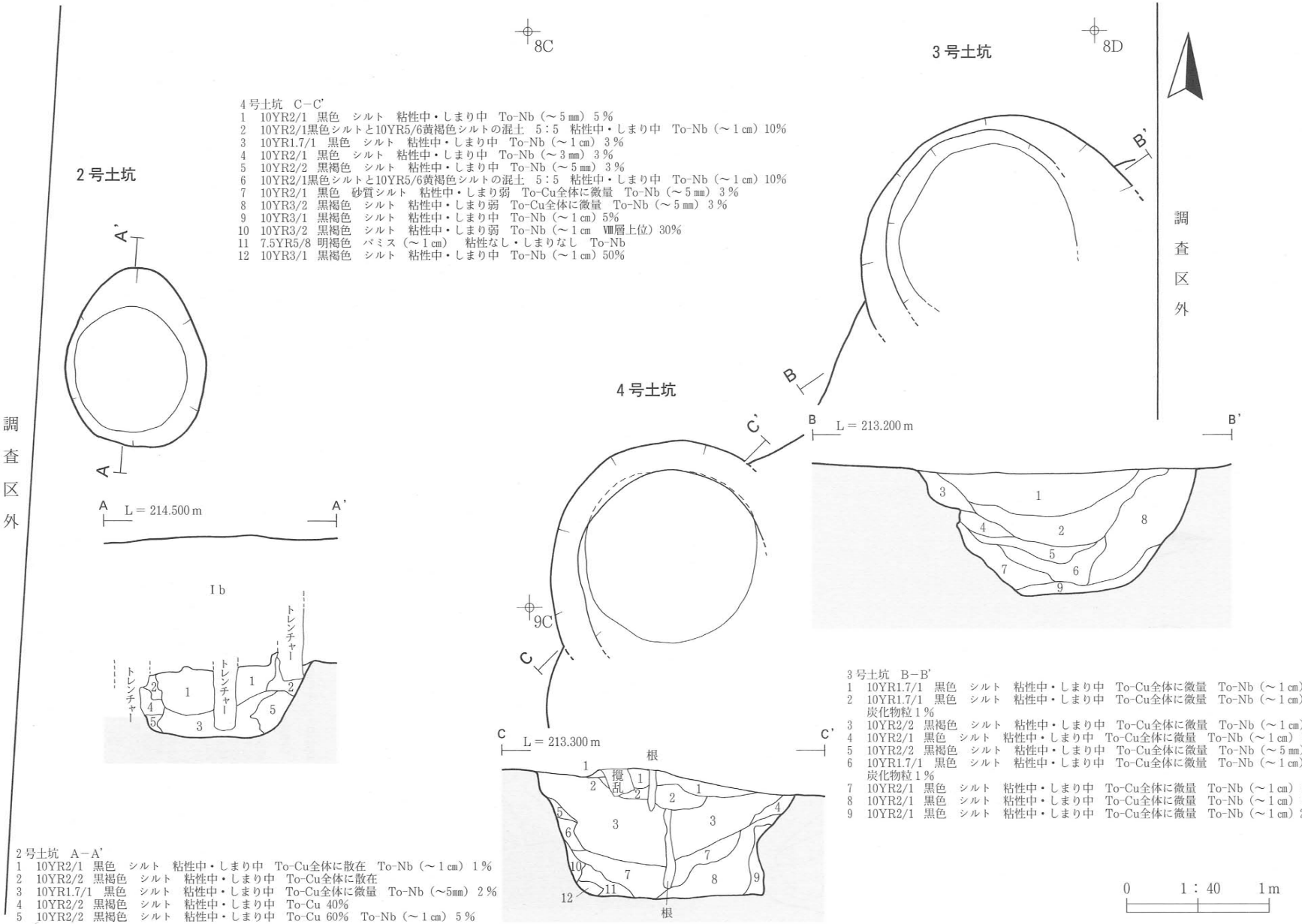

5号土坑　B－B'
1　10YR2/1黒色シルトと10YR2/2黒褐色シルトの混土
　粘性中・しまり中　To-Nb（～1㎝）10%
2　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 10%　To-Nb（～1㎝）3%
3　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 60%
4　10YR1.85/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 20%　To-Nb（～1㎝）3%
5　10YR1.85/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 20%　To-Nb（～5㎜）1%以下




6号土坑　C－C'
1　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 5%　To-Nb（～1㎝）2%
2　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 10%　To-Nb（～1㎝）1%
3　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu50%　To-Nb 1%
4　10YR1.85/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 3%　To-Nb（～1㎝）1%
5　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中
　To-Cu 1%　To-Nb（～1㎝）1%以下

0　1：40　1m

第10図　1・5・6号土坑



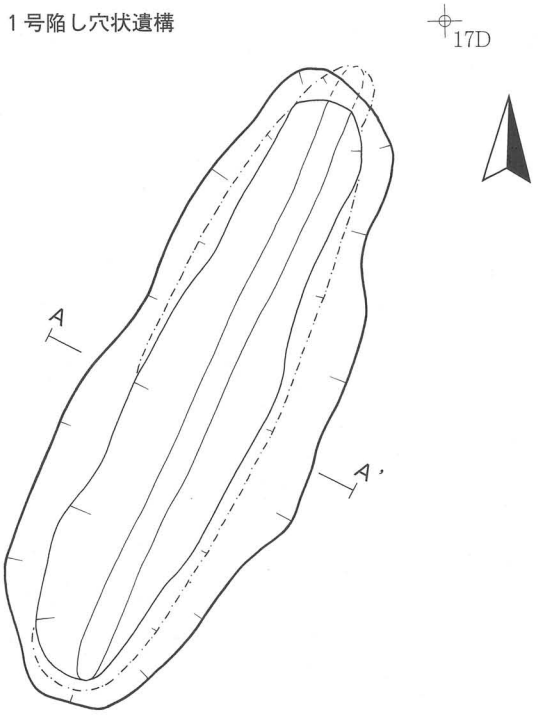

4号土坑　C－C'
1　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～5㎜）5％
2　10YR2/1黒色シルトと10YR5/6黄褐色シルトの混土　5：5　粘性中・しまり中　To-Nb（～1㎝）10％
3　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～1㎝）3％
4　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～3㎜）3％
5　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～5㎜）3％
6　10YR2/1黒色シルトと10YR5/6黄褐色シルトの混土　5：5　粘性中・しまり中　To-Nb（～1㎝）10％
7　10YR2/1　黒色　砂質シルト　粘性中・しまり弱　To-Cu全体に微量　To-Nb（～5㎜）3％
8　10YR3/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり弱　To-Cu全体に微量　To-Nb（～5㎜）3％
9　10YR3/1　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～1㎝）5％
10　10YR3/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり弱　To-Nb（～1㎝　Ⅷ層上位）30％
11　7.5YR5/8　明褐色　パミス（～1㎝）　粘性なし・しまりなし　To-Nb
12　10YR3/1　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Nb（～1㎝）50％

3号土坑　B－B'
1　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）3％
2　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）10％
炭化物粒1％
3　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）2％
4　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）5％
5　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～5㎜）20％
6　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）10％
炭化物粒1％
7　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）5％
8　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）3％
9　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～1㎝）20％

2号土坑　A－A'
1　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に散在　To-Nb（～1㎝）1％
2　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に散在
3　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に微量　To-Nb（～5㎜）2％
4　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu 40％
5　10YR2/2　黒褐色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu 60％　To-Nb（～1㎝）5％

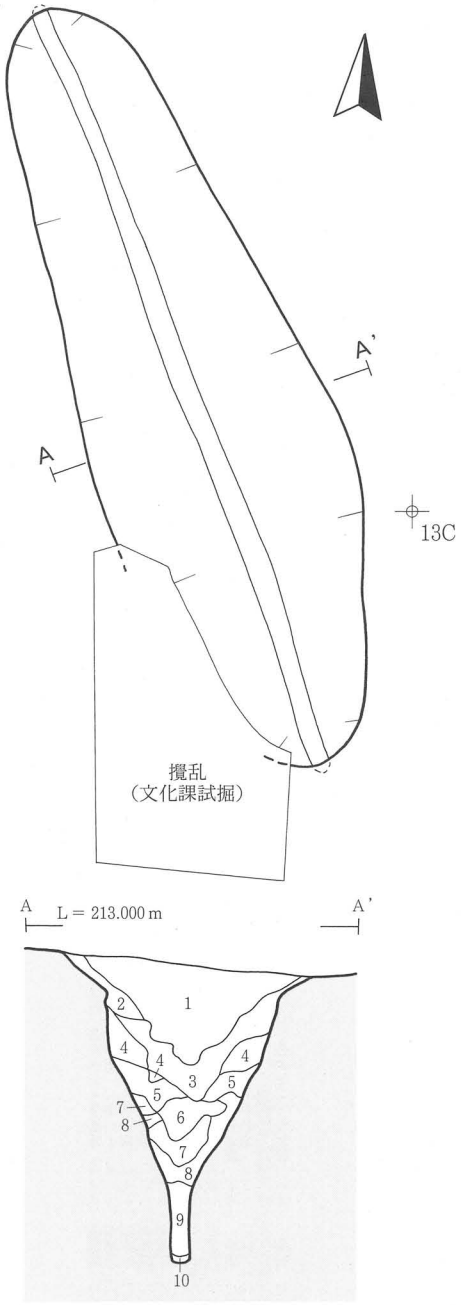
第11図　2～4号土坑

## 1号陥し穴状遺構




1号陥し穴状遺構　A－A'
1　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu（～3㎜）3％
　To-Nb（～5㎜）ごく微量
2　10YR1.85/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu（～3㎜）3％
　To-Nb（～5㎜）ごく微量
3　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　Ⅳ層起源　To-Cu（～2㎜）40％
4　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　Ⅳ層起源　To-Cu（～3㎜）3％
5　5Y7/1　灰白色　シルト　粘性弱・しまり中　テフラ？
6　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　Ⅳ層起源　To-Cu（～2㎜）40％
7　10YR3/1黒褐色シルトと10YR1.7/1黒色シルトの混土　6：4　粘性中・しまり中
　Ⅴ層To-Cu混入土ブロック10％、To-Nb（～1㎝）5％
8　10YR4/3にぶい黄褐色粘土質シルトと10YR2/1黒色シルトの混土　7：3
　粘性中・しまり中　Ⅵ～Ⅶ層の崩落
9　7.5YR5/8　明褐色　パミス　粘性なし・しまりなし
　To-Nb（～1.5㎝）Ⅷ層上位の崩落　10YR2/1黒色シルト10％
10　10YR3/2黒褐色シルトと10YR2/1黒色シルトの混土　6：4　粘性中・しまり中
　Ⅵ～Ⅶ層の崩落　To-Nb（～1㎝）5％
11　10YR4/2　灰黄褐色　粘土質シルト　粘性強・しまり弱　Ⅵ～Ⅷ層の崩落
　To-Nb（～1.5㎝）70％
12　7.5YR5/8　明褐色　パミス　粘性なし・しまりなし　Ⅷ層上位の崩落
　To-Nb（～1.5㎝）
13　7.5YR1.7/1　黒色　粘土質シルト　粘性強・しまり強　To-Nb（～1㎝）20％
14　2.5Y7/6～7.5YR5/8　明黄褐～明褐色　パミス　粘性なし・しまり強
　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト10％
15　7.5YR1.7/1　黒色　粘土質シルト　粘性強・しまり弱

## 2号陥し穴状遺構




2号陥し穴状遺構　A－A'
1　10YR1.7/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu全体に散在
　To-Nb（～1㎝）1％
2　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cuブロック10％
　To-Nb（～5㎜）5％
3　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり中　To-Cu（～2㎜）40％
　To-Nb（～5㎜）5％
4　10YR1.85/1　黒色　シルト　粘性弱・しまり中　To-Cu全体に散在
　To-Nb（～5㎜）5％
5　10YR2/1　黒色　シルト　粘性中・しまり弱　To-Nb（～1㎝）20％
6　10YR1.7/1黒色シルトと10YR2/1黒色シルトの混土　5：5
　To-Cuブロック10％　To-Nb（～1㎝）10％
7　10YR6/1　明黄褐色　パミス　粘性なし・しまり弱　Ⅷ層の崩落
　To-Nb（～1㎝）　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト（Ⅸ層）20％
8　7.5YR5/8　明褐色　パミス　粘性なし・しまりなし　Ⅷ層上位の崩落
　To-Nb（～1㎝）
9　2.5Y7/6～7.5YR5/8　明黄褐～明褐色　パミス　粘性なし・しまり強
　Ⅷ層の崩落　To-Nb（～5㎜）　10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト（Ⅸ層）10％
10　7.5YR1.7/1　黒色　粘土質シルト　粘性強・しまり弱

0　1：40　1m

第12図　1・2号陥し穴状遺構

# Ⅴ 出 土 遺 物

今回の調査で出土した遺物は、縄文土器157.85kg（大コンテナ…42×32×30㎤換算約7.3箱、土製品51点（730.99ｇ）、石器202点（23.93kg）と剥片・素材31.97kg（大コンテナ換算約1.5箱）、石製品３点（297.18ｇ）、植物遺体で、総重量は214.78kgである。以下、図の掲載方法について述べておく。なお、掲載基準については、Ⅲ章２節「遺物整理の方法」を参照いただきたい。

**掲載順序**

遺構内・外出土を問わず遺物種別毎に分け、土器→土製品→石器→石製品の順に掲載した。各遺物種別内では遺構内・外に分け、遺構内→遺構外と掲載している。なお、植物遺体についてはⅦ章「自然科学的分析」の項で写真を掲載している。

**遺構内出土遺物**

遺構の順序はⅣ章の記載どおりとし、それぞれを床・底面→床・底面直上→埋土の順に掲載している。１号竪穴住居跡のみ、埋土出土分も層位を優先させ下位から順に載せているが、他については器種細別毎とした。

**遺構外出土遺物**

土器は、出土層位（上層→下層）→器種細別→グリッドの優先順位で掲載した。それ以外は器種細別→出土層位→グリッドの順である。グリッド順は１Ａ→１Ｂ→……１Ｄ→２Ａ→……である。

## １ 縄 文 土 器（第14～32図、写真図版７～18、第３・５表）

### （１）概　　要

全出土量157.85kgのうち、基本層序Ⅰ層出土分と出土地点不明分を除いた遺構内および遺構外基本層序Ⅱ層以下出土分は138.16kgである。これらの地点別出土量を第５表に示した。

残存状態は、遺構外出土分ほど小破片化しているものが大半を占める。１号竪穴住居跡および１号遺物包含層出土分は比較的良く、また接合率も高い。

既存の土器型式から比定される時期は、１号竪穴住居跡出土分に縄文時代後期後葉のものが見られるほかは、ほとんどが晩期中葉から後葉のものに限定される。

個々の遺物についての記載は「第３表　土器観察表」にあるのでそちらを参照いただきたい。ここではまず、各属性の分類基準とその凡例を示し、それらからまとめた類型を提示する。その後、各遺構・遺構外別に特徴的・代表的な遺物に絞って詳細を記載する。分類作業を通じての特記点や各特徴については、Ⅶ章を参照いただきたい。

### （２）観察項目および観察表における記載凡例

以下に観察表記載項目中での特記点について記載する。

ａ）器種

確認された器種は、深鉢形、鉢形、台付鉢形、浅鉢形、台付浅鉢形、壺形、足付形、注口形、香炉形、小型である。破片資料については完全に同定できたわけではなく、あくまでも推定表記である。

ｂ）残存部位

略完形としたものは、口縁部から底部まで残存し、かつ全体の３／４程度まで復元されたものであ

る。完形としたものは、破片が数点程度欠落したのみ以上のものである。

c）器形

断面形態を分類したものである。出土点数の少ない足付浅鉢形、注口形、香炉形以外の器種について作業を実施している。ただし、全形近くまで復元された個体が少なく、対象の大半が破片資料であるため、口縁～胴部と底部の2区画に分割して観察した。この際、口縁～胴部に関しては、器種により器形も多様であるため別分類としたが、底部についてはすべて同一基準で分類している。各分類基準と分類模式図（第13図）は以下のとおりである。

**口縁～胴部**

**深鉢**

A類　胴部上位が曲線的に張り出し、頸部が鋭く屈曲して口縁部が直線的に外傾するもの。

B類　胴部上位が曲線的に張り出し、頸～口縁下位が曲線的に括れ、それ以上が外傾するもの。

C類　胴～頸部境が鋭く屈曲して頸部が内傾し、頸部以上が曲線的に括れて立ち上がるもの。

D類　胴～頸部境が鋭く屈曲して頸部が内傾し、頸部が直線的に立ち上がったのち、口縁部が鋭く屈曲して外傾するもの。

E類　胴部上位が曲線的に張り出して頸部が内傾し、口縁部が垂直方向に立ち上がるもの。

F類　胴部上位が曲線的に張り出し、頸部が鋭く屈曲して口縁部が短く外傾するもの。

G類　胴～頸部にかけて明瞭な屈曲点を持たずに外傾し、口縁部が直線的に外反するもの。

H類　胴～口縁部にかけて明瞭な屈曲点を持たずに曲線的に外傾するもの。

I類　胴部が明瞭な屈曲点を持たずに曲線的に立ち上がり、口縁部が内傾するもの。

**鉢**

A類　胴部上位が曲線的に張り出し、頸部が曲線的に括れ、口縁部が外傾するもの。

B類　胴部上位が曲線的に張り出し、胴～頸部境と頸～口縁部境が鋭く屈曲して口縁部が外傾するもの。頸部は直線的で比較的長い。

C類　胴～頸部境が鋭く屈曲して頸部が内傾し、口縁部が短く外傾するもの。

D類　胴～頸部境が鋭く屈曲して頸部が内傾し、口縁部が外傾するもの。頸・口縁部とも短い。

E類　胴部上位～頸部が曲線的に張り出し、それ以上が内傾するもの。

F類　胴部～口縁部にかけて明瞭な屈曲点を持たずに曲線的に外傾するもの。

G類　頸部が曲線的に括れ、口縁部が垂直方向に短く立ち上がるもの。

H類　胴部上位が曲線的に張り出し、口縁部が短く外傾するもの。

**浅鉢・台付浅鉢**

A類　胴部上位が曲線的に張り出し、頸部が曲線的に括れ、口縁部が外傾するもの。

B類　頸部が内側に屈曲して括れ、それ以上が外傾するもの。

C類　頸部が鋭く屈曲してそれ以上が内傾するもの。

D類　胴部～口縁部にかけて明瞭な屈曲点を持たずに曲線的に外傾するもの。

E類　胴部～口縁部にかけて外傾し、頸部が緩く内側に屈曲するもの。

F類　胴部～口縁部にかけて直線的に外傾するもの。

**壺**

頸部形態で分類する。

A類　鋭く屈曲するもの。

B類　曲線的なもの。

**底部**

Ⅰ類　底面は平坦、底部は境が角張り直線的に外傾するもの。

Ⅱ類　底面は平坦、底部は境が角張り内湾気味に外傾するもの。

Ⅲ類　底面は平坦、底部は境が角張り一旦ほぼ垂直に立ち上がったのち、直線的に外傾するもの。

Ⅳ類　底面は緩い丸底、底部は境が曲線的で直線的に外傾するもの。

Ⅴ類　底面はごく浅い上げ底、底面は境が角張り一旦ほぼ垂直に立ち上がったのち、直線的に外傾するもの。

Ⅵ類　底面は凸状の浅い上げ底、底部は境が角張り内湾気味に外傾するもの。

Ⅶ類　底面は凸状の浅い上げ底、底部は境が鋭角で下位で括れたのち直線的に外傾するもの。

Ⅷ類　底面は凸状の上げ底、底部は境が角張り内湾気味に外傾するもの。

Ⅸ類　底面は台形状の上げ底、底部は境が角張り直線的に外傾するもの。

Ⅹ類　底面は平坦で台部を有し、底部は下位で括れたのち直線的に外傾するもの。

Ⅺ類　底面は凸状で台部を有し、底部は下位で括れたのち直線的に外傾するもの。

d）文様等の特徴

部位毎に分けて記載した。箇所により器形が異なるばあいの記載（○○縁、○○突起など）もこの項目で行った。分類と類名は以下のとおりである。

**深鉢**

深鉢は口～頸部に文様帯を持つものはあるが、胴部に持つものはない。よって分類は主に文様帯種を対象にしている。

1類　口～頸部に地紋がなく、横位の沈線が施されるもの。胴部以下には地紋が施される。

1ａ類　頸部下位に1本のみ施文され、以上が無文のもの。

1ｂ類　2本施文されるもの。

1ｃ類　上位と下位に1本ずつ施文され、その間が無文帯となるもの。

1ｄ類　等間隔で3本以上施文されるもの。

1ｅ類　頸部下位に3本施文され、以上が無文のもの。

2類　口～頸部が無文のもの。胴部以下には地紋が施される。

3類　全体に地紋が施文され、口～頸部に横位の沈線が施されるもの。

4類　全体に地紋のみが施されるもの。

5類　その他。

**鉢・台付鉢**

1類　口～頸部、胴部に文様帯のあるもの。

1ａ類　口～頸部に地紋がなく、横位の沈線が施されるもの。胴部文様は主に扁平な雲形文である。沈線の本数と状態で細分する。

1ａア類　2～3本施文されるもの。

1ａイ類　上位と下位に1本ずつ施文され、その間が無文帯となるもの。

1ｂ類　口～頸部に地紋がなく、頸部下位に横位の刻目列が施されるもの。

1ｃ類　地紋の施されないもの。

2類　口～頸部に文様帯があり、胴部以下には地紋のみ施されるもの。

2ａ類　口～頸部に地紋がなく、横位の沈線が施されるもの。さらに細分する。

2ａア類　頸部に1条施され、以上は無文のもの。

2ａイ類　2本施文されるもの。
2ａウ類　上位と下位に1本ずつ施文され、その間が無文帯となるもの。
2ａエ類　3本以上施文されるもの。
2ｂ類　全体に地紋が施文され、口～頸部に横位の沈線が施されるもの。さらに細分する。
2ｂア類　2本施文されるもの。
2ｂイ類　3本以上施文されるもの。
2ｃ類　口～頸部に地紋がなく、工字文が施されるもの。
2ｄ類　口～頸部が無文のもの。
3類　全体に地紋のみが施されるもの。
4類　縦位の櫛目状沈線のみが施されるもの。
5類　その他。

**浅鉢・台付浅鉢**

1類　口～胴部が単一の文様帯で構成されるもの。(三叉文が施されている)
2類　口～頸部、胴部に文様帯のあるもの。口～頸部文様帯には横位の沈線が施される。主に胴部文様種で分類する。
2ａ類　口～頸部に地紋が施されないもの。胴部文様は主に扁平な雲形文である。
2ｂ類　地紋が施されず、胴部に工字文が施されるもの。
2ｃ類　無紋のもの。
3類　口～頸部に文様帯があり、胴部以下には地紋のみ施されるもの。
3ａ類　口～頸部に地紋がなく、横位の沈線が施されるもの。さらに細分する。
3ａア　頸部下位に1本のみ施文され、以上が無文のもの。
3ａイ　2本以上施文されるもの。
3ａウ　上位と下位に1本ずつ施文され、その間が無文帯となるもの。
3ｂ類　口～頸部に地紋がなく、長楕円文が施されるもの。
3ｃ類　口～頸部が無文のもの。
4類　全体に地紋が施され、口縁部に文様帯を持つもの。(214) 文様帯は3列の刺突で構成される。
5類　口～頸部文様帯が地紋のみで構成され、胴部が無文のもの。
6類　無文のもの。
7類　全体に地紋のみが施されるもの

ｅ）内面調整

口唇下に施される沈線の有無、ナデの種類と方向などを記載した。後者については、部位毎に異なるばあいは分けて記載している。

ｆ）備考

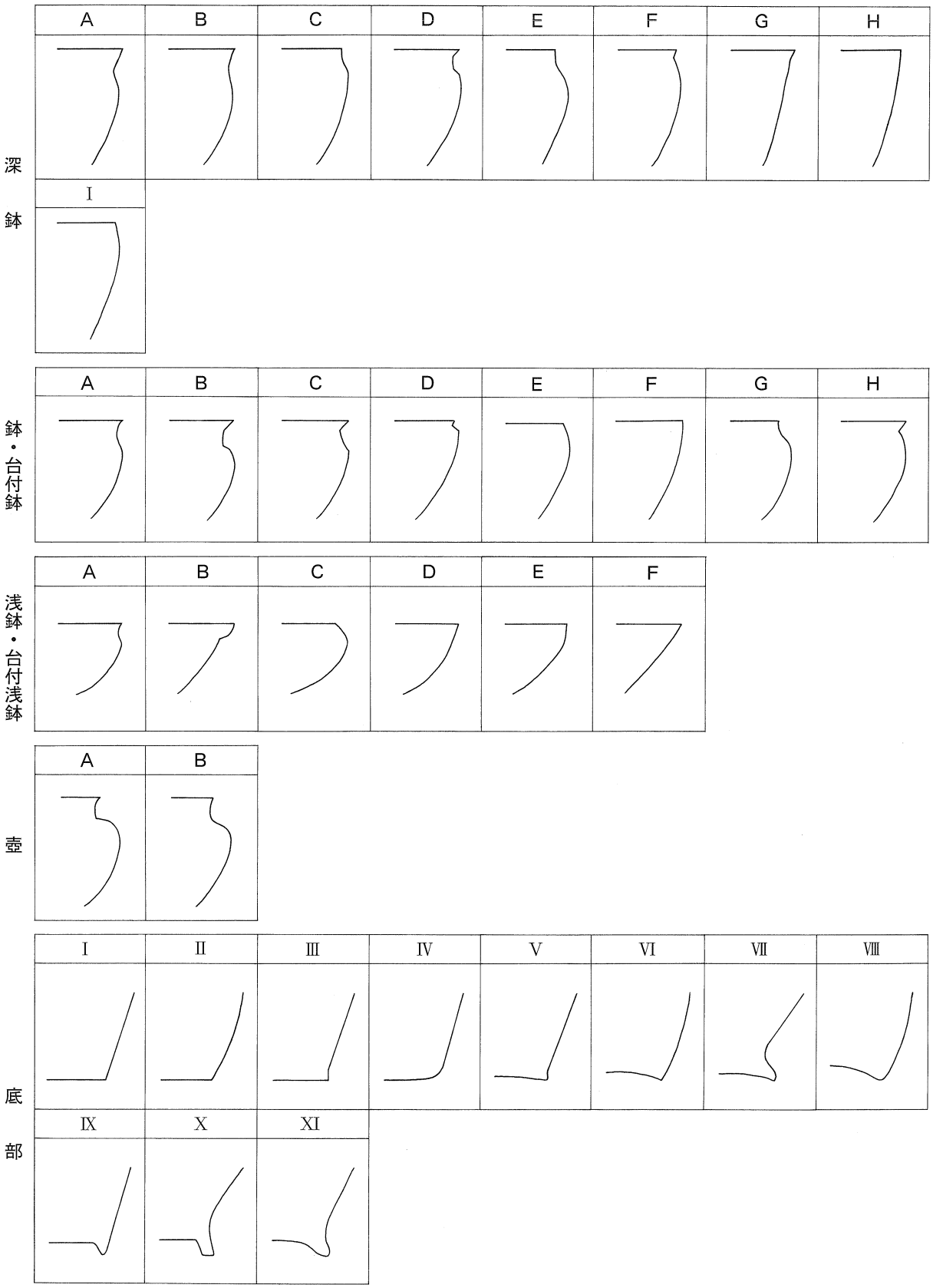
胎土の状態および混入物などのほか、特記事項を記載した。

## (3) 詳細の記載

特徴的・代表的な遺物に絞って詳細を記載する。

ａ）遺構内出土土器

**竪穴住居跡**　床面出土分のうち、1は後期後葉の高柳瘤付土器第Ⅱ段階（高柳 1988、小林 2001)、十腰内Ⅴ式相当と推定されるもので、他に関してもこれと同期と考えられる。6も同時期か。埋土分




第13図　土器器形分類模式図

では、14・17・24など晩期中～後葉頃（大洞Ｃ１～Ａ式）のものが少数あるが、他は後期中～後葉に比定されるものと思われる。

**遺物包含層（捨て場）**　深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、壺、注口、小形の各器種が確認される。11Ｃグリッド出土分に後期後葉（112）のものがみられる以外は大洞Ｃ１～Ａ式に比定され、とくに口縁部に平行沈線の施文される大洞Ｃ２式期のものが大半を占める。

**土坑**　３号土坑から出土した123は全体が緩く内湾する浅鉢で、後期後葉頃のものと思われる。同遺物は１号竪穴住居跡埋土上位出土破片と接合しており、土坑構築時にその掘削土（１号竪穴住居跡埋土）に混入したものがそのまま土坑埋土として埋め戻されたものと推定される。

これ以外の遺物はすべて地紋のみの破片であり、詳細は不明である。

**陥し穴状遺構**　１号陥し穴状遺構出土の131は、口縁に平行沈線の施文された大洞Ｃ２式である。これ以外の遺物はすべて地紋のみの破片であり、詳細は不明である。

ｂ）遺構外出土土器

遺構外出土総量は114,674.37ｇで、そのうちの109点・14,895.99ｇを掲載した。

**Ⅱ層**　134は平面が方形基調で、脚部を有する。上部が未検出のため器種は不明である。

**Ⅲ層**　142は口縁部に横位沈線の施文されるタイプの鉢であるが、鉢にしては珍しく口唇に指頭状押圧が施される。器種が異なるものの151と施文手法が同様である。143は口縁部に地紋が施文されず２本の平行沈線が施される浅鉢で、この沈線上に２個１組の粘土瘤が付けられる。本層出土土器は大洞Ｃ２式で占められるが、唯一158は後期後葉のものである。

**Ⅳ層**　出土量が最も多く、深鉢、鉢、台付鉢、浅鉢、壺、注口、足付、小型の各器種が存在する。深鉢の口縁部装飾および形態には、地紋のみで口縁部が内傾気味になるもののほか、２本の平行沈線間が開き無文となるもの（159・161・162）、Ｂ突起を持ち地紋のみ付されるもの（169・172～175）、口唇に指頭状の押圧が施され小波状化し、短く外反するもの（177・179～182）などが比較的多く見られる。鉢および台付鉢は、口縁部に平行沈線が施され胴部は地紋のみのもの（196～205・208）が最も多量で、口縁部が短く胴部に扁平な雲形文が施されるもの（190～195）が若干存在する。浅鉢も鉢類と同傾向である。壺は全体の器形が観察できるほど復元されたものがないため詳細不明であるが、口縁部装飾には口唇上に沈線が廻るもの（224～227）、２個１組状の粘土瘤を有するもの（224～226）が見られ、胴部にはすべて地紋が施されている。231・232は唯一胴部上半に文様帯を有するもので、工字文状の沈線が描かれる。本層出土土器は概ね大洞Ｃ２式の範疇に含まれるものであるが、204・205・231・232のような大洞Ａ式に近い土器も少数存在する。

**その他**　Ⅰ層出土分であるが、大洞Ａ式の浅鉢（240）が出土している。

## 2　土　製　品（第33・34図、写真図版19・20、第６表）

51点・730.99ｇ出土し、Ⅰ層および攪乱出土以外の46点・664.01ｇを掲載した。

**土偶**（241・243～246・254～260）

13点出土し、12点を掲載した。すべて欠損している。241は頭部で、猪首状を呈し耳たぶに穿孔がある。縄文時代後期後半の特徴を有する。他はすべて腕あるいは脚部である。これらの時期は、１号遺物包含層出土分は共伴土器から大洞Ｃ２～Ａ式期、基本層序Ⅳ層出土分はこれに前後する近接時期の間と推定される。

**土版**（247・248・261～264）

土版と推定されるもの（？付き）も含めて７点出土し、６点を掲載した。すべて欠損している。また、すべて沈線のみの施文である。247・248の沈線は直線で太く、側縁にも施されている。262は６条の弧線が左右対称に描かれ、上部に人面意匠らしきものが見られる。264は「く」の字の沈線である。

**異形土製品（球状土製品）**（242・265～268）

５点出土し、すべて掲載した。いずれも上半部は残存しない。下半部形態から、球形（242・265・266）、きのこ形（267・268）に分類される。後者は土冠の頂部の可能性もある。

**土鈴**（269～272）

４点出土し、すべて掲載した。いずれも残存率は１／２以下である。269は器厚が厚く、唯一切り口が確認される。

**耳栓**（273）

長さ１cmと小形で、無孔である。

**粘土塊**（249～253・274～286）

21点出土し、18点を掲載した。すべて写真のみである。形態から団子状、棒状、盤状の３種に分類した。団子状、棒状の２種は１号遺物包含層にも出土が見られ、大洞Ｃ２～Ａ式期のものと考えて差し支えない。また、基本層序４層出土分はこれに前後する近接時期の間と推定される。

## ３　石　　器（第35～45図、写真図版21～30、第２・７表）

石器の出土総量は55.90kgで、その内訳はトゥール202点・23.93kg、剥片および素材31.97kgである。またこのうち、Ⅱ層以下出土分は183点・23.03kg、剥片および素材18.57kgである。全点に対して石材分類および器種分類を実施している。

### （１）石　材　分　類

石材分類の結果と出土重量は以下のとおりである。

**第２表　石材別出土重量**

| 石材名 | 重量（g） | | |
|---|---|---|---|
| | 掲　載 | 不掲載 | 計 |
| チャート | 7,995.55 | 17,412.96 | 25,408.51 |
| 赤色チャート | 791.45 | 5,932.44 | 6,723.89 |
| 頁岩 | 2,012.65 | 5,404.24 | 7,416.89 |
| 珪質頁岩 | 437.86 | 558.04 | 995.90 |
| 黒色頁岩 | 54.51 | 28.66 | 83.17 |
| 赤色頁岩 | 2.38 | 35.18 | 37.56 |
| 凝灰質頁岩 | 246.02 | 1,055.98 | 1,302.00 |
| 瑪瑙 | 2.38 | 32.16 | 34.54 |

| 石材名 | 重量（g） | | |
|---|---|---|---|
| | 掲　載 | 不掲載 | 計 |
| 花崗閃緑岩 | 6,907.19 | 0.00 | 6,907.19 |
| 砂岩 | 3,630.49 | 1,509.70 | 5,140.19 |
| ペグマタイト | 1,129.51 | 0.00 | 1,129.51 |
| 安山岩 | 552.82 | 0.00 | 552.82 |
| 凝灰岩 | 82.45 | 0.00 | 82.45 |
| 閃緑岩 | 79.90 | 0.00 | 79.90 |
| デイサイト | 0.00 | 1.31 | 1.31 |
| 合計 | 23,925.16 | 31,970.67 | 55,895.83 |

### （２）器　種　分　類

以下、器種毎に解説していく。詳細の記述は遺構内あるいはⅡ層以下出土品に限定している。なお、出土総量の後に記載したカッコ内数値は、遺構内あるいはⅡ層以下出土品の数量である。

**石鏃**（294～296・325・328～348）

34（28）点出土し、25点を掲載した。なお本類には未製品や製作途中の欠損品で石錐の可能性があるものも含めている。形態は、大半が凸基の有茎鏃で、無茎類は４号土坑埋土、９ＣⅢ層の各１点ずつおよびⅠ層出土分に限られる。また、１号遺物包含層出土３点の茎部にアスファルトの付着が見られる。石材は頁岩、珪質頁岩、赤色頁岩である。

**尖頭状石器**（297・349）

長軸の一端を尖頭状に作出しているものの、未製品あるいは欠損のため定形化していないものを一括した。5（4）点出土し、うち2点を掲載した。

**石錐**（298・299・350～353）

6（6）点出土し、全点掲載した。いずれも基部が幅広である。石材は頁岩が多く用いられ、チャート、瑪瑙が1点ずつある。

**石匙**（300・301・354・355）

5（4）点出土し、4点を掲載した。横型、縦型、三角型がある。石材は頁岩、珪質頁岩である。

**スクレイパー類**（289・302～304・356～362）

調整縁・面を問わず、連続する剥離調整が1縁の2分の1以上におよぶものをスクレイパー類として登録した。さらに、刃部角60度以上を掻器的、以下を削器的と細分している。21（18）点出土し、うち12点を掲載した。掻器的なものは2点のみであり、いずれも珪質頁岩製である。削器的なものはすべて頁岩製である。

**二次加工ある剥片**（364・365）

刃部調整と思われる剥離が1縁の2分の1に満たないもの、もしくは連続しないものをここに登録した。4（3）点出土し、うち2点を掲載した。

**ピエス・エスキーユ**（366～373）

対向する両側縁に、階段状またはリングの密な剥離や打滅痕が認められるものを本類とした。本遺跡では、小形円礫の両極技法による石核が多量に出土しており、これとの区別は打面の状態（線状か点状か）で打撃性格を判断することで行った。12（9）点出土し、8点を掲載している。石材は大半が硬質頁岩で、これらは2～3㎝以下と小形である。いっぽう373はチャート製で、明らかに大きさが異なる。

**異形石器**（374）

1（1）点出土している。石匙状を呈し、左側縁が錐状に尖る。

**両面調整石器**（375）

両面・両側縁に深形調整が施されているものの、どのカテゴリーにも分類できないものを一括した。大半は未製品あるいは製作途中の欠損品と考えられる。4（4）点出土し、1点を掲載している。375は円盤状石核の可能性もある。

**石器片**

二次加工が施されるものの細片状態であり、分類不可能なものを一括した。3（3）点出土したが不掲載である。いずれも急斜度調整が施されており、掻器の可能性が推定される。

**石核**（290・291・293・305～316・324・376～395）

65（63）点出土し、36点を掲載した。石材は珪質頁岩、チャート、頁岩で、前2者が大半を占める。素材状態は、珪質頁岩はすべて円礫、チャートは角礫と円礫が混在する。いずれも両極技法を多用しており、珪質頁岩はすべて5㎝以下で礫面を多く残存する。

**打製石斧**（396）

1（1）点出土している。チャート製である。石質の制限を受けてか、それとも意識・考慮してか、浅形調整が細かく施されている。

**磨製石斧**（397）

1（1）点出土している。閃緑岩製である。基部側が2分の1以上欠損しており形態は不明である。

**礫器**（398・399）

2（2）点出土し、1点を掲載した。いずれも北上山地で産出される粗い頁岩製である。この種の石材は自然剥離を起こしやすく、調整か偽調整かの判断が困難である。しかしこの2点の剥離集中部（刃部）には明瞭な摩滅痕が観察され、当該器種と認定するに至った。なお、両者とも転礫面はない。

**磨石**（287・317・318・400）

8（6）点出土し、4点を掲載した。第Ⅳ章で記述のとおり、1号遺物包含層で一括出土している。石質は花崗閃緑岩で、形態は偏平で左右対称の楕円形である。317のみ頁岩製で、長軸一端側が薄い。

**磨石＋敲石**（319・320）

上述した磨石の長軸端に敲打痕が残存するものである。3（3）点出土し、2点を掲載した。この2点は1号遺物包含層一括出土分で、石材も同じ花崗閃緑岩である。

**磨石＋凹石**（321）

上述した磨石の平面に凹痕が残存するものである。1（1）点出土している。1号遺物包含層一括出土分で、石材も同じ花崗閃緑岩である。

**磨石＋凹石＋敲石**（322）

上述した磨石の平面に凹痕が、また長軸端に敲打痕が残存するものである。1（1）点出土している。1号遺物包含層一括出土分で、石材も同じ花崗閃緑岩である。

**凹石**（401～403）

4（4）点出土し、3点を掲載した。石材は安山岩、砂岩である。

**敲石**（288・292・327・404～410）

15（15）点出土し、10点を掲載した。いずれも素材は円礫で、長軸端に使用痕が見られる。404は長軸両端が薄く、同部に敲打痕が残存する。また部分的にアスファルト様の付着物がある。410は唯一短軸端が使用されている。

**台石**（323）

4（4）点出土し、1点を掲載した。石材は砂岩、ペグマタイトである。

**石皿**（411）

1（1）点出土している。石材は砂岩である。中央部がレンズ状に凹む。

## 4　石　製　品（第45図、写真図版30、第8表）

3点・297.18ｇ出土し、Ⅰ層および攪乱出土以外の2点・240.28ｇを掲載した。いずれも石剣類である。石材は凝灰質頁岩（240.28ｇ）、ホルンフェルス（56.90ｇ）である。

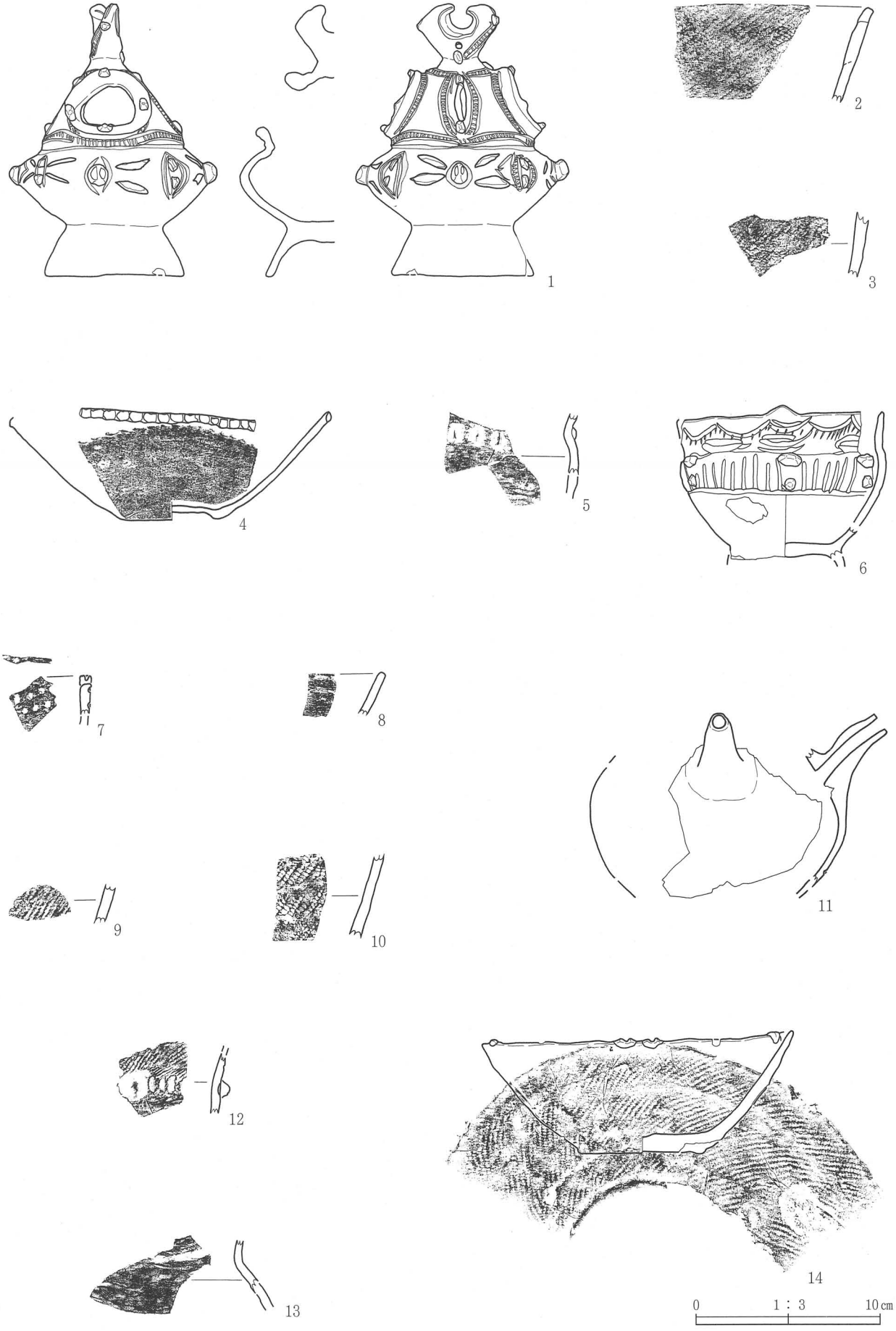
石剣類（412・413）

412は1号遺物包含層出土、413もう1点は遺構外Ⅳ層出土である。石材はともに凝灰質頁岩である。

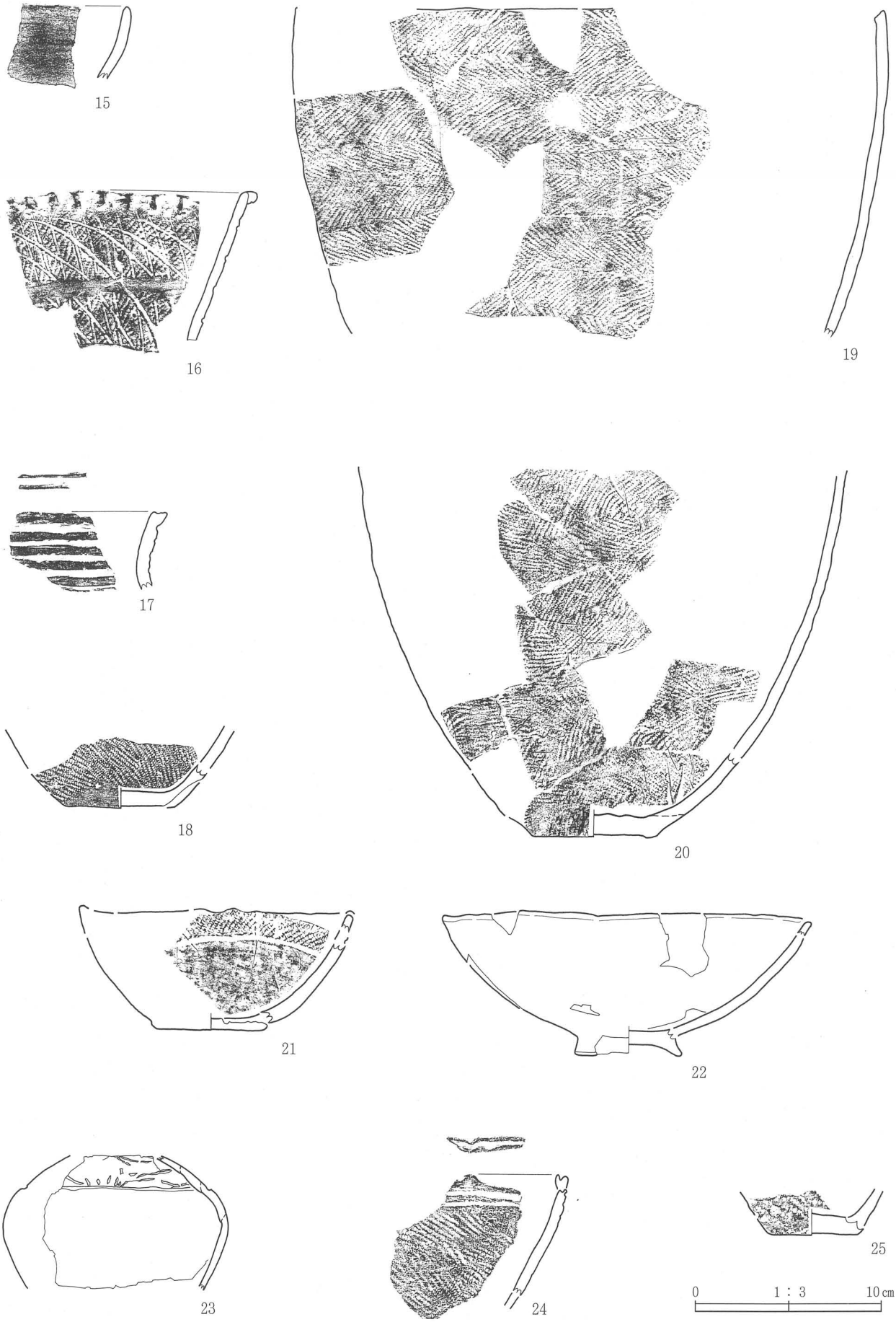
## 5　植　物　遺　体（第47図、第16表）

すべて1号遺物包含層中から検出されたもので、トチノキ、クリ、クルミ属、コナラ属、サンショウが確認された。採取土壌量等はⅢ章1節（6）「遺構内土壌の採取とフローテーション」を、また遺物の詳細についてはⅦ章「自然科学的分析」を参照いただきたい。

1号竪穴住居跡

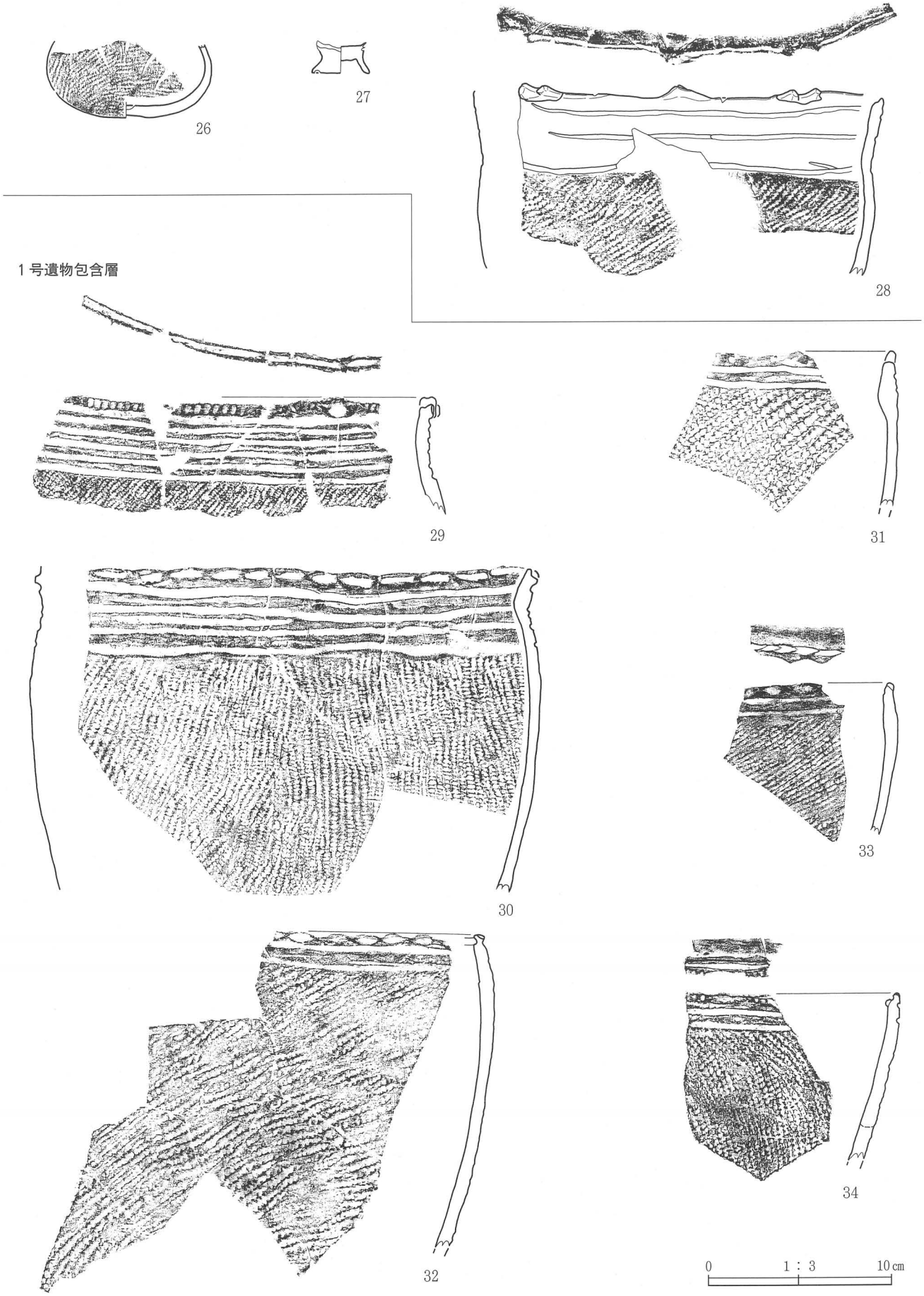



第14図　遺構内出土土器（1）1号竪穴住居跡

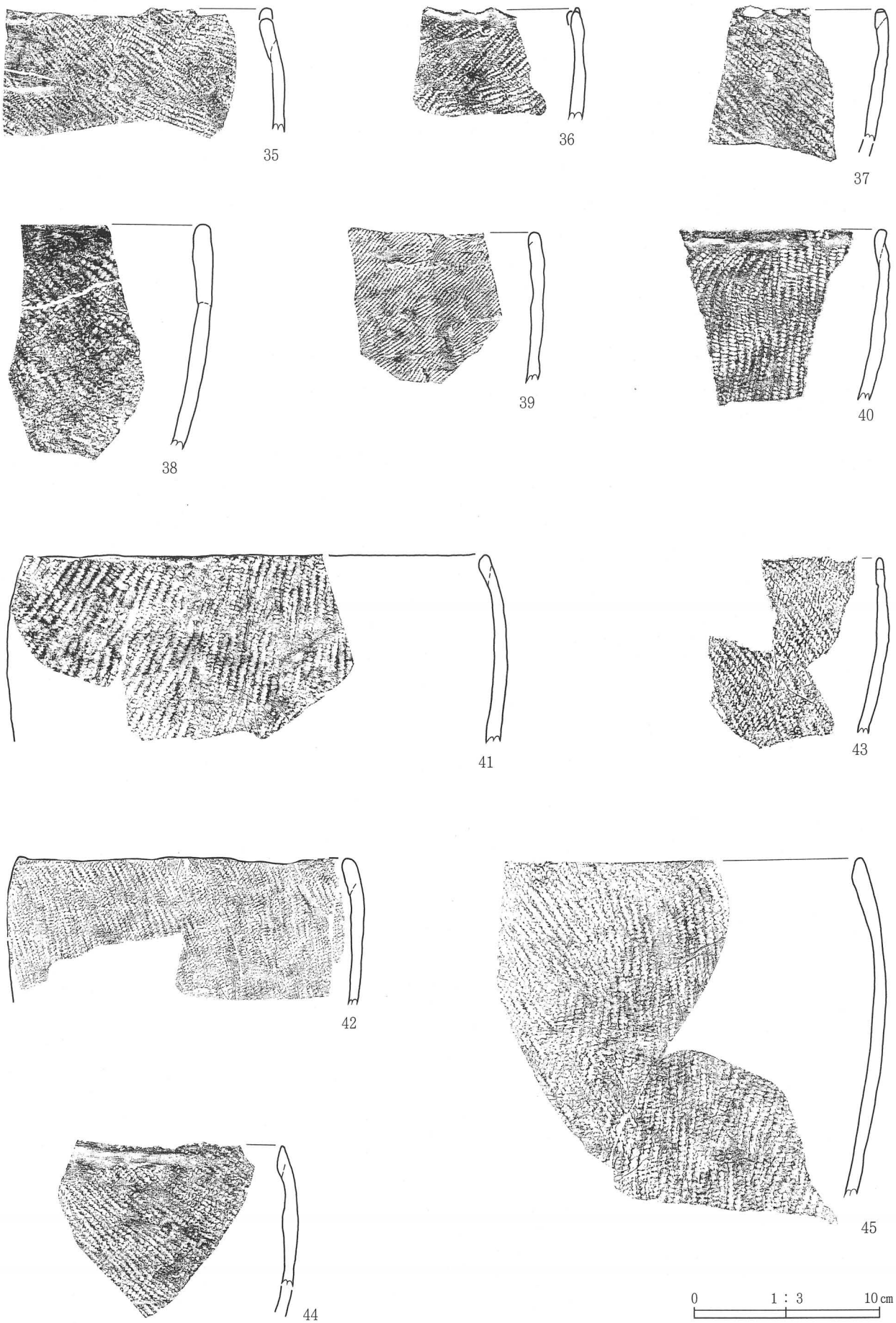



第15図　遺構内出土土器（２）１号竪穴住居跡

縄文土器

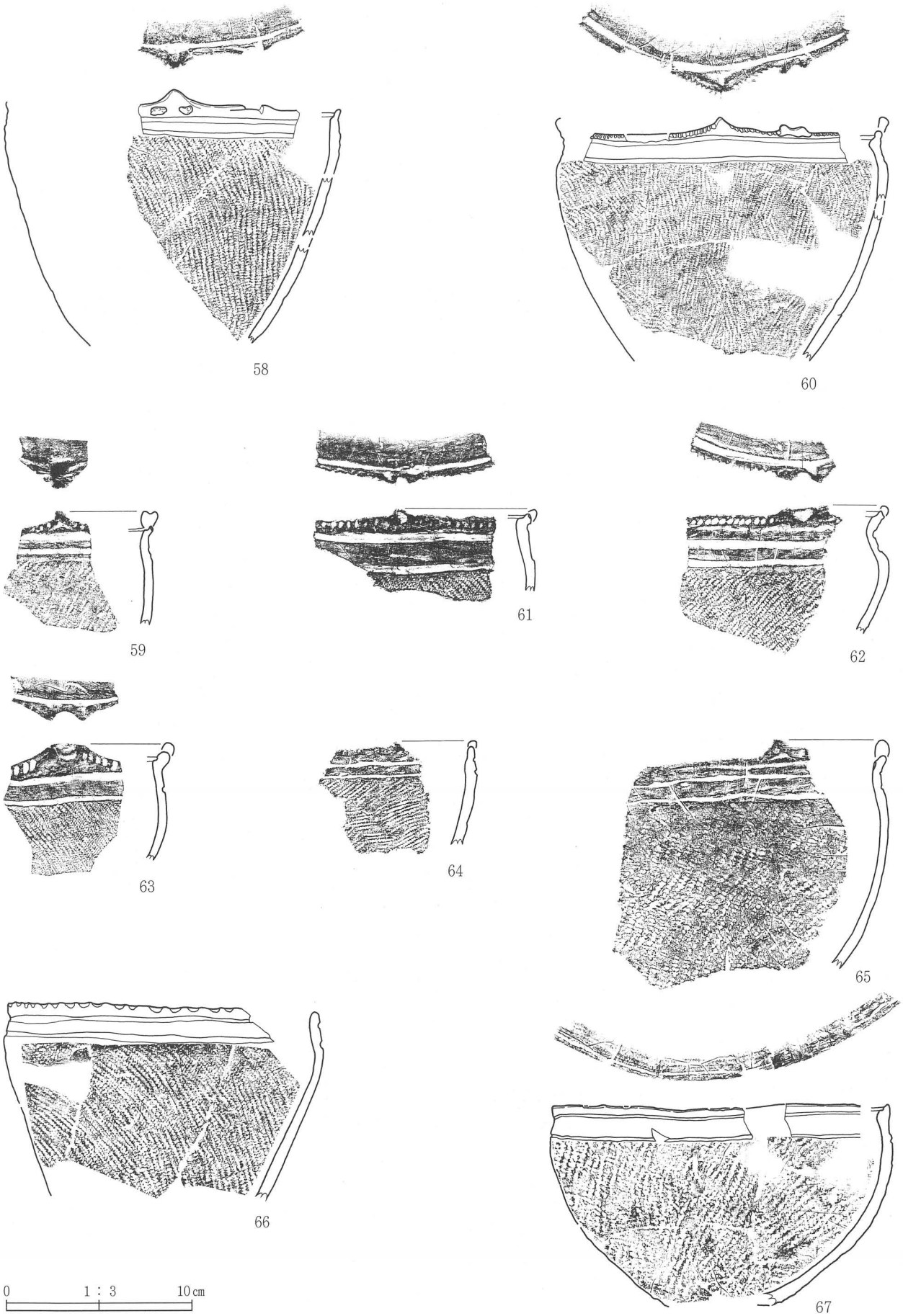



第16図　遺構内出土土器（3）1号竪穴住居跡・1号遺物包含層

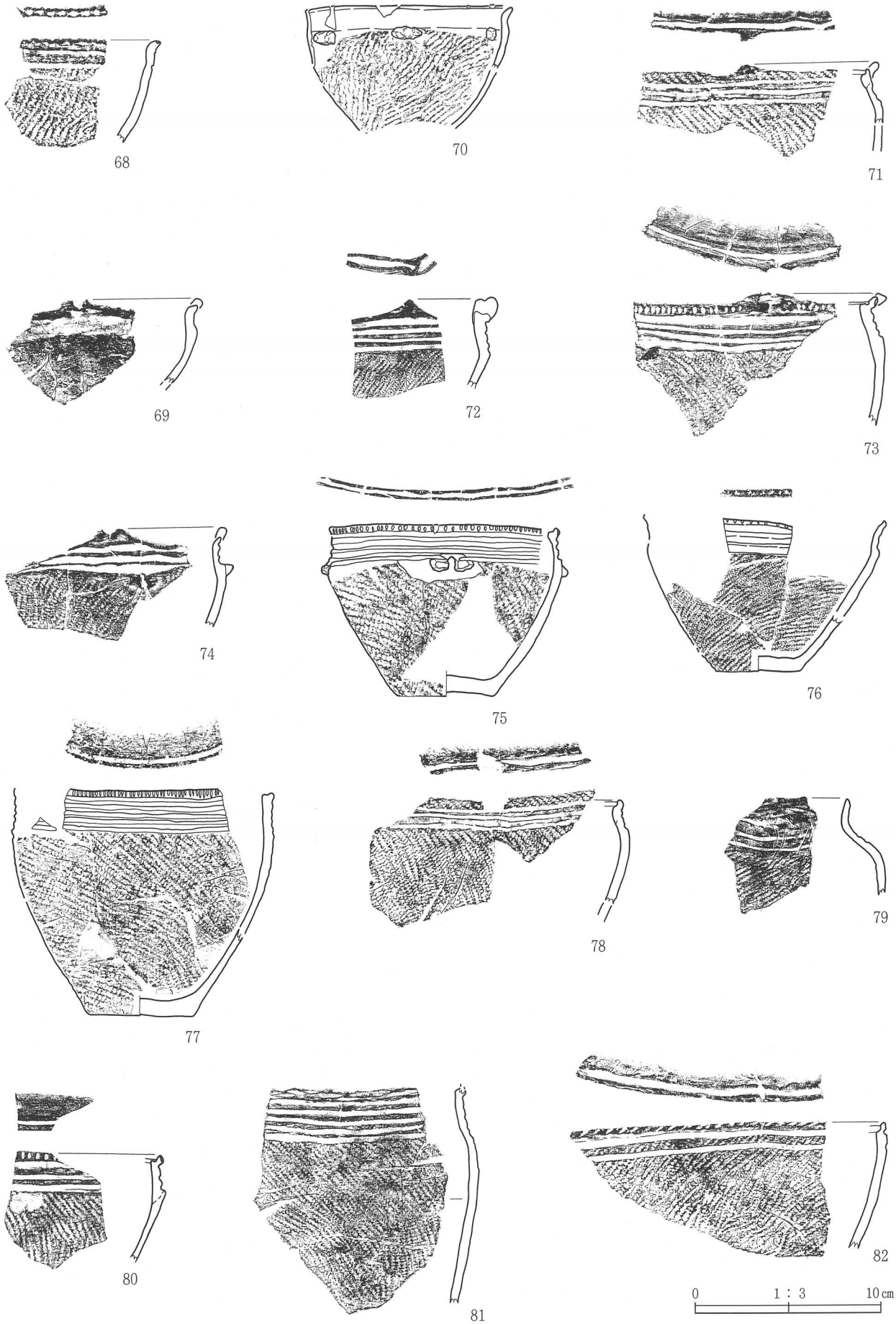



第17図　遺構内出土土器（4）1号遺物包含層

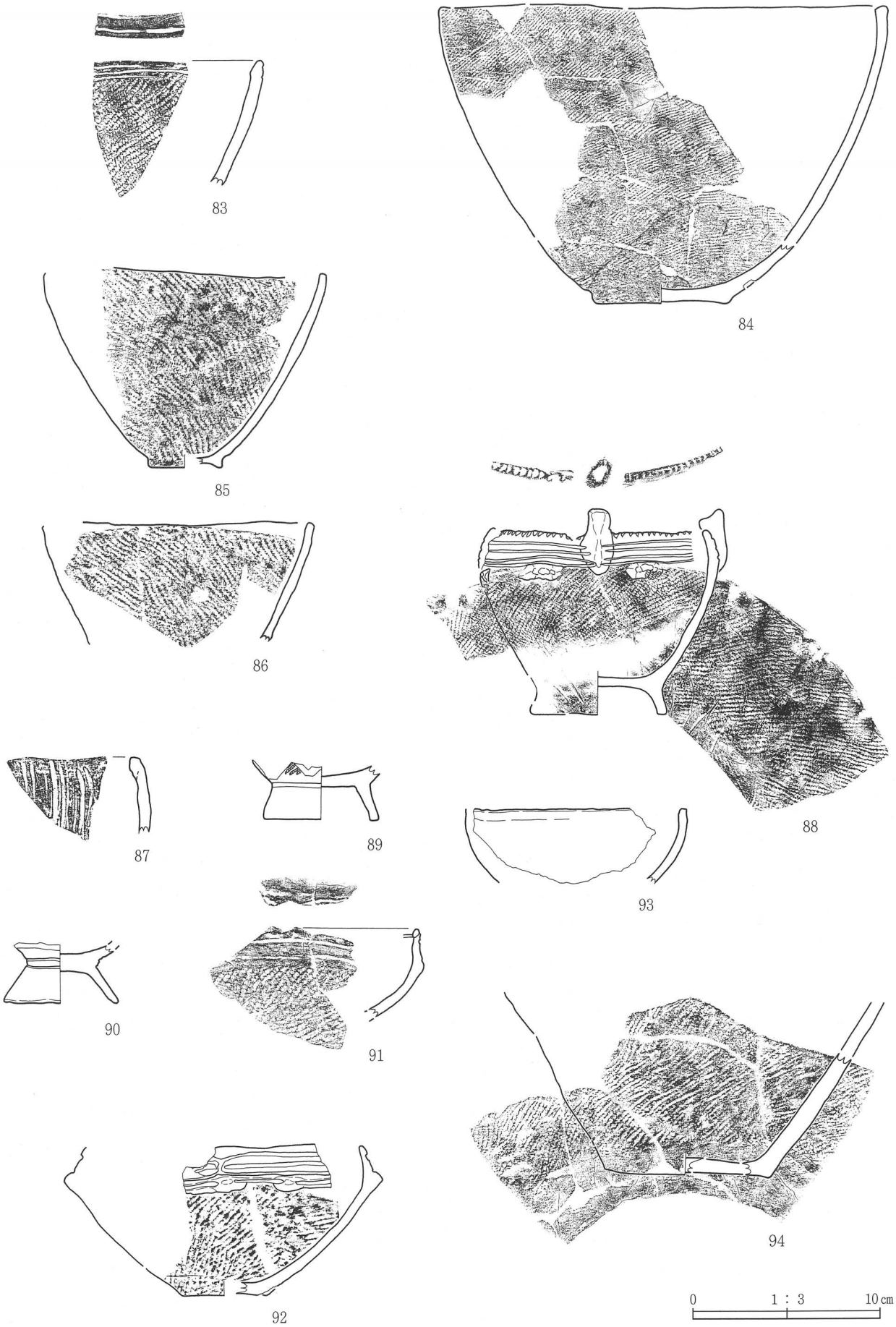
第18図　遺構内出土土器（5）1号遺物包含層



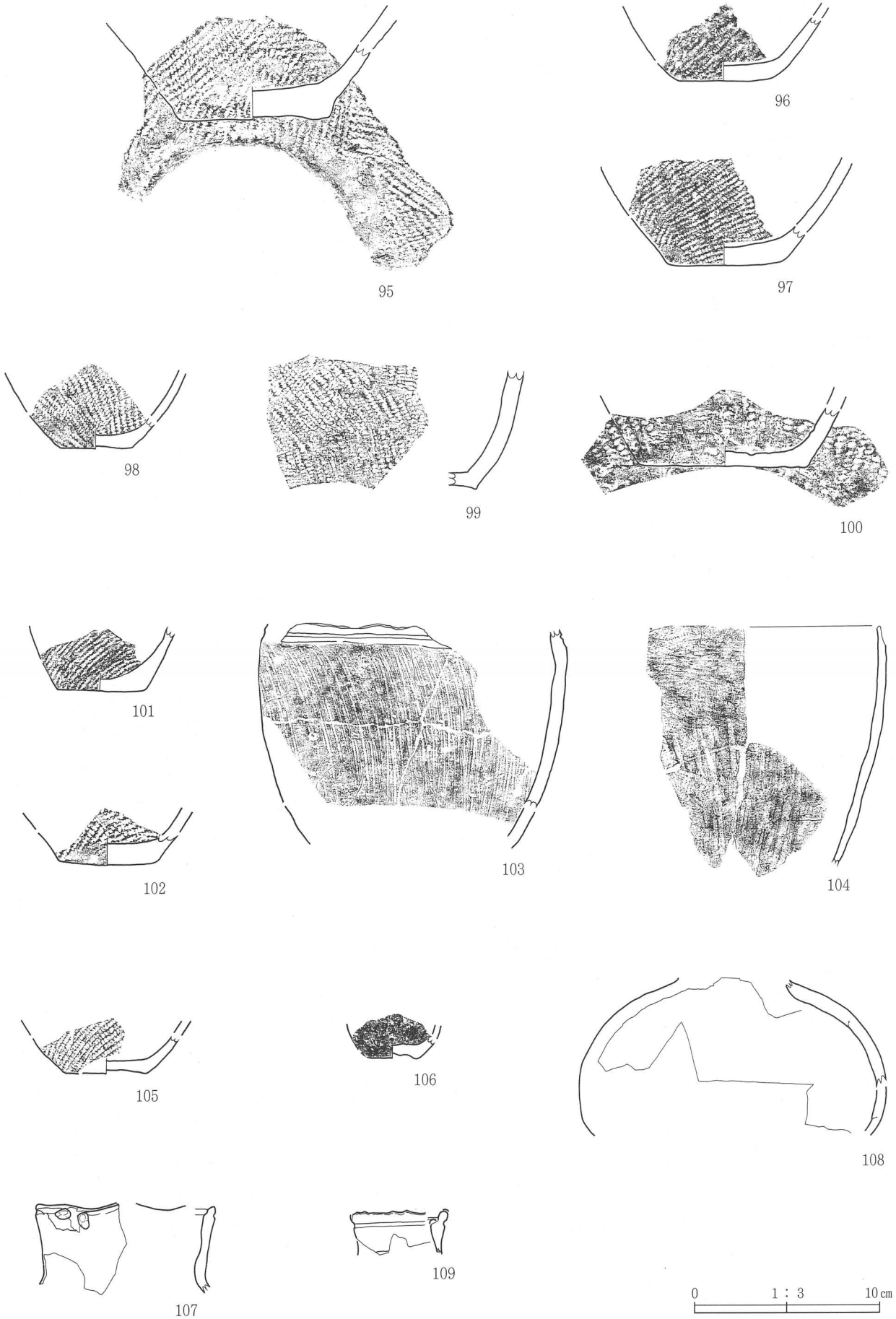

第19図　遺構内出土土器（6）1号遺物包含層



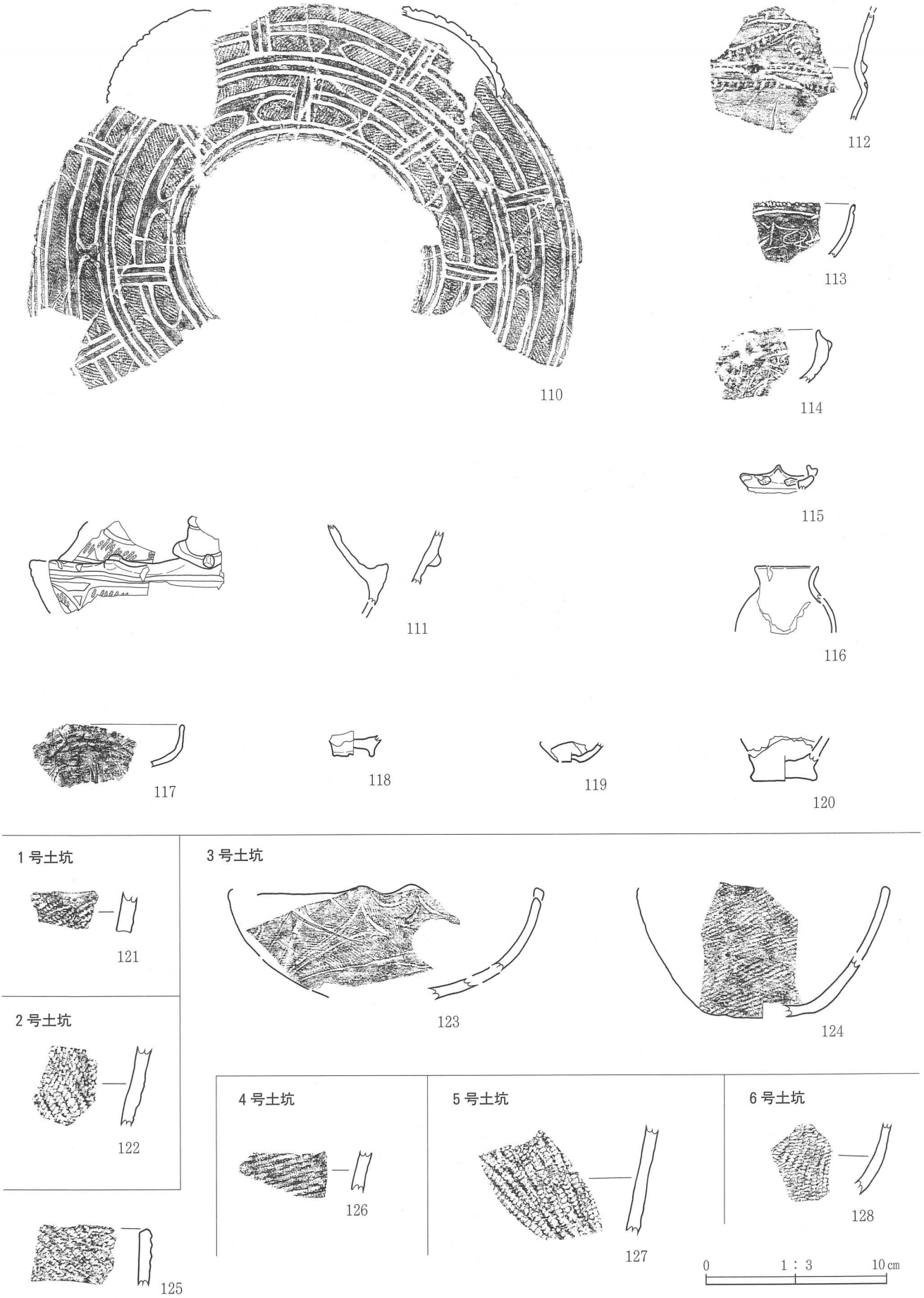

第20図　遺構内出土土器（７）１号遺物包含層




第21図　遺構内出土土器（８）１号遺物包含層



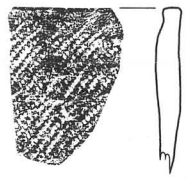

第22図　遺構内出土土器（9）1号遺物包含層

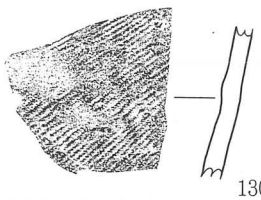


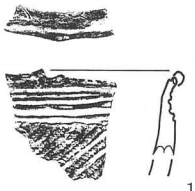

第23図　遺構内出土土器（10）1号遺物包含層

縄文土器

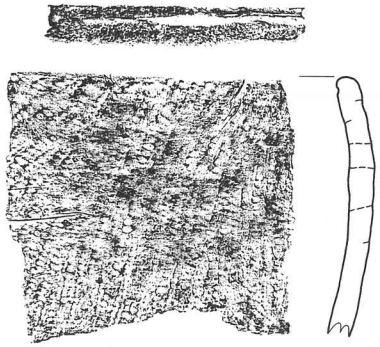
1号陥し穴状遺構

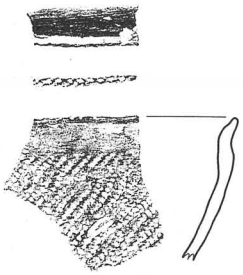

129

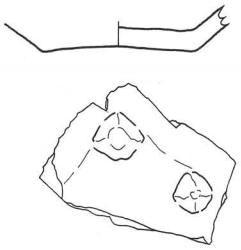

130


131

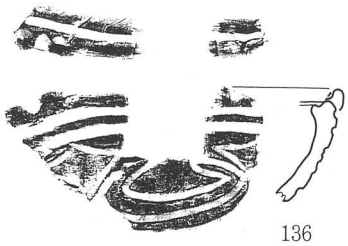
遺構外

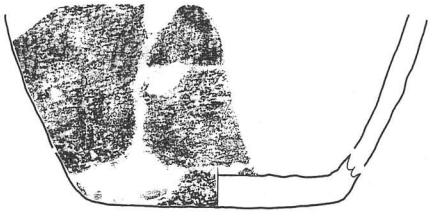

132

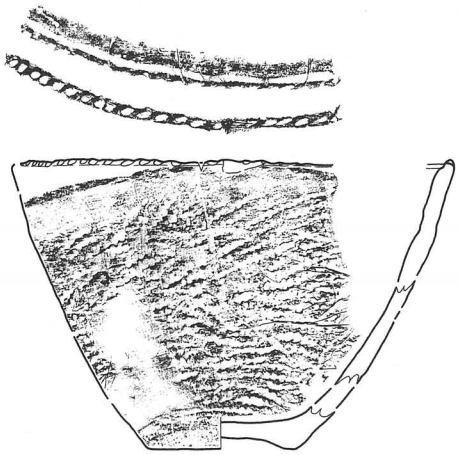

133

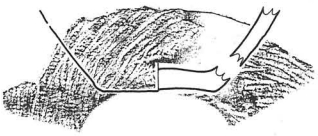

134

135

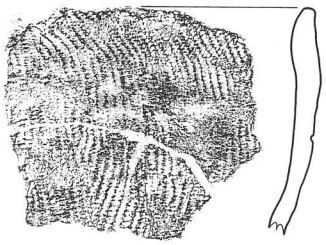

136

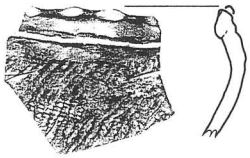

137

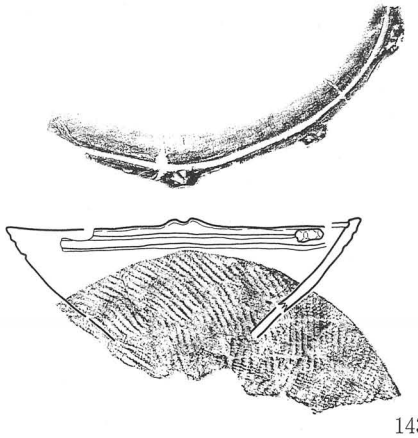

138

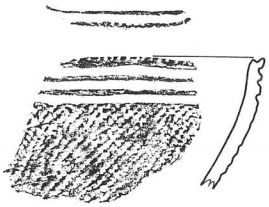

139

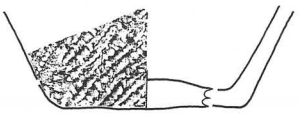
140


141


142

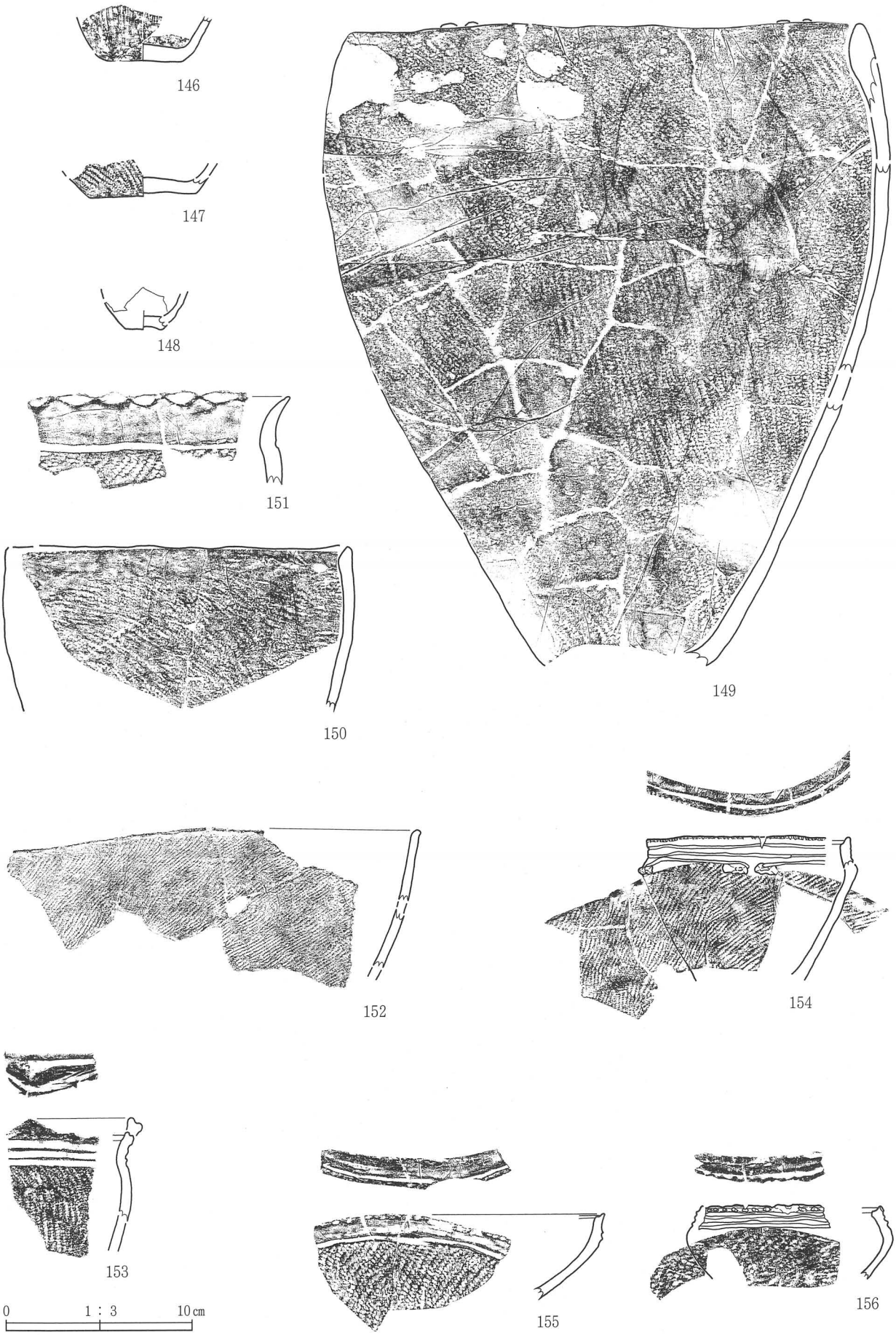

143


144


145

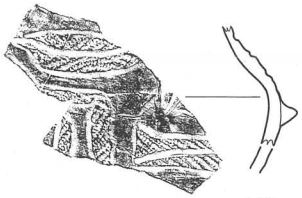
0　1：3　10cm

第24図　遺構内出土土器（11）1号陥し穴状遺構、遺構外出土土器（1）

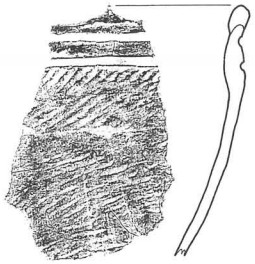



第25図　遺構外出土土器（2）

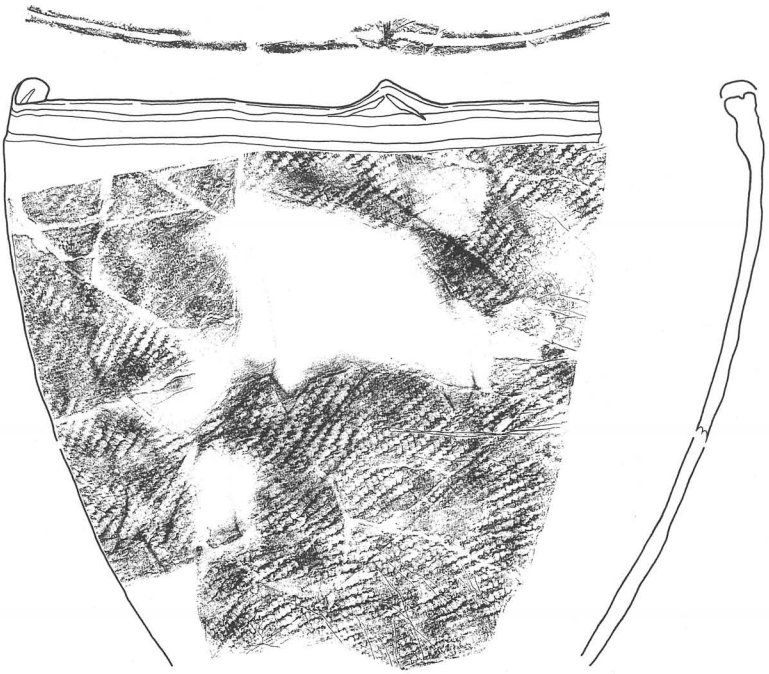
157



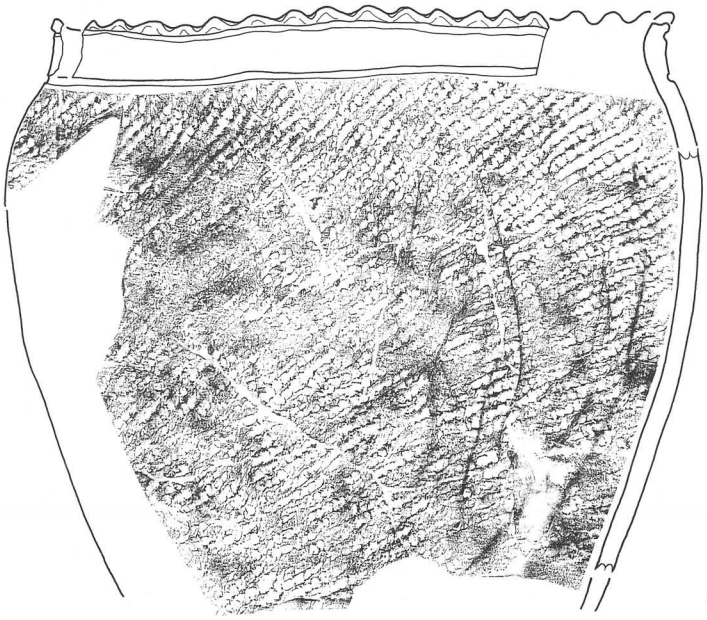
158



160



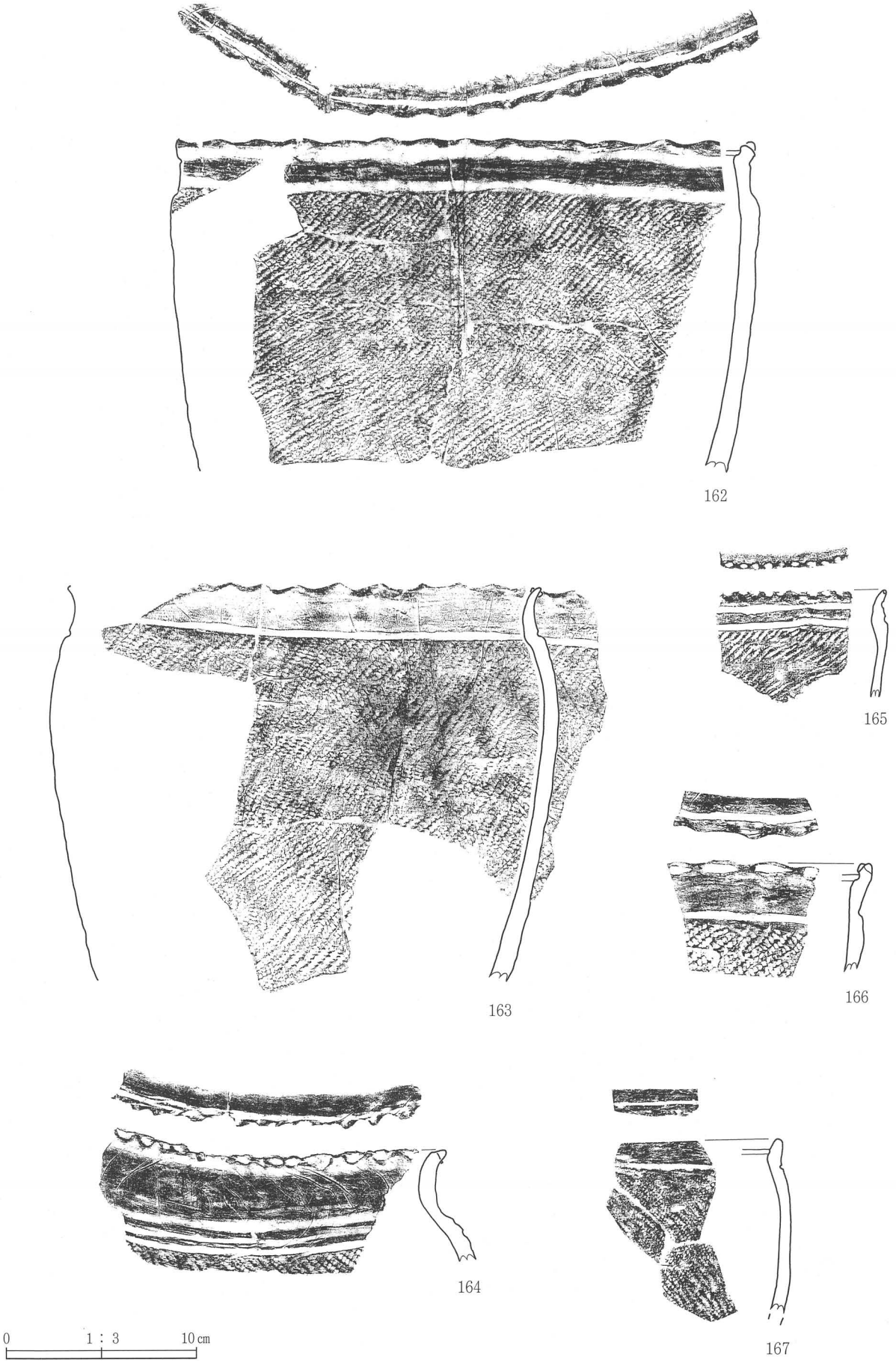
159



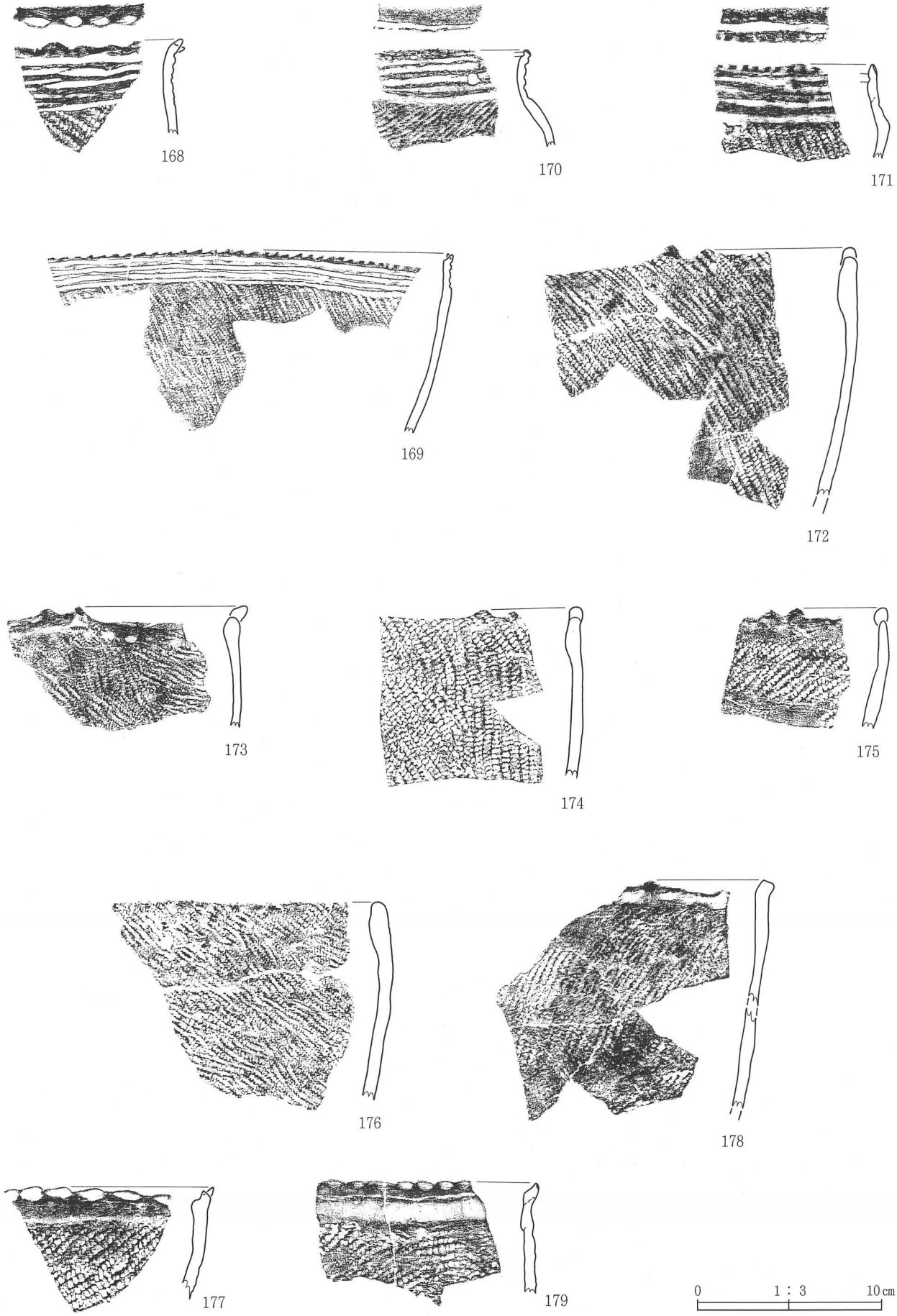
161

0　1：3　10cm

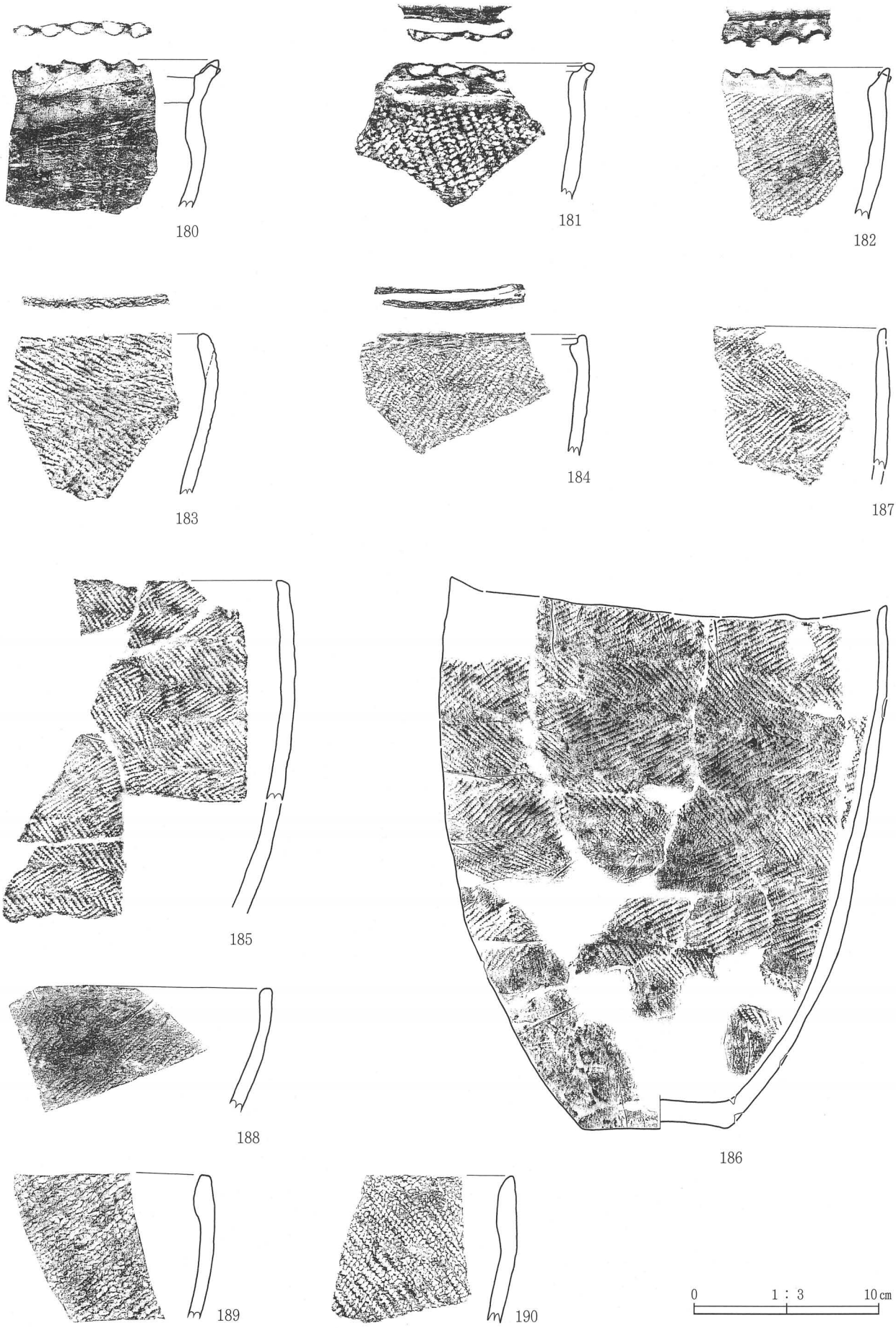
第26図　遺構外出土土器（3）




第27図　遺構外出土土器（4）

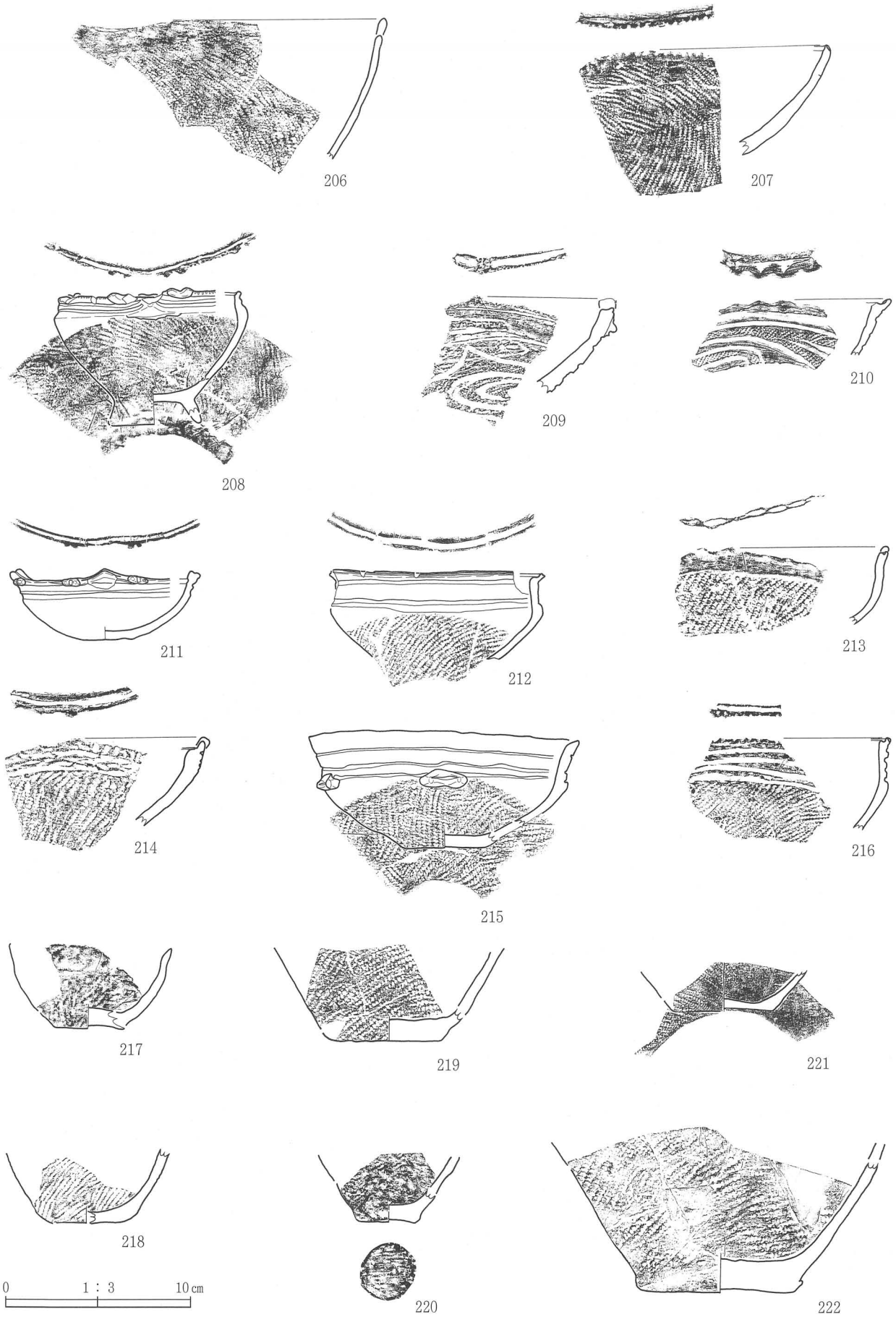



第28図　遺構外出土土器（5）




第29図　遺構外出土土器（6）

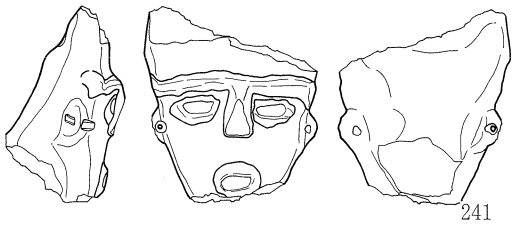
第30図　遺構外出土土器（7）

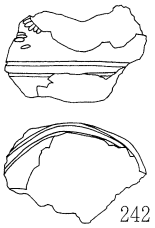


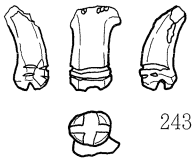

第31図　遺構外出土土器（8）

第32図　遺構外出土土器（9）

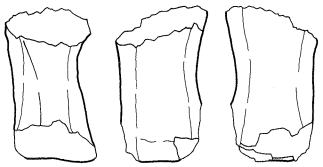
1号竪穴住居跡

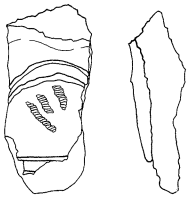


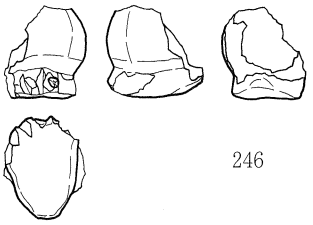



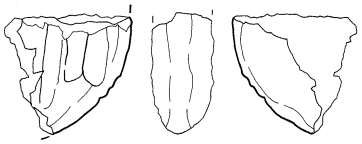



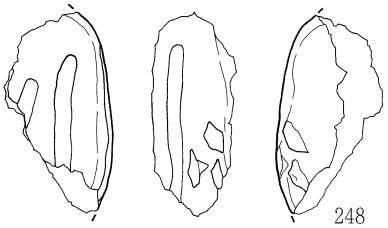

1号遺物包含層



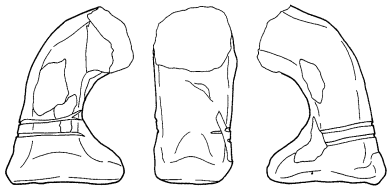



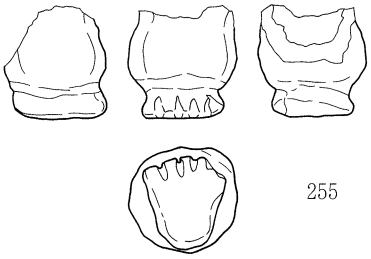



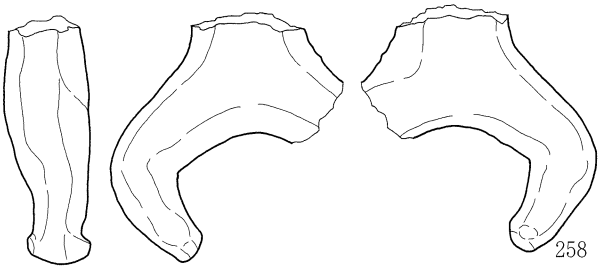



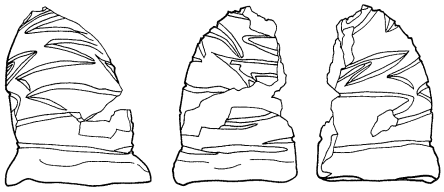



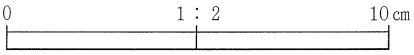

遺構外



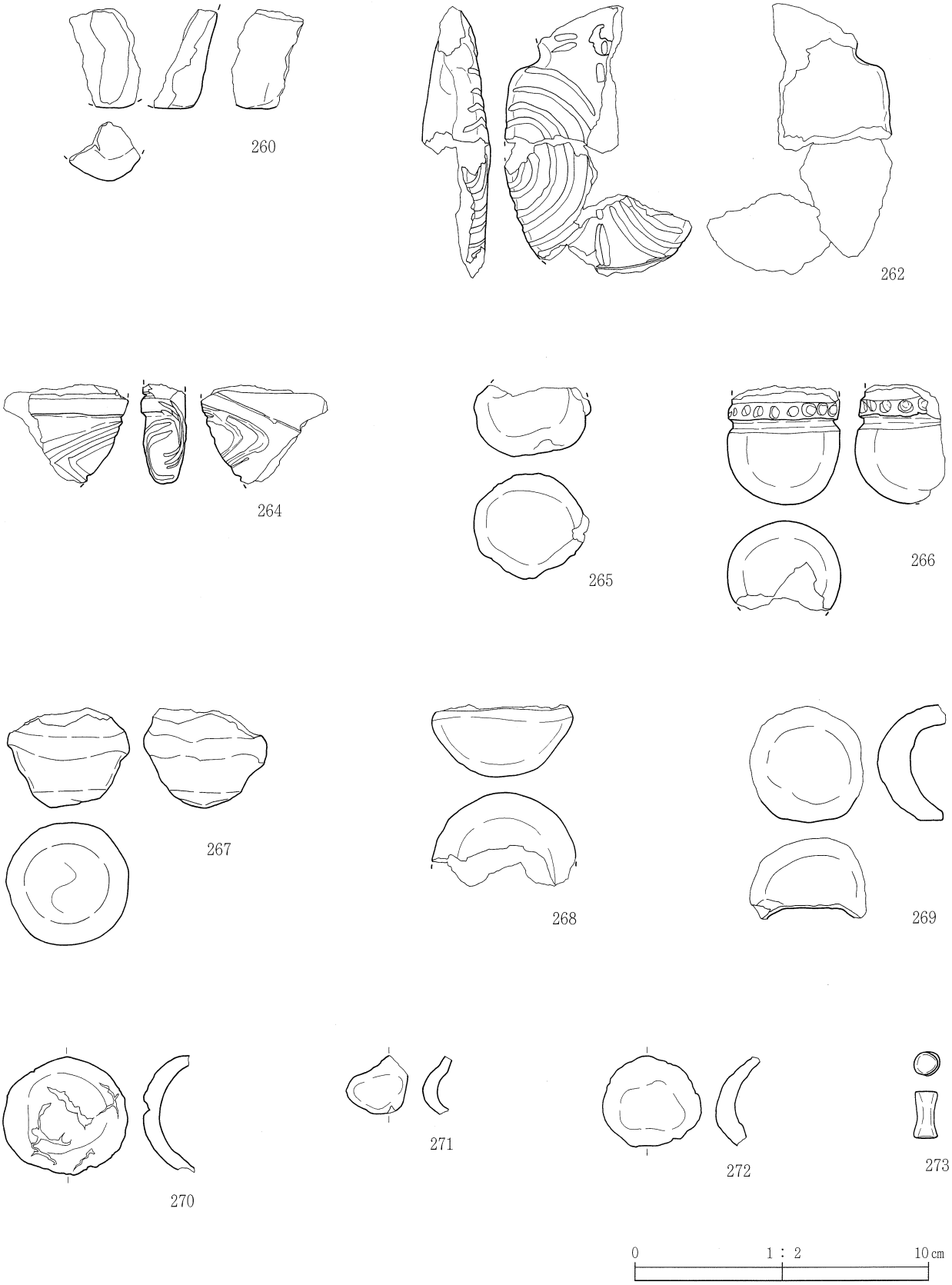





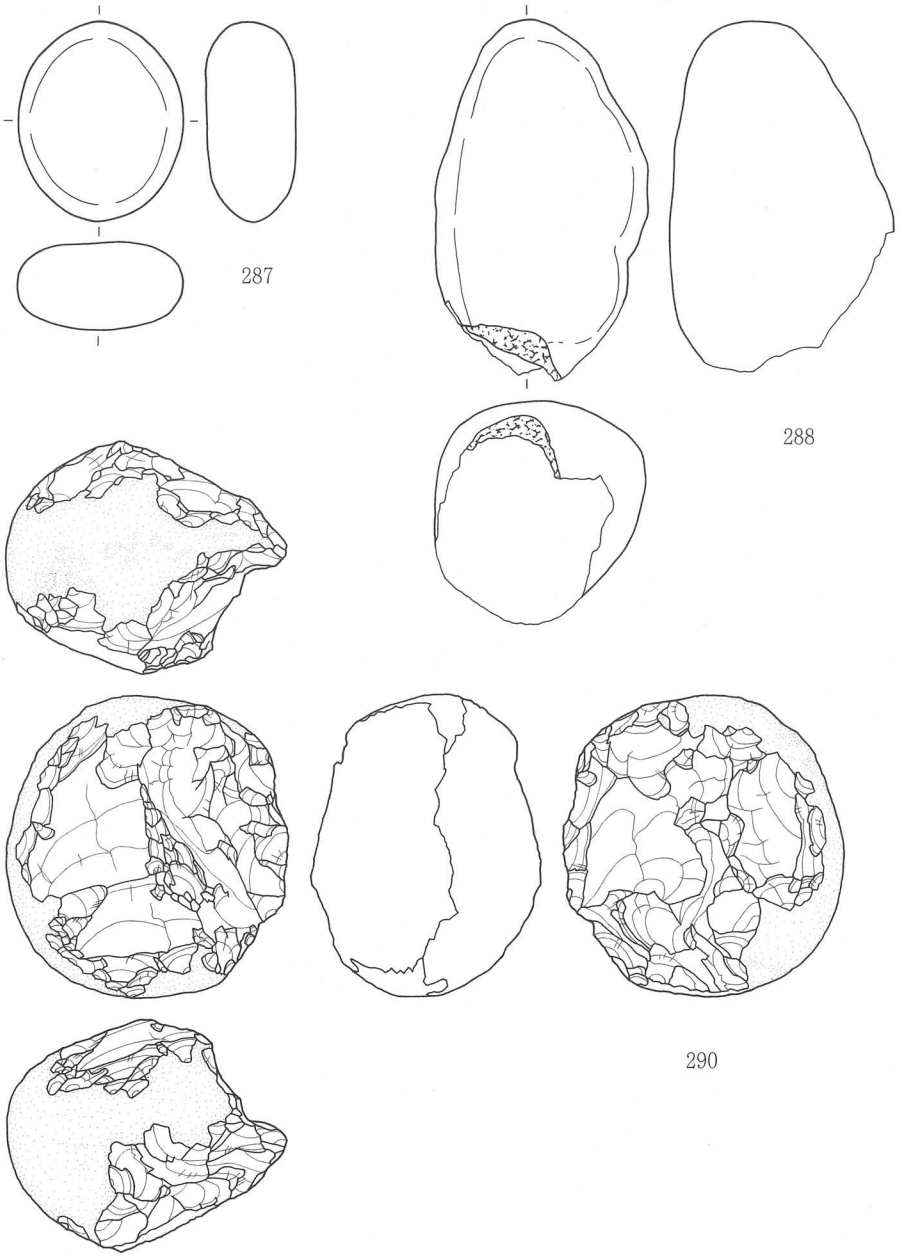




第33図　土製品（1）

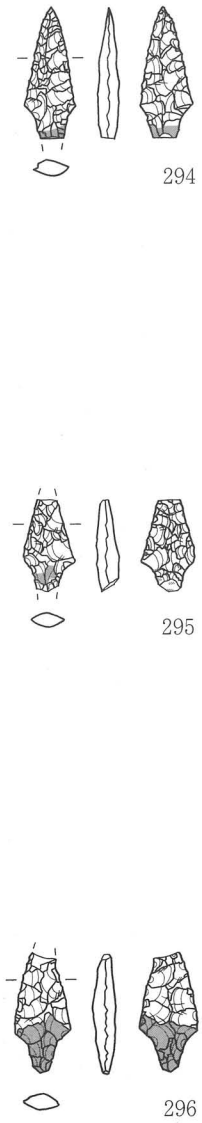


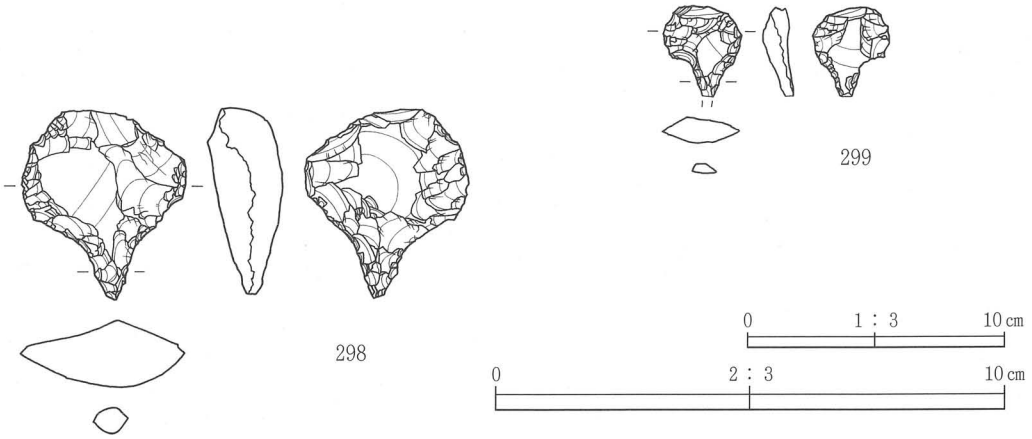

第34図　土製品（2）

1号竪穴住居跡

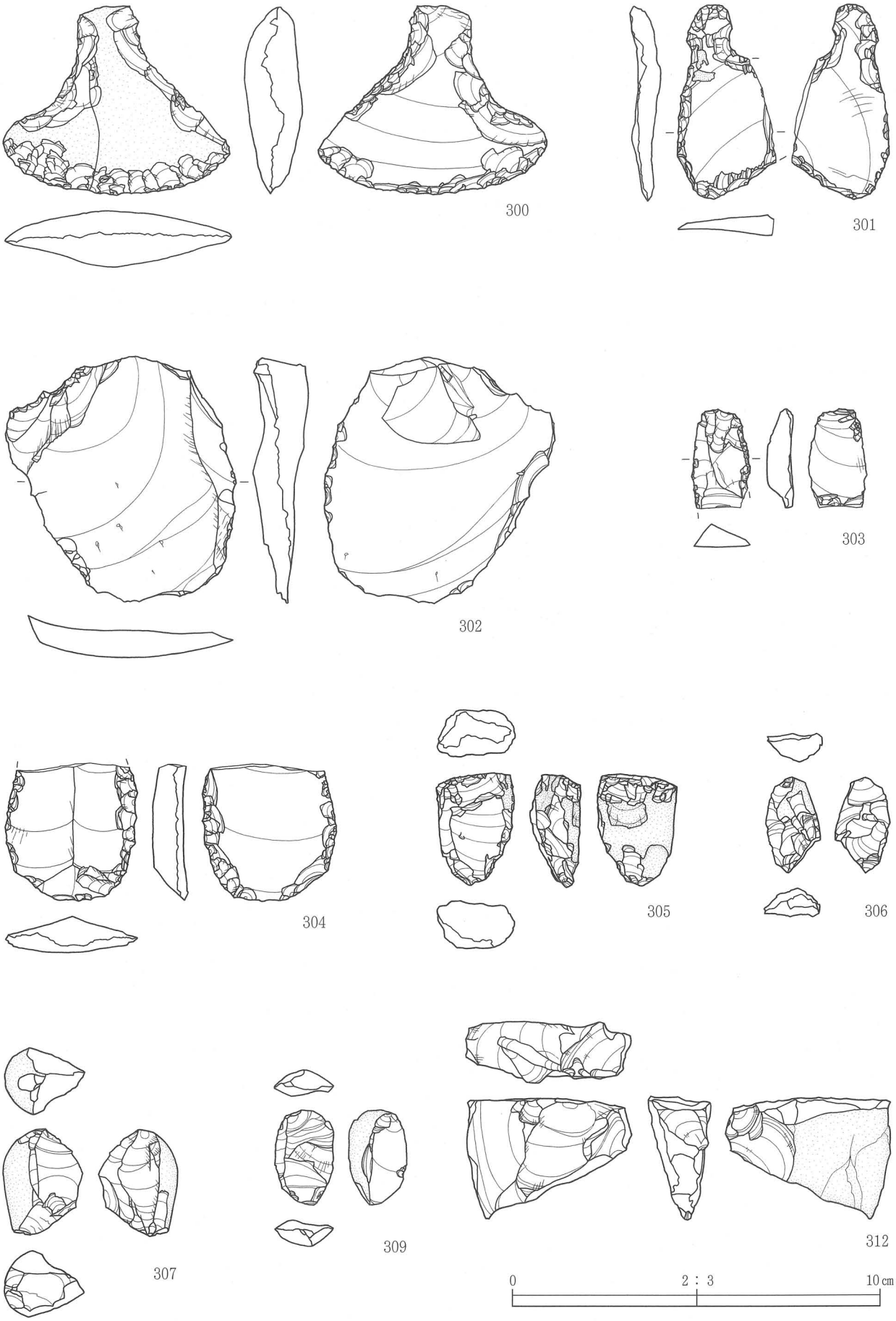



1号遺物包含層

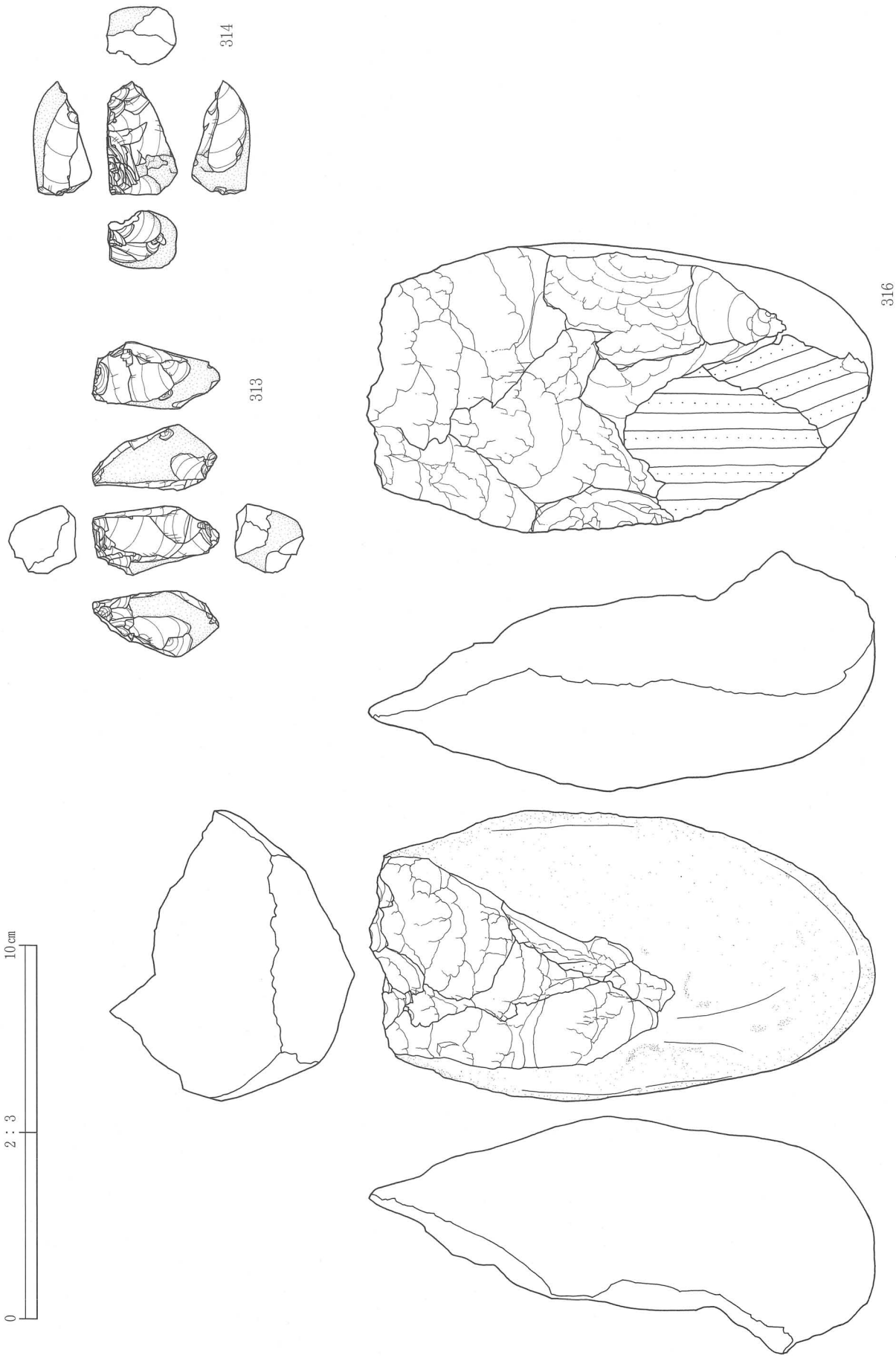


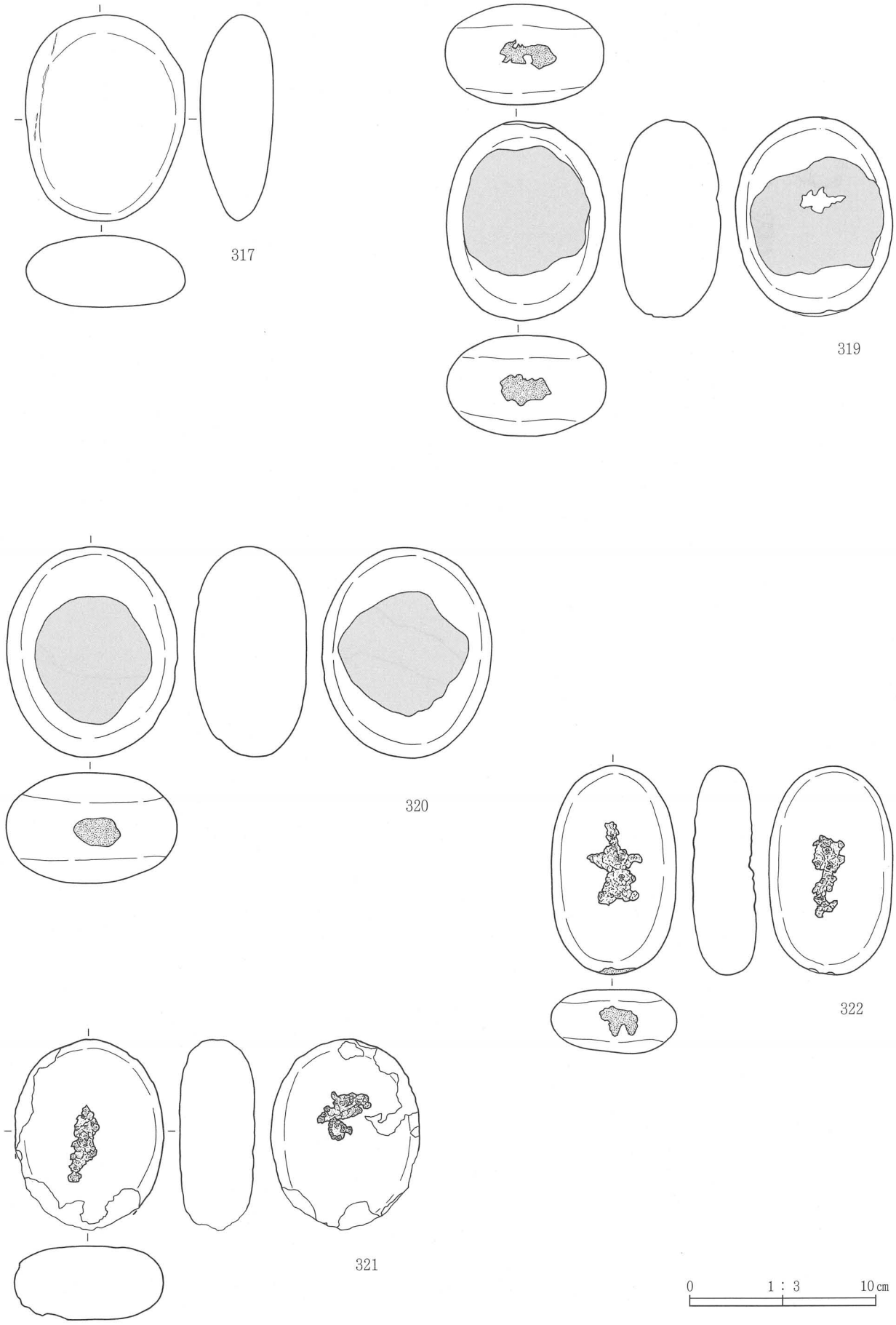

第35図　遺構内出土石器（1）1号竪穴住居跡・1号遺物包含層




第36図　遺構内出土石器（2）1号遺物包含層




第37図　遺構内出土石器（3）1号遺物包含層

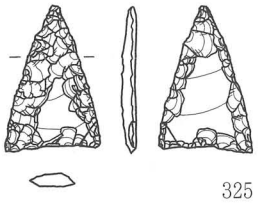



第38図　遺構内出土石器（4）1号遺物包含層

1号土坑

324

4号土坑



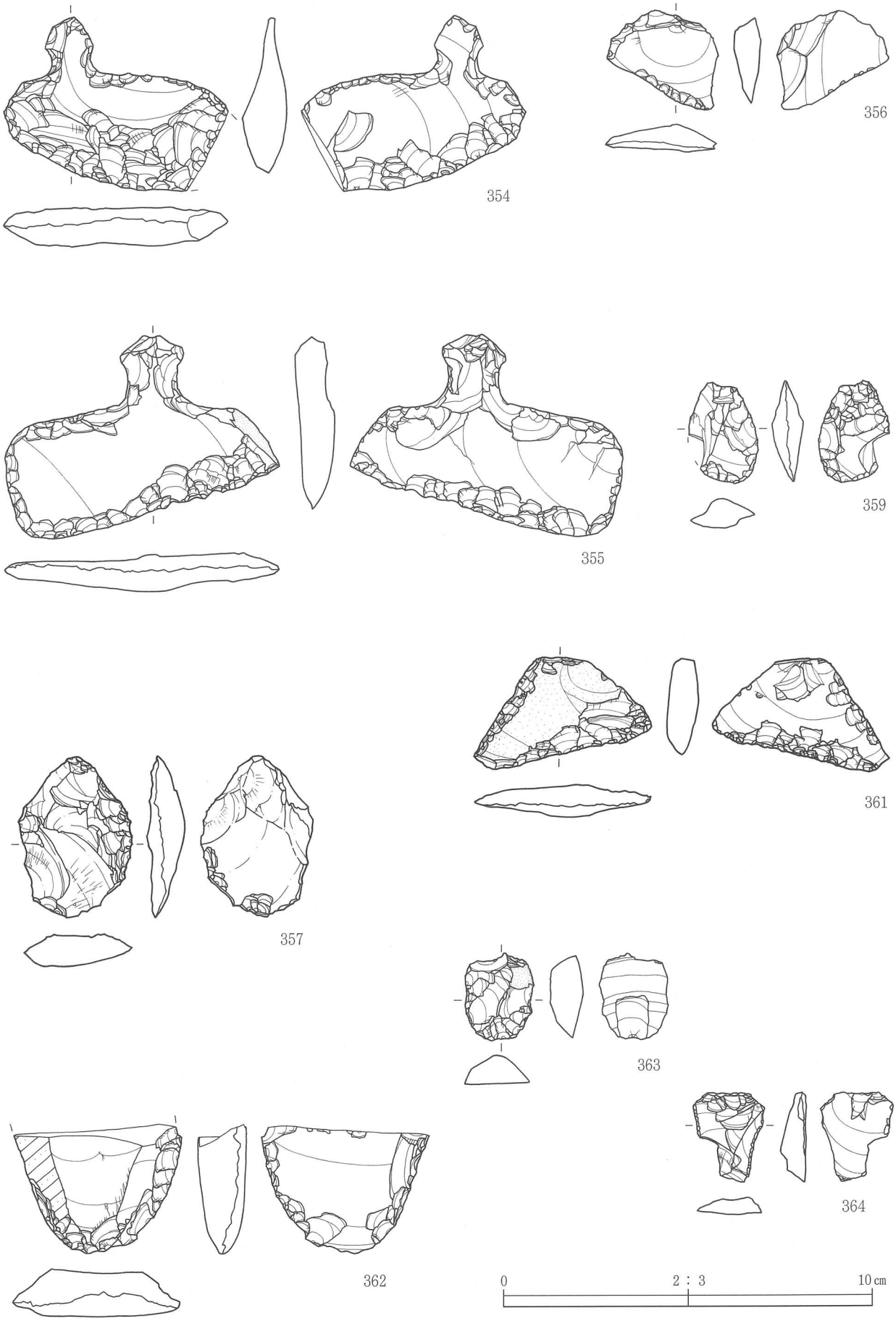
325

0　2：3　10cm

第39図　遺構内出土石器（5）1・4号土坑

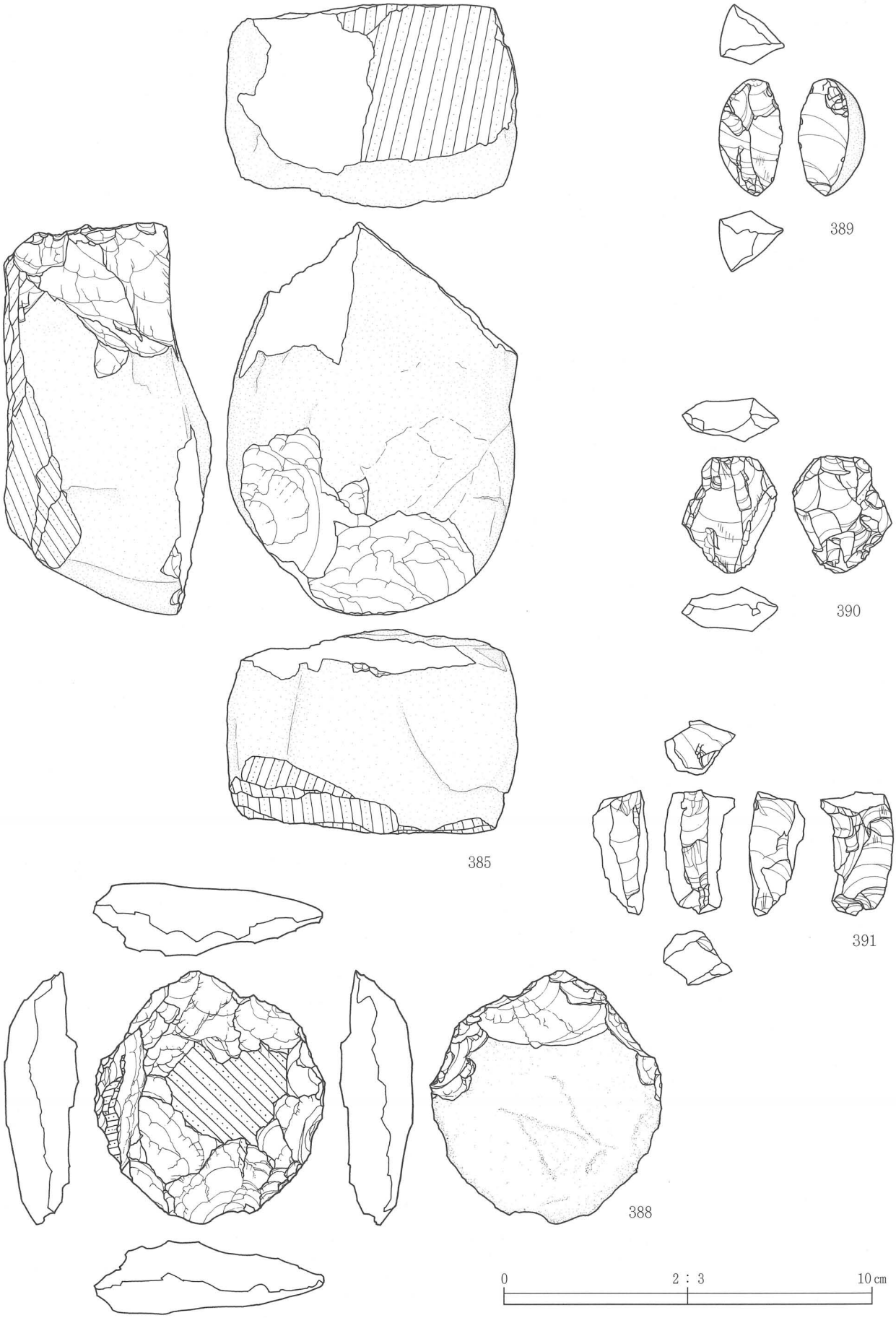
遺構外

第40図　遺構外出土石器（1）

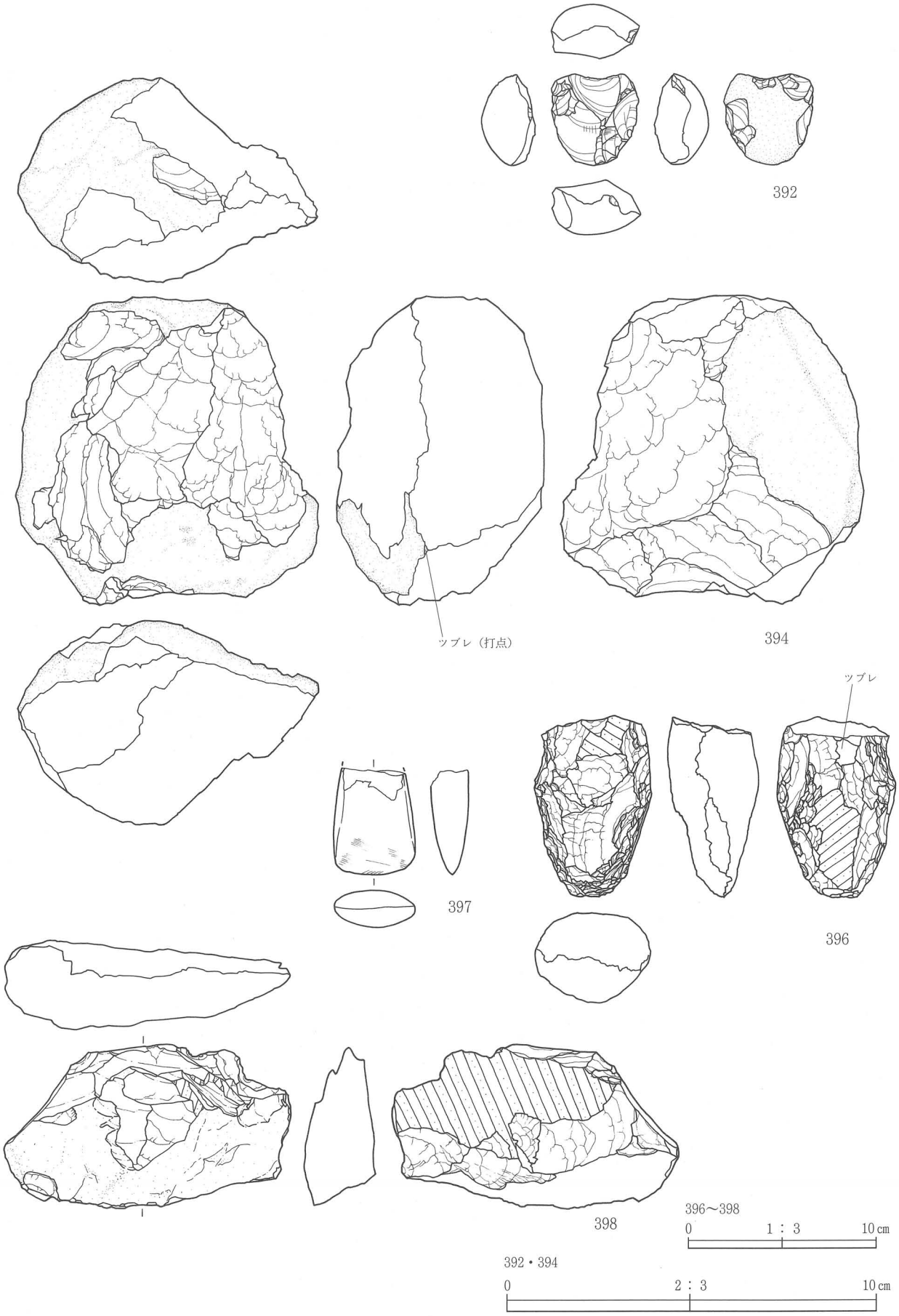



第41図　遺構外出土石器（2）

第42図　遺構外出土石器（3）




第43図　遺構外出土石器（4）




第44図　遺構外出土石器（5）

第45図　遺構外出土石器（6）

1号遺物包含層

遺構外

0　2：3　10cm

第46図　石製品

## 第３表　土器観察表（１）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 重量(g) | 器　種 | 部　位 | 器　形 | 文　様 | 文様の特徴 | 地　紋 | 内　面 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 14 | 7 | １号住 床面 P9 | 267.16 | 香炉 | 略完形 | | | 頂部に穿孔　平行沈線・刻目，粘土瘤 | | 輪積痕残存 | 赤色塗彩　内部上面と底面にススコゲ |
| 2 | 14 | 7 | １号住 床面 P7 | 32.37 | 深鉢 | 口 | | 4 | | LR横 | ナデ横 | 外面におこげ付着 |
| 3 | 14 | 7 | １号住 床面中央 | 12.38 | | 胴 | | | | LR横 | ナデ横 | |
| 4 | 14 | 7 | １号住 床面 P8，同北壁際埋上最下位 | 55.85 | 浅鉢 | 口～胴 | FⅨ | 6 | 突き起こし状刺突 | | ナデ横 | 赤色塗彩 |
| 5 | 14 | 7 | １号住 床面中央，同北半埋土（9C） | 9.95 | 鉢 | 頸～胴 | | 5 | 頸：縦長粘土瘤列 | | ナデ横 | |
| 6 | 14 | 7 | １号住 PP2　１層 | 135.52 | 台付鉢 | 口～底 | AX | 1c | 口：Ａ突起　頸：波状沈線，斜位刻目　肩～胴：平行沈線・縦位沈線，横長・円形粘土瘤（各１個１対・６単位） | | ナデ横 | |
| 7 | 14 | 7 | １号住 床面直上 P2（一括） | 3.98 | 鉢 | 口 | | 5 | Ａ突起（頂部に円形刺突），円形刺突２列 | | ナデ横 | |
| 8 | 14 | 7 | １号住 床面直上 P2（一括） | 2.72 | 鉢or浅鉢 | 口 | | 浅鉢６ | | | ナデ横 | |
| 9 | 14 | 7 | １号住 床面直上 P4 | 5.17 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | LR横 | | 外面おこげ付着 |
| 10 | 14 | 7 | １号住 床面直上 P6 | 12.02 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | LR横 | ナデ横 | |
| 11 | 14 | 7 | １号住 床面直上 P5，同埋土中位 床面上34cm（9C），同東西ベルト埋土中位 | 62.34 | 注口 | 注口～胴 | | | | | 調整無く粗い | |
| 12 | 14 | 7 | １号住 南半埋土最下位 | 9.49 | 鉢？ | 頸～胴 | | | 粘土瘤，縦長刺突列 | LR横 | ナデ横 | |
| 13 | 14 | 7 | １号住 埋土下位 床面上15cm（9C），同東西ベルト埋土中位 | 11.27 | 壺 | 頸～肩 | | | | | ナデ横 | |
| 14 | 14 | 7 | １号住 東西ベルト埋土中位 | 337.89 | 浅鉢 | 略完形 | FV | 7 | 口：Ｂ突起（２個１対・５単位） | LR横 | ナデ横 | 剥落著しい |
| 15 | 15 | 7 | １号住 埋土中位（9C） | 13.29 | 鉢or浅鉢 | 口 | 鉢F | 鉢５ | | | ナデ横 | |
| 16 | 15 | 7 | １号住 埋土中位（9C） | 63.04 | 深鉢 | 口 | | 5 | 突き起こし状刺突，格子目状沈線，磨消帯１本 | LR横 | ナデ横 | 外面上半おこげ付着 |
| 17 | 15 | 7 | １号住 東西ベルト埋土中位 | 22.94 | 深鉢 | 口～頸 | | 1d | 平行沈線５本 | | ナデ横 | |
| 18 | 15 | 7 | １号住 埋土中位（9C） | 101.01 | 鉢or浅鉢 | 胴～底 | Ⅵ | | 底部磨消？ | 胴にLR・RL横 | ナデ横 | |
| 19 | 15 | 7 | １号住 埋土中位（9C），同上位（9C） | 344.94 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 4 | | LR・RL横 | ナデ横 | |
| 20 | 15 | 7 | １号住 埋土中位（9C），同上位（9C） | 426.32 | 深鉢 | 胴～底 | Ⅴ | 4 | | LR・RL横 | ナデ 胴：縦，底：横 | |
| 21 | 15 | 8 | １号住 埋土中位・床面上34cm（9C），同南半（9C）・東西ベルト埋土上位，１号遺物包含層１ａ層（9C） | 187.87 | 浅鉢 | 略完形 | DV | 5 | 口：突起，平行沈線 | 口にLR横 | ナデ横 | |
| 22 | 15 | 8 | １号住 埋土中位（9C），同南半（9C）・東西ベルト埋土上位，８Ｄ Ⅳ層 | 249.80 | 台坏浅鉢 | 略完形 | DⅩ | 6 | | | ナデ横 | 胎土に赤褐色土粒多量 |
| 23 | 15 | 8 | １号住 東西ベルト埋土中位,同上位 | 60.01 | 壺 | 肩～胴 | | | 沈線，磨消 | | ナデ横　粗い | |
| 24 | 15 | 8 | １号住 北半埋土上位（8D） | 33.85 | 鉢 | 口～胴 | F | 2bア | 口：Ａ突起，口唇に沈線，平行沈線２本 | RL横 | ナデ横 | 内面におこげ付着 |
| 25 | 15 | 8 | １号住 北半埋土上位（8D） | 52.64 | 深鉢or鉢 | 底 | Ⅰ | | | RL横 | | 内面におこげ付着 |
| 26 | 16 | 8 | １号住 東西ベルト埋土上位 | 29.92 | 壺 | 胴～底 | | | | LR横 | ナデ横 | |
| 27 | 16 | 8 | １号住 南半埋土上位（9C） | 10.22 | 小型 | 台 | | | | | | |
| 28 | 16 | 8 | １号包含層１ａ層（9C），１号住 東西ベルト埋土中位・上位 | 164.47 | 深鉢 | 口 | A | 1d | 口：Ａ・Ｂ突起，平行沈線３本 | LR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | 外面におこげ付着 |
| 29 | 16 | 8 | １号包含層１ａ層（8D，調査区東際），１号住 北半埋土上位（8D） | 133.94 | 深鉢 | 口～胴 | E | 1d | 口：Ａ突起＋２個１組の粘土瘤　頸：平行沈線６本 | 胴にLR０段多条横 | ナデ横 | |
| 30 | 16 | 8 | １号包含層１ａ層｛8C（9D杭付近），9C｝ | 407.18 | 深鉢 | 口～胴 | B | 1d | 口：横長刺突　頸：平行沈線５本 | LR斜 | ナデ横 | |
| 31 | 16 | 8 | １号包含層１ａ層（9C） | 79.33 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 3b | 口：突起，平行沈線２本 | LR横 | ナデ横 | 複合口縁，内面肥厚 |
| 32 | 16 | 8 | １号包含層１ａ層｛9C，9C（9D杭付近），調査区東際｝ | 254.13 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 1b | 口：小波状，平行沈線２本で間無文 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ 口：横，胴：縦 | 外面上半におこげ付着 |

## 第３表　土器観察表（２）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 重量(g) | 器　種 | 部　位 | 器　形 | 文　様 | 文様の特徴 | 地　紋 | 内　面 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | 16 | 8 | １号包含層 １a層 {9C（9D杭付近)} | 43.81 | 深鉢 | 口～胴 | I | １b | 口：小波状，平行沈線２本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 34 | 16 | 8 | １号包含層 １a層（9C） | 75.07 | 深鉢 | 口～胴 | H | １b | 口：口唇に刻目，平行沈線２本 | 胴にRLR横 | ナデ横 | 外面上端におこげ付着 |
| 35 | 17 | 8 | １号包含層 １a層 {9C（9D杭付近)} | 98.99 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口：Ｂ突起 | RL横 | ナデ横 | 内面上端におこげ付着 |
| 36 | 17 | 8 | １号包含層 １a層（9C） | 40.12 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口：小波状 | LR横 | ナデ横 | 外面下半におこげ付着 |
| 37 | 17 | 8 | １号包含層 １a層（調査区東際） | 41.02 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口：小波状 | RL横 | ナデ横 | 内面肥厚，複合口縁 |
| 38 | 17 | 8 | １号包含層 １a層（8C） | 100.49 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | RL横 | ナデ横 | 外面におこげ付着 |
| 39 | 17 | 9 | １号包含層 １a層（8C） | 71.05 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | LR横 | ナデ横 | 外面におこげ付着 |
| 40 | 17 | 9 | １号包含層 １a層（8D） | 66.70 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | LR斜 | ナデ 口：横，胴：縦 | 外面下半におこげ付着 |
| 41 | 17 | 9 | １号包含層 １a層 {8D（9D杭付近),9C} | 212.32 | 深鉢 | 口 | I | 4 | | LR斜 | ナデ 口：横，胴：縦 | 外面一部におこげ付着，内外面に黒斑 |
| 42 | 17 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 186.22 | 深鉢 | 口 | I | 4 | | RL斜 | ナデ 口：横，胴：縦 | |
| 43 | 17 | 9 | １号包含層 １a層（10C） | 49.95 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | RL０段多条横 | | 内面おこげ付着 |
| 44 | 17 | 9 | １号包含層 １a層（11C） | 73.42 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口縁のみ一部磨消 | RL横 | ナデ横 | |
| 45 | 17 | 9 | １号包含層 １a層（調査区東際） | 247.46 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | RL横・斜 | ナデ横 | 外面下部におこげ付着 |
| 46 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（調査区東際），１号住 南半埋土上位（9C） | 333.44 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | RL横 | ナデ 口：横，胴：縦 | |
| 47 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（調査区東際） | 51.85 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | LR横 | ナデ横 | 外面上半おこげ付着 |
| 48 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 34.50 | 深鉢 | 口 | H | 5 | | | ナデ横 | 内面肥厚，複合口縁　内面おこげ付着 |
| 49 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（8D，9C，9D杭付近），１号住 東西ベルト埋土上位 | 384.97 | 鉢 | 口～胴 | A | １aイ | 口：Ａ・Ｂ突起，粘土瘤　頸：平行沈線２本で間無文，粘土瘤　胴：磨消縄文（雲形文），平行沈線 | RL 胴上半横，下半斜 | ナデ横 | 内面上半におこげ付着 喫水線？ |
| 50 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 57.44 | 鉢 | 口～胴 | G | １aア | 口：口唇に刻目　頸：平行沈線　胴：磨消縄文，粘土瘤 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | 外面おこげ付着 |
| 51 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 21.30 | 鉢 | 口～胴 | B | １b | 口：口唇に縦・斜位刻目　頸：下端に斜位刻目 胴：磨消縄文，粘土瘤 | 胴にRL横 | ナデ横 | 内外面におこげ付着 |
| 52 | 18 | 9 | １号包含層 １a層 {8D（9D杭付近)} | 50.41 | 鉢 | 口～胴 | D | １aア | 口：大突起，口唇に刻目，隆帯＋沈線　胴：磨消縄文（雲形文） | LR斜 | ナデ横 | 内面におこげ付着 |
| 53 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（8C） | 25.41 | 浅鉢 | 口～胴 | | ２a | 口：突起，口唇に平行沈線と斜位刻目　胴：磨消縄文（雲形文） | LR横 | ナデ横 | |
| 54 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 16.81 | 鉢 | 口～胴 | B | １aイ | 口：Ｂ突起　頸：平行沈線２本で間無文　胴：磨消縄文（雲形文） | RL横 | ナデ横 | 外面におこげ付着 |
| 55 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 14.36 | 鉢 | 口～胴 | B | １aイ | 口：Ｂ突起，平行沈線　胴：磨消縄文 | RL斜 | ナデ横 | 内外面におこげ付着 |
| 56 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 30.39 | 鉢 | 口～胴 | F | １aア | 口：平行沈線，粘土瘤　胴：沈線（X字状文） | 胴にLR横 | ナデ横　細密 | |
| 57 | 18 | 9 | １号包含層 １a層（9C） | 42.84 | 鉢 | 胴 | | | 磨消縄文 | LR斜 | ナデ縦 | |
| 58 | 19 | 10 | １号包含層 １a層（8D，9C） | 201.22 | 鉢 | 口～胴 | A | ２aウ | 口：Ａ突起　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にRL斜 | ナデ横 | 内面上半におこげ付着 喫水線？ |
| 59 | 19 | 10 | １号包含層 １a層（8C） | 23.77 | 鉢 | 口～胴 | A | ２aウ | 口：Ａ突起，口唇に刻目　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にLR横 | | 内面におこげ付着 |
| 60 | 19 | 10 | １号包含層 １a層（9C），８Ｃ Ⅳ層 | 193.66 | 鉢 | 口～胴 | A | ２aウ | 口：Ａ・Ｂ突起，口唇に縦位刻目　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にRL 上位のみ横，以下は横・斜 | 口唇下沈線 | 上半内外面におこげ付着 |
| 61 | 19 | 10 | １号包含層 １a層（9C） | 32.22 | 鉢 | 口～胴 | B | ２aウ | 口：Ｂ突起，口唇に刻目　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にRL横 | ナデ横 | |

## 第３表　土器観察表（３）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 重量(ｇ) | 器　種 | 部　位 | 器　形 | 文　様 | 文様の特徴 | 地　紋 | 内　面 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 62 | 19 | 10 | １号包含層 １ａ層（9C） | 38.60 | 鉢 | 口～胴 | A | ２ａウ | 口：Ｂ突起，口唇に刻目　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 63 | 19 | 10 | １号包含層 １ａ層（11C） | 27.79 | 鉢 | 口～胴 | H | ２ａウ | 口：Ｂ突起，口唇に刻目　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にRL０段多条横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 64 | 19 | 10 | １号包含層 １ａ層（8D） | 26.98 | 鉢 | 口～胴 | F | ２ａイ | 口：突起，細い平行沈線２本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 65 | 19 | 10 | １号包含層 １ａ層（9C） | 94.17 | 鉢 | 口～胴 | A | ２ａウ | 口：突起　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にLR横 | ナデ 口：横，胴：縦 | |
| 66 | 19 | 10 | １号包含層 １ａ層 {8C（9D杭付近)}，８Ｃ Ⅳ層 | 182.28 | 鉢 | 口～胴 | E | ２ａウ | 口：口唇に刺突　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にLR横 | ナデ 口：横，胴：縦 | 内外面上半におこげ付着 |
| 67 | 19 | 10 | １号包含層 １ａ層（8D，9C，9D杭付近，10C，調査区東際），10Ｃ Ⅲ層 | 352.45 | 鉢 | 口～胴 | A | ２ａウ | 頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にLR０段多条横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 68 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（9D） | 16.77 | 鉢 | 口～胴 | F | ２ａイ | 口：口唇に刺突（左から），平行沈線２本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 69 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層 {8C（9D杭付近)} | 20.60 | 鉢 | 口～胴 | A | 5 | 口：Ｂ突起 | | ナデ横 | |
| 70 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（9C，9D，9D杭付近） | 68.96 | 鉢 | 口～胴 | A | ２d | 口～頸：無文，粘土瘤（６単位） | 胴にLR０段多条横 | ナデ横 | |
| 71 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（9C） | 24.49 | 鉢 | 口～胴 | C | ２ｂイ | 口：Ａ突起　頸：平行沈線３本 | RL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 72 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（9C） | 22.67 | 鉢 | 口～胴 | C | ２ａエ | 口：Ａ突起，口唇に沈線　頸：平行沈線４本 | 胴にLR横 | ナデ横 | 内外面におこげ付着 |
| 73 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（8C，8D） | 44.48 | 鉢 | 口～胴 | C | ２ａエ | 口：Ｂ突起，口唇に刻目　頸：平行沈線４本　胴：粘土瘤 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 74 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（9C） | 29.09 | 鉢 | 口～胴 | A | ２ａエ | 口：Ｂ突起　頸：平行沈線３本　胴：粘土瘤 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 75 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（8C） | 245.02 | 鉢 | 略完形 | AⅥ | ２ａエ | 口：口唇に刻目　頸：平行沈線４本，粘土瘤 | 胴にRL横 | ナデ横 | 外面一部にススコゲ付着 |
| 76 | 20 | 10 | １号包含層 １ａ層（9C） | 127.55 | 鉢 | 略完形 | ＡⅠ | ２ａエ | 口：口唇に刻目　頸：平行沈線３本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 77 | 20 | 11 | １号包含層 １ａ層 {9C，9C（9D杭付近)} | 232.78 | 鉢 | 口～底 | A | ２ａエ | 口：口唇に刻目，平行沈線５本 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ 口・底：横，胴：縦 | 内面上半におこげ付着 |
| 78 | 20 | 11 | １号包含層 １ａ層（9C），11Ｃ Ⅲ層 | 40.43 | 鉢 | 口～胴 | C | ２ｂイ | 頸：平行沈線３本 | RL横 | 口唇下沈線 | |
| 79 | 20 | 11 | １号包含層 １ａ層（9C） | 16.17 | 壺 | 口～胴 | | | 頸～肩：平行沈線３本 | LR横 | | |
| 80 | 20 | 11 | １号包含層 １ａ層（11C） | 20.25 | 鉢 | 口～胴 | C | ２ａエ | 口：縦位刻目　頸：沈線３本 | RL横・斜 | ナデ横 | 両面におこげ付着 |
| 81 | 20 | 11 | １号包含層 １ａ層（調査区東際） | 86.57 | 深鉢 | 頸～胴 | | １d | 頸：平行沈線６本 | RL横 | ナデ横 | 内外面におこげ付着 |
| 82 | 20 | 11 | １号包含層 １ａ層（9C） | 63.22 | 鉢 | 口～胴 | F | ２ｂア | 口：平行沈線２本 | LR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 83 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層 {9C（9D杭付近)} | 31.99 | 鉢 | 口～胴 | F | ２ｂイ | 口：平行沈線３本 | LR横 | ナデ横 | |
| 84 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（9C），１号住 調査区東際埋土上位 | 383.18 | 鉢 | 口～底 | FV | 3 | | LR横 | ナデ横 | 胎土に赤褐色土粒多量 |
| 85 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（8C） | 90.00 | 鉢 | 口～底 | FV | 3 | | RL横 | ナデ 口：横，胴：縦 | 内外面上端におこげ付着 |
| 86 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（8C），８Ｃ Ⅳ層 | 65.98 | 鉢 | 口～胴 | F | 3 | | RL横 | ナデ 口：横，胴：縦 | |
| 87 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（8C） | 18.24 | 深鉢or鉢 | 口 | | 鉢４ | | 条痕 | ナデ横 | |
| 88 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層 {8C，8D，8D（9D杭付近)} | 248.32 | 台付鉢 | 略完形 | EX | ２ａエ | 口：Ａ突起（１単位），口唇に刻目，細い平行沈線４本，粘土瘤（７～８単位） | 胴～底にLR横 | ナデ横 | 内外面一部にススコゲ付着 |
| 89 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（8C） | 64.87 | 台付鉢or台付浅鉢 | 底～台 | X | | | | | 胎土に赤褐色土粒多量 |
| 90 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（9C） | 55.00 | 台付鉢or台付浅鉢 | 底～台 | X | | 底～台境目に平行沈線２本 | | ナデ | 外面赤色塗彩 |
| 91 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（9D） | 28.48 | 浅鉢 | 口～胴 | A | ３ａウ | 口：Ｂ突起，　頸：平行沈線２本，間無文 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 92 | 21 | 11 | １号包含層 １ａ層（11C），９Ｃ Ｉｂ層，11Ｃ Ⅲ層 | 100.40 | 浅鉢 | 口～底 | CⅥ | ３ｂ | 口：平行沈線（工字文）　肩：隆帯（所々突起状）＋沈線 | 胴にLR０段多条横 | ナデ横 | |

## 第３表　土器観察表（４）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 重量(g) | 器　種 | 部　位 | 器　形 | 文　様 | 文様の特徴 | 地　紋 | 内　面 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 93 | 21 | 11 | １号包含層 １a 層（9C） | 27.84 | 浅鉢 | 口～胴 | D | 6 | | | ナデ横 | |
| 94 | 21 | 11 | １号包含層 １a 層（9C） | 491.53 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅰ | | | 胴にLR横 | ナデ 胴：縦，底：横 | |
| 95 | 22 | 11 | １号包含層 １a 層 {8C（9D杭付近）} | 323.57 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅲ | | | LR横・縦 | ナデ 胴：縦，底：横 | |
| 96 | 22 | 11 | １号包含層 １a 層（8C） | 87.52 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅱ | | | LR横 | ナデ横 | |
| 97 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（8D） | 174.99 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅰ | | | LR横 | ナデ横 | |
| 98 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（9C） | 59.18 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅵ | | | RL０段多条横 | ナデ横 | |
| 99 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（9C） | 76.87 | 深鉢or鉢 | 底 | | | | RL横 | | |
| 100 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（10C） | 262.35 | 深鉢or鉢 | 底 | Ⅰ | | | RL横 | ナデ横 | |
| 101 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（10C） | 40.40 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅰ | | | LR横 | ナデ横 | |
| 102 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（調査区東際） | 92.75 | 深鉢or鉢 | 底 | Ⅲ | | | LR横 | ナデ | |
| 103 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層 {8D，8D（9D杭付近）}，11D Ⅳ層 | 146.73 | 深鉢or鉢 | 頸～胴 | | 鉢４ | 頸：平行沈線 | 条痕 | ナデ縦 | 外面上半におこげ付着 |
| 104 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層 {9C，9C（9D杭付近）} | 61.03 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | 上半横位，下半縦位のナデ | | ナデ横・斜 | |
| 105 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層 {9C（9D杭付近）} | 51.37 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅵ | | | LR横 | ナデ横 | |
| 106 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（9C） | 15.51 | 小型 | 底 | Ⅷ | | | RL横 | | |
| 107 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（9C，9D） | 47.59 | 壺 | 口～頸 | | | 口：粘土瘤，沈線 | | 口唇下に沈線　ナデ横 | 赤色塗彩 |
| 108 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（8C），１号住 北半埋土（9C） | 116.33 | 壺 | 肩～胴 | | | | | ナデ横　外面より粗い | |
| 109 | 22 | 12 | １号包含層 １a 層（8D） | 8.04 | 壺 | 口～頸 | | | 口：Ｂ突起（大小），沈線 | | 口唇下沈線　ナデ横 | 赤色塗彩 |
| 110 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（8C，8D） | 253.03 | 壺 | 肩～胴 | | | 磨消縄文（平坦・直線的） | LR横 | ナデ横 | 赤色塗彩 |
| 111 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（9C），8D Ⅳ層 | 56.19 | 注口 | 頸～胴 | | | 肩：刺突，粘土瘤　頸～胴：磨消縄文 | LR横 | ナデ横 | |
| 112 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（9C） | 20.64 | 鉢 | 胴 | | 5 | 粘土瘤，平行沈線・刻目 | | ナデ横 | |
| 113 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（8D） | 5.36 | 小型 | 口～胴 | | | 口：口唇に刻目　頸～胴：沈線 | | | 鉢形 |
| 114 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（8C） | 8.74 | 小型 | 口～胴 | | | 肩：粘土瘤　胴：沈線 | | | |
| 115 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層 {8D（9D杭付近），9C} | 5.18 | 小型 | 口 | | | Ａ突起，粘土瘤 | | | 赤色塗彩 |
| 116 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（10C） | 13.55 | 小型 | 口～胴 | 壺Ｂ | | | | | 内面に赤色塗彩 |
| 117 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（9D） | 8.80 | 小型 | 口～底 | | | | | ナデ横 | |
| 118 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（8C） | 7.79 | 小型 | 台 | Ⅹ | | | | | |
| 119 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層 {8D（9D杭付近），9C} | 2.05 | 小型 | 底 | Ⅷ | | | | | 赤色塗彩 |
| 120 | 23 | 12 | １号包含層 １a 層（11C） | 21.01 | 小型 | 胴～底 | Ⅶ | | | | | |
| 121 | 23 | 13 | １号土坑 南半埋土 | 9.41 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | LR横 | | |
| 122 | 23 | 13 | ２号土坑 埋土 | 15.18 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | RL横 | | |
| 123 | 23 | 13 | ３号土坑 １層，同２層，１号住 北半埋土上位（8C），8C Ⅳ層 | 159.51 | 浅鉢 | 口～胴 | D | 1 | 口：Ｂ突起（４単位）　口～胴：磨消縄文（連結帯状文） | RL横 | ナデ横 | 胎土に赤褐色土粒多量 |
| 124 | 23 | 13 | ３号土坑 １層，同２層 | 65.70 | 鉢 | 口～底 | FⅣ | 3 | 胴と底の明瞭な区画なし　底面にも地紋 | LR横 | ナデ横 | 喫水線？ |
| 125 | 23 | 13 | ３号土坑 埋土中位 | 13.34 | 深鉢or鉢 | 口 | | 深鉢４ | | RL横 | | |
| 126 | 23 | 13 | ４号土坑 埋土 | 10.55 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | LR０段多条横 | | 外面におこげ付着 |
| 127 | 23 | 13 | ５号土坑 埋土（検出面下50cm） | 30.69 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | RL斜 | ナデ縦 | |
| 128 | 23 | 13 | ６号土坑 埋土（検出面下20cm） | 10.34 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | RL斜 | ナデ横 | |
| 129 | 24 | 13 | １号陥し穴状遺構 １層 | 31.25 | 深鉢or鉢 | 口 | | 深鉢４ | | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 130 | 24 | 13 | １号陥し穴状遺構 １層 | 44.29 | 深鉢or鉢 | 胴 | | | | LR横 | ナデ横 | |
| 131 | 24 | 13 | １号陥し穴状遺構 １層 | 13.27 | 鉢 | 口～胴 | A | 2aエ | 口：Ｂ突起，口唇に刻目　頸：平行沈線５本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |

## 第３表　土器観察表（５）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 重量(g) | 器　種 | 部　位 | 器　形 | 文　様 | 文様の特徴 | 地　紋 | 内　面 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 132 | 24 | 13 | 15D Ⅱ層 | 168.54 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 4 | | LR斜 | ナデ 口：横，胴：縦 | |
| 133 | 24 | 13 | 11C Ⅱ層 | 20.33 | 鉢 | 口～胴 | A | 2d | | 口唇・胴にLR横 | ナデ横 | 外面おこげ付着 |
| 134 | 24 | 13 | 16C Ⅱ層 | 37.77 | 鉢or浅鉢 | 底 | | | 脚付 | | | 脚付 |
| 135 | 24 | 13 | 14C Ⅱ層 | 5.62 | 小型 | 口～胴 | 鉢F | | 口：突起 | | | |
| 136 | 24 | 13 | 19C Ⅱ層，19C Ⅲ層 | 30.02 | 浅鉢 | 口～胴 | D | 2a | 口：B突起，平行沈線　胴：沈線（C字状） | | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 137 | 24 | 13 | 20B Ⅲ層，同Ⅳ層上位，20C Ⅱ層 | 313.06 | 深鉢 | 胴～底 | Ⅳ | | | RL斜 | | 内面におこげ付着 |
| 138 | 24 | 13 | 14C Ⅱ層，同Ⅲ層，同Ⅳ層，同Ⅳ層下位，15C Ⅰb層 | 274.73 | 鉢 | 口～底 | AⅧ | 2d | 口：口唇に刻目　頸と底は無文 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 139 | 24 | 13 | 13C Ⅱ層，同Ⅲ層，同Ⅳ層 | 58.44 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅵ | | | LR横 | ナデ横 | |
| 140 | 24 | 13 | 12C Ⅲ層 | 43.67 | 深鉢 | 口～胴 | A | 1d | 口：小波状　頸：平行沈線９本 | 胴のみLR横 | ナデ横 | 口唇下に沈線 |
| 141 | 24 | 13 | 20B Ⅲ層 | 110.07 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 4 | | RL斜 | ナデ横 | 外面上半におこげ付着 |
| 142 | 24 | 13 | 12B Ⅲ層 | 29.25 | 鉢 | 口～胴 | E | 2aア | 口：指頭押圧による緩い小波状，平行沈線１本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 143 | 24 | 13 | 17B Ⅲ層 | 49.62 | 浅鉢 | 口～胴 | F | 3aイ | 口：B突起，粘土瘤，平行沈線２本 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 144 | 24 | 13 | 17B Ⅲ層 | 32.57 | 鉢 | 口～胴 | F | 2aエ | 口：口唇に刻目，平行沈線３本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 145 | 24 | 13 | 11C Ⅲ層 | 78.24 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅰ | | | LR横 | ナデ横 | |
| 146 | 25 | 13 | 17D Ⅲ層 | 45.68 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅳ | | | 条痕 | | |
| 147 | 25 | 13 | 11C Ⅲ層 | 48.42 | 深鉢or鉢 | 底 | Ⅵ | | | RL横 | | 外面おこげ付着 |
| 148 | 25 | 13 | 11C Ⅲ層 | 10.12 | 小型 | 胴～底 | Ⅷ | | | | | |
| 149 | 25 | 14 | 17C Ⅲ層，同Ⅳ層，同① Ⅳ層上位，同下位，同② Ⅳ層上位，17D Ⅲ層 | 2211.00 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 4 | 口：B突起（２単位・片側に偏る） | RL横 | ナデ 口：横，胴：縦 | 補修孔　外面上部におこげ付着 |
| 150 | 25 | 14 | 11C Ⅲ層，同Ⅳ層 | 136.06 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 4 | 突起 | RL０段多条横 | ナデ横 | 432と同一個体　外面おこげ付着 |
| 151 | 25 | 14 | 18C Ⅲ層，同④ Ⅳ層上位 | 53.55 | 深鉢 | 口～胴 | B | 1a | 口：小波状　頸：平行沈線 | 胴にLR横 | | |
| 152 | 25 | 14 | 10C Ⅲ～Ⅳ層，同Ⅳ層，11C Ⅳ層 | 85.42 | 鉢 | 口～胴 | F | 3 | | LR横 | ナデ横 | |
| 153 | 25 | 14 | 10C Ⅲ～Ⅳ層 | 27.38 | 鉢 | 口～胴 | A | 2aエ | 口唇：沈線　口：A突起，粘土瘤　頸：平行沈線３本 | RL斜 | 口唇下沈線 | 内外面おこげ付着 |
| 154 | 25 | 14 | 18C Ⅲ層，同Ⅳ層，同② Ⅳ層上位，同④ Ⅳ層上位 | 114.29 | 鉢 | 口～胴 | C | 2aエ | 口：口唇に刻目　頸：細い平行沈線３本，粘土瘤（５単位？） | 胴にLR０段多条横 | ナデ横 | 複合口縁，内面肥厚 |
| 155 | 25 | 14 | 12B Ⅳ層，12C Ⅲ層 | 39.28 | 浅鉢 | 口～胴 | A | 3aア | 口：小波状，平行沈線１本 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 156 | 25 | 14 | 10C Ⅲ～Ⅳ層 | 28.16 | 鉢 | 口～胴 | E | 2aエ | 口：B突起，口唇に刺突（右から），平行沈線３本 | 胴にLR横 | 口唇下沈線 | |
| 157 | 26 | 14 | 10C Ⅲ～Ⅳ層 | 15.72 | 浅鉢 | 底 | Ⅷ | | | LR横 | | |
| 158 | 26 | 14 | 11C Ⅲ層，同Ⅳ層 | 24.52 | 壺？注口？ | 胴 | | | 鍵状入組文，粘土瘤 | LR横・縦 | | 内面調整粗い |
| 159 | 26 | 14 | 17D③ Ⅳ層上位，18D① Ⅳ層上位，同下位，同③ Ⅳ層上位，出土地点不明 | 727.37 | 深鉢 | 口～胴 | Ⅰ | 1b | 口：A突起，平行沈線２本 | 胴にLR横 | ナデ 口：横，胴：縦 | |
| 160 | 26 | 14 | 18D① Ⅳ層上位 | 41.23 | 深鉢or鉢 | 口～胴 | 深鉢B | 深鉢1c | 口：A突起　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にL横 | ナデ 口～頸：横，胴：縦 | |
| 161 | 26 | 15 | 18D① Ⅳ層上位，同下位 | 999.34 | 深鉢 | 口～胴 | D | 1c | 口：小波状　頸：平行沈線２本で間無文 | LR横 | ナデ 口：横，胴：縦 | 外面上半にススコゲ付着 |
| 162 | 27 | 15 | 17D③ Ⅳ層上位，18D① Ⅳ層上位 | 690.41 | 深鉢 | 口～胴 | D | 1c | 口：小波状　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 163 | 27 | 15 | 17C④ Ⅳ層上位，17D① Ⅳ層上位 | 466.96 | 深鉢 | 口～胴 | B | 1a | 口：小波状　頸：沈線 | 胴にLR横 | ナデ 口：横，胴：縦 | 外面上半にススコゲ付着 |
| 164 | 27 | 15 | 17C③ Ⅳ層上位，同④ Ⅳ層上位 | 140.12 | 深鉢 | 口～胴 | E | 1e | 口：小波状　肩：平行沈線２本 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 165 | 27 | 15 | 18D Ⅳ層 | 31.29 | 深鉢or鉢 | 口～胴 | 深鉢F | 深鉢1b | 口：口唇に刺突（左から）　頸：平行沈線２本 | 胴にL横 | ナデ横 | |
| 166 | 27 | 15 | 12B Ⅳ層 | 47.12 | 深鉢 | 口～胴 | A | 1a | 口：短い沈線列，平行沈線１本 | 胴にLR横 | 口唇下に沈線　ナデ横 | |

## 第３表　土器観察表（６）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 重量(g) | 器　種 | 部　位 | 器　形 | 文　様 | 文様の特徴 | 地　紋 | 内　面 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 167 | 27 | 15 | 17D③ Ⅳ層上位 | 37.74 | 深鉢 | 口～胴 | F | 1a | 頸：沈線 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 168 | 28 | 15 | 18D① Ⅳ層上位 | 25.72 | 深鉢 | 口～胴 | B | 1d | 口：小波状　頸：平行沈線５本 | 胴にRL横 | ナデ横 | 内外面におこげ付着 |
| 169 | 28 | 15 | 17D③ Ⅳ層上位，18D① Ⅳ層下位 | 63.59 | 深鉢or鉢 | 口～胴 | 深鉢H | 深鉢1d | 口：口唇に斜位刻目，平行沈線４本 | 胴にRL横 | ナデ横 | 内面上半にススコゲ付着 |
| 170 | 28 | 15 | ８Ｃ Ⅳ層 | 28.31 | 深鉢or鉢 | 口～胴 | 深鉢E | 深鉢1d | 口：口唇に刻目　頸：平行沈線５本 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | 補修孔 |
| 171 | 28 | 15 | 15D Ⅳ層 | 30.91 | 深鉢or鉢 | 口～胴 | 深鉢C | 深鉢1d | 口：口唇に刻目，平行沈線５本 | 胴にRL横 | 口唇下沈線 | 外面におこげ付着 |
| 172 | 28 | 15 | 10C Ⅳ層 | 147.06 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口：Ｂ突起 | RL横 | ナデ横 | |
| 173 | 28 | 16 | 11C Ⅳ層 | 57.38 | 深鉢 | 口 | I | 4 | Ｂ突起 | RL０段多条横 | ナデ横 | 439と同一個体　外面一部におこげ付着 |
| 174 | 28 | 16 | 14D Ⅳ層 | 84.36 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口：Ｂ突起 | RL横 | ナデ横 | 外面におこげ付着 |
| 175 | 28 | 16 | 18C④ Ⅳ層上位 | 37.46 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口：Ｂ突起 | 胴にLR横 | | 内外面上端におこげ付着 |
| 176 | 28 | 16 | 17D① Ⅳ層上位 | 134.43 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | 口：突起？ | RL横 | | 内面肥厚，複合口縁 |
| 177 | 28 | 16 | 10C Ⅳ層 | 50.28 | 深鉢 | 口 | G | 2 | 口：小波状 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 178 | 28 | 16 | 11B Ⅳ層 | 115.83 | 深鉢 | 口～胴 | G | 4 | 口：波状 | LR横 | ナデ横 | 外部上半おこげ付着 |
| 179 | 28 | 16 | 11C Ⅳ層 | 54.53 | 深鉢 | 口～胴 | G | 2 | 口：小波状 | 胴にLR横・斜 | ナデ横 | |
| 180 | 29 | 16 | 14D Ⅳ層 | 90.19 | 深鉢 | 口～胴 | B | 5 | 口：小波状 | | 口唇下幅広沈線　ナデ横 | |
| 181 | 29 | 16 | 16D① Ⅳ層上位 | 60.48 | 深鉢 | 口～胴 | G | 2 | 口：小波状 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 182 | 29 | 16 | 18D① Ⅳ層上位 | 59.94 | 深鉢 | 口～胴 | G | 2 | 口：小波状 | 胴にLR横 | ナデ　口：横，胴：縦 | |
| 183 | 29 | 16 | ８Ｃ Ⅳ層 | 81.73 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | RL横 | ナデ横 | 内面肥厚，複合口縁 |
| 184 | 29 | 16 | 10B Ⅳ層 | 54.95 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | LR０段多条横 | 口唇下沈線　ナデ横 | 内面肥厚，複合口縁　内外面おこげ付着 |
| 185 | 29 | 16 | 10C Ⅳ層，10D Ⅳ層，11C Ⅳ層 | 170.03 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | LR・RL横 | ナデ横 | 褐色粘土粒？多量 |
| 186 | 29 | 16 | 11C Ⅳ層 | 3252.61 | 深鉢 | 略完形 | Ⅵ | 4 | | 口～胴にLR・RL横 | ナデ横 | |
| 187 | 29 | 16 | 11C Ⅳ層 | 50.17 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | RL・LR横 | ナデ横 | |
| 188 | 29 | 16 | 13C Ⅳ層 | 60.56 | 深鉢 | 口 | H | 4 | | LR横 | ナデ横 | |
| 189 | 29 | 17 | 14C Ⅳ層 | 72.36 | 深鉢 | 口 | I | 4 | | LR横 | ナデ横 | |
| 190 | 29 | 17 | 18D③ Ⅳ層上位 | 68.37 | 深鉢 | 口～胴 | I | 4 | | RL横 | ナデ横 | |
| 191 | 30 | 17 | ８Ｃ Ⅳ層 | 23.29 | 鉢 | 口～胴 | D | 1aア | 口：Ｂ突起，口唇に斜位刻目　頸～肩：平行沈線　胴：磨消縄文 | 胴にLR横 | ナデ横　細密 | |
| 192 | 30 | 17 | 15C③ Ⅳ層下位，16C Ⅳ層 | 31.59 | 鉢 | 口～胴 | D | 1aア | 口：Ｂ突起，口唇に刻目，平行沈線，粘土瘤　胴：磨消縄文 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 193 | 30 | 17 | 17C Ⅳ層 | 31.07 | 鉢 | 口～胴 | D | 1aア | 口：Ｂ突起，口唇に刻目　頸～肩：平行沈線，粘土瘤　胴：磨消縄文 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 194 | 30 | 17 | ８Ｄ Ⅳ層 | 28.24 | 鉢 | 口 | | 1aア？ | 大突起，磨消縄文 | RL横 | | 内面におこげ付着 |
| 195 | 30 | 17 | 16C④ Ⅳ層下位 | 17.55 | 鉢 | 口～胴 | D | 1aア？ | 口：大突起，口唇に斜位の刻目　胴：磨消縄文 | 胴にLR横 | ナデ縦 | |
| 196 | 30 | 17 | 11C Ⅳ層 | 17.97 | 鉢or浅鉢 | 口～胴 | 鉢E | 鉢1aア | 口：横長刺突，平行沈線２本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 197 | 30 | 17 | 16C② Ⅳ層上位 | 27.59 | 鉢 | 口～胴 | A | 2aイ | 口：口唇に刻目，平行沈線２本 | 胴にLR横 | ナデ横 | 内外面上半におこげ付着 |
| 198 | 30 | 17 | 18C② Ⅳ層上位 | 81.26 | 鉢 | 口～胴 | A | 2aウ | 口：口唇に刻目　頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 199 | 30 | 17 | 12B Ⅳ層 | 21.66 | 鉢 | 口～胴 | C | 2aウ | 口：Ａ突起，平行沈線２本 | 胴にRL横 | ナデ横 | |
| 200 | 30 | 17 | 19D Ⅳ層 | 35.80 | 鉢 | 口～胴 | C | 2aア | 肩：平行沈線 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 201 | 30 | 17 | 15C Ⅳ層，15D Ⅳ層 | 27.71 | 鉢 | 口～胴 | D | 2aエ | 口：Ｂ突起，口唇に刻目，平行沈線３本 | 胴にRL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 202 | 30 | 17 | 16C① Ⅳ層上位 | 27.88 | 鉢 | 口～胴 | A | 2aエ | 口：口唇に刻目，平行沈線３本 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 203 | 30 | 17 | 11C Ⅳ層 | 113.13 | 鉢 | 口～胴 | A | 2aエ | 口：Ａ突起　頸：平行沈線４本 | 胴にLR横 | ナデ　口：横，胴：縦 | |

## 第３表　土器観察表（７）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 重量(g) | 器　種 | 部　位 | 器　形 | 文　様 | 文様の特徴 | 地　紋 | 内　面 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 204 | 30 | 17 | ８Ｃ Ⅳ層 | 29.55 | 鉢 | 口～胴 | C | ２c | 口：Ａ・Ｂ突起　頸：平行沈線（工字文） | LR・RL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 205 | 30 | 17 | 11Ｃ Ⅳ層 | 35.60 | 鉢 | 口～胴 | A | ２c | 頸：工字文 | RL横 | 口唇下沈線　ナデ横 | 内面おこげ付着 |
| 206 | 31 | 17 | 12Ｂ Ｉｂ層，同Ⅳ層 | 31.45 | 鉢 | 口～胴 | F | ２d | 口：Ａ突起 | 胴にRL横 | ナデ横 | |
| 207 | 31 | 17 | 19Ｄ① Ⅳ層上位 | 52.13 | 浅鉢 | 口～胴 | D | 7 | 口：口唇に刻目 | RL横・斜 | ナデ横 | |
| 208 | 31 | 17 | 16Ｃ① Ⅳ層下位，17Ｃ Ⅳ層 | 157.24 | 台付鉢 | 略完形 | DX | ２aイ | 口：Ｂ突起（７単位），口唇に刻目　頸：平行沈線２本 | 胴にRL横 | ナデ横 | 内外面におこげ付着 |
| 209 | 31 | 17 | ８Ｃ Ⅳ層 | 37.03 | 浅鉢 | 口～胴 | D | ２a | 口：Ａ突起，口唇に刻目，隆帯＋刻目，平行沈線　胴：沈線（雲形文） | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 210 | 31 | 17 | 18Ｄ① Ⅳ層上位 | 16.18 | 浅鉢 | 口～胴 | B | ２a | 口：小波状　頸：平行沈線　胴：磨消縄文 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 211 | 31 | 17 | 15Ｃ Ⅳ層，同③ Ⅳ層上位，同④ Ⅳ層上位，16Ｃ② Ⅳ層上位，同④ Ⅳ層下位 | 70.52 | 浅鉢 | 略完形 | A | ２c | 口：Ａ突起（４単位），粘土瘤，平行沈線２本 | | ナデ横 | 内外面赤色塗彩 |
| 212 | 31 | 17 | ８Ｃ Ⅳ層 | 49.77 | 浅鉢 | 口～胴 | A | ３aウ | 頸：平行沈線２本で間無文 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 213 | 31 | 17 | 17Ｄ③ Ⅳ層上位 | 22.90 | 浅鉢 | 口～胴 | A | ３c | 口：Ｂ突起，口唇に短い沈線 | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 214 | 31 | 17 | ８Ｄ Ⅳ層 | 36.91 | 浅鉢 | 口～胴 | E | 4 | 口：口唇に刻目，刺突３列（右から） | LR横・斜 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 215 | 31 | 18 | 18Ｃ Ⅳ層，18Ｄ Ⅳ層上位，同① Ⅳ層上位 | 259.06 | 浅鉢 | 略完形 | AⅢ | ３aイ | 頸：平行沈線３本，横長粘土瘤（５単位） | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 216 | 31 | 18 | 18Ｃ② Ⅳ層上位 | 25.20 | 浅鉢 | 口～胴 | A | ３aイ | 口：口唇に刻目　頸：平行沈線４本 | 胴にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | 内外面におこげ付着 |
| 217 | 31 | 18 | ８Ｃ Ⅳ層 | 39.57 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅱ | | | Ｌ横 | ナデ横 | |
| 218 | 31 | 18 | ８Ｃ Ⅳ層 | 29.80 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅳ | | | RL縦 | ナデ | |
| 219 | 31 | 18 | 11Ｃ Ⅳ層 | 106.87 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅰ | | | LR横 | ナデ　胴：縦，底：横 | |
| 220 | 31 | 18 | 12Ｂ Ⅳ層 | 44.70 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅴ | | | LR横 | ナデ横 | |
| 221 | 31 | 18 | 15Ｃ Ⅳ層 | 50.00 | 深鉢or鉢 | 底部 | Ⅰ | | | RL横 | | 外面一部におこげ付着 |
| 222 | 31 | 18 | 17Ｄ③ Ⅳ層上位，同下位，18Ｄ Ⅳ層，同① Ⅳ層下位 | 363.35 | 深鉢or鉢 | 胴～底 | Ⅲ | | | LR横 | ナデ　胴：縦，底：横 | |
| 223 | 32 | 18 | 11Ｃ Ⅳ層 | 54.70 | 鉢or浅鉢 | 胴～底 | Ⅷ | | | | ナデ横 | |
| 224 | 32 | 18 | 11Ｄ Ⅳ層 | 61.03 | 壺 | 口～肩 | A | | 口：Ａ突起，粘土瘤 | 肩にLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 225 | 32 | 18 | 18Ｃ④ Ⅳ層上位，同下位 | 76.66 | 壺 | 口～頸 | | | 口：Ａ突起，粘土瘤 | | 口唇下沈線　ナデ横 | 外面に赤色塗彩 |
| 226 | 32 | 18 | 11Ｃ Ⅳ層 | 38.24 | 壺 | 口～肩 | A | | 口：突起 | 口唇と肩にRL横 | 口唇下沈線　口縁部ナデ横 | |
| 227 | 32 | 18 | 10Ｃ Ⅳ層 | 21.00 | 壺 | 口 | | | 平行沈線２本で間無文 | 口唇のみLR横 | 口唇下沈線　ナデ横 | |
| 228 | 32 | 18 | 11Ｃ Ⅳ層 | 21.44 | 壺 | 口～頸 | | | 磨消 | | ナデ横 | |
| 229 | 32 | 18 | 17Ｃ③ Ⅳ層上位，同Ⅳ層下位 | 16.14 | 壺？ | 口 | | | | 口唇にLR横 | ナデ横 | |
| 230 | 32 | 18 | 17Ｃ Ⅳ層 | 19.39 | 壺 | 口～肩 | B | | 口・頸：平行沈線 | 胴にLR横 | | |
| 231 | 32 | 18 | 11Ｃ Ⅳ層 | 50.29 | 壺 | 肩～底 | A | | 肩：磨消縄文，上下端に平行沈線　底：沈線 | LR横 | ナデ横 | |
| 232 | 32 | 18 | ８Ｃ Ⅳ層 | 148.20 | 壺 | 肩～底 | AⅧ | | 平行沈線（工字文） | LR横 | ナデ横 | |
| 233 | 32 | 18 | ８Ｄ Ⅳ層 | 24.82 | 小型 | 胴～底 | Ⅵ | | 沈線 | LR横 | ナデ横　粗い | |
| 234 | 32 | 18 | ８Ｃ Ⅳ層 | 23.85 | 小型 | 胴～底 | Ⅳ | | | 胴にLR横 | ナデ横 | |
| 235 | 32 | 18 | ８Ｃ Ⅳ層 | 8.20 | 小型 | 胴～底 | Ⅷ | | | | | |
| 236 | 32 | 18 | ８Ｄ Ⅳ層 | 14.35 | 小型 | 底 | Ⅵ | | | LR横 | | |
| 237 | 32 | 18 | 11Ｃ Ⅳ層 | 16.55 | 注口 | 注口 | | | 短い沈線 | | | |
| 238 | 32 | 18 | 11Ｃ Ⅳ層 | 18.90 | 脚付土器 | 脚 | | | 磨消縄文 | LR | | |
| 239 | 32 | 18 | 10Ｂ Ｉｂ層 | 120.18 | 浅鉢 | 口～胴 | AⅡ | 6 | | | ナデ横 | |
| 240 | 32 | 18 | 12Ｂ Ｉｂ層 | 95.12 | 浅鉢 | 口～底 | FⅥ | ２b | 口～胴：平行沈線（工字文） | | 口唇下沈線　ナデ横 | |

## 第４表　土器註記番号と出土地点および重量一覧表（１）

| 註記No. | 出土地点　層位　その他　（修正） | 重量（ｇ） |
|---|---|---|
| 1 | １号遺物包含層 １ａ層（8C） | 1,761.31 |
| 2 | １号遺物包含層 １ａ層｛8C（9D杭付近）｝ | 2,022.48 |
| 3 | １号遺物包含層 １ａ層（8D） | 86.12 |
| 4 | １号遺物包含層 １ａ層｛8D（9D杭付近）｝ | 783.44 |
| 5 | １号遺物包含層 １ａ層（9C） | 10,911.12 |
| 6 | １号遺物包含層 １ａ層｛9C（9D杭付近）｝ | 1,116.49 |
| 7 | １号遺物包含層 １ａ層（9D） | 1,369.48 |
| 8 | １号遺物包含層 １ａ層（9D杭付近） | 269.69 |
| 9 | １号遺物包含層 １ａ層（10B） | 106.76 |
| 10 | １号遺物包含層 １ａ層（10C） | 3,390.04 |
| 11 | １号遺物包含層 １ａ層（10D） | 61.93 |
| 12 | １号遺物包含層 １ａ層（11C） | 3,538.02 |
| 13 | １号遺物包含層 １ａ層（8C） | 1,547.23 |
| 14 | １号遺物包含層 １ａ層（8D） | 2,837.71 |
| 15 | １号遺物包含層 １ａ層（9C） | 1,686.13 |
| 16 | １号遺物包含層 １ａ層（9C） | 4,391.92 |
| 17 | １号遺物包含層 １ａ層（調査区東際） | 1,270.69 |
| 18 | １号竪穴住居跡 北半埋土上位（8C） | 188.49 |
| 19 | １号竪穴住居跡 北半埋土上位（8D） | 336.27 |
| 20 | １号竪穴住居跡 南半埋土上位（9C） | 1,379.68 |
| 21 | １号竪穴住居跡 東西ベルト埋土上位 | 745.91 |
| 22 | １号竪穴住居跡 調査区東際埋土上位 | 196.30 |
| 23 | １号竪穴住居跡 北半埋土中位（8D） | 30.41 |
| 24 | １号竪穴住居跡 埋土中位（9C） | 981.61 |
| 25 | １号竪穴住居跡 埋土中位 床面上20cm（9C） | 4.42 |
| 26 | １号竪穴住居跡 埋土中位 床面上34cm（9C） | 172.52 |
| 27 | １号竪穴住居跡 南半埋土中位 | 26.00 |
| 28 | １号竪穴住居跡 東西ベルト埋土中位 | 98.37 |
| 29 | １号竪穴住居跡 東西ベルト埋土中位 | 340.82 |
| 30 | １号竪穴住居跡 東西ベルト埋土下位 | 4.35 |
| 31 | １号竪穴住居跡 埋土下位 床面上15cm（9C） | 21.49 |
| 32 | １号竪穴住居跡 南半調査区東際埋土最下位上半（混合土 9D） | 3.99 |
| 33 | １号竪穴住居跡 南半埋土最下位（混合土） | 21.34 |
| 34 | １号竪穴住居跡 南半埋土最下位（混合土 9C） | 35.59 |
| 35 | １号竪穴住居跡 北壁際埋土最下位 | 17.22 |
| 36 | １号竪穴住居跡 北半埋土 | 40.36 |
| 37 | １号竪穴住居跡 西壁際埋土（9C） | 5.57 |
| 38 | １号竪穴住居跡 北半埋土（9C） | 156.66 |
| 39 | １号竪穴住居跡 南半埋土（9C） | 8.04 |
| 40 | １号竪穴住居跡 床面直上 P1 | 3.62 |
| 41 | １号竪穴住居跡 床面直上 P2 | 6.76 |
| 42 | １号竪穴住居跡 床面直上 P3 | 8.11 |
| 43 | １号竪穴住居跡 床面直上 P4 | 5.17 |
| 44 | １号竪穴住居跡 床面直上 P5 | 43.61 |
| 45 | １号竪穴住居跡 床面直上 P6 | 12.18 |
| 46 | １号竪穴住居跡 床面 P7 | 33.01 |
| 47 | １号竪穴住居跡 床面 P8 | 37.85 |
| 48 | １号竪穴住居跡 床面 P9 | 270.03 |
| 49 | １号竪穴住居跡 床面中央 | 12.55 |
| 50 | １号竪穴住居跡 PP2１層 | 137.42 |
| 51 | １号土坑 南半埋土 | 18.98 |
| 52 | １号土坑 埋土 | 20.84 |
| 53 | ２号土坑 埋土上位 | 26.27 |
| 54 | ２号土坑 埋土 | 29.89 |
| 55 | ３号土坑 １層 | 66.03 |
| 56 | ３号土坑 ２層 | 66.43 |
| 57 | ３号土坑 埋土中位 | 37.60 |
| 58 | ４号土坑 埋土 | 10.55 |
| 59 | ５号土坑 １層 | 51.67 |
| 60 | ５号土坑 埋土（検出面下50cm） | 30.16 |
| 61 | ６号土坑 埋土（検出面下20cm） | 34.35 |
| 62 | １号陥し穴状遺構 １層 | 248.80 |
| 63 | ４Ｂ Ｉｂ層 | 55.59 |
| 64 | ４Ｃ Ｉｂ層 | 16.51 |
| 65 | ５Ｂ Ｉｂ層 | 102.72 |
| 66 | ６Ｂ Ｉｂ層 | 77.94 |
| 67 | ６Ｃ Ｉｂ層 | 20.55 |
| 68 | ６Ｃ Ⅳ層 | 11.87 |
| 69 | ７Ｂ Ｉｂ層 | 199.75 |
| 70 | ７Ｃ Ｉｂ層 | 111.40 |
| 71 | ７Ｃ Ⅳ層 | 254.01 |
| 72 | ８Ｂ Ｉｂ層 | 151.49 |
| 73 | ８Ｃ Ｉｂ層 | 152.47 |
| 74 | ８Ｃ Ⅲ層 | 640.18 |
| 75 | ８Ｃ Ⅳ層 | 6,400.20 |
| 76 | ８Ｄ Ⅱ層 | 103.54 |
| 77 | ８Ｄ Ⅲ層 | 44.35 |
| 78 | ８Ｄ Ⅳ層 | 940.59 |
| 79 | ９Ｂ Ｉｂ層 | 203.32 |
| 80 | ９Ｂ Ⅳ層 | 40.79 |
| 81 | ９Ｃ Ｉｂ層 | 766.02 |
| 82 | ９Ｃ Ⅱ層 | 408.17 |
| 83 | ９Ｃ Ⅲ層 | 221.92 |
| 84 | ９Ｃ Ⅳ層 | 879.96 |
| 85 | ９Ｃ④ Ⅳ層 | 49.22 |
| 86 | ９Ｄ Ⅱ層 | 170.91 |
| 87 | ９Ｄ Ⅲ層 | 30.18 |
| 88 | ９Ｄ Ⅳ層 | 13.07 |
| 89 | 10Ｂ Ｉｂ層 | 774.16 |
| 90 | 10Ｂ Ⅳ層 | 235.05 |
| 91 | 10Ｃ Ｉｂ層 | 147.94 |
| 92 | 10Ｃ Ⅱ層 | 1,495.78 |
| 93 | 10Ｃ Ⅲ層 | 951.35 |
| 94 | 10Ｃ Ⅲ～Ⅳ層 | 2,508.79 |
| 95 | 10Ｃ Ⅳ層 | 3,278.60 |
| 96 | 10Ｄ Ⅱ層 | 311.54 |
| 97 | 10Ｄ Ⅲ層 | 457.74 |
| 98 | 10Ｄ Ⅳ層 | 1,035.63 |
| 99 | 11Ｂ Ｉｂ層 | 1,720.65 |
| 100 | 11Ｂ Ⅳ層 | 1,582.46 |
| 101 | 11Ｃ 調査区東際現代撹乱 | 1,037.76 |
| 102 | 11Ｃ Ⅱ層 | 1,310.68 |
| 103 | 11Ｃ Ⅲ層 | 4,725.57 |
| 104 | 11Ｃ Ⅳ層 | 9,719.75 |
| 105 | 11Ｄ Ⅱ層 | 64.50 |
| 106 | 11Ｄ Ⅲ層 | 508.69 |
| 107 | 11Ｄ Ⅳ層 | 833.44 |
| 108 | 12Ｂ Ｉｂ層 | 3,566.45 |
| 109 | 12Ｂ Ⅲ層 | 2,991.28 |
| 110 | 12Ｂ Ⅳ層 | 1,974.09 |
| 111 | 12Ｃ Ⅱ層 | 333.75 |
| 112 | 12Ｃ Ⅲ層 | 2,809.94 |
| 113 | 12Ｃ Ⅳ層 | 500.19 |
| 114 | 12Ｃ Ⅳ層下位 | 177.54 |
| 115 | 12Ｃ 層位不明 | 11.74 |
| 116 | 13Ａ Ｉｂ層 | 1.94 |
| 117 | 13Ａ Ⅳ層 | 5.01 |
| 118 | 13Ｂ Ｉｂ層 | 178.04 |
| 119 | 13Ｂ Ⅲ層 | 644.31 |
| 120 | 13Ｂ Ⅳ層 | 783.64 |
| 121 | 13Ｃ 撹乱 | 87.31 |
| 122 | 13Ｃ Ⅱ層 | 363.65 |
| 123 | 13Ｃ Ⅲ層 | 822.81 |
| 124 | 13Ｃ Ⅳ層 | 323.79 |
| 125 | 14Ｂ Ｉｂ層 | 31.77 |
| 126 | 14Ｂ Ⅲ層 | 421.71 |
| 127 | 14Ｂ Ⅳ層 | 33.87 |
| 128 | 14Ｂ Ｉｂ層 | 32.01 |
| 129 | 14Ｃ Ⅱ層 | 702.61 |
| 130 | 14Ｃ Ⅲ層 | 666.67 |
| 131 | 14Ｃ Ⅳ層 | 505.72 |
| 132 | 14Ｃ Ⅳ層下位 | 411.39 |
| 133 | 14Ｄ Ⅱ層 | 28.12 |
| 134 | 14Ｄ Ⅳ層 | 506.84 |
| 135 | 15Ｂ Ｉｂ層 | 249.39 |
| 136 | 15Ｂ Ⅲ層 | 29.73 |
| 137 | 15Ｂ Ⅳ層 | 267.05 |
| 138 | 15Ｃ Ｉｂ層 | 531.09 |

## 第４表　土器註記番号と出土地点および重量一覧表（２）

| 註記No. | 出土地点　層位　その他　（修正） | 重量（g） |
|---|---|---|
| 139 | 15C Ⅱ層 | 48.22 |
| 140 | 15C Ⅲ層 | 385.09 |
| 141 | 15C Ⅳ層 | 2,021.59 |
| 142 | 15C③ Ⅳ層上位 | 51.34 |
| 143 | 15C④ Ⅳ層上位 | 286.80 |
| 144 | 15C Ⅳ層上位 | 9.12 |
| 145 | 15C③ Ⅳ層下位 | 10.63 |
| 146 | 15D Ⅱ層 | 229.69 |
| 147 | 15D Ⅲ層 | 89.87 |
| 148 | 15D Ⅳ層 | 813.69 |
| 149 | 15D③ Ⅳ層上位 | 125.19 |
| 150 | 15D③ Ⅳ層下位 | 22.97 |
| 151 | 16B Ⅰb層 | 255.19 |
| 152 | 16B Ⅳ層 | 48.54 |
| 153 | 16C Ⅰb層 | 3.02 |
| 154 | 16C Ⅱ層 | 199.47 |
| 155 | 16C Ⅲ層 | 803.65 |
| 156 | 16C Ⅳ層 | 631.05 |
| 157 | 16C① Ⅳ層上位 | 110.32 |
| 158 | 16C② Ⅳ層上位 | 581.29 |
| 159 | 16C③ Ⅳ層上位 | 333.86 |
| 160 | 16C④ Ⅳ層上位 | 522.59 |
| 161 | 16C① Ⅳ層下位 | 283.41 |
| 162 | 16C② Ⅳ層下位 | 161.50 |
| 163 | 16C③ Ⅳ層下位 | 59.11 |
| 164 | 16C④ Ⅳ層下位 | 521.63 |
| 165 | 16D Ⅱ層 | 100.07 |
| 166 | 16D Ⅲ層 | 486.01 |
| 167 | 16D Ⅳ層 | 279.92 |
| 168 | 16D① Ⅳ層上位 | 14.21 |
| 169 | 16D③ Ⅳ層上位 | 66.02 |
| 170 | 17B Ⅰb層 | 216.65 |
| 171 | 17B Ⅲ層 | 1,018.45 |
| 172 | 17B Ⅳ層 | 134.20 |
| 173 | 17C Ⅱ層 | 255.85 |
| 174 | 17C Ⅲ層 | 1,032.76 |
| 175 | 17C Ⅳ層 | 2,290.15 |
| 176 | 17C Ⅳ層上位 | 296.56 |
| 177 | 17C① Ⅳ層上位 | 1,869.33 |
| 178 | 17C② Ⅳ層上位 | 662.51 |
| 179 | 17C③ Ⅳ層上位 | 479.24 |
| 180 | 17C④ Ⅳ層上位 | 1,099.94 |
| 181 | 17C① Ⅳ層下位 | 27.07 |
| 182 | 17C② Ⅳ層下位 | 48.27 |
| 183 | 17C③ Ⅳ層下位 | 20.87 |
| 184 | 17C④ Ⅳ層下位 | 131.98 |
| 185 | 17D Ⅱ層 | 323.48 |
| 186 | 17D Ⅲ層 | 870.76 |
| 187 | 17D Ⅳ層 | 797.02 |
| 188 | 17D Ⅳ層上位 | 398.41 |
| 189 | 17D Ⅳ層上位 | 1.88 |
| 190 | 17D① Ⅳ層上位 | 678.75 |
| 191 | 17D③ Ⅳ層上位 | 3,340.26 |
| 192 | 17D① Ⅳ層下位 | 35.36 |
| 193 | 17D③ Ⅳ層下位 | 60.42 |
| 194 | 18B Ⅰb層 | 1,079.04 |
| 195 | 18C Ⅱ層 | 1,565.83 |
| 196 | 18C Ⅲ層 | 1,043.12 |
| 197 | 18C Ⅳ層 | 743.95 |
| 198 | 18C① Ⅳ層上位 | 235.34 |
| 199 | 18C② Ⅳ層上位 | 1,385.80 |
| 200 | 18C③ Ⅳ層上位 | 188.12 |
| 201 | 18C④ Ⅳ層上位 | 866.22 |
| 202 | 18C② Ⅳ層下位 | 27.90 |
| 203 | 18C③ Ⅳ層下位 | 21.91 |
| 204 | 18C④ Ⅳ層下位 | 96.46 |
| 205 | 18D Ⅱ層 | 121.76 |
| 206 | 18D Ⅲ層 | 379.68 |
| 207 | 18D Ⅳ層 | 178.24 |
| 208 | 18D Ⅳ層上位 | 579.63 |
| 209 | 18D① Ⅳ層上位 | 3,750.13 |
| 210 | 18D③ Ⅳ層上位 | 598.75 |
| 211 | 18D① Ⅳ層下位 | 624.95 |
| 212 | 19B Ⅰb層 | 1,134.87 |
| 213 | 19B Ⅲ層 | 99.00 |
| 214 | 19B Ⅳ層 | 17.11 |
| 215 | 19C Ⅰb層 | 1,661.00 |
| 216 | 19C Ⅱ層 | 207.83 |
| 217 | 19C Ⅲ層 | 29.43 |
| 218 | 19C Ⅳ層 | 24.54 |
| 219 | 19C② Ⅳ層上位 | 148.02 |
| 220 | 19D Ⅱ層 | 12.91 |
| 221 | 19D Ⅲ層 | 72.28 |
| 222 | 19D Ⅳ層 | 321.69 |
| 223 | 19D① Ⅳ層上位 | 391.17 |
| 224 | 19D① Ⅳ層下位 | 26.80 |
| 225 | 19D② Ⅳ層下位 | 13.51 |
| 226 | 20B Ⅰb層 | 147.76 |
| 227 | 20B付近 Ⅰb層 | 860.83 |
| 228 | 20B Ⅲ層 | 421.94 |
| 229 | 20B Ⅳ層 | 3.48 |
| 230 | 20B Ⅳ層上位 | 276.09 |
| 231 | 20C Ⅱ層 | 182.94 |
| 232 | 20C Ⅲ層 | 414.85 |
| 233 | 20D Ⅱ層 | 10.79 |
| 234 | 20D Ⅲ層 | 143.35 |
| 235 | 21C Ⅱ層 | 52.95 |
| 236 | 出土地点不明 | 4,106.92 |
| | 合計重量 | 157,852.22 |

## 第５表　遺構内および遺構外Ⅱ層以下出土土器の出土地点別重量

| 遺構・層位 | | 重量（g） |
|---|---|---|
| 遺構内 | １号竪穴住居跡 | 5,385.72 |
| | １号遺物包含層 | 37,150.56 |
| | １号土坑 | 39.82 |
| | ２号土坑 | 56.16 |
| | ３号土坑 | 170.06 |
| | ４号土坑 | 10.55 |
| | ５号土坑 | 81.83 |
| | ６号土坑 | 34.35 |
| | １号陥し穴状遺構 | 248.8 |
| 遺構外 | Ⅱ層 | 8,605.04 |
| | Ⅲ層 | 23,256.67 |
| | Ⅲ～Ⅳ層 | 2,508.79 |
| | Ⅳ層 | 60,610.58 |

## 第６表　土製品観察表

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点　層位　その他 | 種　別 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 重量（g） | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 241 | 33 | 19 | １号住 埋土中位・南壁際から１ｍ（9C） | 土偶 | (5.29) | (4.48) | (3.03) | (43.50) | 頭部，猪首状，耳たぶに穿孔 |
| 242 | 33 | 19 | １号住 東西ベルト埋土上位 | 異形土製品 | (2.65) | (3.72) | (2.69) | (15.25) | 平行沈線 |
| 243 | 33 | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（9D） | 土偶 | (2.37) | (1.41) | (0.96) | (2.50) | 腕？，平行沈線，先端に十字の沈線 |
| 244 | 33 | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（10C） | 土偶 | (4.09) | (2.30) | (2.22) | (19.10) | 右脚 |
| 245 | 33 | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（8C） | 土偶 | (4.90) | (2.22) | (1.29) | (10.55) | 脚，平行沈線 |
| 246 | 33 | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（8C） | 土偶 | (2.34) | (2.33) | (2.70) | (9.02) | 右脚，中空 |
| 247 | 33 | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（8C） | 土版？ | (3.72) | (3.21) | (1.98) | (11.70) | 太い平行沈線 |
| 248 | 33 | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（8D・9C） | 土版？ | (5.09) | (2.77) | (2.17) | (28.17) | 太い平行沈線（側縁にも） |
| 249 | | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（8C） | 粘土塊 | 2.54 | 2.99 | 1.28 | 7.23 | |
| 250 | | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（9C） | 粘土塊 | (2.10) | (1.76) | (2.00) | (4.81) | |
| 251 | | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（10C） | 粘土塊 | (2.22) | (1.21) | (1.21) | (2.16) | |
| 252 | | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（9C） | 粘土塊（盤状） | (3.42) | (3.27) | (0.88) | (9.34) | 細く間隔広い平行沈線 |
| 253 | | 19 | １号遺物包含層 １ａ層（9C） | 粘土塊（棒状） | (1.77) | (0.83) | (0.72) | (0.90) | |
| 254 | 33 | 19 | 10C Ⅱ層 | 土偶 | (4.70) | (2.21) | (3.18) | (26.79) | 右脚？ |
| 255 | 33 | 19 | 10C Ⅲ層 | 土偶 | (2.94) | (2.92) | (2.70) | (14.62) | 右脚，中空 |
| 256 | 33 | 19 | 8C Ⅳ層 | 土偶 | (2.88) | (2.02) | (1.76) | (8.80) | 右脚？ |
| 257 | 33 | 19 | 9C④ Ⅳ層 | 土偶 | (2.89) | (1.76) | (1.73) | (10.73) | 左腕？ |
| 258 | 33 | 19 | 18C① Ⅳ層上位 | 土偶 | (6.24) | (6.21) | (2.09) | (46.16) | 胴～右脚 |
| 259 | 33 | 19 | 9C Ⅳ層 | 土偶 | (4.50) | (3.05) | (3.93) | (49.72) | 右脚 |
| 260 | 34 | 19 | 17C Ⅳ層 | 土偶 | (3.34) | (1.91) | (1.46) | (6.85) | 左脚？，中空，前面欠損 |
| 不掲載 | | | 11B Ⅰｂ層 | 土偶 | (3.69) | (3.13) | (1.78) | (10.32) | ？，沈線 |
| 261 | | 19 | 11C Ⅱ層 | 土版？ | (1.70) | (3.04) | (1.14) | (4.37) | 沈線 |
| 262 | 34 | 19 | 12B Ⅳ層・ⅠＢ層，12C Ⅲ層 | 土版 | (9.42) | (6.27) | (1.98) | (53.55) | 平行沈線 |
| 263 | | 20 | 10C Ⅳ層 | 土版 | (2.09) | (2.93) | (1.11) | (4.82) | 平行沈線 |
| 264 | 34 | 20 | 10C Ⅳ層 | 土版 | (3.38) | (4.23) | (1.54) | (15.11) | 平行沈線 |
| 不掲載 | | | 9C Ⅰｂ層 | 土版 | (3.81) | (3.19) | (1.95) | (18.28) | 平行沈線 |
| 265 | 34 | 20 | 12B Ⅲ層 | 異形土製品（土球？） | (2.54) | (4.00) | (3.65) | (27.23) | 無文 |
| 266 | 34 | 20 | 10C Ⅳ層 | 異形土製品 | (4.12) | (3.85) | (2.93) | (47.37) | 円形刺突列，深い沈線 |
| 267 | 34 | 20 | 11C Ⅳ層 | 異形土製品 | (3.21) | (4.12) | (4.17) | (47.20) | 無文 |
| 268 | 34 | 20 | 14D Ⅳ層 | 異形土製品 | (2.83) | (4.95) | (3.23) | (22.51) | 太い沈線 |
| 269 | 34 | 20 | 16D Ⅱ～Ⅳ層 | 土鈴 | (2.70) | (3.90) | (3.97) | (26.01) | 無文 |
| 270 | 34 | 20 | 17C Ⅲ層 | 土鈴 | (2.36) | (4.23) | (4.03) | (13.60) | 無文，クラック顕著 |
| 271 | 34 | 20 | 8C Ⅳ層 | 土鈴 | (1.93) | (2.07) | (0.97) | (2.48) | 無文 |
| 272 | 34 | 20 | 17C Ⅳ層 | 土鈴 | (1.59) | (3.34) | (3.14) | (6.90) | 無文 |
| 273 | 34 | 20 | 17C Ⅱ層 | 耳栓 | 1.57 | 0.83 | 0.82 | 1.01 | 無文 |
| 274 | | 20 | 10C Ⅱ層 | 粘土塊 | (2.49) | (1.67) | (1.14) | (2.87) | |
| 275 | | 20 | 10C Ⅱ層 | 粘土塊 | (2.82) | (3.26) | (1.28) | (8.93) | |
| 276 | | 20 | 8D Ⅳ層 | 粘土塊 | 2.40 | 2.02 | 1.31 | 3.55 | |
| 277 | | 20 | 12C Ⅳ層 | 粘土塊 | (1.70) | (2.13) | (1.55) | (3.30) | |
| 278 | | 20 | 16C④ Ⅳ層上位 | 粘土塊 | 2.44 | 2.49 | 1.61 | 7.51 | |
| 不掲載 | | | 10B Ⅰｂ層 | 粘土塊 | 2.50 | 2.38 | 2.30 | 8.75 | |
| 不掲載 | | | 10B Ⅰｂ層 | 粘土塊 | (2.41) | (2.24) | (1.13) | (3.73) | |
| 279 | | 20 | 12C Ⅳ層 | 粘土塊（盤状） | (3.47) | (2.34) | (1.29) | (10.32) | |
| 280 | | 20 | 16C④ Ⅳ層下位 | 粘土塊（盤状） | (3.72) | (2.23) | (1.43) | (11.06) | 裏面に沈線 |
| 281 | | 20 | 17C Ⅳ層 | 粘土塊（盤状） | (2.80) | (1.61) | (1.35) | (3.78) | |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | 粘土塊（盤状） | (5.21) | (3.77) | (1.77) | (25.90) | |
| 282 | | 20 | 10C Ⅱ層 | 粘土塊（棒状） | 3.99 | 1.34 | 1.42 | 5.58 | |
| 283 | | 20 | 11C Ⅲ層 | 粘土塊（棒状） | (1.91) | (0.99) | (0.85) | (1.53) | |
| 284 | | 20 | 12B Ⅲ層 | 粘土塊（棒状） | (1.81) | (1.20) | (1.35) | (1.65) | |
| 285 | | 20 | 10C Ⅲ～Ⅳ層 | 粘土塊（棒状） | (3.35) | (1.14) | (8.94) | (2.64) | |
| 286 | | 20 | 12C Ⅳ層下位 | 粘土塊（棒状） | (2.32) | (0.73) | (6.70) | (1.23) | |

## 第７表　石器観察表（１）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 器　種 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石　質 | 場　所 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 287 | 35 | 21 | １号住 南壁際埋土下位（床面上10cm） | 磨石 | 7.97 | 6.64 | 3.50 | 296.05 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 全体 |
| 288 | 35 | 21 | １号住 南半西壁際埋土下位 | 敲石 | (14.13) | 8.23 | 8.79 | (1244.81) | チャート | 北上山地 | １端使用し使用部欠損　一部敲打痕残る |
| 289 | | 21 | １号住 東西ベルト埋土上位 | スクレイパー（削） | 2.51 | (2.63) | 0.81 | (5.61) | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整片面 |
| 290 | 35 | 21 | １号住 北半埋土上位（8C） | 石核 | 6.05 | 5.47 | 4.58 | 159.26 | チャート | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２　円礫 |
| 291 | | 21 | １号住 調査区東際埋土上位 | 石核 | 2.68 | 1.72 | 1.58 | 5.84 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 292 | | 21 | １号住 北半埋土上位（8D） | 敲石？ | 7.70 | 4.96 | 3.88 | 206.80 | チャート | 北上山地 | 長軸１端に敲打痕 |
| 不掲載 | | | １号住 調査区東際埋土上位 | 敲石 | (6.68) | 6.78 | 2.74 | (173.95) | チャート | 北上山地 | 1/2欠 |
| 293 | | 21 | １号住 埋土最上位 | 石核 | 3.07 | 3.19 | 2.18 | 17.86 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 打面・作業面各１ |
| 不掲載 | | | １号住 埋土最上位 | 石核 | 2.12 | 1.86 | 1.51 | 5.74 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 294 | 35 | 21 | １号包含層 1a 層（8C） | 石鏃 | (2.58) | 1.00 | 0.45 | (0.80) | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　茎部にアスファルト付着　茎部欠損 |
| 295 | 35 | 21 | １号包含層 1a 層（8C） | 石鏃 | (1.83) | 1.00 | 0.41 | (0.64) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　茎部にアスファルト付着　先端部・茎部欠損 |
| 296 | 35 | 21 | １号包含層 1a 層（9C） | 石鏃 | (2.34) | 1.12 | 0.45 | (0.97) | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　茎部にアスファルト付着　先端部欠損 |
| 297 | | 21 | １号包含層 1a 層（9C） | 尖頭状 | (2.03) | 2.10 | 0.85 | (2.77) | 頁岩 | 北上山地 | 1/2以上欠損 |
| 298 | 35 | 21 | １号包含層 1a 層（8C） | 石錐 | 3.75 | 3.21 | 1.34 | 12.26 | 頁岩 | 北上山地 | |
| 299 | 35 | 21 | １号包含層 1a 層（11C） | 石錐 | (1.83) | 1.50 | 0.51 | (1.05) | 黒色頁岩 | 北上山地 | 刃部欠損 |
| 300 | 36 | 21 | １号包含層 1a 層（8D） | 石匙 | 5.21 | 6.18 | 1.50 | 36.01 | 頁岩 | 北上山地 | 横型・三角形 |
| 301 | 36 | 21 | １号包含層 1a 層（10C） | 石匙 | 5.33 | (2.66) | 0.55 | (7.50) | 黒色頁岩 | 北上山地 | 縦型　左側縁欠損 |
| 302 | 36 | 21 | １号包含層 1a 層（9C） | スクレイパー | 6.84 | 5.43 | 1.24 | 42.94 | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整片面 |
| 303 | 36 | 22 | １号包含層 1a 層（9D） | スクレイパー | (2.70) | 1.58 | 0.70 | (2.89) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 掻器的　末端部欠損 |
| 304 | 36 | 22 | １号包含層 1a 層（9D） | スクレイパー | (3.79) | 3.61 | 0.88 | (12.26) | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整両面 |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（8D） | スクレイパー（削） | (2.59) | 2.34 | 0.71 | (3.52) | 黒色頁岩 | 北上山地 | 左側縁腹面に調整　1/2欠 |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（8C） | 二次加工ある剥片 | (2.01) | 2.23 | 0.90 | (3.94) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 左側縁腹面～末端に調整　1/2欠 |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（8C） | 石器片（スクレイパー（掻）？） | (1.25) | (1.29) | (0.65) | (0.79) | 頁岩 | 北上山地 | |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（9C） | 石器片（スクレイパー（掻）？） | (2.01) | (3.03) | (1.43) | (6.19) | 頁岩 | 北上山地 | |
| 305 | 36 | 22 | １号包含層 1a 層（10C） | 石核 | 3.06 | 2.07 | 1.25 | 9.53 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 306 | 36 | 22 | １号包含層 1a 層（8C） | 石核 | 2.59 | 1.50 | 0.69 | 2.24 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 307 | 36 | 22 | １号包含層 1a 層（8C） | 石核 | 2.79 | 1.74 | 2.09 | 9.29 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 308 | | 22 | １号包含層 1a 層（8D） | 石核 | 3.04 | 1.63 | 1.56 | 11.34 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 309 | 36 | 22 | １号包含層 1a 層（9C） | 石核 | 2.53 | 1.62 | 0.72 | 3.11 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 310 | | 22 | １号包含層 1a 層（9D杭付近） | 石核 | 2.29 | 1.93 | 1.46 | 6.47 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 311 | | 22 | １号包含層 1a 層（8C） | 石核 | 3.24 | 1.71 | 1.16 | 8.71 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 312 | 36 | 22 | １号包含層 1a 層（9C） | 石核 | 3.27 | 4.42 | 1.61 | 22.72 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 313 | 37 | 22 | １号包含層 1a 層（9D） | 石核 | 3.41 | 1.55 | 1.73 | 10.38 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面２ |
| 314 | 37 | 22 | １号包含層 1a 層（9C） | 石核 | 1.91 | 3.03 | 1.55 | 9.19 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面４ |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（9C） | 石核 | 3.93 | 2.37 | 1.12 | 10.21 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極 |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（10D） | 石核 | 2.69 | 2.10 | 1.36 | 9.48 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（9C） | 石核 | 3.74 | 3.50 | 1.97 | 22.37 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 打面１，作業面１ |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（9D杭付近） | 石核 | 2.00 | 1.89 | 1.26 | 5.28 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 打面１，作業面２ |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（9D） | 石核？ | 2.11 | 2.09 | 1.52 | 8.93 | 珪質頁岩 | 北上山地 | |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（8D） | 石核 | 1.98 | 1.91 | 0.60 | 2.18 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 不掲載 | | | １号包含層 1a 層（11C） | 石核 | 3.62 | 3.18 | 1.77 | 14.84 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 315 | | 22 | １号包含層 1a 層（8C） | 石核 | 5.49 | 7.23 | 4.32 | 146.87 | チャート | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面２ |
| 316 | 37 | 22 | １号包含層 1a 層（9C） | 石核 | 13.56 | 7.53 | 5.64 | 564.55 | チャート | 北上山地 | 打面３，作業面２ |

## 第７表　石器観察表（２）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 器　種 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石　質 | 場　所 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 不掲載 | | | １号包含層 １a 層（9C） | 石核 | 3.42 | 3.34 | 1.62 | 15.57 | チャート | 北上山地 | 打面１，作業面１ |
| 317 | 38 | 23 | １号包含層 １a 層（9D杭付近） | 磨石 | 11.21 | 85.67 | 3.96 | 567.83 | 頁岩 | 北上山地 | 全体　他に例のない石質 |
| 318 | | 23 | １号包含層 １a 層（9D杭付近） | 磨石 | 11.40 | 9.02 | 5.88 | 931.30 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 全面に磨痕　表裏面とくに磨痕強い |
| 不掲載 | | | １号包含層 １a 層（9D杭付近） | 磨石 | (7.22) | (6.18) | (4.18) | (251.73) | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 風化著しい |
| 319 | 38 | 23 | １号包含層 １a 層（9C） | 磨石+敲石 | 10.78 | 8.43 | 5.42 | 768.88 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 全体に磨痕，その後長軸両端に敲打・磨痕　表裏面とくに磨痕強い |
| 320 | 38 | 23 | １号包含層 １a 層（9D杭付近） | 磨石+敲石 | 11.44 | 9.15 | 5.94 | 955.68 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 全体に磨痕，その後長軸１端に敲打痕　表裏面とくに磨痕強い |
| 321 | 38 | 23 | １号包含層 １a 層（9D 磨石集中） | 磨石＋凹石 | 10.44 | 8.07 | 4.14 | 563.01 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 全体に磨痕，その後凹痕形成 |
| 322 | 38 | 23 | １号包含層 １a 層（9D 磨石集中） | 磨石＋凹石＋敲石 | 11.23 | 6.66 | 3.35 | 416.69 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 両面に磨痕，その後凹痕形成　長軸１端に敲打痕 |
| 不掲載 | | | １号包含層 １a 層（9C） | 敲石？ | (14.09) | 7.17 | 4.42 | (599.96) | チャート | 北上山地 | 両端使用し一端欠損 |
| 不掲載 | | | １号包含層 １a 層（9C） | 敲石？ | (8.81) | 6.60 | 2.06 | (158.32) | チャート | 北上山地 | 両端使用し一端欠損 |
| 323 | | 23 | １号包含層 １a 層（9D杭付近） | 台石類 | (13.76) | (7.43) | (4.93) | (510.89) | 砂岩 | 北上山地 | 1/3以上欠損 |
| 不掲載 | | | １号包含層 １a 層 | 台石類 | (4.07) | (3.12) | 5.05 | (40.82) | 砂岩 | 北上山地 | 破片 |
| 324 | 39 | 24 | １号土坑 底面（Ｓ１） | 石核 | 12.01 | 9.78 | 6.28 | 791.45 | 赤色チャート | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面４ |
| 325 | 39 | 23 | ４号土坑 埋土 | 石鏃 | 2.91 | 1.85 | 0.28 | 1.24 | 頁岩 | 北上山地 | 凹基無茎　薄い |
| 326 | | 23 | ４号土坑 床直中央 | 礫 | (8.31) | (5.56) | 1.73 | (95.71) | 砂岩 | 北上山地 | 板状角礫 |
| 327 | | 24 | ６号土坑 南壁際埋土下位 | 敲石？ | (7.56) | 6.83 | 5.26 | (356.45) | チャート | 北上山地 | 敲石あるいは両極石核 |
| 328 | 40 | 24 | 11Ｃ Ⅱ層 | 石鏃 | 2.83 | 1.16 | 0.69 | 1.22 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎 |
| 329 | | 24 | 18Ｃ Ⅱ層 | 石鏃 | (2.39) | 1.18 | 0.45 | (0.90) | 頁岩 | 北上山地 | 平基有茎　先端部欠損 |
| 330 | | 24 | 17Ｄ Ⅱ層 | 石鏃？ | (2.02) | 1.35 | 0.52 | (1.46) | 赤色頁岩 | 北上山地 | 製作途中の欠損？ |
| 不掲載 | | | 11Ｄ Ⅱ層 | 尖頭状（石鏃？） | (1.42) | 1.19 | 0.39 | (0.44) | 頁岩 | 北上山地 | 基部側大部分欠 |
| 331 | | 24 | 9C Ⅲ層 | 石鏃 | (2.18) | 1.70 | 0.64 | (2.26) | 頁岩 | 北上山地 | 凸基無茎　基部欠損 |
| 332 | 40 | 24 | 11Ｃ Ⅲ層 | 石鏃 | 2.48 | 0.98 | 0.44 | 0.82 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　先端部欠損 |
| 333 | | 24 | 11Ｃ Ⅲ層 | 石鏃 | (1.69) | 1.43 | 0.49 | (0.90) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　茎部欠損 |
| 334 | 40 | 24 | 11Ｃ Ⅲ層 | 石鏃 | 2.51 | 1.65 | 0.49 | 1.85 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　調整はほぼ片面に集中 |
| 335 | 40 | 24 | 17Ｄ Ⅲ層 | 石鏃 | 2.91 | 1.91 | 0.97 | 3.04 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎 |
| 336 | 40 | 24 | 10Ｄ Ⅲ層 | 石鏃 | 2.38 | 1.07 | 0.67 | 1.58 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　厚い　石錐？ |
| 337 | 40 | 24 | 8C Ⅳ層 | 石鏃 | 1.85 | 1.16 | 0.43 | 0.68 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　小形 |
| 338 | 40 | 24 | 10Ｃ Ⅳ層 | 石鏃 | 2.57 | 1.56 | 0.91 | 2.71 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　基部は最終的な欠損ではない |
| 339 | 40 | 25 | 10Ｃ Ⅳ層 | 石鏃 | 2.76 | 1.53 | 0.67 | 1.83 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎 |
| 340 | 40 | 25 | 8C Ⅳ層 | 石鏃 | 3.30 | 1.67 | 1.68 | 4.06 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎 |
| 341 | 40 | 25 | 10Ｃ Ⅳ層 | 石鏃 | 3.35 | 1.41 | 0.63 | 1.67 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎 |
| 342 | 40 | 25 | 16Ｃ① Ⅳ層下位 | 石鏃 | 3.54 | 1.74 | 0.56 | 1.92 | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎 |
| 343 | 40 | 25 | 15Ｃ Ⅳ層 | 石鏃 | (2.83) | 1.57 | 2.83 | (1.45) | 頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　茎部欠損 |
| 344 | | 25 | 8C Ⅳ層 | 石鏃 | (2.50) | 1.53 | 0.34 | (1.12) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　薄い　先端部欠損 |
| 345 | | 25 | 8C Ⅳ層 | 石鏃？石錐？ | 3.06 | 1.53 | 0.75 | 2.88 | 頁岩 | 北上山地 | 石鏃未製品？ |
| 346 | | 25 | 9C Ⅳ層 | 石鏃？石錐？ | (1.82) | 1.12 | 0.46 | (0.75) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 石鏃製作途中の欠損？ |
| 347 | | 25 | 9C Ⅳ層 | 石鏃？石錐？ | 2.47 | 1.26 | 0.52 | 1.45 | 頁岩 | 北上山地 | 石鏃か石錐の未製品 |
| 348 | | 25 | 9C④ Ⅳ層 | 石鏃？ | 1.83 | 1.44 | 0.64 | 1.41 | 黒色頁岩 | 北上山地 | 未製品？ |
| 不掲載 | | | 12Ｂ Ｉｂ層 | 石鏃 | 3.07 | 1.68 | 0.29 | 1.29 | 頁岩 | 北上山地 | 凹基 |
| 不掲載 | | | 15Ｂ Ｉｂ層 | 石鏃 | (1.95) | 1.04 | 0.44 | (0.88) | 頁岩 | 北上山地 | 細身の凸基有茎　先端・基部欠 |
| 不掲載 | | | 16Ｂ Ｉｂ層 | 石鏃 | 2.01 | 1.45 | 3.63 | 0.92 | 赤色頁岩 | 北上山地 | 平基 |
| 不掲載 | | | 18Ｂ Ｉｂ層 | 石鏃 | 2.70 | 1.31 | 0.45 | 1.10 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 凸基有茎　先端部鈍角 |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | 石鏃 | (3.01) | 1.49 | 0.61 | (1.21) | 頁岩 | 北上山地 | 細身の凸基有茎　先端・基部欠 |

## 第７表　石器観察表（３）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 器　種 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石　質 | 場　所 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 不掲載 | | | 8C Ⅳ層 | 石鏃（未）？石錐？ | 2.56 | 1.37 | 0.48 | 1.11 | 頁岩 | 北上山地 | |
| 不掲載 | | | 18C Ⅳ層 | 石鏃（未）？石錐？ | (1.52) | 0.79 | 0.44 | (0.56) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 石鏃であれば基部欠 |
| 不掲載 | | | 12B Ⅰb層 | 石鏃（未）？石錐？ | 2.72 | 1.73 | 0.42 | 1.66 | 頁岩 | 北上山地 | |
| 不掲載 | | | 12B Ⅲ層 | 尖頭状 | (1.70) | 1.58 | 0.56 | (1.19) | 頁岩 | 北上山地 | 基部側1/2欠 |
| 不掲載 | | | 17C Ⅲ層 | 尖頭状 | (2.27) | 1.94 | 0.53 | (1.98) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 基部側1/2欠 |
| 349 | 40 | 25 | 8C Ⅳ層 | 尖頭状 | 3.88 | 2.42 | 0.80 | 7.82 | 頁岩 | 北上山地 | 基部調整途中？ |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | 尖頭状 | 2.71 | 1.41 | 0.68 | 2.18 | 頁岩 | 北上山地 | 製作途中？ |
| 350 | 40 | 25 | 10C Ⅱ層 | 石錐 | 2.98 | 1.71 | 1.13 | 3.82 | 頁岩 | 北上山地 | 刃部調整片面 |
| 351 | 40 | 25 | 10C Ⅲ層 | 石錐 | 3.23 | 2.32 | 0.90 | 3.70 | 黒色頁岩 | 北上山地 | |
| 352 | 40 | 25 | 10C Ⅲ～Ⅳ層 | 石錐 | 2.78 | 1.58 | 0.75 | 2.38 | めのう | 北上山地 | |
| 353 | 40 | 25 | 8C Ⅳ層 | 石錐 | 2.17 | 1.61 | 0.76 | 1.54 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 刃部調整ほぼ片面 |
| 354 | 41 | 25 | 17D Ⅱ～Ⅳ層 | 石匙 | 4.81 | 6.03 | 1.12 | 24.91 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 横型 |
| 355 | 41 | 25 | 16C④ Ⅳ層下位 | 石匙 | 5.59 | 7.37 | 0.95 | 32.86 | 頁岩 | 北上山地 | 横型　刃部調整両面 |
| 不掲載 | | | 11C 現代攪乱 | 石匙 | 4.59 | 3.86 | 1.05 | 13.69 | 頁岩 | 北上山地 | 三角型 |
| 不掲載 | | | 9C Ⅱ層 | スクレイパー（削） | (1.78) | 1.70 | 0.27 | (0.70) | 頁岩 | 北上山地 | 大部分欠 |
| 不掲載 | | | 11C Ⅱ層 | スクレイパー（削） | (2.67) | 1.96 | 0.32 | (1.95) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 左側縁背面に調整　素材打点側欠 |
| 不掲載 | | | 11C Ⅱ層 | スクレイパー（削） | (1.99) | (2.25) | 0.44 | (2.58) | 頁岩 | 北上山地 | 両面調整　大部分欠 |
| 356 | 41 | 25 | 11C Ⅲ層 | スクレイパー | 2.70 | 2.97 | 0.71 | 4.21 | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整腹面側 |
| 不掲載 | | | 16C Ⅲ層 | スクレイパー（削） | (2.38) | (3.59) | 0.47 | (3.92) | 頁岩 | 北上山地 | 右側縁腹面に調整　1/2欠 |
| 357 | 41 | 25 | 8C Ⅳ層 | スクレイパー（削） | 3.02 | 4.29 | 1.03 | 12.13 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 角礫面，節理面多く残す　刃部調整片面 |
| 不掲載 | | | 9C Ⅳ層 | スクレイパー（削） | 6.50 | 3.79 | 1.23 | 28.19 | 頁岩 | 北上山地 | 左側縁腹面に調整 |
| 358 | | 25 | 11C Ⅳ層 | スクレイパー（削） | (3.81) | 6.06 | 1.22 | (26.81) | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整片面・浅い |
| 359 | 41 | 25 | 9 B Ⅳ層 | スクレイパー | 2.78 | (1.76) | 0.80 | (3.23) | 頁岩 | 北上山地 | 石篦的　刃部調整両面 |
| 360 | | 25 | 10D Ⅳ層 | スクレイパー | (2.74) | 4.36 | 0.76 | (9.32) | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整両面 |
| 361 | 41 | 25 | 11B Ⅳ層 | スクレイパー | 3.18 | 4.84 | 0.84 | 8.85 | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整両面 |
| 362 | 41 | 26 | 11C Ⅳ層 | スクレイパー | (3.51) | (4.57) | (1.15) | (20.44) | 頁岩 | 北上山地 | 削器的　刃部調整両面 |
| 不掲載 | | | 10C Ⅰb層 | スクレイパー（削） | 3.89 | 2.14 | 1.08 | 8.55 | 頁岩 | 北上山地 | 両極石核素材　両側縁背面に調整 |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | スクレイパー（削） | 3.21 | 1.78 | 0.77 | 4.71 | 黒色頁岩 | 北上山地 | 両側縁反対面に調整 |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | スクレイパー（削） | 3.53 | 2.29 | 0.61 | 4.07 | 頁岩 | 北上山地 | 右側縁背面に調整 |
| 363 | 41 | 26 | 11C Ⅳ層 | スクレイパー | 2.40 | 1.90 | 0.88 | 4.10 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 掻器的　拇指状 |
| 364 | 41 | 26 | 9 B Ⅳ層 | 二次加工ある剥片 | 2.47 | 1.96 | 0.65 | 2.21 | 頁岩 | 北上山地 | 右側縁に刃部調整 |
| 365 | 42 | 26 | 11C Ⅳ層 | 二次加工ある剥片 | 5.08 | 5.25 | 1.30 | 22.40 | 頁岩 | 北上山地 | 左側縁中央部背面に刃部調整 |
| 不掲載 | | | 11B Ⅰb層 | 二次加工ある剥片 | (0.49) | 2.87 | 1.19 | (12.10) | 黒色頁岩 | 北上山地 | 左側縁背面末端部側に調整　末端欠 |
| 366 | | 26 | 12C Ⅲ層 | ピエス・エスキーユ | 2.06 | 2.67 | 0.90 | 3.98 | 頁岩 | 北上山地 | １対 |
| 不掲載 | | | 10C Ⅲ～Ⅳ層,同Ⅳ層 | ピエス・エスキーユ | 2.05 | 2.81 | 1.26 | 6.53 | 珪質頁岩 | 北上山地 | １対　１辺面 |
| 367 | 42 | 26 | 9C Ⅳ層 | ピエス・エスキーユ | 2.04 | 2.19 | 0.73 | 3.36 | 頁岩 | 北上山地 | １対 |
| 368 | 42 | 26 | 12B Ⅳ層 | ピエス・エスキーユ | 1.82 | 2.60 | 0.63 | 3.05 | 珪質頁岩 | 北上山地 | １対 |
| 369 | 42 | 26 | 17C Ⅳ層 | ピエス・エスキーユ | 1.64 | 2.40 | 0.43 | 1.63 | 頁岩 | 北上山地 | １対 |
| 370 | | 26 | 17D Ⅳ層上位 | ピエス・エスキーユ | 1.75 | 2.62 | 1.03 | 4.28 | 頁岩 | 北上山地 | １対 |
| 371 | 42 | 26 | 9C Ⅳ層 | ピエス・エスキーユ | 2.54 | 1.91 | 0.82 | 4.11 | 頁岩 | 北上山地 | １対 |
| 372 | 42 | 26 | 8C Ⅳ層 | ピエス・エスキーユ | 2.48 | 2.82 | 1.21 | 9.13 | 頁岩 | 北上山地 | ２対 |
| 373 | 42 | 26 | 11D Ⅳ層 | ピエス・エスキーユ | 5.98 | 4.18 | 1.09 | 38.61 | チャート | 北上山地 | １対 |
| 不掲載 | | | 11C 現代攪乱 | ピエス・エスキーユ？ | (2.77) | 3.06 | 1.38 | (9.51) | 頁岩 | 北上山地 | 一対　1/2欠 |

## 第７表　石器観察表（４）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 器　種 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石　質 | 場　所 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | ピエス・エスキーユ | 2.23 | 2.01 | 0.50 | 2.31 | 頁岩 | 北上山地 | 一対 |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | ピエス・エスキーユ？ | 3.13 | 3.02 | 1.42 | 11.73 | 頁岩 | 北上山地 | 1/2欠 |
| 374 | 42 | 26 | 18C Ⅳ層 | 異形（石匙＋石錐） | 2.79 | 4.10 | 1.03 | 7.70 | 頁岩 | 北上山地 | 石匙＋石錐　刃部調整両面 |
| 不掲載 | | | 17C Ⅱ層 | 両面調整（尖頭？） | (2.46) | 1.68 | 0.70 | (2.98) | 頁岩 | 北上山地 | 1/2欠 |
| 不掲載 | | | 8C Ⅳ層 | 両面調整（尖頭？） | (2.17) | 2.21 | 0.78 | (3.88) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 1/2欠 |
| 不掲載 | | | 8C Ⅳ層 | 両面調整（石匙？篦状？） | (1.70) | (1.71) | (0.50) | (1.63) | 頁岩 | 北上山地 | 大部分欠 |
| 375 | 42 | 26 | 17D Ⅳ層 | 両面調整 | 3.69 | 3.59 | 1.52 | 17.90 | 頁岩 | 北上山地 | 円盤状石核？ |
| 不掲載 | | | 11C Ⅲ層 | 石器片（スクレイパー（掻）？） | (1.90) | (8.22) | (0.96) | (1.19) | 頁岩 | 北上山地 | |
| 不掲載 | | | 11C Ⅱ層 | 石核？ | 1.95 | 3.05 | 0.97 | 5.23 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 不掲載 | | | 18C Ⅱ層 | 石核 | 2.70 | 1.69 | 1.11 | 4.95 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 376 | | 26 | 17D Ⅱ層 | 石核？ | 3.94 | 2.40 | 1.06 | 10.92 | 頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２　ピエス・エスキーユ？ |
| 377 | | 26 | 15C Ⅱ層 | 石核 | 2.30 | 1.51 | 1.12 | 3.77 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 378 | | 26 | 18C Ⅱ層 | 石核 | 2.34 | 1.62 | 1.49 | 6.26 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 379 | | 26 | 12C Ⅱ層 | 石核 | 1.99 | 2.68 | 1.55 | 6.64 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面５ |
| 380 | | 26 | 13C Ⅱ層 | 石核 | 3.73 | 4.74 | 3.19 | 51.11 | チャート | 北上山地 | 打面１，作業面２ |
| 381 | | 27 | 8D Ⅱ層 | 石核 | 4.71 | 6.26 | 1.92 | 78.73 | チャート | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 382 | | 27 | 15D Ⅱ層 | 石核 | 10.93 | 11.46 | 7.51 | 779.79 | チャート | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 383 | 42 | 27 | 8C Ⅲ層 | 石核 | 2.60 | 2.02 | 1.46 | 6.56 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 384 | 42 | 27 | 12C Ⅲ層 | 石核 | 2.85 | 1.34 | 1.40 | 5.22 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 不掲載 | | | 11C Ⅲ層 | 石核 | 2.38 | (2.84) | 1.09 | (7.74) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面各１ |
| 不掲載 | | | 11D Ⅲ層 | 石核 | 2.84 | 1.87 | 0.68 | 3.05 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 不掲載 | | | 18C Ⅲ層 | 石核 | 2.56 | 1.14 | 0.76 | 1.97 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面４ |
| 不掲載 | | | 18C Ⅲ層 | 石核 | 3.40 | 2.92 | 1.71 | 11.36 | 頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２，作業面各１ |
| 385 | 43 | 27 | 12B Ⅲ層 | 石核 | 10.88 | 7.67 | 5.84 | 619.82 | チャート | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 386 | | 28 | 13C Ⅲ層 | 石核 | 12.05 | 8.98 | 5.25 | 777.23 | チャート | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 387 | | 28 | 13B Ⅲ層 | 石核 | 7.56 | 5.92 | 3.60 | 189.14 | チャート | 北上山地 | 打面・作業面各２ |
| 388 | 43 | 28 | 14B Ⅲ層 | 石核 | 6.14 | 6.90 | 1.81 | 78.16 | チャート | 北上山地 | 円盤状　作業面は一部を除き片面 |
| 389 | 43 | 28 | 11D Ⅳ層 | 石核 | 3.16 | 1.74 | 1.44 | 7.98 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 390 | 43 | 28 | 17D Ⅳ層 | 石核 | 3.26 | 2.68 | 1.17 | 8.69 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 391 | 43 | 28 | 8C Ⅳ層 | 石核 | 3.31 | 1.83 | 1.55 | 7.63 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面４ |
| 392 | 44 | 28 | 8C Ⅳ層 | 石核 | 2.50 | 2.47 | 1.49 | 9.31 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面２ |
| 不掲載 | | | 8C Ⅳ層 | 石核 | 2.50 | 1.91 | 1.56 | 7.33 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 打面１，作業面３ |
| 不掲載 | | | 8C Ⅳ層 | 石核 | (2.35) | 2.70 | 1.06 | (8.42) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 不掲載 | | | 9C Ⅳ層 | 石核 | (2.97) | 2.39 | 1.47 | (9.05) | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 不掲載 | | | 10C Ⅳ層 | 石核 | 3.30 | 2.08 | 2.22 | 15.55 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 不掲載 | | | 10C Ⅳ層 | 石核 | 2.99 | 1.70 | 1.33 | 6.78 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 不掲載 | | | 10C Ⅳ層 | 石核 | 3.49 | 1.79 | 1.23 | 11.25 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面１ |
| 不掲載 | | | 11D Ⅳ層 | 石核 | 2.65 | 1.76 | 1.26 | 5.87 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 不掲載 | | | 17B Ⅳ層 | 石核 | 3.13 | 1.70 | 1.06 | 5.51 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面３ |
| 不掲載 | | | 10B Ⅰb層 | 石核 | 3.25 | 2.12 | 1.37 | 8.51 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面２・１ |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | 石核 | 2.52 | 1.41 | 0.90 | 2.60 | 珪質頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 393 | | 28 | 9C Ⅳ層 | 石核？ | 4.47 | 3.01 | 1.44 | 20.52 | 黒色頁岩 | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面１ |
| 不掲載 | | | 16C④ Ⅳ層下位 | 石核 | (2.89) | 2.58 | 0.79 | (6.08) | 頁岩 | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |

## 第７表　石器観察表（５）

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 器　種 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石　質 | 場　所 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 不掲載 | | | 16C Ⅳ層 | 石核？ | 2.63 | 4.12 | 1.30 | 10.56 | 頁岩 | 北上山地 | 打面３，作業面各１　最終形盤状に近い　このため剥離角だんだん鋭角になる |
| 394 | 44 | 29 | 11C Ⅳ層 | 石核 | 8.06 | 8.04 | 5.46 | 394.40 | チャート | 北上山地 | 両極　打面１対，作業面２ |
| 395 | | 29 | 19D Ⅳ層 | 石核 | 4.88 | 6.53 | 2.96 | 114.17 | チャート | 北上山地 | 両極　打面２対，作業面１ |
| 不掲載 | | | 15C Ⅳ層 | 石核 | 7.05 | 5.50 | 4.48 | 192.07 | チャート | 北上山地 | 打面１，作業面１ |
| 不掲載 | | | 18C② Ⅳ層上位 | 石核 | 2.92 | 3.55 | 1.97 | 27.95 | チャート | 北上山地 | 打面１，作業面２ |
| 396 | 44 | 29 | 17C Ⅱ層 | 打製石斧 | (9.96) | 6.23 | 4.83 | (347.31) | チャート | 北上山地 | 約1/2欠損 |
| 397 | 44 | 29 | 14C Ⅲ層 | 磨製石斧 | (5.82) | 4.24 | 1.95 | (79.90) | 閃緑岩 | 北上山地 | 基部側1/2以上欠損 |
| 398 | 44 | 29 | 11C Ⅳ層 | チョッパー？ | 15.25 | 8.73 | 4.71 | 595.57 | 頁岩 | 北上山地 | 短軸片縁に刃部 |
| 399 | 45 | 29 | 12C Ⅳ層 | チョッピングトゥール？ | (8.81) | 11.90 | (3.44) | (296.70) | 頁岩 | 北上山地 | 短軸両縁に刃部　約1/2欠損 |
| 不掲載 | | | 17B Ⅲ層 | 磨石 | (9.82) | (6.14) | (5.29) | (475.82) | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 劣化著しい |
| 400 | 45 | 29 | ８B Ⅳ層下位 | 磨石 | 12.95 | 9.99 | 9.82 | 1974.32 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 楕円形　全体に磨痕 |
| 不掲載 | | | 11B Ⅰb層 | 磨石 | 10.02 | 6.67 | 5.46 | 535.29 | 砂岩 | 北上山地 | 全体　長軸１端が面化 |
| 不掲載 | | | 出土地点不明 | 磨石 | 8.67 | 5.75 | 3.41 | 273.71 | 花崗閃緑岩 | 北上山地 | 全体　表裏が面化 |
| 不掲載 | | | 12B Ⅲ層 | 磨石＋敲石（横） | (12.82) | 7.65 | 3.66 | (425.72) | 砂岩 | 北上山地 | 長軸１端に磨面，短軸１端に敲打痕　1/2欠 |
| 401 | | 30 | 13C Ⅱ層 | 凹石 | (9.03) | 6.03 | 4.22 | (376.57) | 安山岩 | 奥羽山脈 | 片面 |
| 402 | | 30 | 16C Ⅱ層 | 凹石 | 11.07 | 7.55 | 5.24 | 579.26 | 砂岩 | 北上山地 | 片面 |
| 403 | 45 | 30 | 11C Ⅳ層 | 凹石 | 6.70 | 6.20 | 3.46 | 176.25 | 安山岩 | 奥羽山脈 | 片面 |
| 不掲載 | | | 17C① Ⅳ層上位 | 凹石？ | (6.10) | (7.32) | (2.85) | (139.05) | 砂岩 | 北上山地 | 大部分欠 |
| 404 | 45 | 30 | 8C Ⅲ層 | 敲石（鑿？） | 9.24 | 3.18 | 1.73 | 82.45 | 凝灰岩 | 北上山地 | 長軸両端に敲打痕　アスファルト付着 |
| 405 | 45 | 30 | 11B Ⅳ層 | 敲石 | 6.71 | 3.24 | 2.31 | 71.46 | 頁岩 | 北上山地 | 長軸１端隅に敲打痕 |
| 406 | 45 | 30 | 13C Ⅳ層 | 敲石 | 11.46 | 6.79 | 4.58 | 418.28 | 砂岩 | 北上山地 | 長軸１端に敲打痕 |
| 407 | | 30 | 8C Ⅳ層 | 敲石 | 4.95 | 4.14 | 2.80 | 79.44 | 砂岩 | 北上山地 | 長軸両端に敲打痕 |
| 408 | | 30 | 8C Ⅳ層 | 敲石 | 6.51 | 3.43 | 2.80 | 90.52 | チャート | 北上山地 | 長軸両端に敲打痕 |
| 409 | 45 | 30 | 18C② Ⅳ層上位 | 敲石 | 6.44 | 4.17 | 3.65 | 133.37 | チャート | 北上山地 | 長軸両端に敲打痕 |
| 410 | 45 | 30 | 11C Ⅳ層 | 敲石（横） | 5.20 | 13.02 | 3.05 | 246.02 | 凝灰質頁岩 | 北上山地 | 短軸片縁および裏面に敲打痕 |
| 不掲載 | | | 17D① Ⅳ層上位 | 敲石 | 7.62 | 6.07 | 2.95 | 193.01 | チャート | 北上山地 | 短軸両端 |
| 不掲載 | | | 18C② Ⅳ層上位 | 敲石 | 7.74 | 5.49 | 4.12 | 262.87 | チャート | 北上山地 | 長軸１端 |
| 411 | | 30 | 8C Ⅳ層 | 台石類（皿） | (11.61) | (14.87) | 4.40 | (704.14) | 砂岩 | 北上山地 | 1/3以上欠損 |
| 不掲載 | | | 10C Ⅳ層 | 台石類 | (14.78) | (12.10) | 5.31 | (1129.51) | ペグマタイト | 北上山地 | 大部分欠 |
| 不掲載 | | | 11C Ⅲ層 | 台石類 | (9.03) | (2.97) | (4.61) | (101.89) | 砂岩 | 北上山地 | 大部分欠 |

## 第８表　石製品観察表

| 掲載No | 図No | 写図No | 出土地点 | 器　種 | 長さ(cm) | 幅(cm) | 厚さ(cm) | 重量(g) | 石　質 | 場　所 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 412 | 46 | 30 | １号包含層　１a層（９D杭付近） | 石剣類 | (13.91) | (3.30) | (1.45) | (68.28) | 凝灰質頁岩 | 北上山地 | 1/2以上欠損 |
| 413 | 46 | 30 | 10C Ⅳ層 | 石剣類 | (22.24) | 3.47 | 1.63 | (172.00) | 凝灰質頁岩 | 北上山地 | |

# Ⅵ 総　　括

## 1 ま と め

今回の調査成果をまとめる。

### （1）立　　地

遺跡は、折爪岳からつづく丘陵の縁辺部東向き緩斜面上にある。遺跡の東側には谷状地形が南北に延びており、おそらく北流し現在の如来堂川へと注ぐ旧河道があったものと推定される。この旧河道により形成された河岸段丘の縁辺部分に遺構が構築されている。

### （2）遺　　構

今回の調査では、竪穴住居跡１棟、遺物包含層（捨て場）１箇所、土坑６基、陥し穴状遺構２基が検出された。

ａ）竪穴住居跡

直径９ｍ、深さ１ｍを越える大形住居跡である。床面には中央部および壁際にそれぞれ円形に巡る柱穴が確認され、建て替え（拡張）があったことが看取された。床面北側から瘤付の香炉形土器が出土し、これをもって本遺構の時期を推定している（縄文時代後期後葉）。また、住居跡の周縁および埋土内からは破砕したTo-Nbパミスが多量に検出され、特異な状態を呈する。これについては次節にて考察を行う。

ｂ）遺物包含層

１号竪穴住居跡の埋没過程に、その窪みに形成されたもので、面積は約20㎡である。土器型式は大洞Ｃ２～Ａ式が大半を占める。本遺構の上位にはTo-ｂテフラが成層しており、層序的にも縄文時代晩期の遺構といえる。なお、３号・４号土坑は本遺構形成終了前の構築であるが、「捨て場」を意識した土坑の可能性が推定される。

ｃ）土坑

調査区内各地点に散在するが、２号・３号・４号の３基、５号・６号の２基は近接している。構築時期は、３号・４号が重複関係から縄文時代後期後葉から晩期中葉までの間といえる以外は、検出層位からTo-Cuテフラ降下以降、To-ｂテフラ降下以前の縄文時代前期中葉から晩期末葉以前ということになる。用途を推定できる材料は乏しいが、前述のように３号・４号は捨て場に関わる可能性（例えば墓坑）がある。

ｄ）陥し穴状遺構

調査区中央部以南に位置する。溝形で、ともに長軸が等高線に沿う。Ｘ層中まで掘削されているが、同層から急激に細くなる。上位層がTo-Nbテフラであるため崩落しやすく、構築時の形態を残していないのは確実であるが、土質の違いによる掘削への影響を考えれば、当初から同様の形態であったことも容易に推定される。

### （3）遺　　物

今回の調査で出土した遺物は、縄文土器157.85kg、土製品51点（730.99ｇ）、石器202点（23.93kg）

と剥片・素材31.97kg、石製品３点（297.18ｇ）、植物遺体で、総重量は214.78kgである。

ａ）縄文土器

出土量的には縄文時代晩期中葉の大洞Ｃ２式土器が主体で、前後型式の大洞Ｃ１・Ａ式がこれに次ぐ。１号遺物包含層および遺構外出土分は上記の型式が大半を占める。この他には、１号竪穴住居跡から後期後葉の瘤付土器（高柳瘤付土器第Ⅱ段階、十腰内Ⅴ式相当）や同時期もしくは前後時期の所産と思われる単純な磨消縄文や無文でミガキを多用する一群が一定量出土している。

ｂ）土製品

中実および中空の土偶、土版、異形土製品、土鈴、耳栓、粘土塊が出土した。形態および文様から、土偶は縄文時代後期後葉および晩期、土版は晩期中葉から後葉の大洞Ｃ２～Ａ式期と推定される。その他の遺物についての型式学的年代推定は困難であるが、出土地点および層位から、１号竪穴住居跡埋土出土分は縄文時代後期後葉から晩期中葉、１号遺物包含層出土分は晩期中葉から後葉、遺構外Ⅲ層およびⅣ層出土分はTo-ｂテフラ降下以前といえる。

ｃ）石器

石鏃、尖頭状石器、石錐、石匙、スクレイパー類、二次加工ある剥片、ピエス・エスキーユ、異形石器、両面調整石器、石器片、石核、打製石斧、磨製石斧、礫器、磨石、磨石＋敲石、磨石＋凹石、磨石＋凹石＋敲石、凹石、敲石、台石、石皿が出土した。形態および石材の特徴的傾向が看取されるものとして、一定量出土した石鏃と石核、および磨石類が挙げられる。石鏃は凸基有茎類が約９割を占める。石核はおもに素材が直径５㎝前後の珪質頁岩製小形円礫と比較的大形のチャートの２種に大別され、いずれも両極技法を多用している。磨石類の石材は１点を除きすべて花崗閃緑岩である。また、出土地点による特徴として、１号遺物包含層出土石鏃の茎部にアスファルトの付着しているものが３点あること、磨石が密集して出土していることが挙げられる。

ｄ）石製品

石剣類が３点出土している。いずれも欠損品である。石材は北上山地産の軟質な頁岩と凝灰岩である。

## ２　考　　察

### （１）遺　　構

ａ）１号竪穴住居跡の埋土堆積状況から推定される住居形態

本遺構の周縁および埋土内には多量のTo-Nbが確認された。15～３層に含まれるTo-Nbの在り方は、層位的観点から観察したばあい、上下と混入量が全く関連していない。いっぽう、平面的観点で観察したばあい、壁周辺は一様に多層を呈し、また内部での地点的な偏りに大差は見られない。層位的知見からは、以下の事柄が推定される。To-Nbの混入量が層位と比例しないことから、基本層序の流入土による自然堆積の可能性は極めて低いこと。本遺構の検出面はⅣ層上面であり、To-Nbは露出しておらず、また周囲にもそのような状態を呈する部分は検出されていない。Ⅷ層まで掘り込まれた土坑が本遺構北半に３基近接あるいは重複しているものの、その掘り上げ土に含まれるTo-Nb量は本層群のそれよりごく少ないものである。いっぽう平面的知見からは、周縁全体からほぼ同様に埋没した状態が看取され、人為堆積の様相は呈さないことがいえる。これだけの大形遺構であるから、もし人為堆積層があれば、何らかの局所的な偏りがあってしかるべきである。実際、その上位層にあたる１号遺物包含層構成土には土質の局所的な偏りが複数存在する。

堆積状況以外のポイントとして、軽石個々の残存状態が重要である。To-Nbは大半が破砕状態であった。摩滅ではなく破損である。これは加撃を受けた状態であり、掘削による結果と考えて差し支えないであろう。

以上の事柄を整理すると、各層の構成土は基本層序に示される自然土ではなく、人為による攪乱を受けた土であること、ただしその堆積過程は自然崩落・流入によるものといえる。その状態から、本層群は遺構掘削時の掘り上げ土の自然流入と推定されるが、上述のように本遺構付近においてこれだけ多量のTo-Nbを有する土壌は本遺構自身の掘削土以外に存在せず、また周縁にも多量に堆積していることを考えれば、堆積周堤上に盛り上げられた掘削土が本遺構の埋没とともに流入した可能性が最も高い。よって、本遺構は「周堤を有する竪穴住居跡」と推定できる。

## （2）遺　　物

a）出土土器の特徴

今回出土した土器の特徴を器種ごとにまとめる。対象は、比較的まとまった量のみられる深鉢、鉢、浅鉢である。（第9表）

**深鉢**

分類中で数量的に最も多いのは、口縁部が内湾気味の器形を呈し地紋のみが施される粗製土器のＩ４類で、飛びぬけている。器形Ｉ類には、無文帯を有するものや横位沈線の施されるものが少数認められるが、大半は地紋のみの粗製土器で、口唇内面が肥厚するものが多い。口縁部文様帯を有し半粗製土器といえる１～３類のうち、多量を占めるものは横位沈線が等間隔で３本以上施文される１ｄ類で、器形Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｅ・Ｈの各類に認められる。ぎゃくに特定の器形に偏る文様類として１ｃ・２の各類が挙げられ、２類は口～頸部の長さが短い器形であるＧ類に、１ｃ類は沈線間に無文部を有するという特徴から一定幅の頸部を持つ器形であるＢ・Ｄ類との強い連関、器形と文様との１対１の関係が認められる。この他、口唇部文様としては沈線、キザミや指頭状の圧痕などが施文されているが、刺突系文様の後２者の施文割合を比較すると、指頭状圧痕が圧倒的に多く、Ｇ２類に至ってはすべて指頭状圧痕～撫でつけによる小波状が施される。また、突起（Ａ・Ｂ）と器形・文様の間に相関関係は見られない。

なお、半粗製土器はすべて大洞Ｃ２～Ａ式に比定される特徴を有するものである。

**鉢**

１号竪穴住居跡出土分に後期後葉の瘤付土器あるいは十腰内Ｖ式土器に比定されるものが見られるほかは、ほとんどが大洞Ｃ１～Ａ式の範疇に含まれるものである。特にもＣ２式に比定されるものが大多数を占める。本遺跡分類中で数量的に多いのは、器形では頸部が曲線的に括れて口縁部が外傾するＡ類と明瞭な変化点のないＦ類、文様では口縁部に平行沈線による文様帯を持ち胴部が地紋のみで構成される半精製の２ａ類（中でも２ａエ・ウ類）である。細分中におけるＡ２ａエ類とＡ２ａウ類の比率は圧倒的に多い。鉢類に関しても器形と文様の関係は深鉢と基本的に同様で、沈線が３本以上施文される２ａエ類は多様な器形に施されている。この他、口唇部文様としては沈線、キザミや指頭状の圧痕などが施文されているが、刺突系文様の後２者の施文割合を比較すると深鉢とは異なりキザミが圧倒的に多い。いっぽう、深鉢と同様に突起（Ａ・Ｂ）と器形・文様の間に相関関係は見られない。

**浅鉢**

土器型式は鉢と同様、大洞Ｃ２式の範疇に含まれるものが大半で、工字文の施されるＡ式がわずか

に含まれる。器形分類中で多数を占めるものは、頸部が曲線的に括れて口縁部が外傾するA類と明瞭な変化点のないE類である。文様分類では口縁部に平行沈線による文様帯を持ち胴部が地紋のみで構成される3ａ類が多い。器形、文様両分類ともに鉢と共通する傾向である。

**第9表　土器器形と文様の相関関係**　（　）内は底部形分類とその数量

深鉢

| 器形・文様 | 1ａ | 1ｂ | 1ｃ | 1ｄ | 1ｅ | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 1 | | | 1 | | | | | |
| B | 2 | | 1 | 2 | | | | | 1 |
| C | | | | 1 | | | | | |
| D | | | 2 | | | | | | |
| E | | | | 2 | 1 | | | | |
| F | 1 | 1 | | | | | | | |
| G | | | | | | 4 | | 1 | |
| H | | 1 | | 1 | | | | 1 | 1 |
| I | | 3 | | | | | 1 | 30 (Ⅵ 1) | |

鉢・台付鉢

| 器形・文様 | 1ａア | 1ａイ | 1ｂ | 1ｃ | 2ａア | 2ａイ | 2ａウ | 2ａエ | 2ｂア | 2ｂイ | 2ｃ | 2ｄ | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | | 1 | | 1 (Ⅹ 1) | | 1 | 7 | 8 (Ⅰ 1, Ⅵ 1) | | | 1 | 3 (Ⅷ 1) | | 文様4には2点分類されているが、器形分類に適うものなし。 | 1 |
| B | | 2 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| C | | | | | 1 | | 1 | 3 | | 2 | 1 | | | | |
| D | 5 | | | | | 1 (Ⅹ 1) | | 1 | | | | | | | |
| E | 1 | | | | 1 | | 1 | 2 (Ⅹ 1) | | | | | | | |
| F | 1 | | | | | 2 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | 5 (Ⅳ 1, Ⅴ 2) | | 1 |
| G | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| H | | | | | | | 1 | | | | | | | | |

浅鉢・台付浅鉢

| 器形・文様 | 1 | 2ａ | 2ｂ | 2ｃ | 3ａア | 3ａイ | 3ａウ | 3ｂ | 3ｃ | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | | | | 1 | 1 | 2 (Ⅲ 1) | 2 | | 1 | | | 1 (Ⅱ 1) | |
| B | | 1 | | | | | | | | | | | |
| C | | | | | | | | 1 (Ⅵ 1) | | | | | |
| D | 1 | 2 | | | | | | | | | 1 (Ⅴ 1) | 2 (Ⅺ 1) | 1 |
| E | | | | | | | | | | 1 | | | |
| F | | | 1 (Ⅵ 1) | | | 1 | | | | | | 1 (Ⅸ 1) | 1 (Ⅴ 1) |

b）石器石材と器種の関係（第10表）

本遺跡で確認された石材種は、頁岩、黒色頁岩、赤色頁岩、珪質頁岩、凝灰質頁岩、チャート、赤色チャート、瑪瑙、花崗閃緑岩、閃緑岩、ペグマタイト、デイサイト、安山岩、凝灰岩、砂岩の15種である。Toolと石核における石材組成（点数比）は第10表のとおりで、おもに剥片石器に用いられている頁岩あるいは珪質頁岩がかなりの比率を占める。器種と石材の関係で特筆されるのは、前記のとおり石核と珪質頁岩、磨石と花崗閃緑岩である。石核のばあい、点数比の約７割が珪質頁岩で、その素材は直径５㎝前後の小形円礫である。素材単体の体積が小さい分、数で補ったというところか。この他、出土数が少ないため積極的にはいえないが、石製品には北上山地産の剥離しやすい軟質の凝灰質頁岩が選択されているようである。これについては、他遺跡でも同傾向が看取されている。

c）石核素材の需要と獲得方法

本遺跡では65点の石核が出土した。うちⅠ層および攪乱土出土分を除いた63点の石材は、珪質頁岩42点、チャート16点、頁岩５点である。素材状態は、珪質頁岩が円礫、チャートが角礫および円礫、頁岩が剥離・分割済み素材（剥片状態）である。いずれも両極技法を多用しており、珪質頁岩は礫面を多く残存する。以上のことから、珪質頁岩の石核素材は転礫であり、いずれかの河川流域で採取されたものであろう。原石の大きさに制限され、獲得できる素材剥片量が限定されるため必要量確保のため石核個体数が必然的に増したものと推定できる。いっぽうで、チャートは転礫以外もあり、直接露頭で採取された可能性がある。点数的には珪質頁岩の５割に満たない程度であるが、個々の体積が大きいため重量・質量的には最も多い。ただし、剥離が不規則なため定型的な剥片獲得や石器製作が困難で、剥片量は石材中最多であるものの剥片石器自体はピエス・エスキーユ１点のみである。これは、石器（tool）の移動性を考慮したとしても少ない。このような状態から、チャートは剥片石器の製作には積極的に用いられず、打製石斧の存在から石核石器の素材として獲得されたこと、剥片は石核石器製作時の「クズ」や敲石使用時の欠損、および自然剥離によって出たものが相当数あるといえよう（硬度が高い半面、自然剥離しやすい。剥片においても特に微細剥離痕が使用痕なのか自然剥離なのか、肉眼では判断できない）。ただし、実際に使用していたであろう石器は定形品よりもほとんど加工のない不定形品であるということを鑑みれば、「不定形品」用石核という一面も考慮しておかなければならない。また、頁岩に関しては、出土石器数が最多であるものの石核数は最少であり、石核の移動性が指摘できそうである。石核の大きさ、石器石材としての質という点で最重要視された石材であったのかもしれない。

d）１号遺物包含層出土土器・石器の特徴（第11～14表）

各遺構および遺構外各層序毎の分類別土器出土状況（第12表）と器種別石器出土状況（第11・13・14表）を示した。まず土器であるが、大局として１号遺物包含層では鉢類の出土量・種が多く、深鉢および浅鉢類が少ない。個別の特徴としては、鉢の器形Ｂ（胴部上位が曲線的に張り出し、胴～頸部境と頸～口縁部境が鋭く屈曲して口縁部が外傾するもの。頸部は直線的で比較的長い。）およびそれに連関のある文様１ａイ、２ａウ（ともに口縁部文様帯の上位と下位に横位沈線が１本ずつ施文され、その間が無文帯となるもの。）の出土比率が極めて高いことが挙げられる。ただし、類似形態・文様を呈する深鉢の器形Ｄおよび文様１ｃは出土しておらず、ぎゃくに遺構外Ⅳ層に存在する。絶対的な数量が足りないため統計的検討を加えるには弱いが、留意点としておく。また石器では、剥片石器の欠損率が非常に高いこと、珪質頁岩製石核および磨石類の出土比率が高いこと、石鏃の出土比率が低いことが指摘できる。狩猟具である石鏃が遺構内に少ない理由は容易に想像できる。しかも石鏃はすべて欠損品である。これらの状況は、「廃棄」という見方をすれば理解しやすい。

## 参考文献


青森県教育委員会　1999　『十腰内（1）遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第261集

青森県教育委員会　2001　『十腰内（1）遺跡Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書第304集

（財）岩手県埋蔵文化財センター　1983　『君成田Ⅳ遺跡』岩手県埋文センター文化財調査報告書第62集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1986　『駒坂遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第98集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1986　『馬場野Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第99集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1986　『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第100集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1994　『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書―第2次～第5次調査―』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第225集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1997　『上鷹生遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第253集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1998　『大日向Ⅱ遺跡発掘調査報告書―第6次～第8次調査―』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第273集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　1999　『大芦Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第306集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2000　『長倉Ⅰ遺跡発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第336集

（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　2004　『本宮熊堂Ａ遺跡第17次発掘調査報告書』岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第453集

新潟県朝日村教育委員会　2002　『奥三面ダム関連遺跡発掘調査報告書ⅩⅣ　元屋敷遺跡Ⅱ（上段）』朝日村文化財報告書第22集

新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団　2004　『日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書Ⅴ　青田遺跡』新潟県埋蔵文化財調査報告書第133集

宮城県教育委員会　1986　『田柄貝塚Ⅰ　遺構・土器編』宮城県文化財調査報告書第111集

金子昭彦　1993　「大洞C2式の土偶―大形土偶の変化を中心として―」『古代』第95号　早稲田大学考古学会

小林圭一　1999　「東北地方　後期（瘤付土器）」『縄文時代』第10号　縄文時代文化研究会

小林圭一　2001　「東北南半の瘤付土器成立期の様相」『後期後半の再検討』第14回縄文セミナー資料集　縄文セミナーの会

鈴木克彦　2001　『北日本の縄文後期土器編年の研究』雄山閣出版

高橋龍三郎　1999　「東北地方　晩期（亀ヶ岡式）」『縄文時代』第10号　縄文時代文化研究会

高柳圭一　1988　「仙台湾周辺の縄文時代後期後葉から晩期初頭にかけての編年動向」『古代』第85号　早稲田大学考古学会

田中耕作　1991　「村尻遺跡出土の「ねかせ」状態の焼粘土塊について」『北越考古学』第4号　pp.51～60　北越考古学研究会

田中耕作　1999　「新発田市村尻遺跡出土の焼粘土塊（続）」『北越考古学』第10号　pp.74～77　北越考古学研究会

藤村東男　1980　「大洞諸型式設定に関する二、三の問題」『考古風土記』第5号

藤村東男　1987　「岩手県九年橋遺跡出土の深鉢形土器について」『萌木』22号

## 第10表　石器・石製品器種別石材比率

| 石材種・器種 | 石鏃（？含む） | 尖頭状 | 石錐 | 石匙 | スクレイパー（削） | スクレイパー（掻） | 二次加工ある剥片 | ピエス・エスキーユ | 異形 | 両面調整 | 石器片 | 石核 | 打製石斧 | 磨製石斧 | 礫器 | 磨石（複合含む） | 敲石 | 凹石 | 台石 | 石皿 | 礫 | 石剣類 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 頁岩 | 21 | 5 | 2 | 3 | 14 | 1 | 2 | 9 | 1 | 3 | 3 | 4 | | | 2 | 1 | 1 | | | | | | 72 |
| 珪質頁岩 | 9 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | | 1 | | 44 | | | | | | | | | | | 64 |
| 黒色頁岩 | 1 | | 2 | 1 | 2 | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 8 |
| 赤色頁岩 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| チャート | | | | | | | | 1 | | | | 15 | 1 | | | | 10 | | | | | | 27 |
| 赤色チャート | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 瑪瑙 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 花崗閃緑岩 | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | | | | | | | 10 |
| 閃緑岩 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| ペグマタイト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| デイサイト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 凝灰質頁岩 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | 3 |
| ホルンフェルス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 安山岩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | 2 |
| 凝灰岩 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 砂岩 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | 2 | 4 | | 1 | | 11 |
| 計 | 33 | 6 | 6 | 5 | 18 | 3 | 4 | 12 | 1 | 4 | 3 | 65 | 1 | 1 | 2 | 13 | 15 | 4 | 5 | 0 | 1 | 2 | 204 |

## 第11表　出土地点別石器器種比率

点数・点数比・重量（g）

| 器種・出土地点 | 1号竪穴住居跡 | | | 1号遺物包含層 | | | 1号土坑 | | | 4号土坑 | | | 6号土坑 | | | II層・II～IV層 | | | III層・III～IV層 | | | IV層 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 石鏃 | | 0.0% | | 3 | 6.4% | 2.41 | | 0.0% | | 1 | 50.0% | 1.24 | | 0.0% | | 3 | 13.6% | 3.58 | 6 | 20.0% | 10.45 | 14 | 19.2% | 23.60 |
| 尖頭状 | | 0.0% | | 1 | 2.1% | 2.77 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 4.5% | 0.44 | 2 | 6.7% | 3.17 | 1 | 1.4% | 7.82 |
| 石錐 | | 0.0% | | 2 | 4.3% | 13.31 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 4.5% | 3.82 | 2 | 6.7% | 6.08 | 1 | 1.4% | 1.54 |
| 石匙 | | 0.0% | | 2 | 4.3% | 43.51 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 4.5% | 24.91 | | 0.0% | | 1 | 1.4% | 32.86 |
| スクレイパー（削） | 1 | 11.1% | 5.61 | 3 | 6.4% | 58.72 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 3 | 13.6% | 5.23 | 2 | 6.7% | 8.13 | 6 | 8.2% | 105.74 |
| スクレイパー（掻） | | 0.0% | | 1 | 2.1% | 2.89 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 2 | 2.7% | 7.33 |
| 二次加工ある剥片 | | 0.0% | | 1 | 2.1% | 3.94 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 2 | 2.7% | 24.61 |
| ピエス・エスキーユ | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 2 | 6.7% | 10.51 | 7 | 9.6% | 64.17 |
| 異形 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 1.4% | 7.70 |
| 両面調整 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 4.5% | 2.98 | | 0.0% | | 3 | 4.1% | 23.41 |
| 石器片 | | 0.0% | | 2 | 4.3% | 6.98 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 3.3% | 1.19 | | 0.0% | |
| 石核 | 4 | 44.4% | 188.70 | 20 | 42.6% | 893.26 | 1 | 100.0% | 791.45 | | 0.0% | | | 0.0% | | 9 | 40.9% | 947.40 | 10 | 33.3% | 1,700.25 | 19 | 26.0% | 869.12 |
| 打製石斧 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 4.5% | 347.31 | | 0.0% | | | 0.0% | |
| 磨製石斧 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 3.3% | 79.90 | | 0.0% | |
| 礫器 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 2 | 2.7% | 892.27 |
| 磨石（複合含む） | 1 | 11.1% | 296.05 | 7 | 14.9% | 4,455.12 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 2 | 6.7% | 901.54 | 1 | 1.4% | 1,974.32 |
| 敲石 | 3 | 33.3% | 1,625.56 | 2 | 4.3% | 758.28 | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 100.0% | 356.45 | | 0.0% | | 1 | 3.3% | 82.45 | 8 | 11.0% | 1,494.97 |
| 凹石 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 2 | 9.1% | 955.83 | | 0.0% | | 2 | 2.7% | 315.30 |
| 台石 | | 0.0% | | 2 | 4.3% | 551.71 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 3.3% | 101.89 | 1 | 1.4% | 1,129.51 |
| 石皿 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 1.4% | 704.14 |
| 礫 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 50.0% | 95.71 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | |
| 石剣類 | | 0.0% | | 1 | 2.1% | 68.28 | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | | 0.0% | | 1 | 1.4% | 172.00 |
| 計 | 9 | 100.0% | 2,115.92 | 47 | 100.0% | 6,861.18 | 1 | 100.0% | 791.45 | 2 | 100.0% | 96.95 | 1 | 100.0% | 356.45 | 22 | 100.0% | 2,291.50 | 30 | 100.0% | 2,905.56 | 73 | 100.0% | 7,850.41 |

## 第12表　出土地点別土器（分類）比率

| 器種 | 分類 | 1号竪穴住居跡 | | 1号遺物包含層 | | 3号土坑 | | 1号陥し穴状遺構 | | Ⅱ層 | | Ⅲ層 | | Ⅳ層 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 深鉢 | A1a | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | A1d | | | 1 | 50.0% | | | | | | | 1 | 50.0% | | | 2 | 100.0% |
| | B1a | | | | | | | | | | | 1 | 50.0% | 1 | 50.0% | 2 | 100.0% |
| | B1c | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | B1d | | | 1 | 50.0% | | | | | | | | | 1 | 50.0% | 2 | 100.0% |
| | B5 | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | C1d | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | D1c | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.0% | 2 | 100.0% |
| | E1d | | | 1 | 50.0% | | | | | | | | | 1 | 50.0% | 2 | 100.0% |
| | E1e | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | F1a | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | F1b | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | G2 | | | | | | | | | | | | | 4 | 100.0% | 4 | 100.0% |
| | G4 | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | H1b | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | H1d | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | H4 | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | H5 | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | I1b | | | 2 | 66.7% | | | | | | | | | 1 | 33.3% | 3 | 100.0% |
| | I3 | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | I4 | 1 | 3.3% | 13 | 43.3% | | | | | 1 | 3.3% | 3 | 10.0% | 12 | 40.0% | 30 | 100.0% |
| 鉢・台付鉢 | A1aイ | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | A1c | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | A2aイ | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | A2aウ | | | 6 | 85.7% | | | | | | | | | 1 | 14.3% | 7 | 100.0% |
| | A2aエ | | | 4 | 50.0% | | | 1 | 12.5% | | | 1 | 12.5% | 2 | 25.0% | 8 | 100.0% |
| | A2c | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | A2d | | | 1 | 33.3% | | | | | 2 | 66.7% | | | | | 3 | 100.0% |
| | A5 | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | B1aイ | | | 2 | 100.0% | | | | | | | | | | | 2 | 100.0% |
| | B1b | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | B2aウ | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | C2aア | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | C2aウ | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | C2aエ | | | 3 | 75.0% | | | | | | | 1 | 25.0% | | | 4 | 100.0% |
| | C2bイ | | | 2 | 100.0% | | | | | | | | | | | 2 | 100.0% |
| | C2c | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | D1aア | | | 1 | 20.0% | | | | | | | | | 4 | 80.0% | 5 | 100.0% |
| | D2aイ | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | D2aエ | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | E1aア | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | E2aア | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | | | 1 | 100.0% |
| | E2aウ | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | E2aエ | | | 1 | 50.0% | | | | | | | 1 | 50.0% | | | 2 | 100.0% |
| | F1aア | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | F2aイ | | | 2 | 100.0% | | | | | | | | | | | 2 | 100.0% |
| | F2aエ | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | | | 1 | 100.0% |
| | F2bア | 1 | 50.0% | 1 | 50.0% | | | | | | | | | | | 2 | 100.0% |
| | F2bイ | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | F2d | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | F3 | | | 3 | 60.0% | 1 | 20.0% | | | | | 1 | 20.0% | | | 5 | 100.0% |
| | F5 | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | G1aア | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | H2aウ | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| 浅鉢・台付浅鉢 | A2c | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | A3aア | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | | | 1 | 100.0% |
| | A3aイ | | | | | | | | | | | | | 2 | 100.0% | 2 | 100.0% |
| | A3aウ | | | 1 | 50.0% | | | | | | | | | 1 | 50.0% | 2 | 100.0% |
| | A3c | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | B2a | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | C3b | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | D1 | | | | | 1 | 100.0% | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | D2a | | | | | | | | | 1 | 50.0% | | | 1 | 50.0% | 2 | 100.0% |
| | D5 | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | D6 | 1 | 50.0% | 1 | 50.0% | | | | | | | | | | | 2 | 100.0% |
| | D7 | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | E4 | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | 1 | 100.0% |
| | F3aイ | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% | | | 1 | 100.0% |
| | F6 | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |
| | F7 | 1 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | 1 | 100.0% |

## 第13表　出土地点別石材重量比率（遺構内）

重量（g）・重量比・器種

| 石材種・出土地点 | 1号竪穴住居跡 | | | 1号遺物包含層 | | | 1号土坑 | | | 2号土坑 | | | 4号土坑 | | | 6号土坑 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 頁岩 | 981.34 | 24.93% | スクレイパー、剥片 | 2,738.38 | 19.10% | 石鏃、スクレイパー（削）、石器片、石錐、尖頭状、石匙、磨石、剥片、素材 | | 0.00% | | 0.77 | 100.00% | 剥片 | 1.24 | 1.28% | 石鏃 | | 0.00% | |
| 珪質頁岩 | 47.11 | 1.20% | 石核、剥片 | 325.87 | 2.27% | 石核、石鏃、スクレイパー（掻）、二次加工ある剥片、剥片 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 黒色頁岩 | | 0.00% | | 40.73 | 0.28% | 石錐、石匙、スクレイパー（削）、剥片 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 赤色頁岩 | 2.81 | 0.07% | 素材 | 12.86 | 0.09% | 剥片 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| チャート | 2,570.29 | 65.29% | 敲石、石核、剥片、素材 | 4,005.01 | 27.93% | 石核、敲石、剥片、素材 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | 356.45 | 100.00% | 敲石 |
| 赤色チャート | 16.23 | 0.41% | 剥片 | 330.73 | 2.31% | 剥片 | 793.25 | 97.01% | 石核、剥片 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| めのう | | 0.00% | | 2.65 | 0.02% | 剥片 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 花崗閃緑岩 | 296.05 | 7.52% | 磨石 | 3,887.29 | 27.11% | 磨石（複合含む） | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 閃緑岩 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| ペグマタイト | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| デイサイト | | 0.00% | | 1.31 | 0.01% | 剥片 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 凝灰質頁岩 | 22.85 | 0.58% | 剥片 | 1,025.34 | 7.15% | 石剣類、剥片 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 安山岩 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 凝灰岩 | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 砂岩 | | 0.00% | | 1,968.06 | 13.73% | 台石、剥片（欠損？） | 24.48 | 2.99% | 剥片 | | 0.00% | | 95.71 | 98.72% | 礫 | | 0.00% | |
| 計 | 3,936.68 | 100.00% | | 14,338.23 | 100.00% | | 817.73 | 100.00% | | 0.77 | 100.00% | | 96.95 | 100.00% | | 356.45 | 100.00% | |

## 第14表　出土地点別出土石材重量比率（遺構外）

重量（g）・重量比・器種

| 石材種・出土地点 | Ⅱ層・Ⅱ～Ⅳ層 | | | Ⅲ層・Ⅲ～Ⅳ層 | | | Ⅳ層 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 頁岩 | 459.82 | 14.27% | 石鏃、スクレイパー（削）、尖頭状、石錐、両面調整、石核、剥片 | 831.50 | 8.37% | 石鏃、スクレイパー（削）、尖頭状、ピエス・エスキーユ、石核、石器片、剥片、素材 | 2,233.75 | 10.50% | 石鏃、スクレイパー（削）、〃（掻）、ピエス・エスキーユ、両面調整、二次加工ある剥片、石核、礫器、尖頭状、石匙、異形石器、敲石、剥片 |
| 珪質頁岩 | 93.22 | 2.89% | 石核、石匙、スクレイパー（削）、剥片 | 132.82 | 1.34% | 石核、石鏃、尖頭状、ピエス・エスキーユ、剥片 | 341.48 | 1.61% | 石核、石鏃、石錐、スクレイパー（削）、〃（掻）、ピエス・エスキーユ、両面調整、剥片 |
| 黒色頁岩 | | 0.00% | | 3.70 | 0.04% | 石錐 | 21.93 | 0.10% | 石鏃、石核 |
| 赤色頁岩 | 12.19 | 0.38% | 石鏃、剥片 | | 0.00% | | 8.78 | 0.04% | 剥片 |
| チャート | 1,649.24 | 51.19% | 石核、打製石斧、剥片、素材 | 7,018.14 | 70.68% | 石核、剥片、素材 | 8,815.98 | 41.46% | 石核、敲石、ピエス・エスキーユ、剥片、素材 |
| 赤色チャート | 48.97 | 1.52% | 剥片 | 628.20 | 6.33% | 剥片 | 4,796.13 | 22.55% | 剥片、素材 |
| 瑪瑙 | 2.80 | 0.09% | 剥片 | 7.32 | 0.07% | 石錐、剥片 | 5.44 | 0.03% | 剥片 |
| 花崗閃緑岩 | | 0.00% | | 475.82 | 4.79% | 磨石 | 1,974.32 | 9.28% | 磨石 |
| 閃緑岩 | | 0.00% | | 79.90 | 0.80% | 磨製石斧 | | 0.00% | |
| ペグマタイト | | 0.00% | | | 0.00% | | 1,129.51 | 5.31% | 台石 |
| デイサイト | | 0.00% | | | 0.00% | | | 0.00% | |
| 凝灰質頁岩 | | 0.00% | | 73.04 | 0.74% | 剥片 | 421.05 | 1.98% | 敲石、石剣類、剥片 |
| 安山岩 | 376.57 | 11.69% | 凹石 | | 0.00% | | 176.25 | 0.83% | 凹石 |
| 凝灰岩 | | 0.00% | | 82.45 | 0.83% | 敲石 | | 0.00% | |
| 砂岩 | 579.26 | 17.98% | 凹石 | 596.48 | 6.01% | 磨石（複合）、台石、剥片 | 1,340.91 | 6.31% | 敲石、凹石、石皿 |
| 計 | 3,222.07 | 100.00% | | 9,929.37 | 100.00% | | 21,265.53 | 100.00% | |

# Ⅶ　自然科学的分析

## 岩手県上野場３遺跡出土の炭化種子

高瀬 克範・工藤 雄一郎
（東京都立大学人文学部史学科）

### は　じ　め　に

高瀬は、2004年12月に岩手県軽米町上野場３遺跡において炭化種子が検出された旨の連絡をうけた。翌2005年１月にそれら炭化種子を受け取り、工藤と共同で同定をおこなった。ここでは、これらの炭化種子について報告を行うとともに、若干の考察を行うこととする。なお、筆者らは資料の回収手法について調査担当者から具体的な報告はうけていない。

遺跡の所在地：岩手県軽米町大字晴山第16地割字上野場
発掘調査期間：2004年７月１日～９月14日
調査委託者：二戸地方振興局農政部農村整備室
調査機関：（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
調査担当者：丸山浩治・水上明博
遺跡の性格：集落跡、炭化種子の出土は縄文後期後葉の竪穴住居跡埋土上部に形成された捨て場（１号遺物包含層）
資料の年代：１号遺物包含層の出土土器は縄文晩期中葉～後葉（大洞C２～A式）

### １　出土植物種名表 List of plant remains from Kaminoba 3 site

双子葉植物綱 Dicotyledoneae
　離弁花亜綱 Choripetalae
　　クルミ科Juglandaceae
　　クルミ属*Juglans*
　　ブナ科Fagueae
　　コナラ属*Quercus*
　　クリ属*Castanea*
　　クリ*Castanea crenata* Sieb.et Zucc.
　　ミカン科 *Rutaceae*
　　サンショウ属 *Zanthoxylum*
　　サンショウ*Zanthoxylum* piperitum DC.
　　トチノキ科*Aesculus*
　　トチノキ属*Aesculus*
　　トチノキ*Aesculus turbinate* Blume.

## 2　1号遺物包含層出土の炭化種子

1号遺物包含層の炭化種子はつぎの5カ所から別個に採取されているが、層位的にはすべて1号竪穴住居跡の埋土1層にふくまれる。採取地点1は、1号竪穴住居跡の中央部付近に位置し、磨石・凹石がともなって出土した。採取地点2は1号竪穴住居跡の南西部、採取地点3は採取地点1の北西約1mに位置する。採取地点4は、1号竪穴住居跡南半部の発掘区の壁際で、幅45cm、長さ2mの範囲である。採取地点5は、1号竪穴住居跡の南壁付近に位置する。

これら5カ所の採取地点から出土した炭化種子の量はそれほど多くはないが、すべて食用として人類が利用可能なものである。出土した炭化種子の一覧を第16表にしめした。同定できた分類群はいずれも木本の分類群で、草本の分類群は検出されていない。比較的残存状況が良好で、形態的特徴をよくしめす代表的な資料を第47図に提示した。

なお、ここで特定の分類群に同定し得なかった試料は「不明」としたが、これらは次の3種にわかれる。「不明A」は、比較的ざらついた表面を呈し、割れ口が摩耗し丸くなっている1cm以下の堅果類小片である（第47図12・13）。内部に気泡をともなって炭化しているものもある。ブナ科コナラ属の可能性がたかいが、採取地点4のように同様の炭化状態はトチノキにもみとめられる（第47図8）。小片のため明確な分類はできないが、種皮については表面に筋をともなわずにやや凹凸を有するものが目立ち、トチノキと思われるものが多い。子葉にはトチノキと思われるもののほか、コナラ属と推測されるものも少なからず含まれている。

「不明B」は、比較的滑らかな表面を呈し、鋭利な割れ口が観察される1cm以下の堅果類小片である（第47図14・15）。組織が緻密で厚さが比較的厚いものが多く、気泡をともなって炭化することはない。クリ・クルミのいずれかに該当する可能性が高いが、表面の状態（筋・凹凸など）や厚さなどの形態的特徴を観察してもクリ・クルミの区別がしがたいものについては、ここに含めている。

「不明」は、上記不明A・B以外の種子の小片である。極度に発泡しているものがほとんどであるが、ごく一部に表面の汚れが除去できないものもふくまれる。

また、送られてきた試料中には炭化材や虫瘻などの種子以外のものが少量含まれていた。

分類群の記載

**クルミ属**　*Juglans sp.* クルミ科（第47図9a、9b）

採取地点1・2・4からは大きさ5～15mm前後の核（内果皮）の破片が検出された。色は黒色で全て炭化している。核は木質で硬く、破片は鋭利に割れており、表面に凸凹のある粗いしわがみられること、縫合線が明瞭に見られるなど（第47図9a）、その多くはオニグルミ*Juglans mandshurica var. sachalinesis* の特徴を示す。核に包まれた内部の脂肪分の多い子葉を生食または加工して食用とする。検出された試料は子葉を食用とするために割った際に生じた破片であると考えられる。

**コナラ属**　*Quercus sp.* ブナ科（第47図10a、10b）

採取地点1から炭化した子葉の破片が1点検出された（第47図10a、10b）。保存状態が悪いために種の同定はできないが、周辺地域の植生から考えてコナラ亜属であると考えられる。大きさは、長さ11.2mm、幅8.4mm程度であるが、上端が破損しているため原型はより縦長である。子葉の形態から考えて、コナラ*Quercus serrata* Thunb. あるいはミズナラ*Quercus crispula* Blume. であろう。

また、採取地点３からは、コナラ属と思われる炭化した果皮の破片が１点検出された。以下で述べるトチノキの種皮と異なり、薄くて非常に脆く、表面には縦に平行する線がみられた。

**クリ**　*Castanea crenata* Sieb.et Zucc. ブナ科クリ属（第47図１～４）

採取地点２から炭化した子葉がほぼ完形の状態で３点検出された。採取地点５からも炭化した子葉の破片が１点検出されている。採取地点２のクリの子葉は三角状卵形で、長さ16.9㎜、幅16.0㎜、厚さ7.8㎜の小型のもの（第47図１ａ、１ｂ）と、長さ20.0㎜、幅21.6㎜、厚さ11.2㎜のやや大型のもの（第47図２ａ、２ｂ）がある。１点は破損しているため計測できないが、幅21㎜前後であり（第47図３ａ、３ｂ）、第47図２ａ、２ｂとほぼ同サイズである。採取地点５のクリ子葉は長さ17.3㎜、幅15.6㎜であるが（第47図４ａ、４ｂ）破損しており厚さの計測はできない。これらにはいずれもクリ子葉の表面にシワ状構造が認められる。クリは生食できるが、通常は過熱して食用とする。

**サンショウ**　*Zanthoxylum* piperitum DC. ミカン科サンショウ属（第47図11）

採取地点４から炭化した内果皮の破片が１点検出された。広楕円形で色は黒色。大きさは長さ3.4㎜、幅2.5㎜、厚さは破損しているため計測できない。表面には不規則な網目模様がみられる。

**トチノキ**　*Aesculus turbinate* Blume. トチノキ科（第47図５～８）

採取地点１・２・３・４から炭化した種子の破片が検出された。大きさ５～10㎜程度の種皮の破片が多い。種皮は厚く硬い。また、表面は光沢感がなく、クリのような縦方向に並ぶすじがみられないこと、クリにみられる座に相当する特徴もみられないことからトチノキと同定した（第47図６・７）。しかし、細かな砕片ではクルミやクリとの区別は困難である。採取地点２・３・４からは炭化した子葉が検出された（第47図５ａ・５ｂ・８ａ・８ｂ）。子葉はいずれも破片であるが、比較的残りが良く、表面構造、割れ口の特徴などからトチノキと同定した。

## ３　ま　と　め

上野場３遺跡からは、トチノキ、クリ、オニグルミ、コナラ属、サンショウなどが利用されていたことが明らかになった。

本遺跡では、クリの子葉には完形に近いものが存在してはいるものの、クリ・トチノキやオニグルミはことごとく破損した状態で炭化している点には注意すべきであろう。また、本遺跡でもみとめられるように、表面に深い皺がみとめられるクリについては、乾燥を経たものであるという重要な指摘がある（名久井2004）。近年、縄文晩期・続縄文期における堅果類の多量出土例が増加しつつあり、出土資料をもとにした加工方法などの検討も可能になりつつある。乾燥後の加工工程やそれ以外の処理方法なども、増加しつつある良好な出土植物遺体によって検討できる可能性がたかいといえよう。しかし、新潟県青田遺跡のように保存状態がきわめて良好な場合でも、実験をともなわずに結論を導くことはなかなか難しい（猪狩2004）。民族（俗）例への配慮だけではなく、石器などの加工具も視野にいれた実験は今後ぜひとも必要になるであろう。と同時に、本遺跡のように、たとえ少量であっても出土炭化種子を地道に蓄積してゆくこともまた忘れてはならない。

**謝　辞**　同定にあたっては、佐々木由香氏（（株）パレオ・ラボ）・椿坂恭代氏（札幌国際大学）か

ら貴重なご教示を賜った。この場を借りて御礼申し上げる。

## 引用文献

猪狩俊哉　2004　「植物遺体」荒川隆史ほか編『青田遺跡　本文・観察表編』，pp.221-229，新潟県教育委員会・（財）新潟県埋蔵文化財調査事業団

名久井文明　2004　「乾燥堅果類備蓄の歴史的展開」『日本考古学』17，pp.1-24，日本考古学協会

## コメント

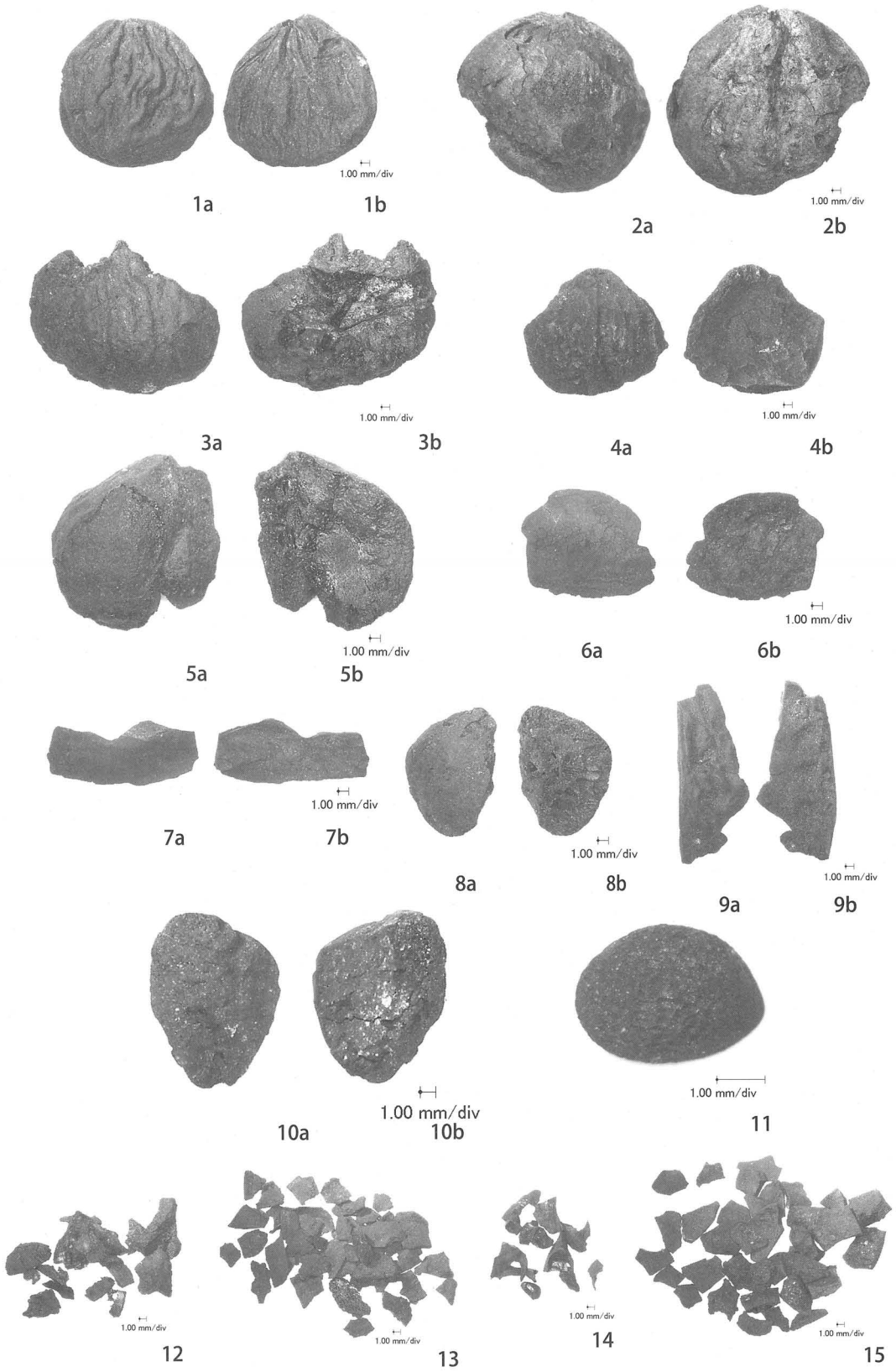
今回分析を実施した試料は、１号遺物包含層精査時にほぼ完形の炭化したクリが検出されその存在を認知したことを発端とし、以後検出され個別に採取した比較的大形の遺体と、その周囲の土壌をサンプリングしウォーターフローテーション・セパレーションの結果得られたものとで成る。土壌サンプルの採取方法と量についてはⅢ章１節（６）およびⅤ章６節に記載のとおりである。

高瀬・工藤両氏による分析の以前に名久井文明氏に実見して頂き、試料個々の状態についての解釈をご教示いただいた。名久井氏は、クリには外皮の残存するものとないものがみとめられること、および分析文章中にも記載のとおり表面に深い皺がみとめられるものが存在すること、またクルミはすべて破砕状態であり、完形または半割状態を呈するものがないことを指摘され、前者については乾燥作業や外皮除去作業を行っていた可能性があること、後者については意図的な破砕の可能性が高いもののなぜ細かく破砕する必要があったのか不明でありその意味に注意を要するとの見解を示された。非常に貴重なご教示を賜ったことに対し、この場を借りて御礼申し上げる。

（丸山）

**第15表　上野場３遺跡出土炭化種子一覧表**

| | 採取地点１ | 採取地点２ | 採取地点３ | 採取地点４ | 採取地点５ |
|---|---|---|---|---|---|
| クリ（子葉） | | 2.18 g | 0.14 g | | 0.38 g |
| トチノキ（子葉） | 0.09 g | 0.34 g | 0.77 g | 0.09 g | |
| トチノキ（種皮） | 0.13 g | | 0.14 g | 0.50 g | |
| コナラ属 | 0.05 g | | 0.02 g（？） | | |
| オニグルミ | 0.59 g | 0.04 g | | 1.87 g | |
| サンショウ | | | | １個（0.01 g 未満） | |
| 不明Ａ | 0.82 g | 0.08 g | 1.00 g | 2.96 g | |
| 不明Ｂ | 0.22 g | 0.03 g | 0.11 g | 0.39 g | |
| 不明 | 0.64 g | | 0.09 g | 0.04 g | |




第 47 図　炭化種子

1～3：クリ子葉（採取地点 2），4：クリ子葉（採取地点 5），5：トチノキ子葉（採取地点 2），6：トチノキ種皮（採取地点 1），7：トチノキ種皮（採取地点 4），8：トチノキ子葉（採取地点 4），9：クルミ属核（採取地点 4），10：コナラ属子葉（採取地点 1），11：サンショウ内果皮（採取地点 4），12：不明 A（採取地点 3），13：不明 A（採取地点 4），14：不明 B（採取地点 3），15：不明 B（採取地点 4）

# 写　真　図　版

# 写真図版凡例

1　野外調査写真は縮尺不定である。

2　遺物写真については縮尺を揃えるよう努めたが、厳密ではなくあくまでも概数である。各遺物種別ごとの縮尺概数は下記のとおりである。

縄文土器・・・・・・・・・1/3
土製品・・・・・・・・・・1/2
剥片石器および石核・・・1/2
礫塊石器および礫石器・・1/3
石製品・・・・・・・・・・1/2

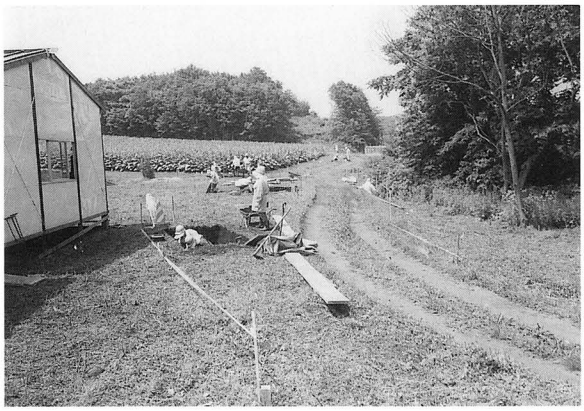
遺跡遠景（南から）

調査区近景（東から）

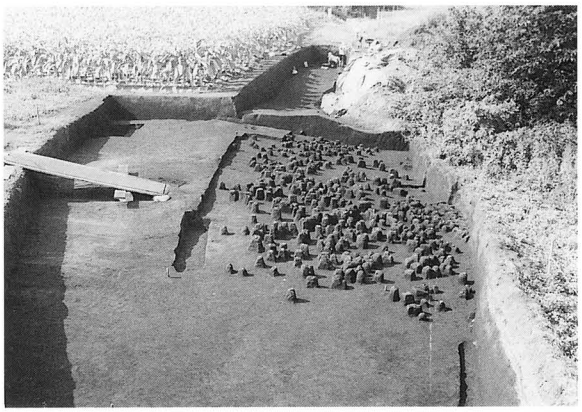
写真図版１　空中写真

基本層序（メインセクションC—C’ 21C～Dグリッド）

調査区北端土層断面（３Ｂ～Ｃグリッド）



試掘風景（南から）



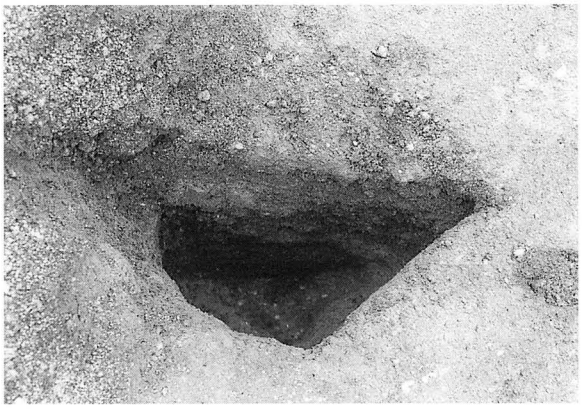
15グリッド以南遺物出土状況（南から）

写真図版２　試掘風景・基本層序

平面（南から）

断面Ａ―Ａ’（西から）

Ｐ1 平面（南から）



Ｐ10 断面（南から）

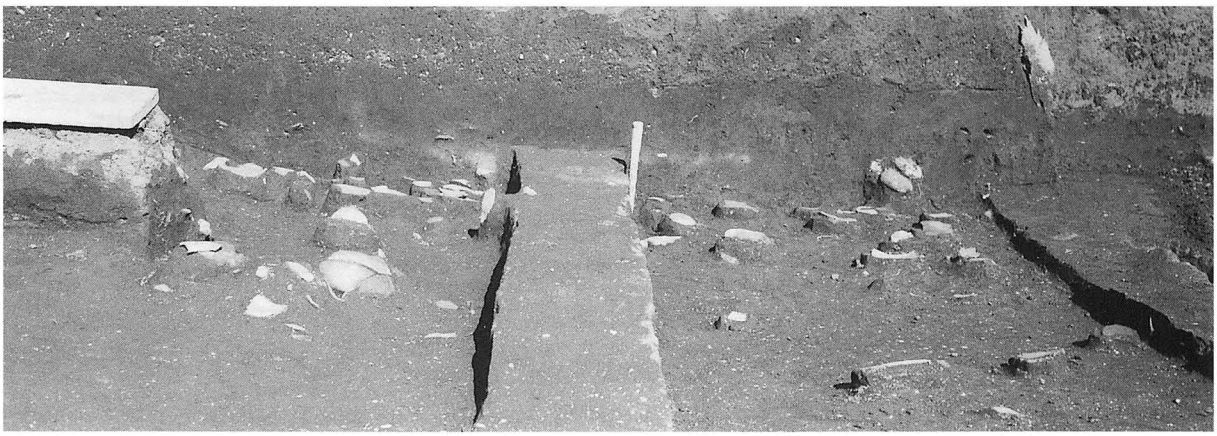
写真図版３　１号竪穴住居跡（１）

P2 断面（南から）

P3 断面（南から）

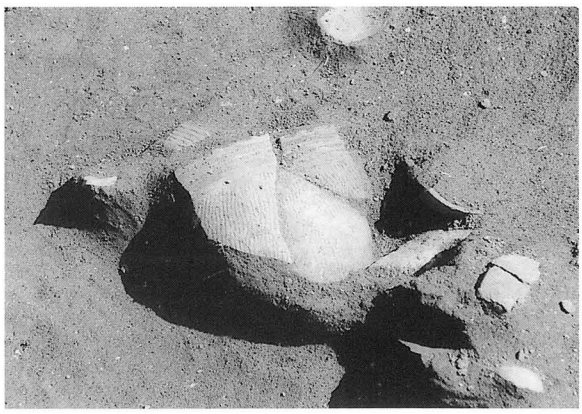
床面 土器（No.1）出土状況（西から）

埋土 土偶（No.241）出土状況（南から）



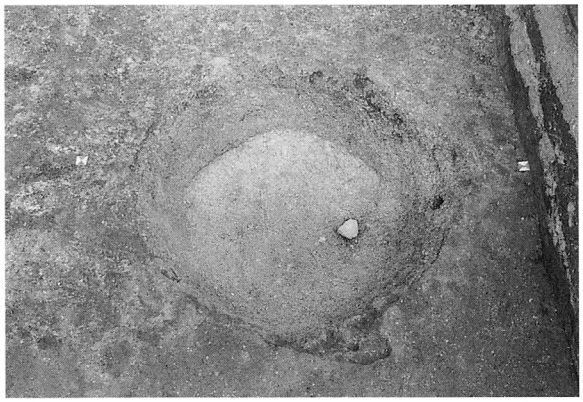
1号遺物包含層　土層断面と遺物出土状況　9D付近（西から）

遺物出土状況 9D付近（東から）



出土遺物近写（北から）

写真図版4　1号竪穴住居跡（2）、1号遺物包含層

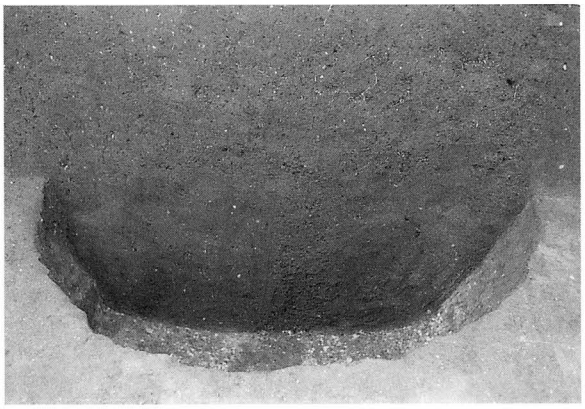


平面（南から）

断面（南から）

1号土坑

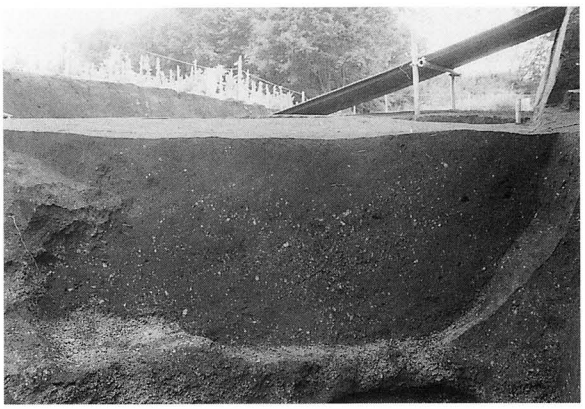
平面（東から）



断面（東から）

2号土坑

平面（南東から）



断面（南東から）

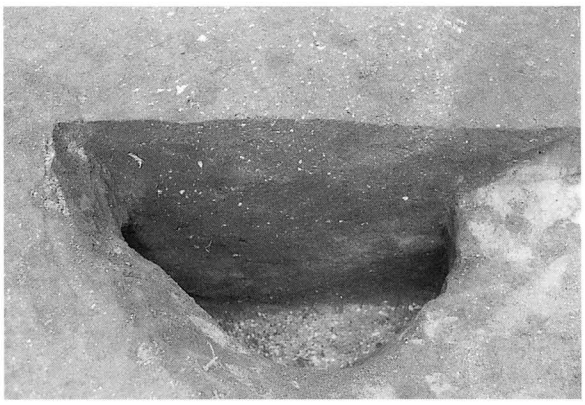
3号土坑

平面（南東から）

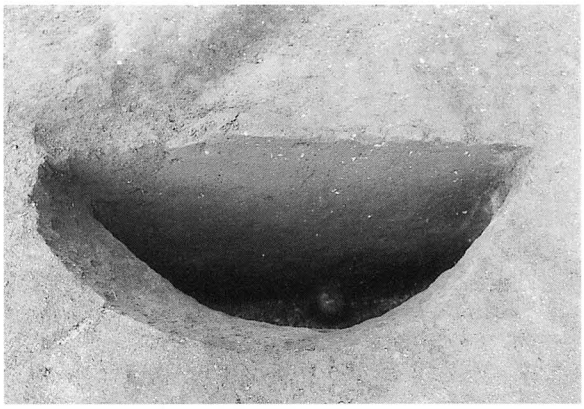
断面（南東から）

4号土坑

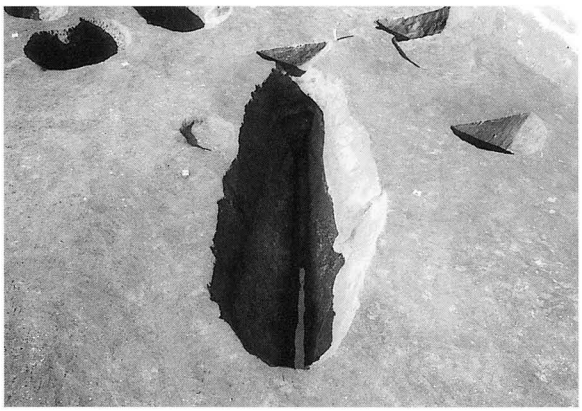
写真図版5　1～4号土坑



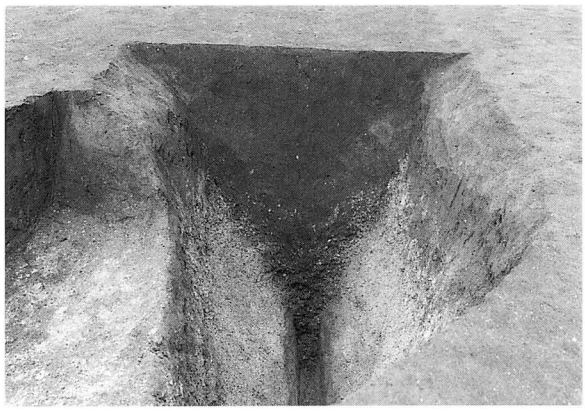
平面（南から）　　5号土坑　　断面（南から）



平面（南西から）　　6号土坑　　断面（南西から）



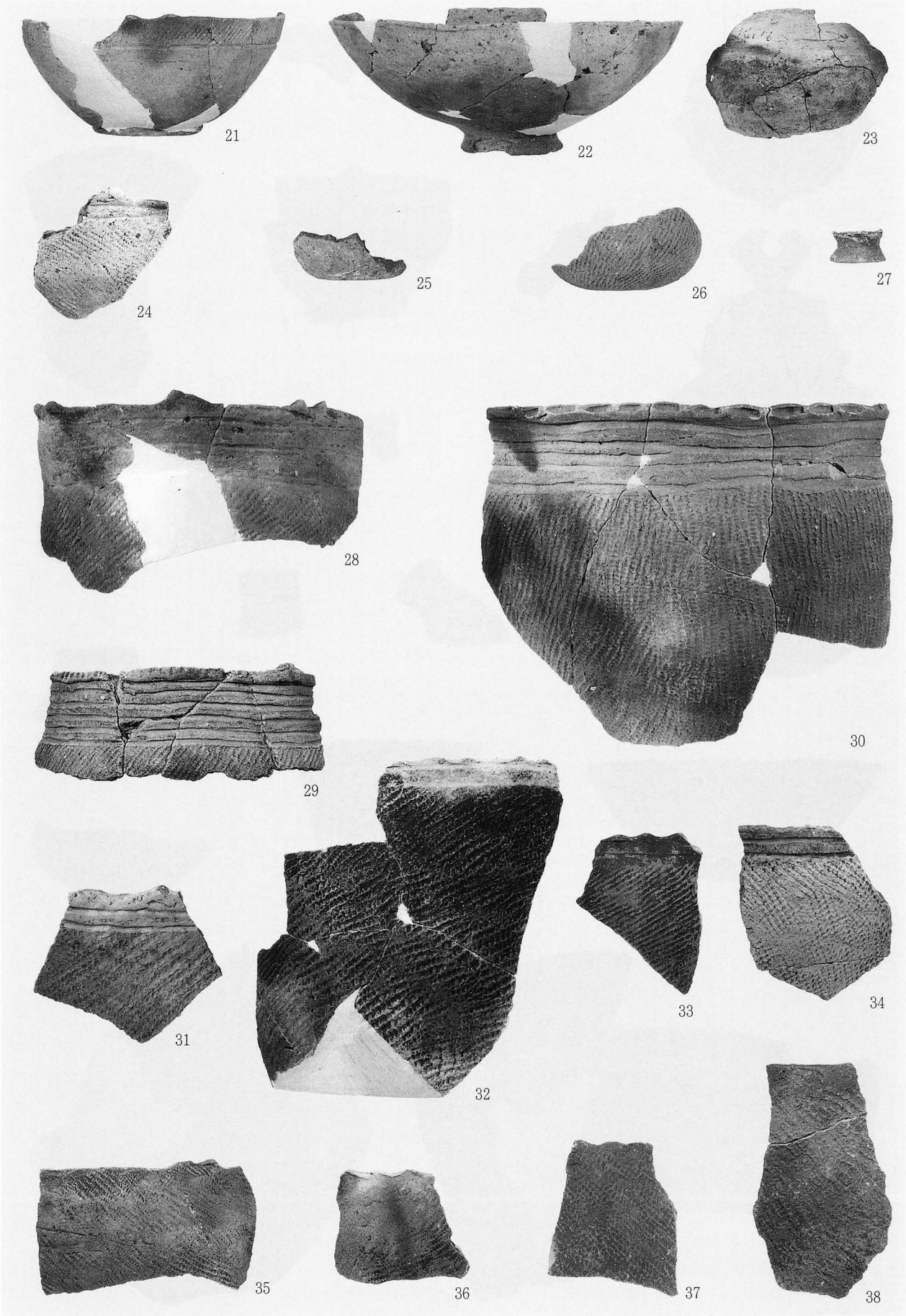
平面（南から）　　1号陥し穴状遺構　　断面（南から）



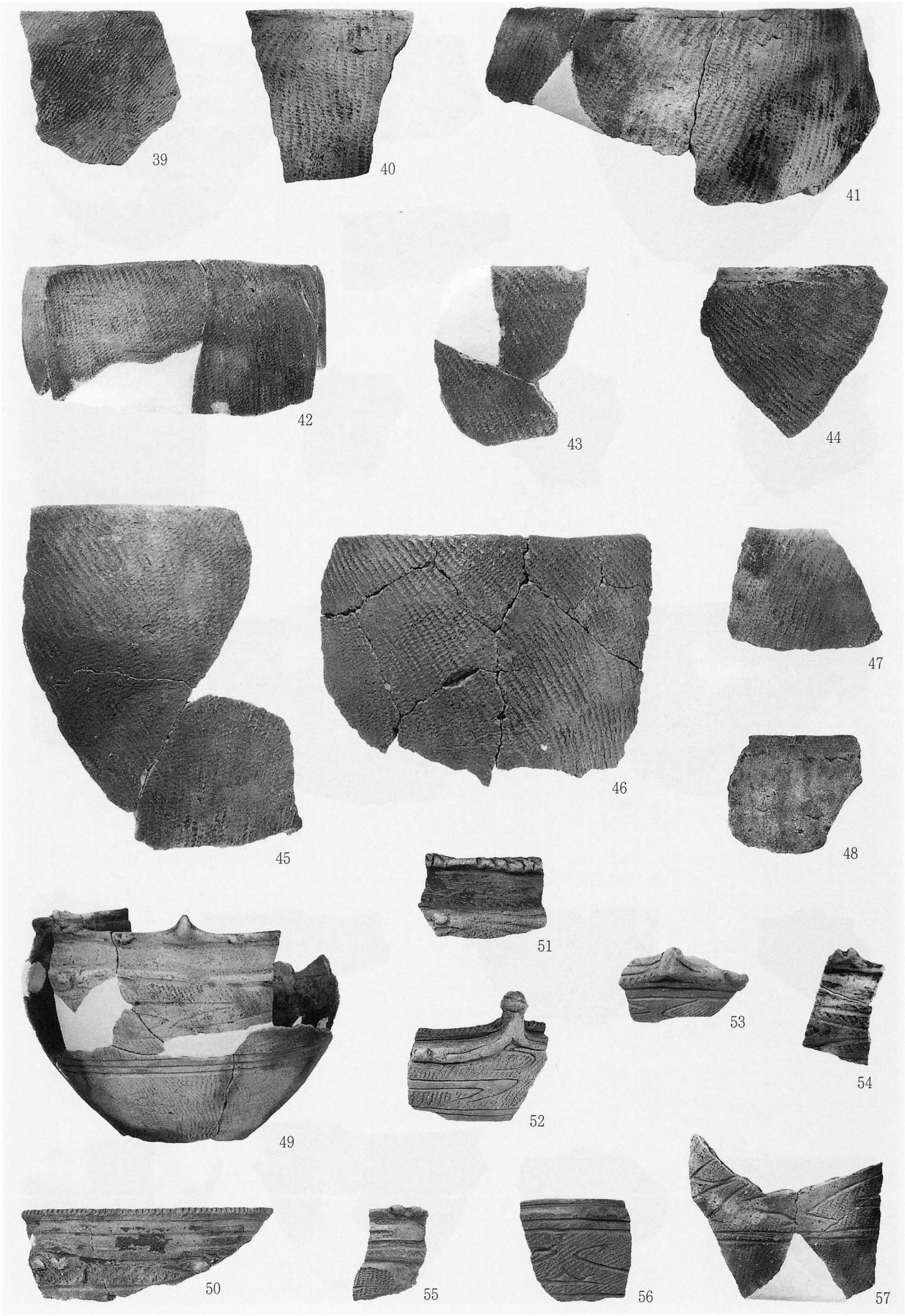
平面（南東から）　　2号陥し穴状遺構　　断面（南東から）

写真図版6　5・6号土坑、1・2号陥し穴状遺構

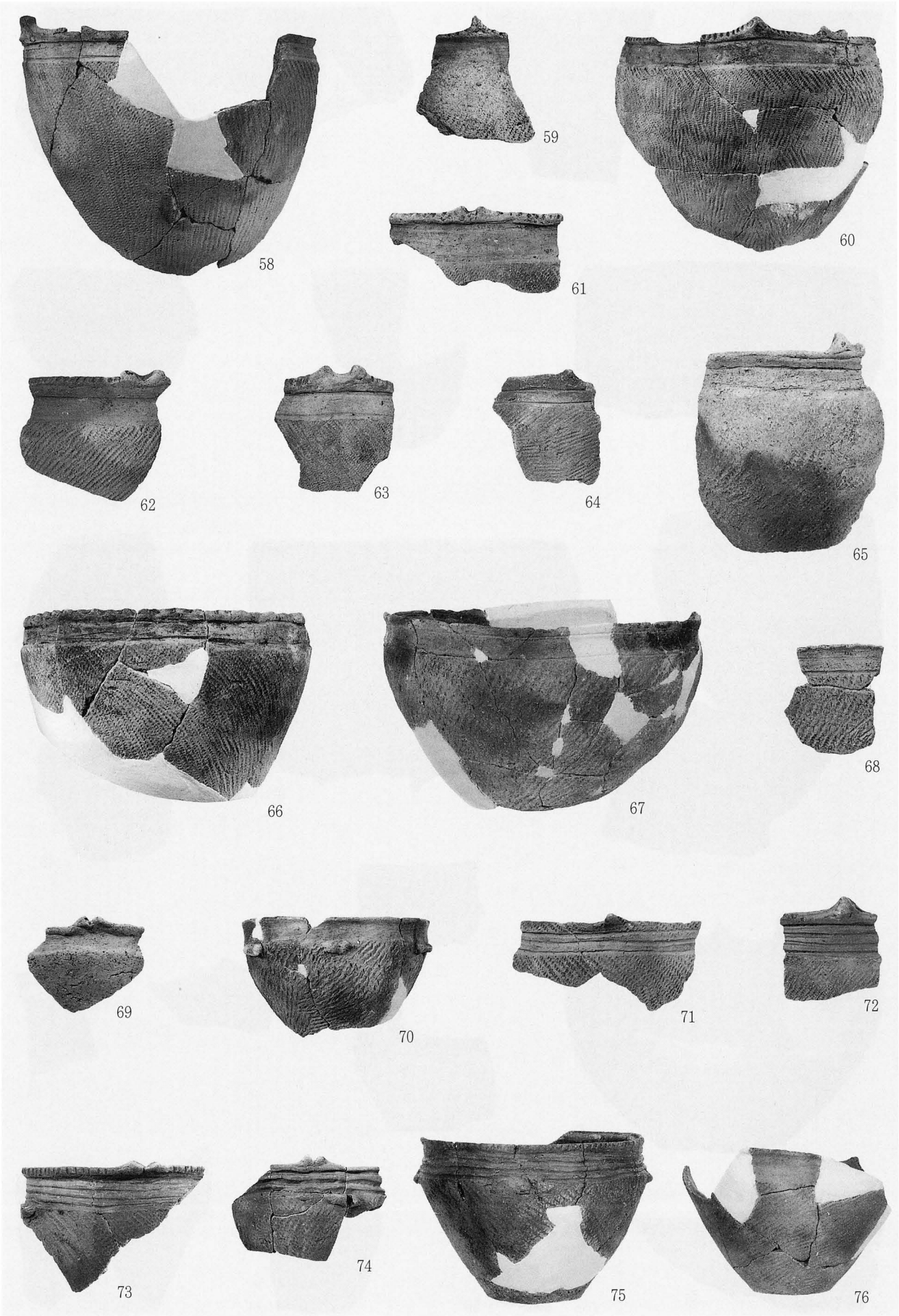
写真図版７　遺構内出土土器（１）



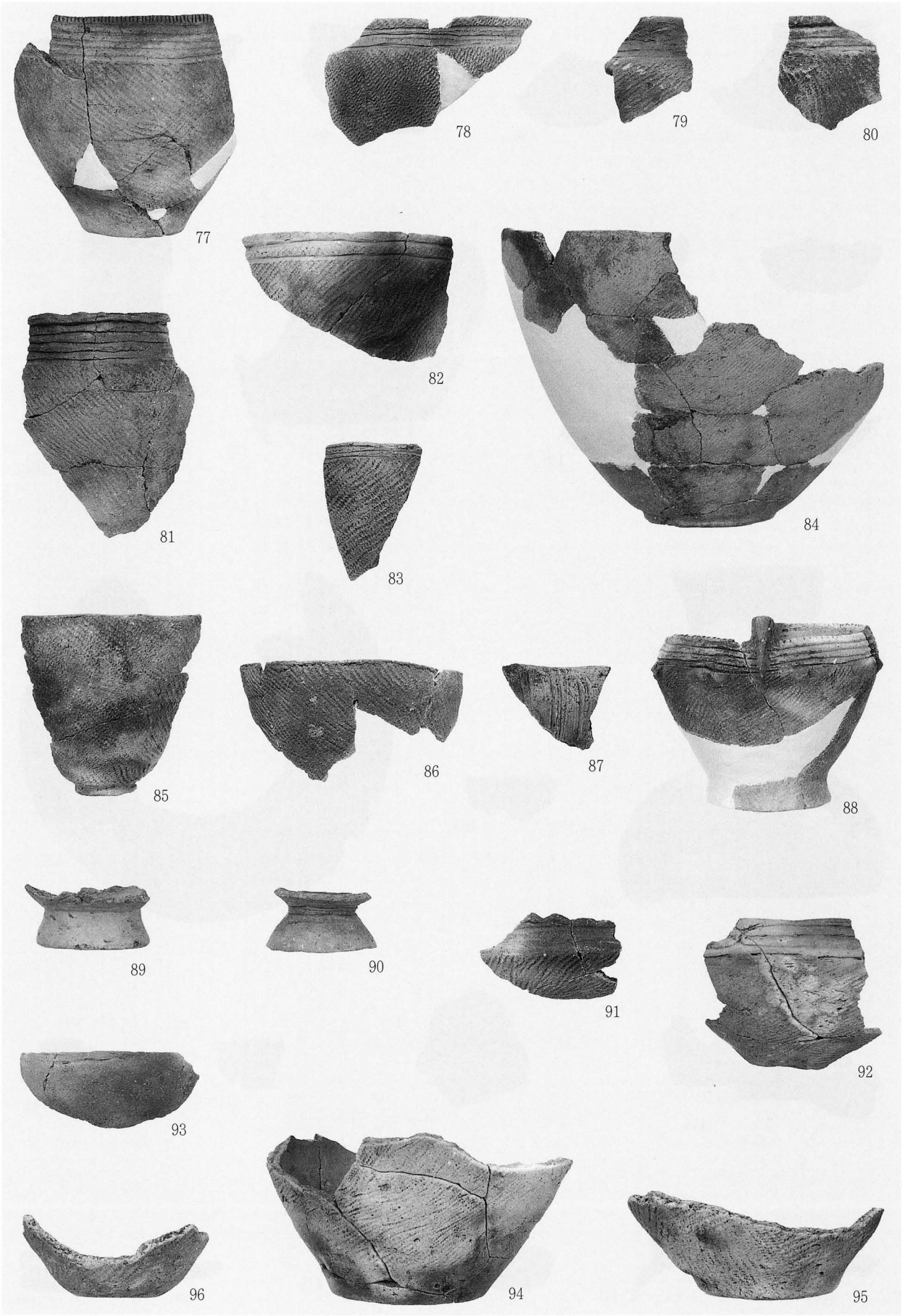

写真図版８　遺構内出土土器（２）



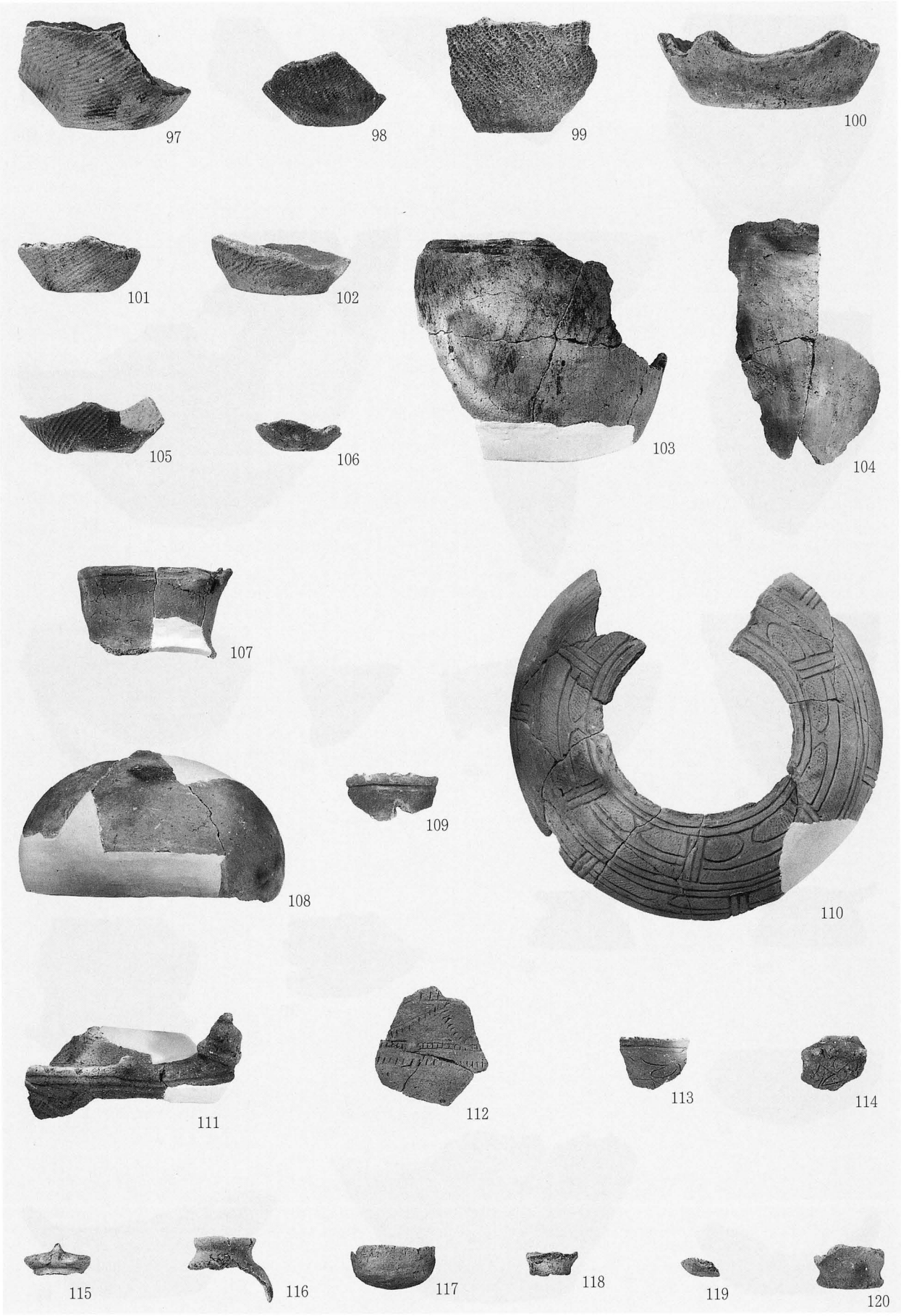

写真図版９　遺構内出土土器（３）



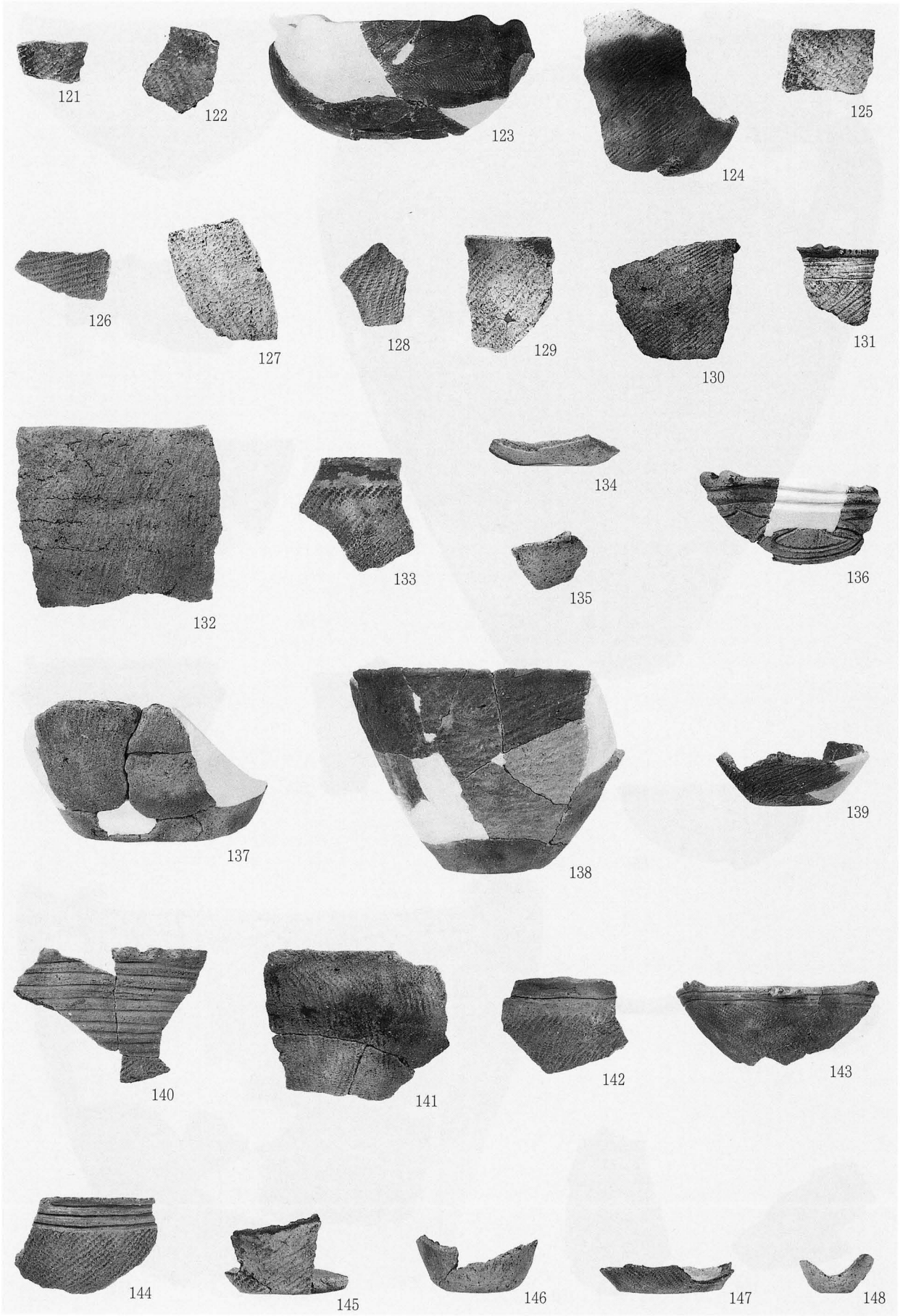

写真図版10　遺構内出土土器（4）



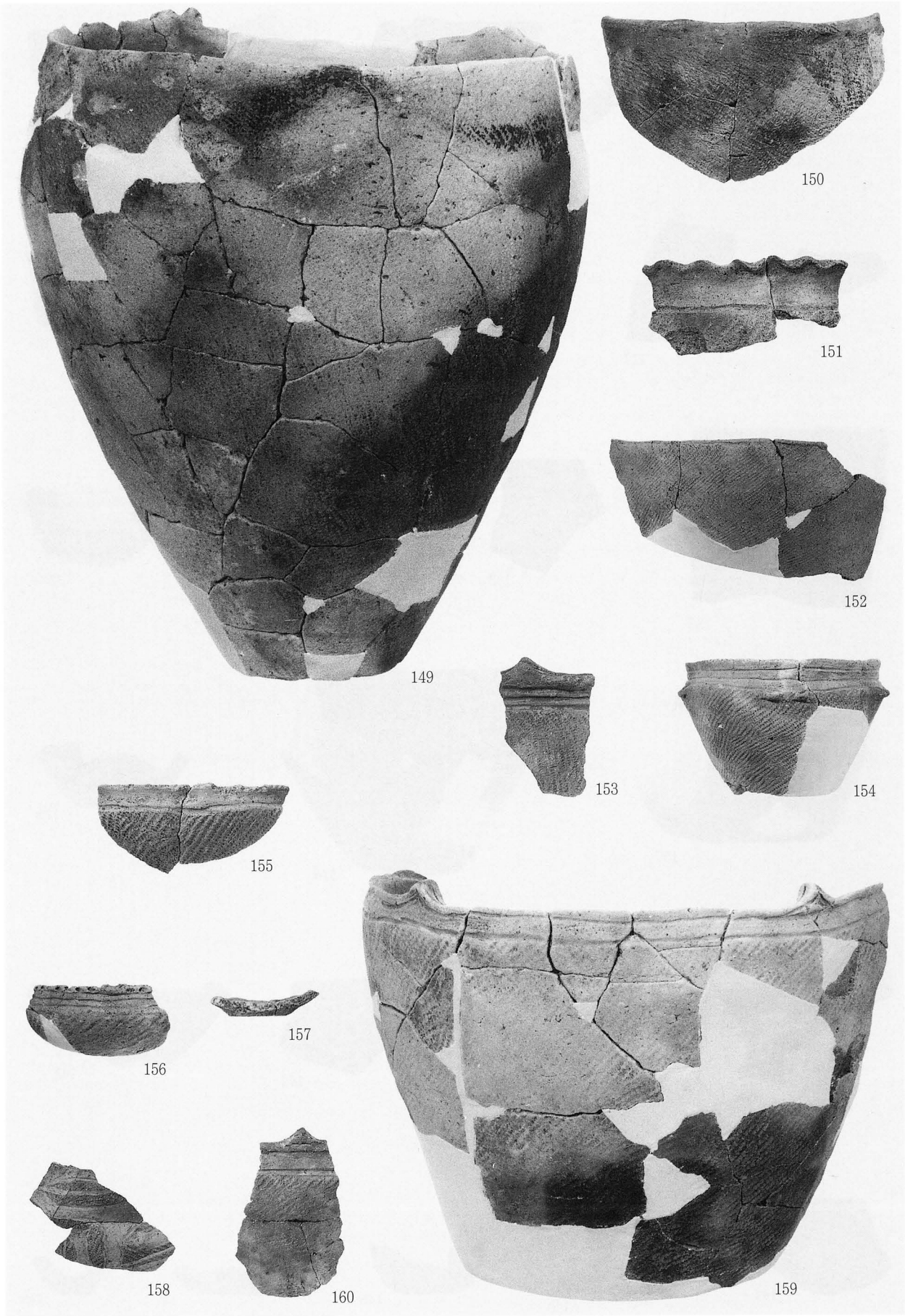

写真図版11　遺構内出土土器（5）



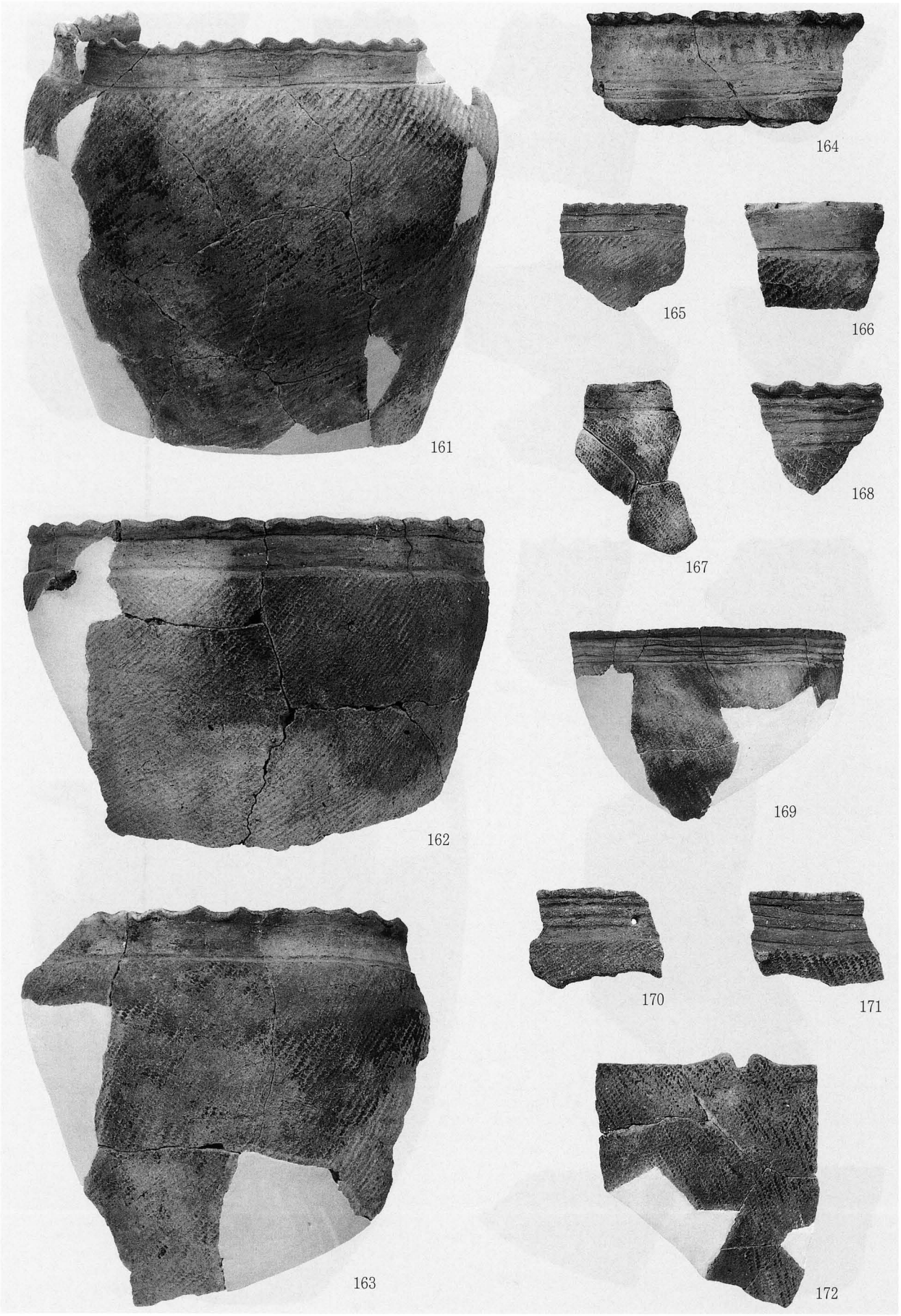

写真図版12　遺構内出土土器（6）



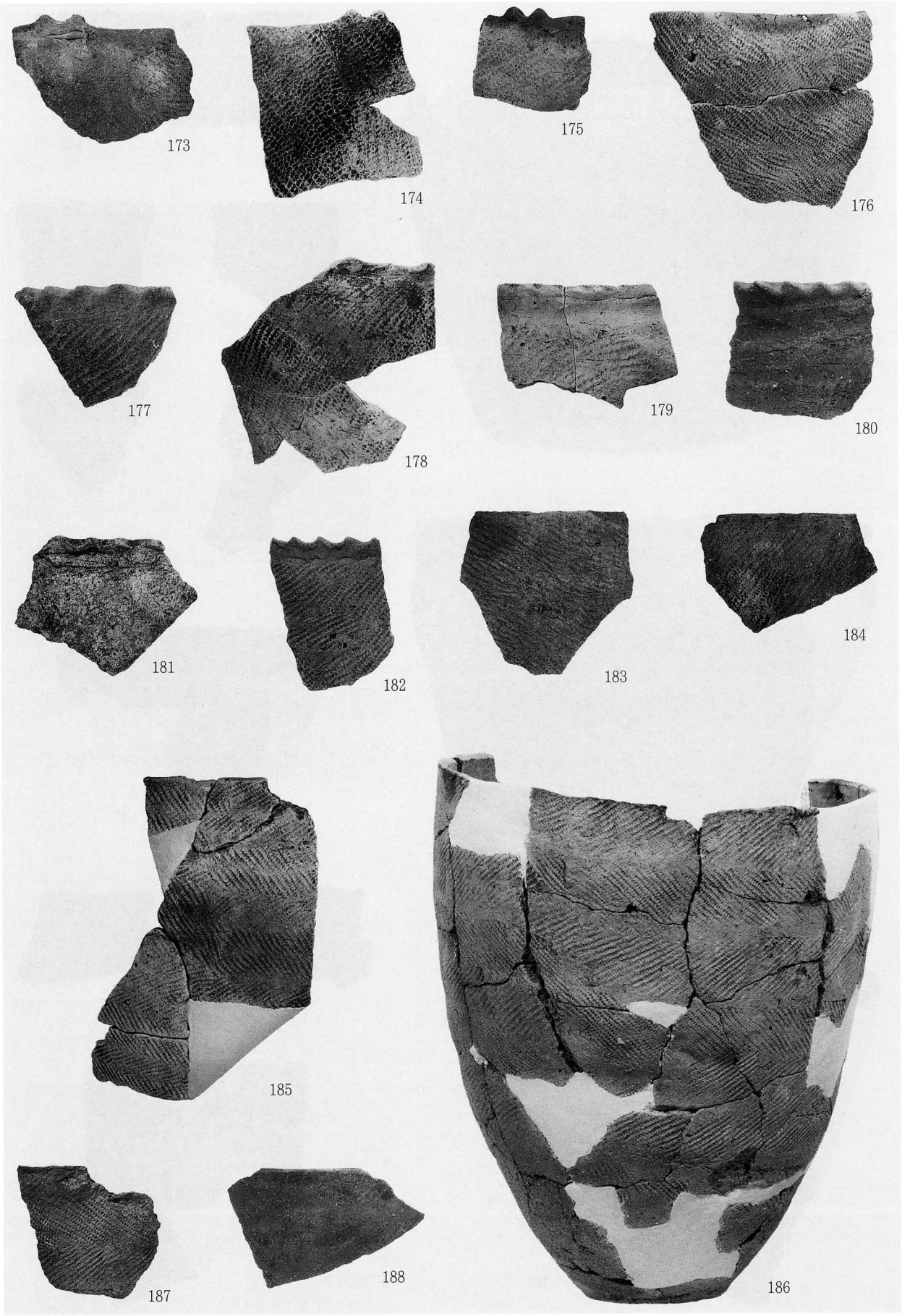

写真図版13　遺構内出土土器（7）、遺構外出土土器（1）



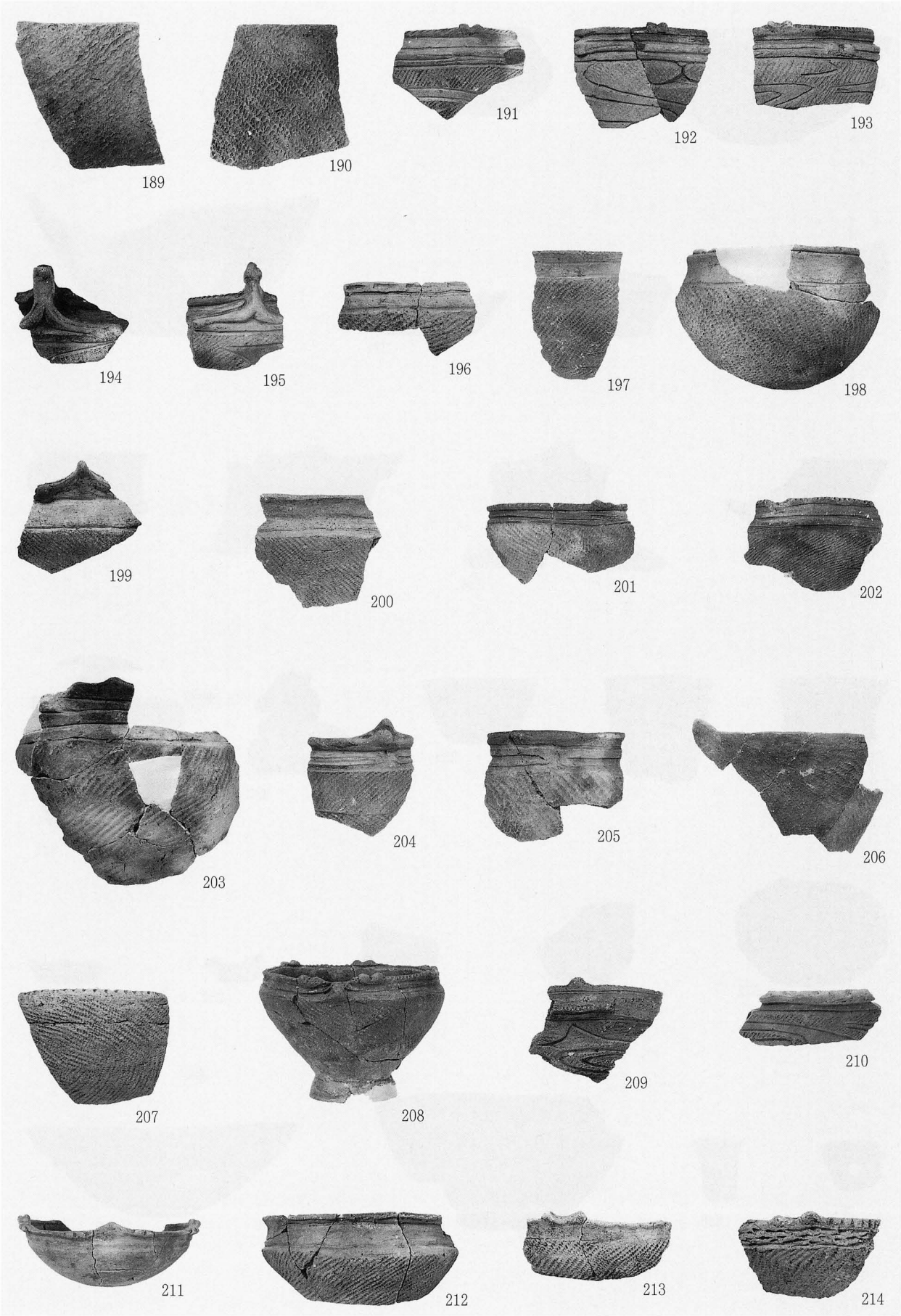

写真図版14　遺構外出土土器（2）



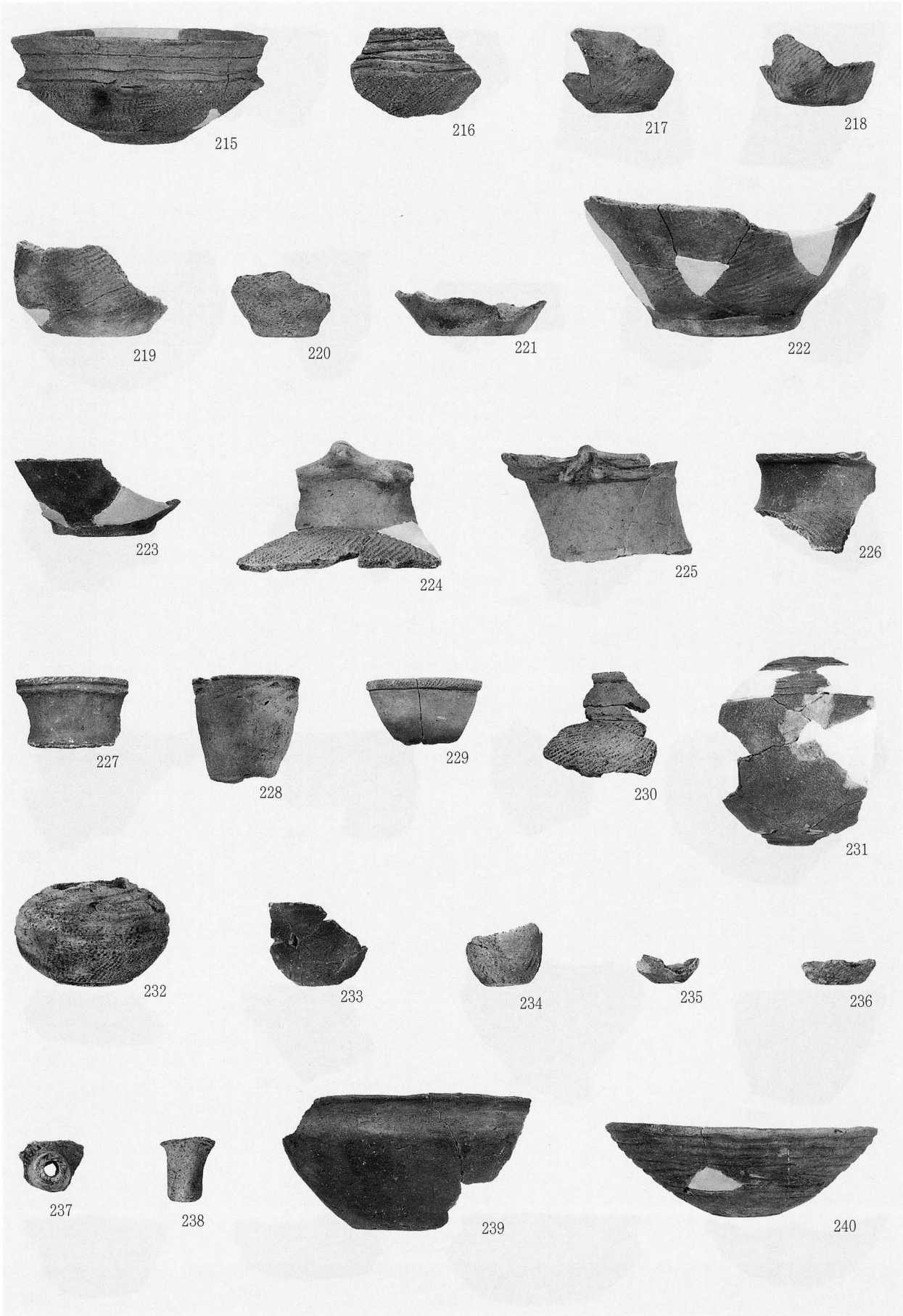

写真図版15　遺構外出土土器（3）



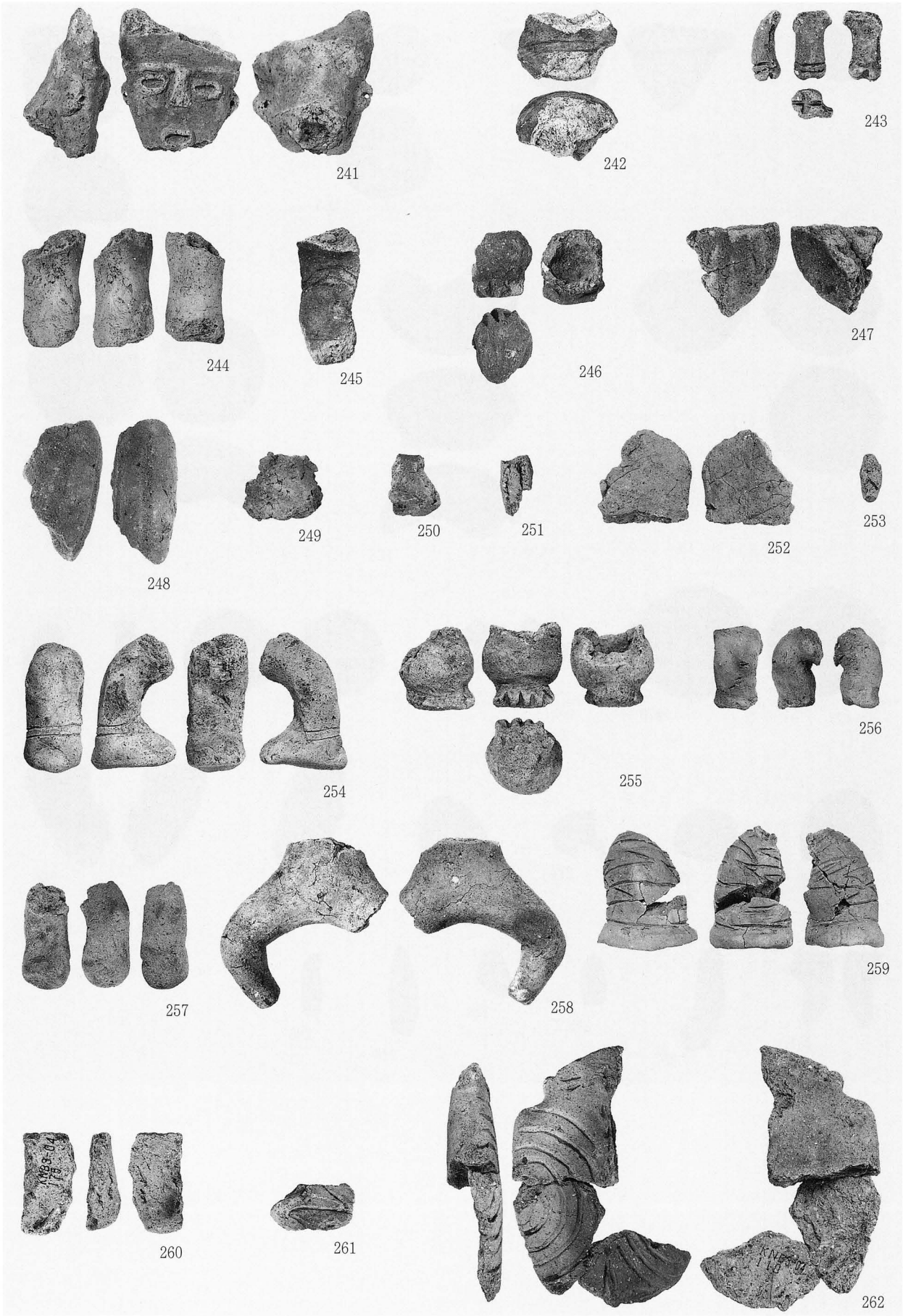

写真図版16　遺構外出土土器（4）



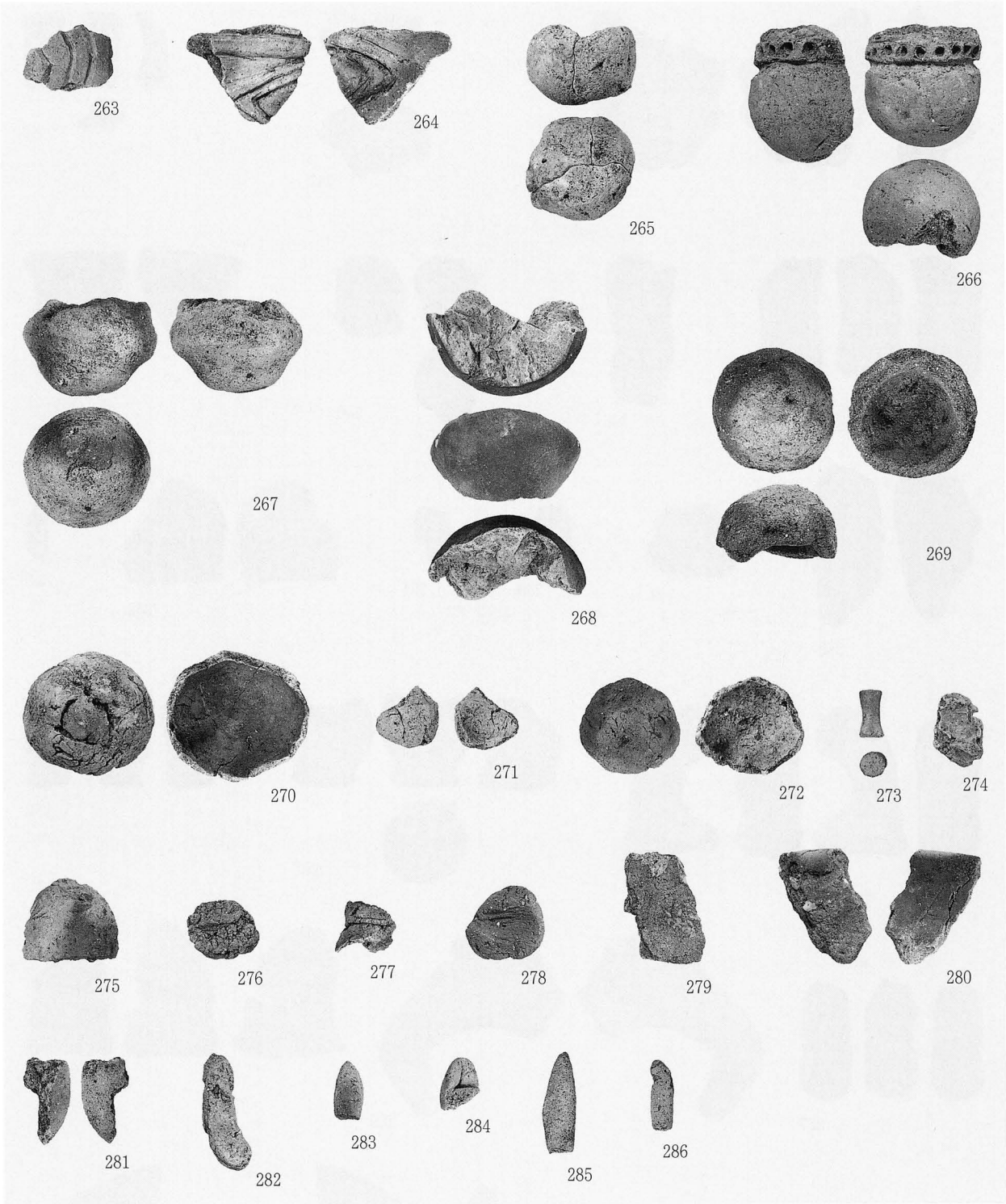

写真図版17　遺構外出土土器（5）



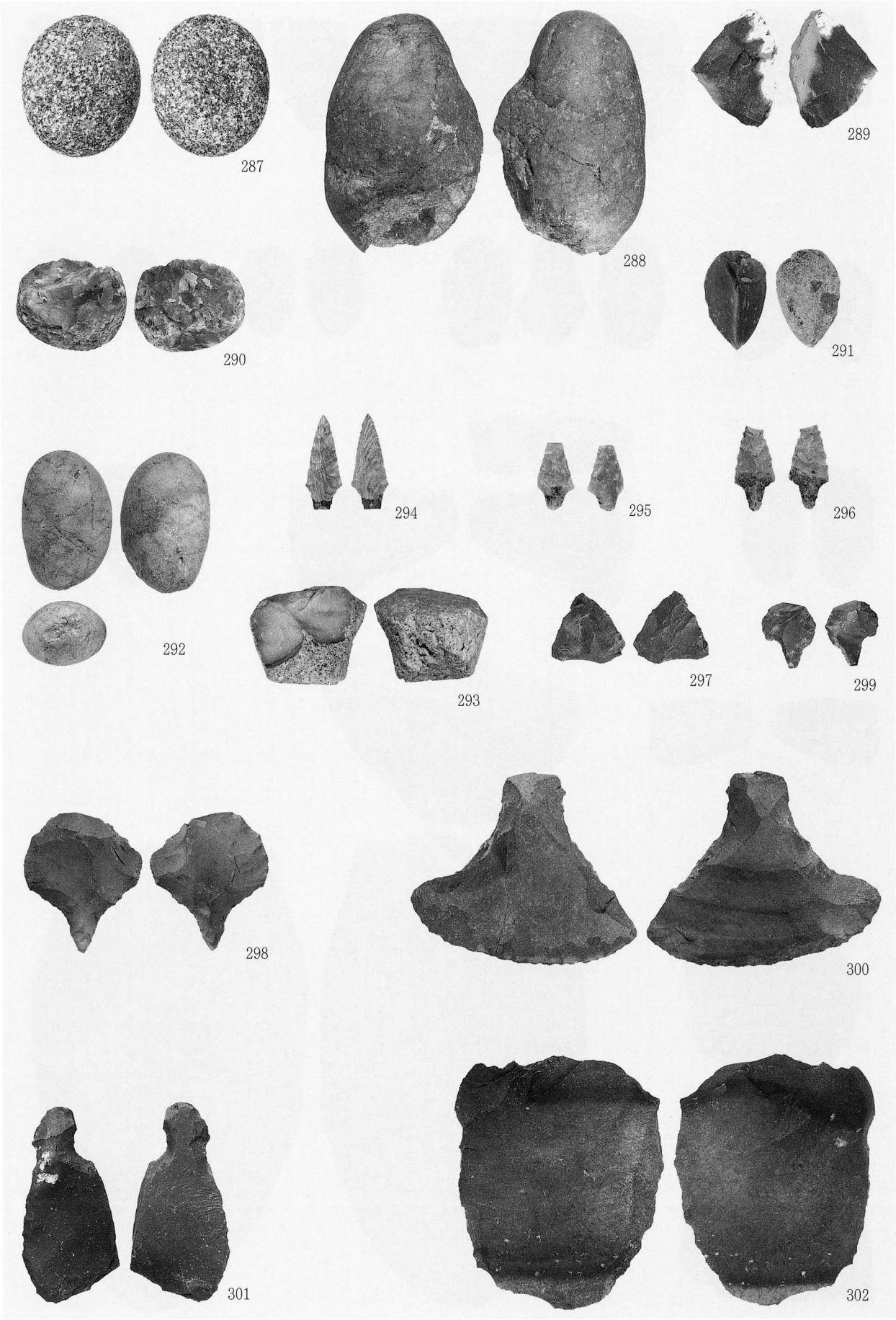

写真図版18　遺構外出土土器（6）


241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262

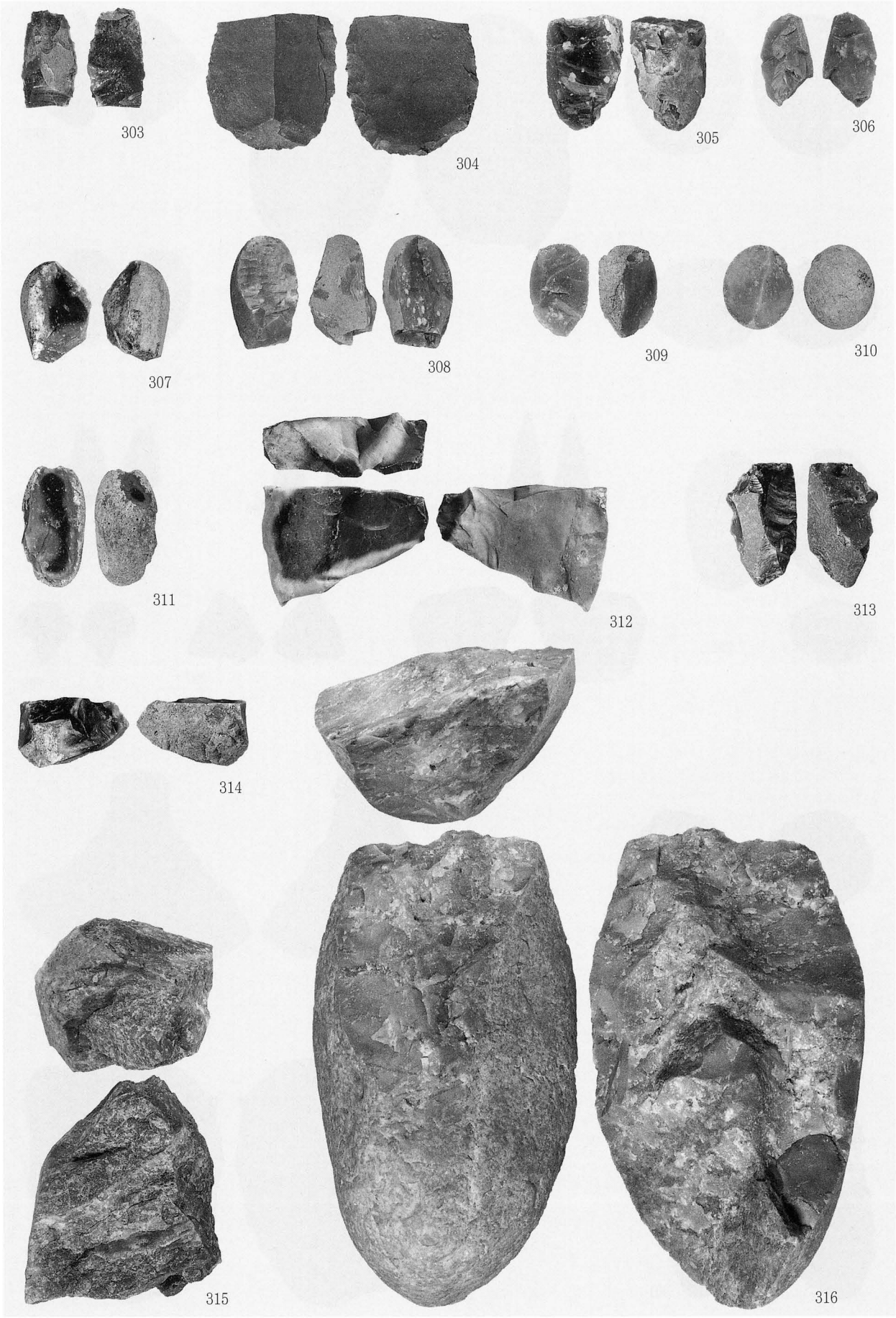
写真図版19　土製品（1）


263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286

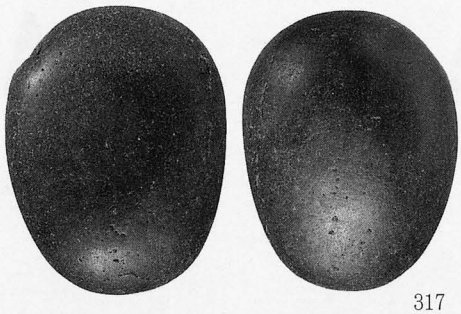
写真図版20　土製品（2）



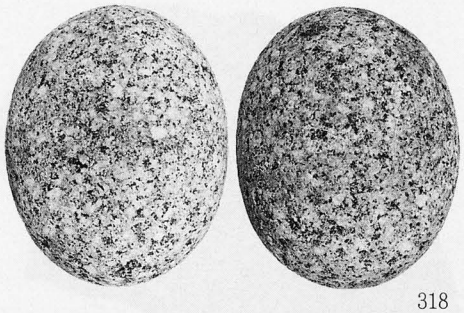

写真図版21　遺構内出土石器（1）



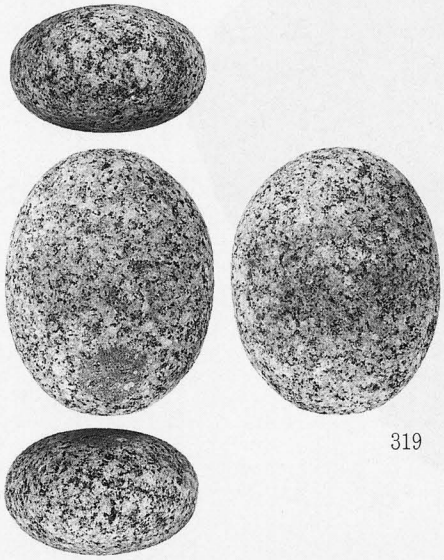

写真図版22　遺構内出土石器（2）



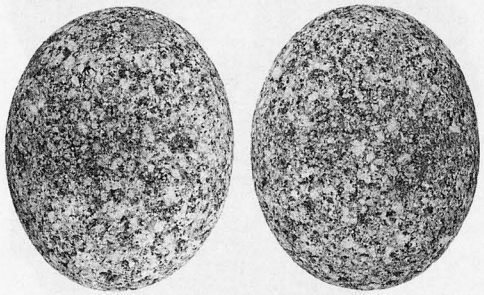
317



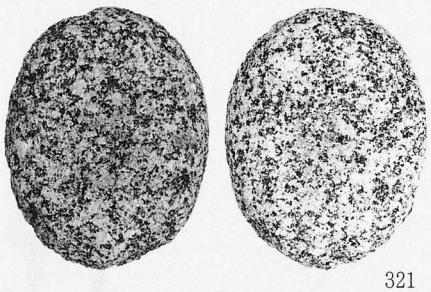
318



319

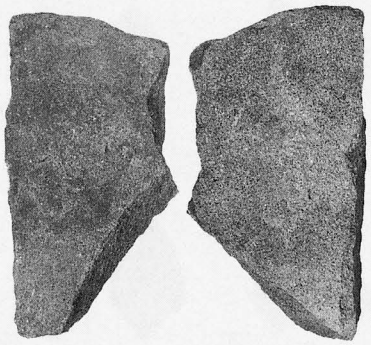


320

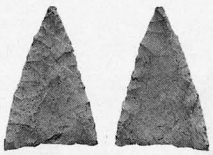


321

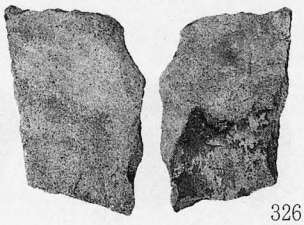
322



323

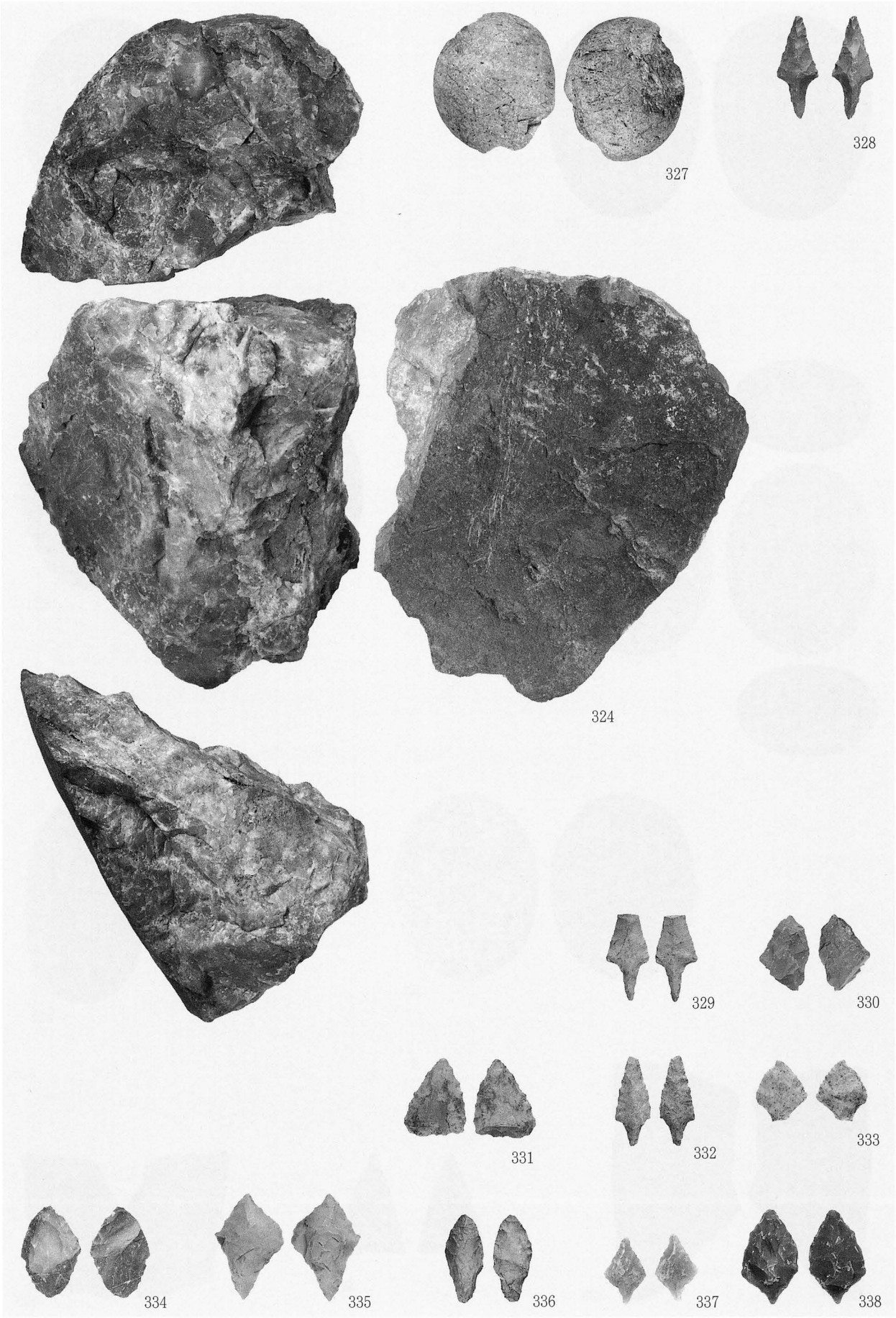


325

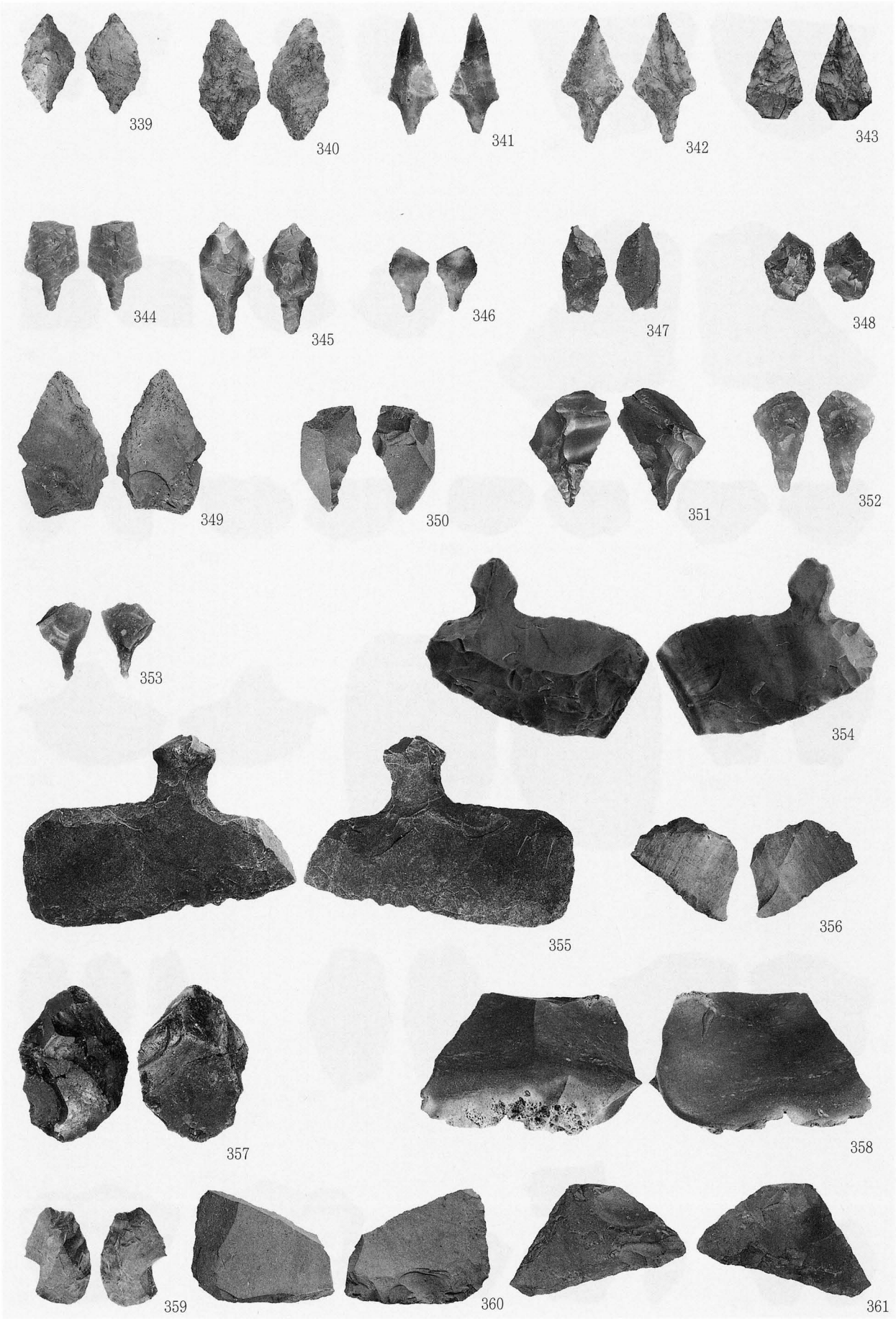


326

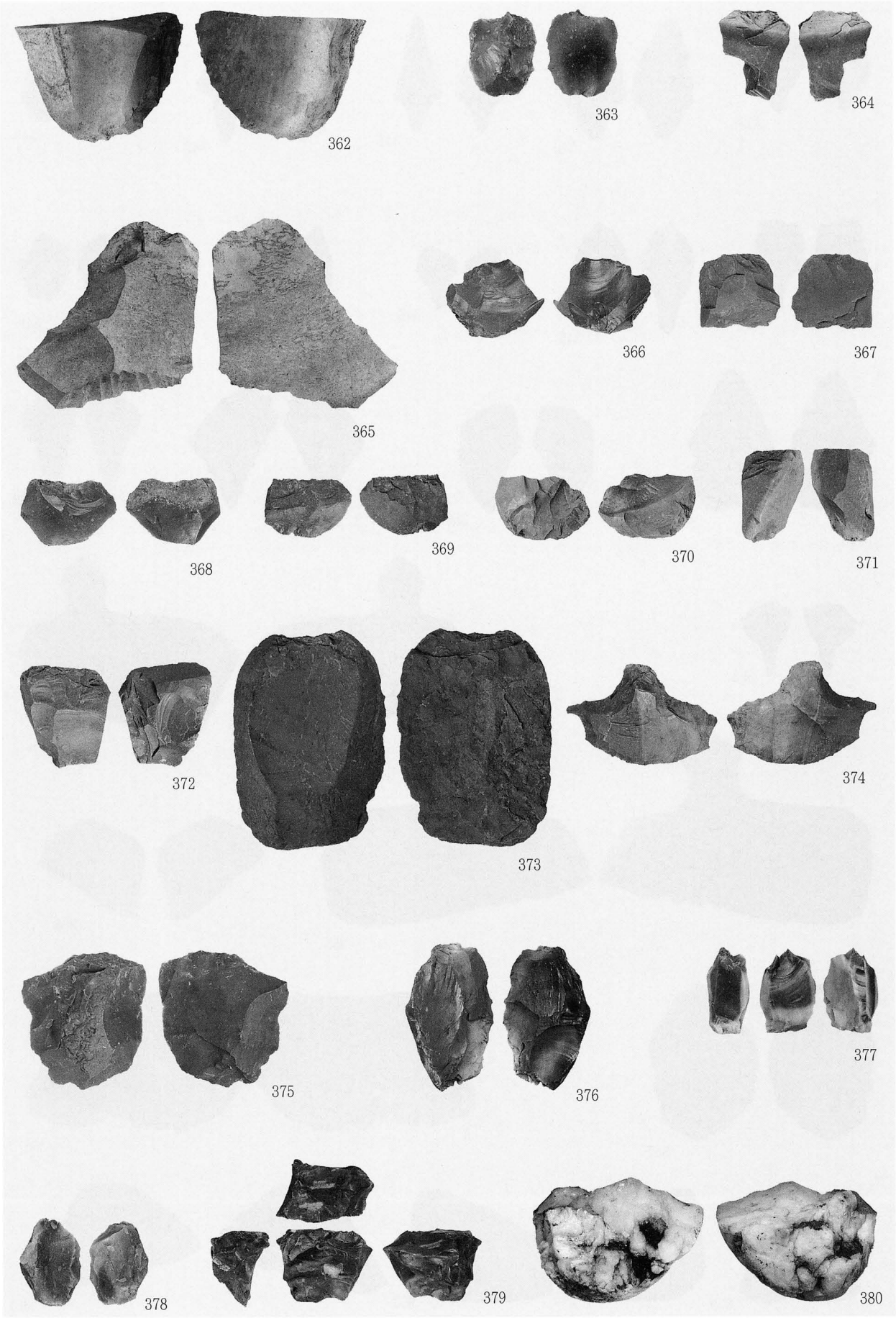
写真図版23　遺構内出土石器（3）



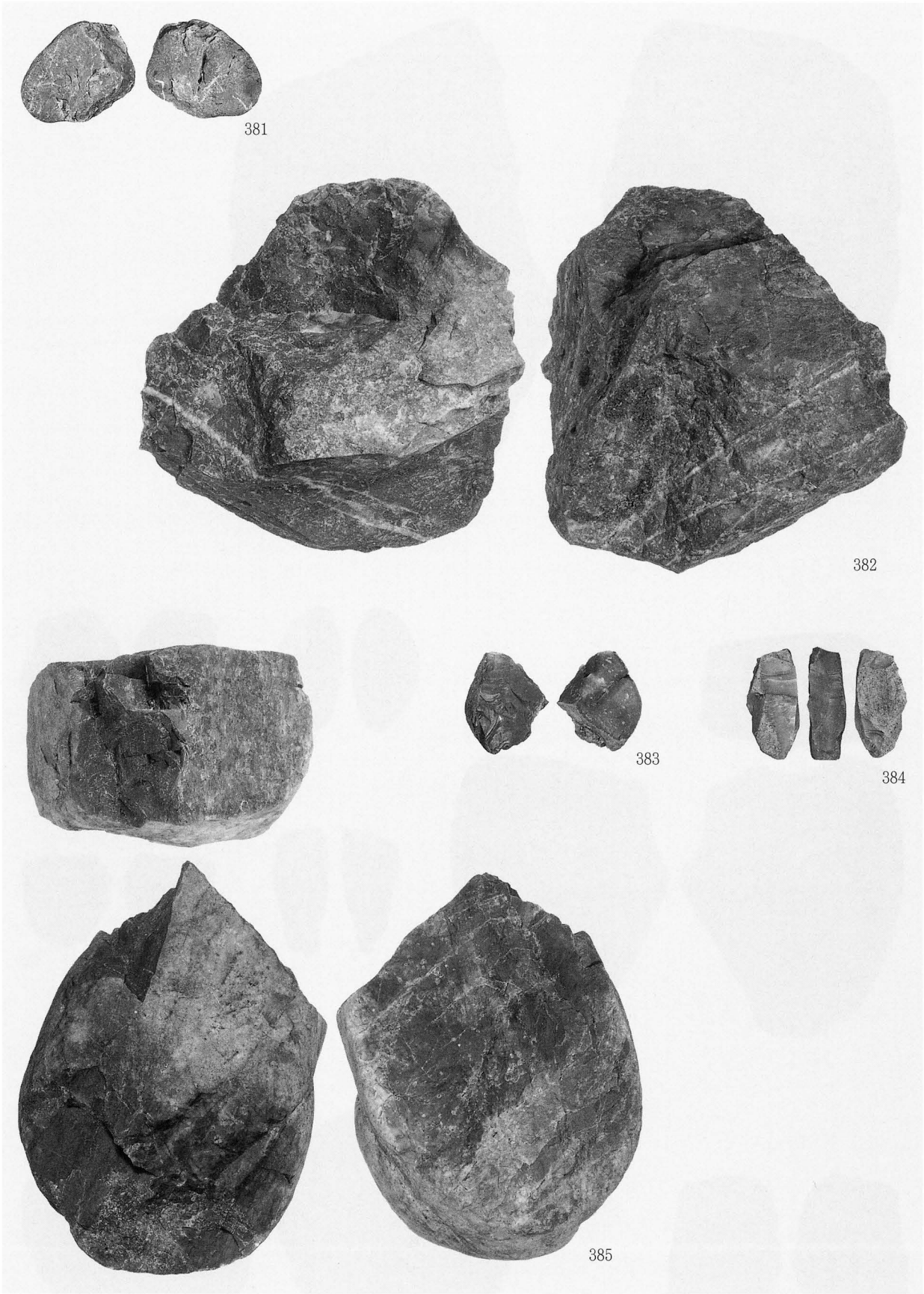

写真図版24　遺構内出土石器（4）、遺構外出土石器（1）



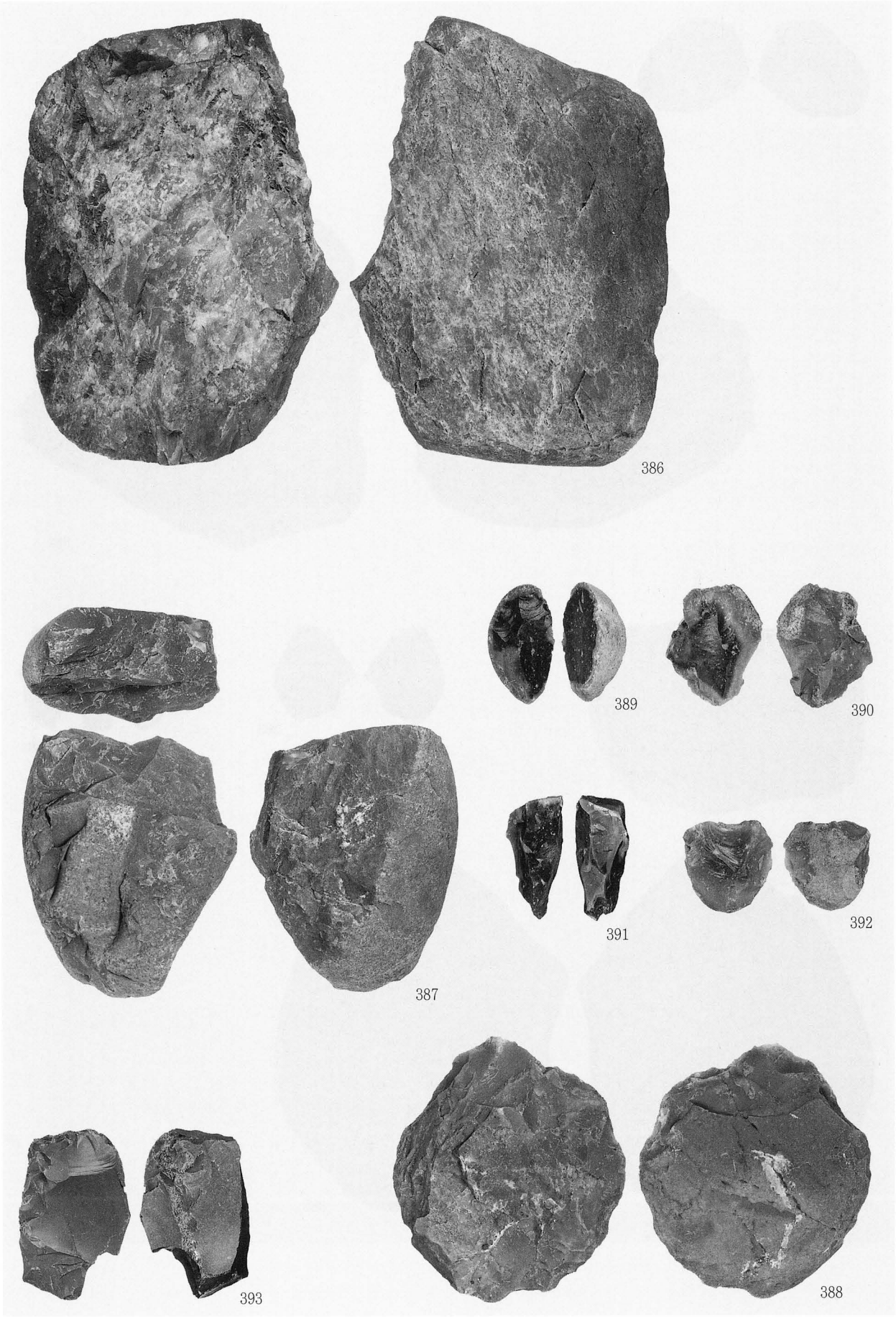

写真図版25　遺構外出土石器（2）



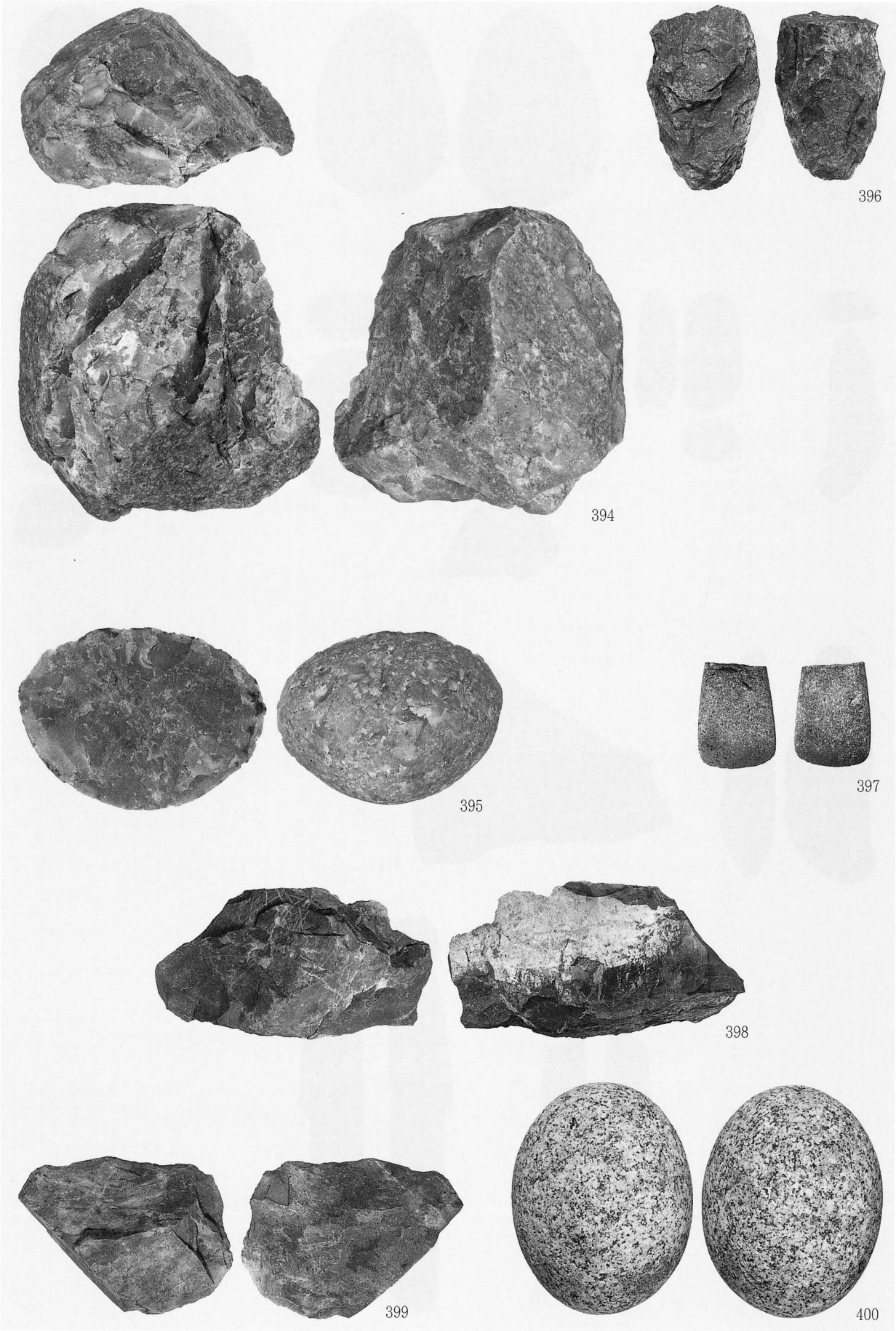

写真図版26　遺構外出土石器（3）



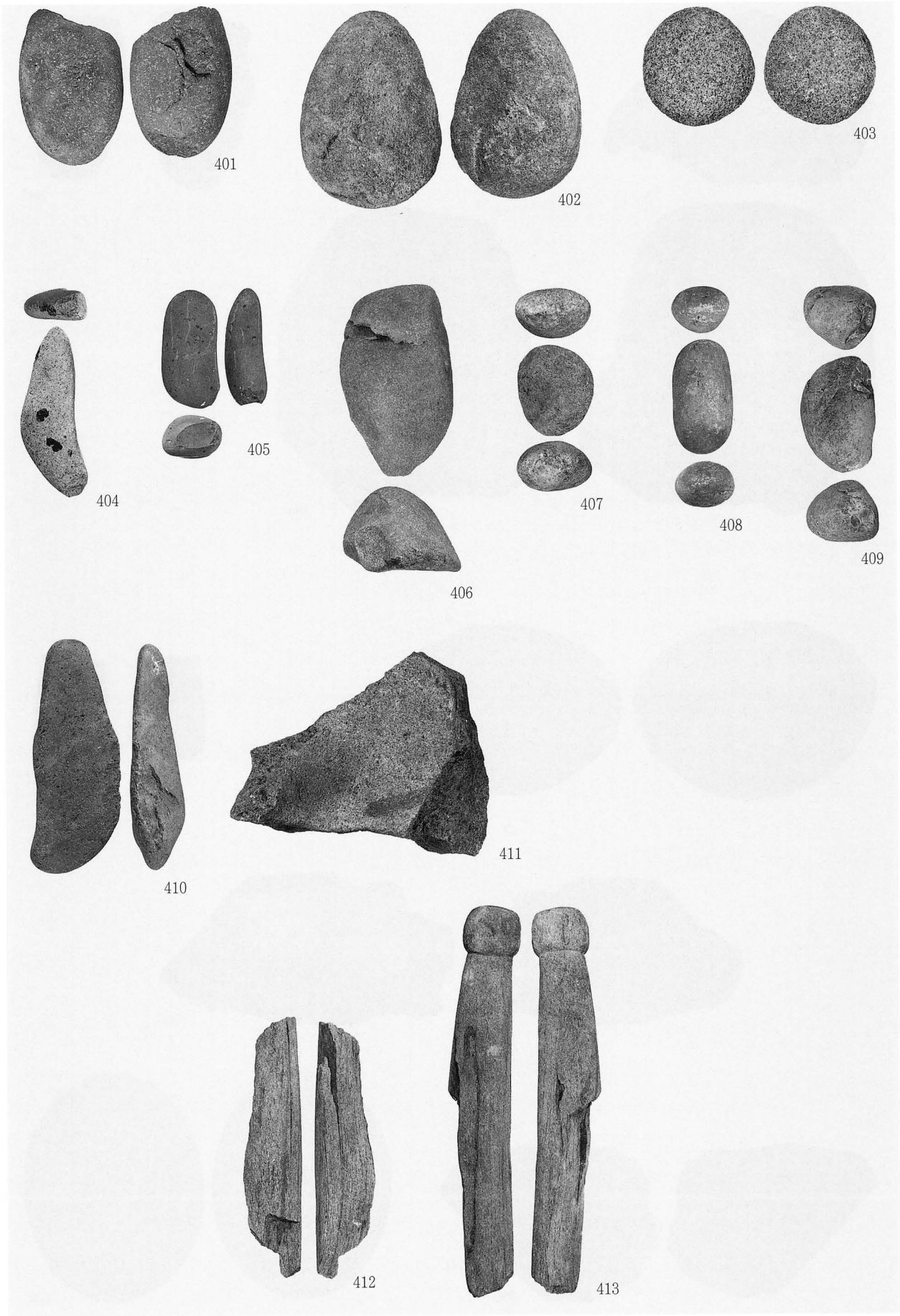

写真図版27　遺構外出土石器（4）




写真図版28　遺構外出土石器（5）




写真図版29　遺構外出土石器（6）




写真図版30　遺構外出土石器（7）、石製品

# 報告書抄録

| | |
|---|---|
| ふりがな | かみのばさんいせきはっくつちょうさほうこくしょ |
| 書名 | 上野場3遺跡発掘調査報告書 |
| 副書名 | 農免農道整備事業観音林地区関連遺跡発掘調査 |
| 巻次 | |
| シリーズ名 | 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第477集 |
| 編著者名 | 丸山浩治 |
| 編集機関 | (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター |
| 所在地 | 〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地　TEL（019）638-9001 |
| 発行年月日 | 2006年2月24日 |

| ふりがな<br>所収遺跡名 | ふりがな<br>所在地 | コード<br>市町村 | コード<br>遺跡番号 | 北緯<br>°′″ | 東経<br>°′″ | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 上野場3遺跡 | 岩手県九戸郡軽米町大字晴山第16地割字上野場4－2ほか | 03501 | ＩＦ61－2348 | 40度21分25秒 | 141度23分35秒 | 2004.07.01～2004.09.14 | 597㎡ | 農免農道整備事業観音林地区に伴う緊急調査 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|---|---|---|---|---|---|
| 上野場3遺跡 | 集落跡 | 縄文時代 | 竪穴住居跡　1棟<br>陥し穴状遺構　2基<br>土坑　6基<br>遺物包含層　1箇所 | 縄文土器・石器（後期後葉・晩期中～後葉中心）<br>土製品（土偶、土版、土鈴、異形土製品、耳栓、粘土塊など）<br>石製品（石剣類など）<br>植物遺体（トチノキ、クリ、オニグルミ、コナラ属、サンショウ） | 縄文時代後期後葉の大形住居跡と床面出土香炉形土器<br>大形住居跡埋没過程で形成された縄文晩期中～後葉の遺物包含層 |

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第477集

# 上野場３遺跡発掘調査報告書

農免農道整備事業観音林地区関連遺跡発掘調査

印　刷　平成18年２月20日
発　行　平成18年２月24日

発　行　(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853　岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
電 話 (019) 638-9001
FAX (019) 638-8563
印　刷　有限会社　セーコー印刷
〒020-0877　岩手県盛岡市下の橋町２番23号
電 話 (019) 651-3606

© (財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2006